

**男女共同参画に関する市民意識調査**  
**－ 報告書 －**

**平成 24 年 3 月**  
**姫 路 市**

## はじめに

姫路市では、全ての市民が人権尊重を基調に、性や世代にとらわれることなく一人ひとりの個性、資質、能力を認め合い、それらを十分に発揮し、支えあって暮らせる都市の実現を目指して、「姫路市男女共同参画プラン（平成13年3月策定・平成19年3月改訂）」に基づき、男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。

このたび、男女共同参画社会づくりに対するご意見と現状をおたずねし、前回調査との比較から意識の変化を知るとともに、男女共同参画についての課題を把握するために、男女共同参画に関する意識調査を実施しました。

今回の調査結果につきましては、平成24年度に予定している新たな姫路市男女共同参画プランの策定に向けての基礎資料として十分に活用してまいりたいと考えております。

最後に、この調査にご協力をいただきました皆様方に厚くお礼申し上げますとともに、本市における男女共同参画社会の実現に向け、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

## ～ 目 次 ～

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| <b>I 調査の概要</b>                        | 1  |
| <b>II 回答者の属性</b>                      |    |
| 1. 性別                                 | 4  |
| 2. 年齢                                 | 4  |
| 3. 職業                                 | 5  |
| 4. 未既婚                                | 6  |
| 5. 配偶者・パートナーの就労状況                     | 7  |
| 6. 子どもの人数                             | 8  |
| 7. 世帯状況                               | 9  |
| <b>III 調査結果のまとめ</b>                   |    |
| 【1】男女平等意識について                         | 10 |
| 【2】職業生活について                           | 11 |
| 【3】結婚、家庭生活と男女の役割について                  | 13 |
| 【4】社会参加活動について                         | 15 |
| 【5】ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について         | 16 |
| 【6】人権について                             | 16 |
| 【7】男女共同参画に関する施策などについて                 | 18 |
| <b>IV 調査結果</b>                        |    |
| 【1】男女平等意識について                         | 20 |
| 1. 各分野における男女の地位                       | 20 |
| 2. 男女不平等が生じる原因                        | 24 |
| 3. 男女が平等になるために重要なこと                   | 27 |
| 4. 女性の参画が必要な分野・領域                     | 29 |
| 【2】職業生活について                           | 31 |
| 1. 女性のライフスタイルの理想と現実                   | 31 |
| 2. 女性が働く上で支障となること                     | 34 |
| 3. セクシュアル・ハラスメントだと思うこと                | 37 |
| 4. 職場の現状                              | 40 |
| 5. 男女が共に職業人として活躍するために重要なこと            | 43 |
| 【3】結婚、家庭生活と男女の役割について                  | 46 |
| 1. 結婚、家庭に関する考え                        | 46 |
| 2. 家庭内の仕事の理想の分担                       | 49 |
| 3. 家庭内の仕事の実際の分担                       | 52 |
| 4. 子育てについて                            | 56 |
| 5. 安心して子どもを産み育てるために必要なこと              | 58 |
| 6. 望ましい介護方法                           | 61 |
| 7. 高齢者介護が女性の役割となりがちな現状について            | 62 |
| 【4】社会参加活動について                         | 64 |
| 1. 社会活動への参加状況・参加意向                    | 64 |
| 2. 社会活動に参加する上で支障となること                 | 70 |
| 3. 地域の現状                              | 72 |
| 4. 男女が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと | 73 |

|                                      |     |
|--------------------------------------|-----|
| <b>【5】ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について</b> | 75  |
| 1. 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の理想と現実  | 75  |
| 2. ワーク・ライフ・バランスの実現のための工夫             | 78  |
| <b>【6】人権について</b>                     | 80  |
| 1. 女性の人権が尊重されていないと感じること              | 80  |
| 2. メディアにおける性・暴力表現について                | 83  |
| 3. メディアにおける性・暴力表現の問題点                | 85  |
| 4. 男女が心身共に健康であるために必要なこと              | 87  |
| 5. ドメスティック・バイオレンスの経験                 | 89  |
| 6. ドメスティック・バイオレンスの相談先                | 91  |
| <b>【7】男女共同参画に関する施策などについて</b>         | 92  |
| 1. 男女共同参画関連事項の認知度                    | 92  |
| 2. “あいめっせ”認知度                        | 97  |
| 3. 男女共同参画社会形成のために市が力を入れるべきこと         | 99  |
| <b>【8】自由回答意見一覧</b>                   | 103 |
| <b>資料：調査票</b>                        | 109 |

# I 調査の概要

# I 調査の概要

## 【調査目的】

本市では、全ての市民が人権尊重を基調に、性や世代にとらわれることなく一人ひとりの個性、資質、能力を認め合い、それらを十分に発揮し、支えあって暮らせる都市の実現を目指して『男女共同参画プラン』に基づき、様々な取り組みを進めている。

本調査は、『男女共同参画プラン』の計画期間が平成24年度末で終了することから、より市の実情にあった新プランを策定するにあたり、市民の男女共同参画社会に関する意識やニーズを把握し、今後の施策展開の参考にすることを目的として実施した。

## 【調査対象】

市内在住の満20歳以上の男女（外国人を含む）

## 【標本抽出方法】

層化無作為抽出

## 【調査方法】

郵送配布、郵送回収（ハガキによる督促1回）

## 【調査期間】

平成23年（2011年）7月14日（木）～7月25日（月）

## 【回収結果】

配布数 ----- 3,000 件

有効回収数 ----- 1,175 件

有効回収率 ----- 39.2%

### ■回収票の性別・年齢構成一覧

（上段：回答件数／下段：構成比%）

|    | 合計    | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～69歳 | 70歳以上 |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 全体 | 1,175 | 96     | 189    | 176    | 209    | 288    | 217   |
|    | 100.0 | 8.2    | 16.1   | 15.0   | 17.8   | 24.5   | 18.5  |
| 男性 | 455   | 38     | 59     | 62     | 82     | 122    | 92    |
|    | 100.0 | 8.4    | 13.0   | 13.6   | 18.0   | 26.8   | 20.2  |
| 女性 | 717   | 58     | 130    | 114    | 127    | 166    | 122   |
|    | 100.0 | 8.1    | 18.1   | 15.9   | 17.7   | 23.2   | 17.0  |

## 【標本誤差】

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体（本市の20歳以上の男女）の比率を推定するため、無作為抽出の場合の標本誤差の「算出式」と「早見表」を次に示す。

統計学上の標本誤差は、比率算出の基数（回答サンプル数）及び回答の比率によって誤差幅が異なる。今回調査の誤差幅は全体で最大±2.9%以内（早見表の「50%程度」の欄参照）となる。

### ■算出式

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数（本市の20歳以上の男女）  
n = 比率算出の基数（回答サンプル数）  
p = 回答の比率（0 ≤ p ≤ 1）

### ■早見表

[標本誤差早見表(信頼度:95%)]

|    |    | 実回答数  | 標本誤差(%)         |                 |                 |                 |       |
|----|----|-------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------|
|    |    |       | 10%または<br>90%程度 | 20%または<br>80%程度 | 30%または<br>70%程度 | 40%または<br>60%程度 | 50%程度 |
| 全体 |    | 1,175 | ±1.8            | ±2.3            | ±2.7            | ±2.9            | ±2.9  |
| 性別 | 男性 | 455   | ±2.8            | ±3.8            | ±4.3            | ±4.6            | ±4.7  |
|    | 女性 | 717   | ±2.2            | ±3.0            | ±3.4            | ±3.7            | ±3.7  |

### 《表の見方》

「標本誤差」とは、今回のように母集団（本市の20歳以上の男女）から一部の標本を抽出して行う標本調査と、母集団全体を対象に行う調査とを比べた時に生じる調査結果上の誤差のことであり、通常、母集団に対して標本数が小さくなるほど、母集団と標本数の誤差も大きくなる。

算出式に今回の調査をあてはめた算出結果（標本誤差）が上記の早見表である。見方としては、例えば「ある設問中の選択肢（例：「そう思う」）の回答比率が、女性（n=717）で10.0%だった場合（早見表の「10%または90%程度」の欄参照）、母集団におけるその回答比率の誤差の範囲は±2.2%の範囲内（母集団で「そう思う」と回答する人の比率は7.8%～12.2%）である、と95%の確率でいえる」とみることができる。「信頼度95%」とは、100回同じ調査を行って、95回同じ結果（同じ誤差範囲）が出ると想定される、という意味である。

### 【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数ベースを示す「全体」を「N」、該当数ベースを「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は図中表記から割愛している場合がある。
- (6) 必要に応じて、姫路市平成17年度実施「男女共同参画に関する市民意識調査」（以下「前回調査」と表記）、内閣府平成21年度実施「男女共同参画社会に関する世論調査」（以下「全国調査」と表記）と比較分析しているが、質問によっては選択肢が一致していない場合があり、図表等に完全な比較を表せない設問もある。なお、「全国調査」は、調査員による個別面接聴取による方法で実施されたため「無回答」はない。

#### [比較分析する調査の概要]

| 調査名                          | 実施主体        | 調査年月日                  | 調査方法         |
|------------------------------|-------------|------------------------|--------------|
| 「男女共同参画社会に関する世論調査（平成21年10月）」 | 国 内閣府       | H21.10.1～<br>H21.10.18 | 調査員による個別面接聴取 |
| 「男女共同参画に関する市民意識調査（平成17年度実施）」 | 市 男女共同参画推進課 | H17.7.28～<br>H17.8.12  | 郵送配布・回収      |

- (7) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

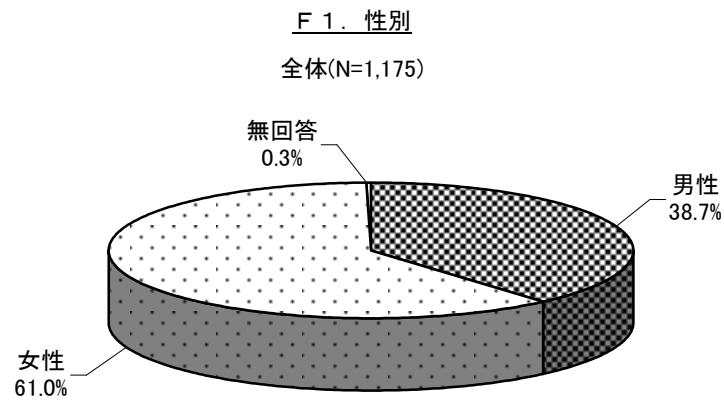


## Ⅱ 回答者の属性

## Ⅱ 回答者の属性

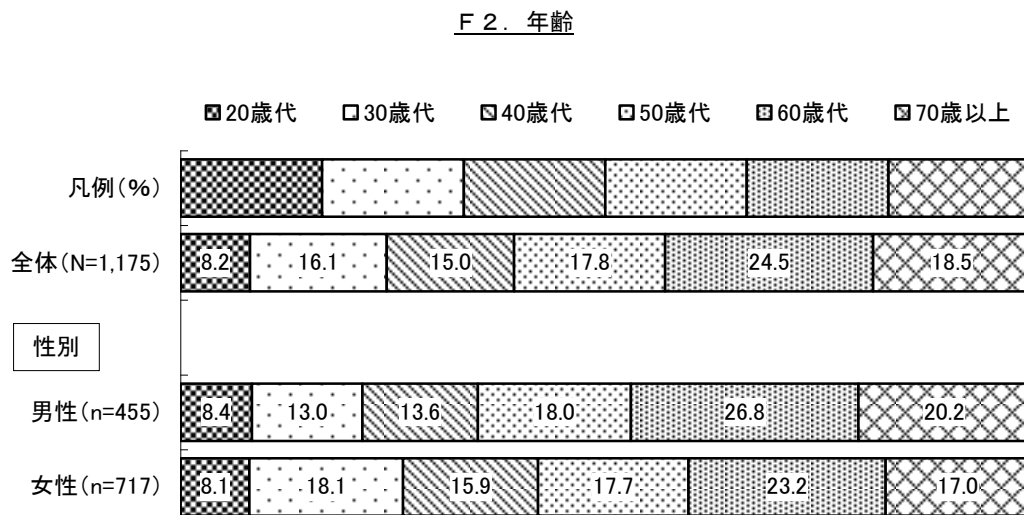
### 1. 性別

性別は、女性 61.0%、男性 38.7%と女性が6割を占める。



### 2. 年齢

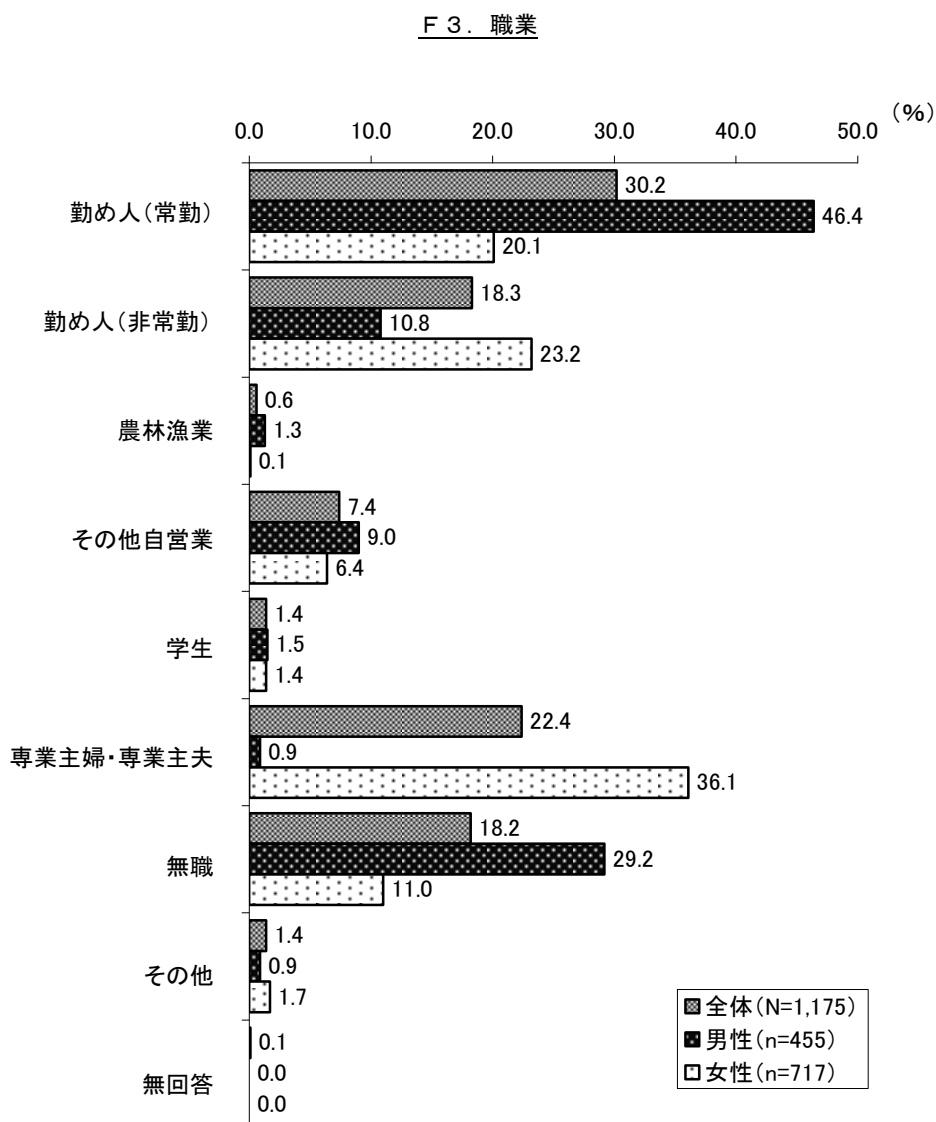
年齢は、全体で「60歳代」が24.5%で最も多く、次いで「70歳以上」(18.5%)、「50歳代」(17.8%)の順となっている。



### 3. 職業

職業をみると、全体で「勤め人(常勤)」が30.2%で最も高く、次いで「専業主婦・専業主夫」(22.4%)、「勤め人(非常勤)」(18.3%)、「無職」(18.2%)の順となっている。

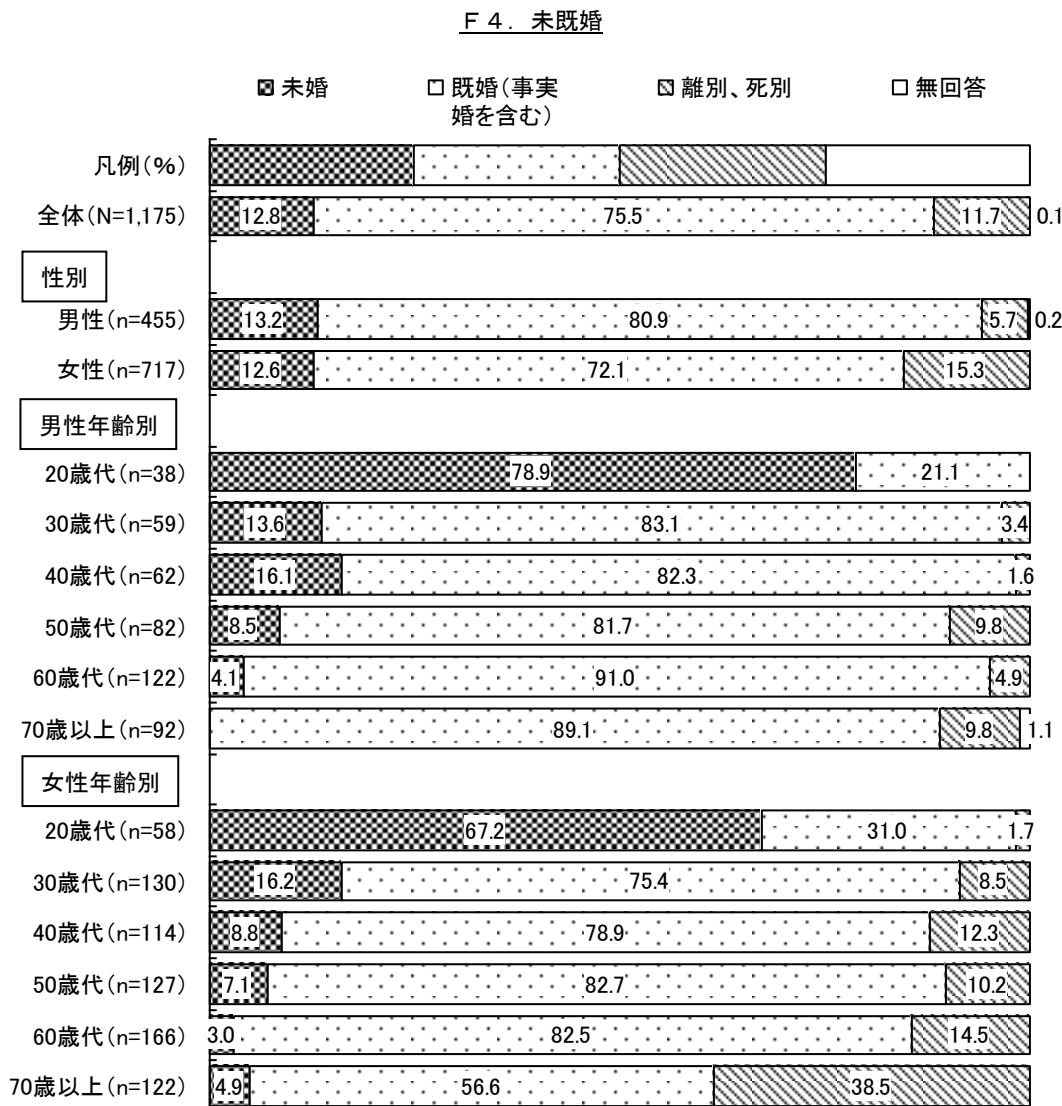
性別では、男性で「勤め人(常勤)」の割合が高い一方で、「無職」の割合も比較的高い。女性で「専業主婦・専業主夫」、「勤め人(非常勤)」の割合が高くなっている。



#### 4. 未既婚

未既婚をみると、全体で、「未婚」が 12.8%、「既婚（事実婚を含む）」が 75.5%、「離別、死別」が 11.7%となっており、性別では、女性で「離別、死別」の割合がやや高い。

性・年齢別では、男女とも 20 歳代では「未婚」の占める割合が高く、女性に比べて男性 20 歳代の未婚率がやや高い。また、女性 70 歳以上で「離別、死別」の占める割合が高い。

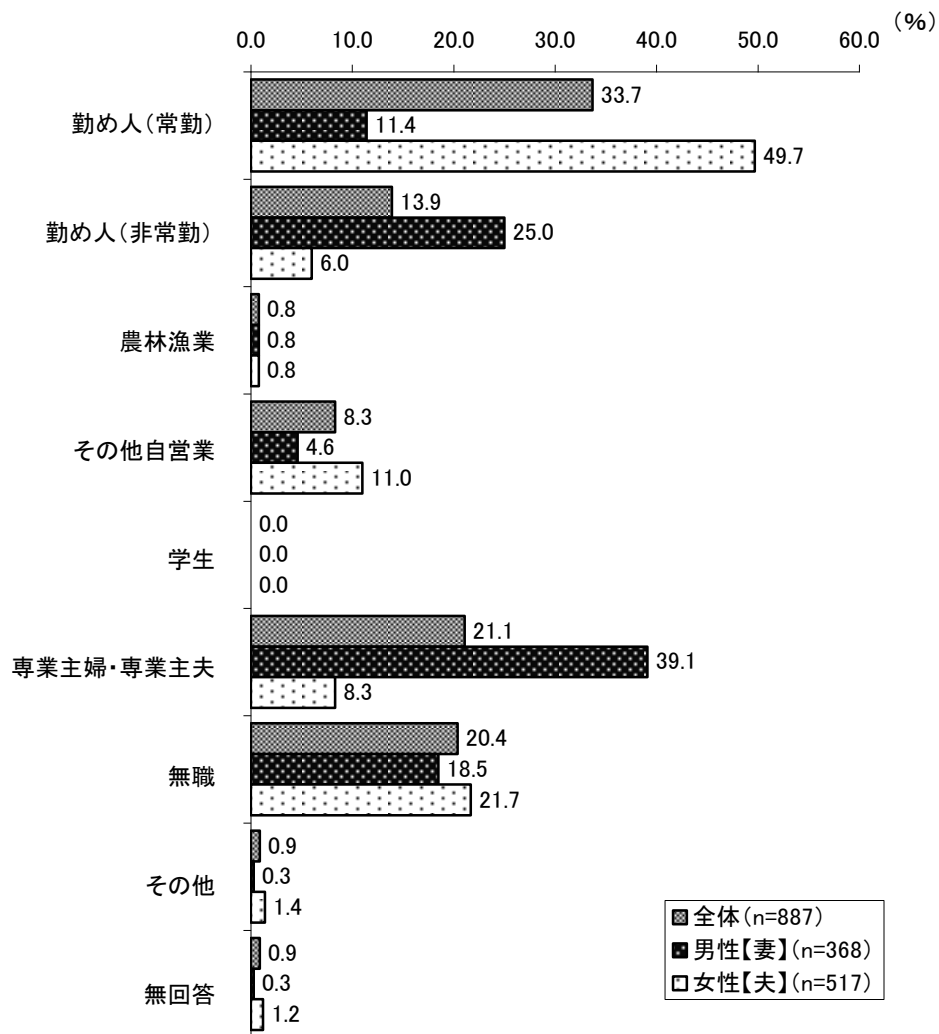


## 5. 配偶者・パートナーの就労状況

既婚者の配偶者・パートナーの就労状況は、全体で「勤め人（常勤）」が 33.7%で最も高く、次いで「専業主婦・専業主夫」（21.1%）、「無職」（20.4%）の順となっている。

性別では、男性で「妻」の就労状況は「専業主婦・専業主夫」、「勤め人（非常勤）」、女性で「夫」の就労状況は「勤め人（常勤）」の割合がそれぞれ高い。

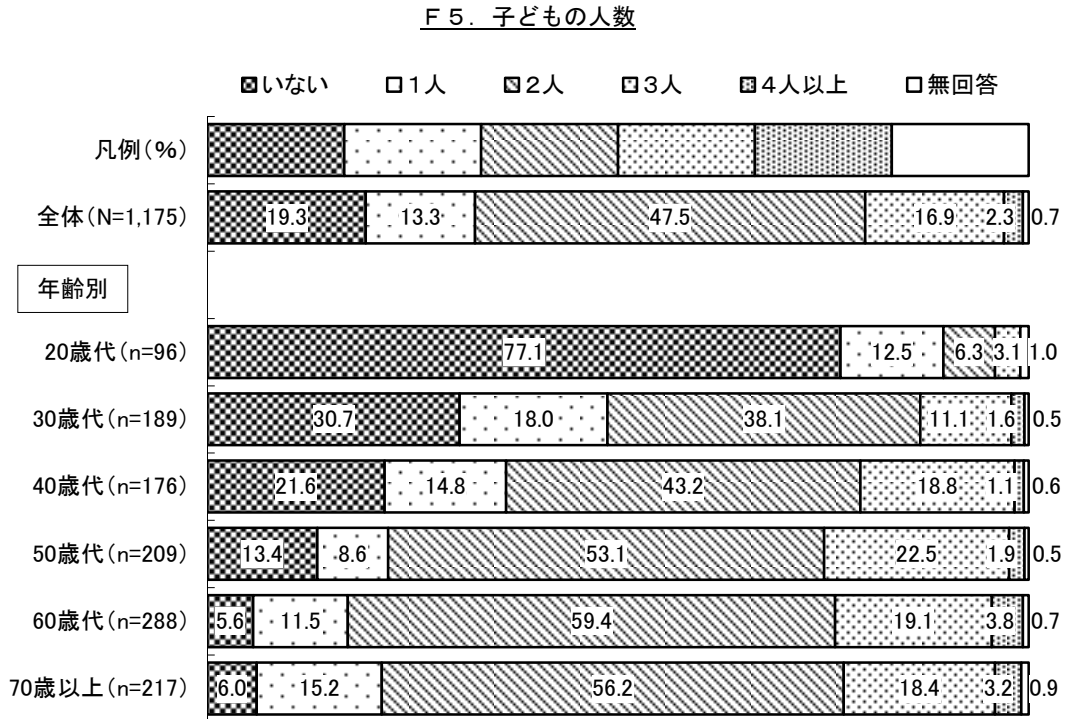
F 4-1. 配偶者・パートナーの就労状況



## 6. 子どもの人数

子どもの人数は、全体で「2人」が47.5%、「3人」が16.9%、「4人以上」が2.3%となっており、子どもが「いない」割合は19.3%である。

年齢別では、年齢が若くなるほど「いない」割合が高くなっている。

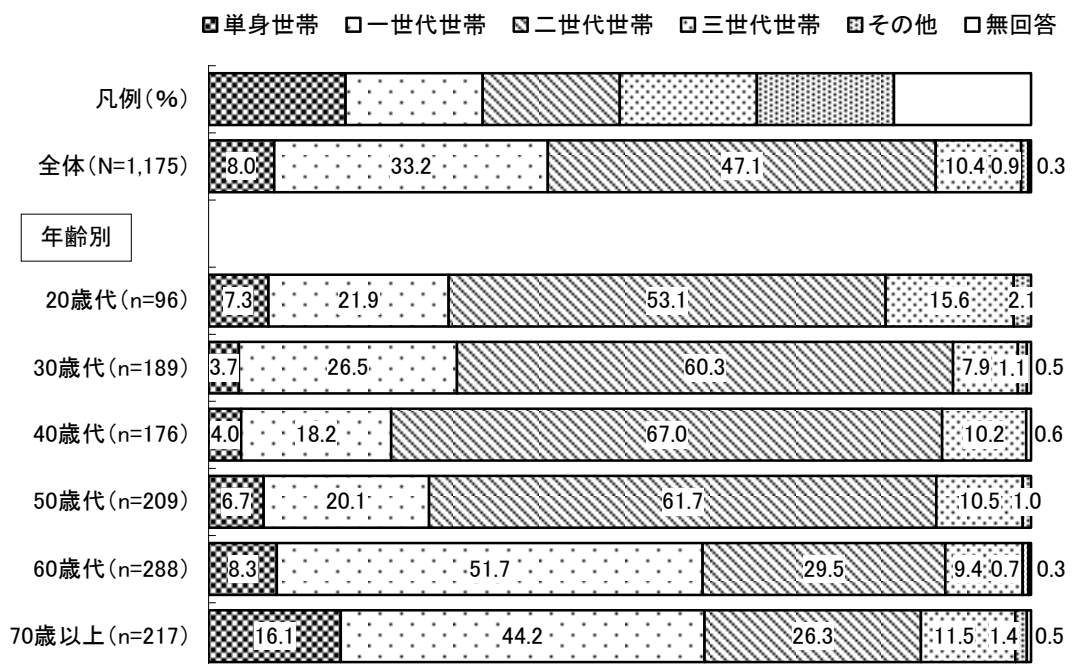


## 7. 世帯状況

世帯状況は、「二世帯世帯」が47.1%で最も高く、次いで「一世代世帯」(33.2%)、「三世帯世帯」(10.4%)、「単身世帯」(8.0%)の順となっている。

年齢別では、60歳以上から「一世代世帯」の割合が高くなっており、また70歳以上での「単身世帯」の割合が他の年代に比べて高い。

F 6. 世帯状況



### Ⅲ 調査結果のまとめ



## Ⅲ 調査結果のまとめ

---

### 【1】男女平等意識について

#### 1. 各分野における男女の地位（問1）：20 ページ

「③学校教育の場」、「⑥法律や制度の上」では、「平等」の割合が比較的高いものの、すべての分野において、『男性優遇』の割合が『女性優遇』の割合を上回っており、特に、「⑦社会通念、慣習・しきたりなど」、「⑧社会全体」、「④政治の場」は『男性優遇』の割合が6割以上となっている。

性別では、「③学校教育の場」は他の分野に比べるとわずかではあるが、すべての分野において、男性より女性で『男性優遇』と感じている傾向が強い。一方で「③学校教育の場」では男性 20～30 歳代で『女性優遇』、「⑥法律や制度の上」では、男性 20 歳代で『女性優遇』と感じている傾向が強い。

前回調査と比べると、すべての分野において『男性優遇』の割合は減少している。また、「③学校教育の場」以外のすべての分野において「平等」の割合は上昇しているものの、全国調査と比べると「平等」の割合は依然として低い。

#### 2. 男女不平等が生じる原因（問2）：24 ページ

「男女の役割についての固定観念」が最も高く、次いで「社会の慣習やしきたり」、「男女の生まれつきの身体的・生理的な差」、「これまでにつくられた男女の能力・適性のちがひ」の順となっており、性別でも同様の傾向を示している。なお、前回調査でも同様の結果であった。

男性 30 歳代で「男女の役割についての固定観念」の割合が特に高く、女性 20 歳代で「職業生活面での有利・不利」、男性 70 歳以上で「女性の自覚や理解の不足」の割合も高い。

#### 3. 男女が平等になるために重要なこと（問3）：27 ページ

「女性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」が最も高く、女性 20 歳代でその傾向が強い。また、女性で「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実をはかること」がやや高くなっている。

#### 4. 女性の参画が必要な分野・領域（問4）：29 ページ

「地域おこし、まちづくり、観光などを女性の視点から見直す地域の文化・産業分野」が最も高く、次いで「環境保全に対する女性の高い関心や豊かな知識、経験を生かすことができる環境分野」、「審議会委員などへの任命、管理職への登用、職域の拡大など政策・方針決定領域」の順となっている。

## 「男女平等意識について」 まとめと今後の取り組みの方向性

- 前回調査と比べ、社会の各分野において男女平等が進んでいる傾向は認められるものの、学校教育の場以外の分野については、未だ男女不平等と感じられている。また、男女不平等と感じる度合いについては男女差があり、特に若い年代(20歳代)においては分野によって、男女の意識に大きな差が見られる場合もある。  
教育、生活、就労など幅広い分野で、男女共同参画に関する意識啓発を継続的に実施し、男女不平等の原因として回答の割合が高かった「男女の役割についての固定観念」、「社会の慣習やしきたり」を改めていく必要がある。また、意識啓発は男女ともに行う必要があり、男女の意識の差を埋めるよう、男女間での意見交換、コミュニケーションを密にとり、相互理解を深めることが不可欠である。
- 地域おこし、まちづくり、観光、環境分野などにおいて、特に女性の参画が求められているものの、現在の「環境保護、まちづくりなどの住民運動や社会活動」への参加率は全体で1割未満にとどまっており、参加意向を持っている人も約3割と多くないことから(問17参照)、まず住民の社会活動への参加意向を高め、「性別」に関わらず、個人が持つ能力や才能を十分に発揮できるような社会参画の機会や場を提供することが重要である。  
また、将来の地域おこしの担い手となる若い年代、とりわけ女性20歳代については、社会活動への参加意向が比較的強い(問18参照)、その意向を生かすことができるような活動支援を検討していく必要がある。

## 【2】職業生活について

### 1. 女性のライフスタイルの理想と現実(問5): 31ページ

女性のライフスタイルの理想と現実ともに、『再就職型』が最も高く、次いで『職業継続型』、『出産退職型』、『結婚退職型』、『家事専念型』の順となっている。なお、前回調査でも理想・現実ともに同様の結果であった。また、全国調査と比べ『職業継続型』をライフスタイルの理想として挙げる人の割合が低くなっており、この傾向も前回調査と同様となっている。

しかしながら、理想を『再就職型』としている人で、現実にはそれを実現できた割合は約3割であり、実際には『出産退職型』や『職業継続型』である割合もそれぞれ2割程度あることがわかる。理想を『職業継続型』としている人でも、現実にはそれを実現できた割合は2割程度にとどまっており、実際には『再就職型』である割合が4割以上、『出産退職型』の割合が2割弱あることがわかる。

なお、理想を『再就職型』や『職業継続型』以外とした人でも、理想と現実が一致した割合は2割程度にとどまっている。

### 2. 女性が働く上で支障となること(問6): 34ページ

「家事の負担が大きい」が最も高く、次いで「夫・子どもの世話の負担が大きいこと」、「保育体制の不備」の順となっている。前回調査と比較すると「高齢者の世話の負担が大きいこと」の割合がやや増加している。

### 3. セクシュアル・ハラスメントだと思うこと（問7）：37 ページ

「地位や権限を利用して、性的な関係を迫ること」が最も高く、次いで「さわる、抱きつくなど肉体的接触をすること」、「性的冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけること」の順となっており、性別による認識の差はほとんどない。

前回調査と比較すると、どの項目もセクシュアル・ハラスメントだと思う割合は増えている。

### 4. 職場の現状（問8）：40 ページ

「お茶くみなどの雑用は職種にかかわらず女性がすることが多い」、「女性は昇進・昇格が遅い、または望めない」が3割以上と高い。「女性は昇進・昇格が遅い、または望めない」は、女性、中でも40歳代で特に高い。また、女性20歳代で「セクシュアル・ハラスメントを経験した、または周りに経験した人がいる」の割合が比較的高い。

前回調査と比較すると、「女性は昇進・昇格が遅い、または望めない」、「同期に同年齢で入社した男性との賃金、昇給の差がある」の割合が高くなっており、特に女性でその傾向が強い。

### 5. 男女が共に職業人として活躍するために重要なこと（問9）：43 ページ

「仕事に必要な職業能力を身につけること」が最も高く、特に男女の高い年齢層でその割合が高い。次いで「能力や実績に応じた評価（給料面を含む）がなされること」、「職業人として自覚をもつこと」の順となっており、性別でも同様の傾向を示している。前回調査と比較して「能力や実績に応じた評価（給料面を含む）がなされること」が高いことは、問8の職場の現状についてで、「女性は昇進・昇格が遅い、または望めない」、「同期に同年齢で入社した男性との賃金、昇給の差がある」の回答の割合が高かったことが反映されているといえる。

また、現在子育て中の世代である男性30歳代・女性20～30歳代で「男女共に育児休暇が取りやすくなること」の割合が高く、両親等の介護中の世代と想定できる女性50歳代で「男女共に介護休暇が取りやすくなること」の割合が高い。また、男女20歳代で「男は仕事、女は家庭という従来の社会通念が変わること」の割合が比較的高い。

#### 「職業生活について」 まとめと今後の取り組みの方向性

- 結婚や出産に関わらず職業を続ける（『職業継続型』）、または、出産後再び職業をもつ（『再就職型』）ことを理想としている人でも、それを実現できている人は未だ少なく、女性が働く上で支障となることとして、「家事負担」、「子育て負担」、「保育体制不備」が挙げられていることから、男女がともに家事・育児を担う意識の啓発や保育・介護サービスの充実を促進するとともに、働き続けやすい職場環境の整備や再就職支援などに地域の企業とともに取り組んでいく必要がある。
- 職場については、前回調査同様『男性優遇』とされている分野であり、職場の現状では、「女性は昇進・昇格が遅い、または望めない」、「同期に同年齢で入社した男性との賃金、昇給の差がある」の女性の割合が高い。性別に関わらず個人の能力に応じた評価を行い、労働における男女差別がなくなるよう企業社会に対して啓発するとともに、ポジティブ・アクションに関する具体的な情報提供がさらに求められている。

### 【3】結婚、家庭生活と男女の役割について

#### 1. 結婚、家庭に関する考え（問10）：46 ページ

女性や若い年齢層で「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」で「賛成」意向が強く、一方、男性や年齢が上がるほど「④結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」で「反対」意向がやや強くなっていることがわかる。また、女性 20 歳代で「②夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」、「③女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」の「反対」意向が比較的強い。

前回調査と比較すると、「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」や「④結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」の『賛成派』の割合は、それぞれ増加しているが、全国調査と比べると依然としてその割合は低い。

また、「②夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」や「③女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」の『反対派』の割合は、前回調査と比べてそれぞれ増加しており、『反対派』が『賛成派』を上回っている。

#### 2. 家庭内の仕事分担の理想と現実との比較（問11・問12）：49 ページ、52 ページ

家庭内の仕事のすべては実際に「妻」が担っている場合が多く、理想としては「夫妻とも同じくらい」の割合が特に高い「⑤育児・しつけ」、「⑥看護・介護」なども、実際は「妻」の割合が比較的高いことがわかる。家庭内の仕事のすべてを実際は「妻」が担っている場合が多いという傾向は、前回調査から変わらない。

問6の女性が働く上での支障として「家事の負担が大きいこと」が最も高く挙げられていることは、この状況を反映しているといえる。

なお、実際的な分担について、女性ではすべての項目で「妻」とする割合が高く、一方、男性では「⑤育児・しつけ」、「⑥看護・介護」以外の項目は「妻」とする割合が高いが、「③掃除」、「⑤育児・しつけ」、「⑥看護・介護」については、「夫妻とも同じくらい」担っているという認識が比較的高い。

#### 3. 子育てについて（問13）：56 ページ

「男の子も女の子も本人が望むように教育を受けさせたい」が最も高いものの、男性では「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てた方がよい」の割合もやや高い。

#### 4. 安心して子どもを産み育てるために必要なこと（問14）：58 ページ

「出産・育児に対する経済的な支援の拡充」が最も高く、次いで「保育サービスの充実」、「出産・子育て後に再就職しやすい制度づくり」、「子育て中の柔軟な勤務形態の普及」の順となっており、特に、現在子育て中の世代である男性 20～30 歳代・女性 20・40 歳代で「子育て中の柔軟な勤務形態の普及」、女性 20 歳代で「父親が子育てに十分かかわることができる職場環境の整備」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「保育サービスの充実」、「子育ての悩み相談の充実」、「ひとり親家庭の支援」の割合がやや増加している。

#### 5. 望ましい介護方法（問15）：61 ページ

「夫または妻（パートナー）」が最も高く、特に男性でその傾向が強い。一方、女性は「夫または妻（パートナー）」以外に「病院や老人ホームなどの施設に入所する」や「娘」の割合も比較的高い。

## 6. 高齢者介護が女性の役割となりがちな現状について（問 16）：62 ページ

「男性も女性とともに介護すべきである」が最も高く、次いで「問題があるが、現状ではやむをえない」、「原則として介護は社会が行うべきである」の順となっている。

性別では、男性で「男性も女性とともに介護すべきである」の割合がやや低く、男性 20 歳代で「問題があるが、現状ではやむをえない」が高い。また、女性 50 歳代で「男性も女性とともに介護すべきである」の割合が比較的高い。この女性 50 歳代は、問 9 の男女が共に職業人として活躍するために重要なことにおいて「男女共に介護休暇が取りやすくなること」を挙げている人の割合も多く、男性の介護参加を強く求めている世代であるということが示されている。

### 「結婚、家庭生活と男女の役割について」まとめと今後の取り組みの方向性

- 前回調査と比較すると、結婚・離婚や家庭、子どもを持つことに関して、自由な選択を認める人の割合は増加しているものの、今後も「社会通念」や「固定観念」にとらわれることなく、男女ともに自律、自立に向けた意識啓発を推進する必要がある。また、性別、年齢別による意識の差も小さくないことから、男女間、世代間でコミュニケーションを図り、相互理解を促す取り組みも重要である。
- 家庭内の仕事の多くを「妻」が担っており、家庭内での女性の負担が大きいという傾向は、前回調査から変化していない。女性の家事負担を軽減するため、男性やその他の家族も家事分担できるよう働きかけることや、就労環境の整備に対する取り組み支援などについて関係機関が連携を図り、啓発していく必要がある。
- 誰もが理想的なライフスタイルを実現できるよう、女性や子育て家庭の個々のニーズや問題を的確に把握するよう努めるとともに、男女がともに子育てしやすい職場環境の整備や、保育環境の整備を推進する必要がある。また、前回調査と比べ、核家族化が進み、子育ての孤立化が進んでいることが考えられるため、「子育ての悩み相談」や「ひとり親家庭の支援」など子育て家庭の孤立化を防ぐための支援や子育てを社会で支える施策の充実も求められているといえる。
- 介護については、男女がともに関わることを理想としながらも、実際は「妻」が担っているのが現実である。男性も介護に関われるような職場環境の整備を進めるとともに、介護を家族で担うには負担も大きいことから、より一層の公的サービスの充実を進める必要がある。また、特に男性の「介護を女性がするのはやむを得ない」、「介護はパートナーがすべき」といった意識を改革し、介護方法についても多様な選択があることを啓発していくことも重要である。

## 【4】社会参加活動について

### 1. 社会活動への参加状況・参加意向（問 17）：64 ページ

「現在参加している」割合が高い活動は、「②町内会・PTA・子ども会など地域活動」、「①趣味・学習・スポーツ活動」であるが、参加率はそれぞれ3割程度となっている。

今後の参加意向をみると、女性20歳代で、「①趣味・学習・スポーツ活動」、「④国際交流活動」、「⑤ボランティア活動・福祉活動」への参加意向が強いことがわかる。

前回調査と比較すると、「①趣味・学習・スポーツ活動」の参加率、「③リサイクル・消費生活活動」の今後の参加意向がそれぞれやや減少している。

### 2. 社会活動に参加する上で支障となること（問 18）：70 ページ

「仕事が忙しい」が32.7%で最も高く、特に男性20～50歳代・女性40歳代でその傾向は強い。また、女性30～40歳代で「家事が忙しい」の割合が高く、男性20歳代で「グループの人間関係がわずらわしい」、女性20歳代で「社会活動に関する情報が少ない」、「活動する仲間や場所が少ない」の割合がそれぞれ高くなっている。男女ともおおむね年齢が上がるほど「健康や体力に自信がない」の割合も高くなる傾向がみられる。

### 3. 地域の現状（問 19）：72 ページ

「会議や行事などで女性が飲食の世話や後かたづけをすることが多い」が最も高く、次いで「役員選挙に女性が出にくい、また選ばれにくい」の順となっており、「特に男女格差はない」は2割となっている。

### 4. 男女が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと（問 20）：73 ページ

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が最も高く、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」、「社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること」の順となっている。また、男性30歳代以下、女性30～40歳代で「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること」の割合が高くなっている。

#### 「社会活動について」 まとめと今後の取り組みの方向性

- 地域社会において、性別役割分担意識に根ざした慣習がまだ残っていることが示されており、地域社会での男女平等意識の啓発が、引き続き重要である。
- 社会活動への参加状況は、あまり盛んであるとはいえない。参加の支障としては「仕事が忙しい」が最も高いことから、男女ともにゆとりある働き方を選択できることが可能となるよう、企業に対して啓発していくことが必要である。  
また、家庭内の仕事で女性の負担が大きいということが、女性の参加の妨げになっているとも考えられることから、家庭内での男女共同参画が可能となるよう、男女の意識啓発を進めるとともに、企業と行政が協働して、男女ともに家庭と仕事の両立が可能となるような支援を行っていく必要がある。
- 社会活動への参加意向が強く、今後の地域おこし、まちづくりの担い手として期待できる若年層に対しては、社会活動に関する情報提供を推進するほか、社会活動に積極的に参加できるよう、ライフスタイルに合わせた参加しやすい活動や実施時間帯や場所の工夫、仲間づくりの機会の提供などを行うことが重要である。

## 【5】ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

### 1. 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の理想と現実（問 21）：75 ページ

「理想」は、男女ともに「仕事と家庭生活をともに優先」や「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先」が高いが、「現実」は「仕事を優先」が最も高く、特に男性でその傾向が強い。

全国調査と比較すると、「理想」では、「家庭生活を優先」の割合が低い一方で、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先」の割合が高くなっている。

「現実」では、全国調査より「仕事を優先」の割合が高い一方で、「家庭生活を優先」の割合は低くなっている。

### 2. ワーク・ライフ・バランスの実現のための工夫（問 22）：78 ページ

「自分のための時間をとる」が最も高く、次いで「効率よく仕事をする」、「年次有給休暇をしっかりとる」の順となっており、女性 20～40 歳代で「自分のための時間をとる」、男女 20～30 歳代で「年次有給休暇をしっかりとる」、女性 20 歳代・男性 30 歳代で「残業を減らすようにする」、男性 60～70 歳以上で「自己啓発、能力向上のための取り組みを行う」の割合がそれぞれ高くなっている。

#### 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について」 まとめと今後の取り組みの方向性

- ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けて、企業だけでなく、誰もがその取り組みについて認識を深めるよう広く周知する必要がある。
- ワーク・ライフ・バランス実現に向けて、男女ともに「仕事」以外の活動にも自分の時間が割けるように、業務配分や人員配置の適正化など職場環境の改善を企業社会が実現していけるよう、支援・啓発する必要がある。
- 現状で、家庭内での仕事の負担が大きい女性が、自分の時間を持てるよう、男性の家事、育児、介護参加を促進するための意識啓発等も進めることが重要である。

## 【6】人権について

### 1. 女性の人権が尊重されていないと感じること（問 23）：80 ページ

「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）」が最も高く、実際の女性のライフスタイル（問 5）や家事分担の実際（問 12）を反映していると思われる。その他、「昇給・昇進の格差など、職場における男女の待遇の違い」、「女性の社会進出のための支援制度の不備」の割合もそれぞれ高い。

また、女性 20 歳代で「職場などにおけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」が比較的高くなっていることは、問 8 の職場の現状で「セクシュアル・ハラスメントを経験した、または周りに経験した人がいる」と回答した割合が高かったことを反映していると思われる。なお、女性 20 歳代では「家庭内での夫婦間の暴力やパートナーからの暴力」、「売春・買春、援助交際」、「アダルトビデオ、ポルノ雑誌における女性のヌード写真や映像の商品化など」などの割合も高く、男女 20 歳代で「ストーカー行為」の割合も比較的高くなっている。

## 2. メディアにおける性・暴力表現について（問 24）：83 ページ

メディアにおける表現について、6割以上が何らかの問題があると感じており、特に女性 20 歳代で「どちらかといえば問題があると思う」の割合が高くなっている。ただし、全国調査と比較すると、「問題があると思う」の割合は 19 ポイントも低く、『問題あり派』の割合が低い。

## 3. メディアにおける性・暴力表現の問題点（問 24-1）：85 ページ

現在子育て中の世代である男性 30 歳代・女性 30～40 歳代で「そのような表現を望まない人や子ども目に触れている」の割合が高く、男女とも年齢の高い層で「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」と感じている。また、女性 20 歳代で「女性に対する暴力を助長する」の割合も比較的高い。

## 4. 男女が心身共に健康であるために必要なこと（問 25）：87 ページ

「性について正しい知識を持ち、判断する力をつけること」が最も高く、男性 20～30 歳代・女性 20 歳代で「妊娠・出産・避妊・中絶に関する情報の提供」、女性 30 歳代で「あらゆる機会における健康診査等の促進」の割合が高くなっている。

## 5. ドメスティック・バイオレンスの経験（問 26）：89 ページ

「自分が直接経験したことがある」は 5.5%、「自分のまわりに経験した（している）人がいる」が 10.3%となっている。

女性で「自分が直接経験したことがある」の割合がやや高い。また、男性 20 歳代で「自分のまわりに経験した（している）人がいる」の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「自分のまわりに経験した（している）人がいる」、「自分が直接経験したことがある」の割合が減少しているほか、「ドメスティック・バイオレンスに関するチラシやパンフレットなどを見たことがある」の割合も減少している。

## 6. ドメスティック・バイオレンスの相談先（問 26-1）：91 ページ

相談先としては「友人や知人に相談した」、「家族や親戚に相談した」の順に多いが、4人に1人以上が「どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答している。

### 「人権について」 まとめと今後の取り組みの方向性

- 多くの人が女性の人権が尊重されていないと認識しているにもかかわらず、「男女の固定的な役割分担意識」が残っていることは、家庭内の仕事における女性の負担が大きいという現状に反映されている。人権尊重という観点から男女のあり方を見直し、男女の固定的な役割の「意識」と「実態」が払拭されるよう、継続的に啓発していくことが重要である。
- メディアにおける性・暴力表現について問題があると感じている人が6割に上っているが、全国と比べるとその割合は低く、情報社会の中で、住民のメディアから適切な情報を読み解く能力（メディア・リテラシー）を高めるための支援として意識啓発、学習機会の提供などをしていく必要がある。
- 特に若い年代において、妊娠・出産など性についての正しい知識・判断力をつけることが必要とされていることから、男女ともに、自分の心身のことを知って自ら決定し、実行する力の確立（自律）をめざして、学校教育、家庭教育、地域教育を進めていくことが重要である。



## 「人権について」 まとめと今後の取り組みの方向性（続き）

- 男女ともに、定期的な健診の機会の必要性を周知するとともに、公的な健康診断の実施や健康相談窓口などの情報提供を行う必要がある。また、心身にわたるさまざまな相談の窓口が身近に確保されることが求められる。
- ドメスティック・バイオレンスを経験あるいは見聞きしても相談しなかったケースが3割弱もあることから、ドメスティック・バイオレンスを未然に防ぐためや被害を潜在化させないために、気軽に相談できる窓口や専門機関の情報提供を広く行う必要がある。

### 【7】男女共同参画に関する施策などについて

#### 1. 男女共同参画関連事項の認知度（問 27）：92 ページ

「知らない」割合が高い項目は、「⑩リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する女性の健康/権利）」、「⑧ポジティブ・アクション（積極的改善措置）」、「⑫メディア・リテラシー（メディアからの情報を読み解く能力）」である。また、「内容まで知っている」はすべての事項で3割未満にとどまっている。

前回調査と比較すると、「①男女共同参画社会」、「②男女共同参画社会基本法」、「⑬姫路市男女共同参画プラン」で『認知度』は上がっている。

#### 2. “あいめっせ”認知度（問 28）：97 ページ

「センターの事業内容は知らないし、利用したこともない」が7割以上を占めており、特に男性でその割合はほぼ8割となっている。

#### 3. 男女共同参画社会形成のために市が力を入れるべきこと（問 29）：99 ページ

「高齢者や障害者に対する介護サービスを充実させ介護の社会化をはかるとともに、男女が共に介護に関わるための基盤づくりをすすめる」が最も高く、特に女性 40 歳代・70 歳以上でその割合が高い。次いで「労働の場における男女平等の徹底と、男女が共に家庭と仕事を両立できるような労働環境の整備を行う」が男女とも高く、さらに「男女が共に子育てに関わるための取り組みや、地域ぐるみで子育てを支援する施策を充実させる」は、現在子育て中である男性 30 歳代・女性 20 歳代で特に高いことがわかる。

前回調査と比較すると、「高齢者や障害者に対する介護サービスを充実させ介護の社会化をはかるとともに、男女が共に介護に関わるための基盤づくりをすすめる」がやや増加している。

### 「男女共同参画に関する施策など」 まとめと今後の取り組みの方向性

- 前回調査と比較して、男女共同参画関連事項への市民の認知が進んだ傾向は認められたものの、内容まで知っている割合は1割に満たない事項も多いことから、男女共同参画に関する市民の理解と知識をより深めるため、教育講座やメディアを利用した用語解説などを積極的に実施する必要がある。また、男女共同参画推進の中核となるべき男女共同参画推進センター“あいめっせ”の存在と事業内容を周知することが重要である。特に、男性や若年層への周知が必要である。
- 女性が固定的に担いがちになっている「介護」・「育児」・「家事」などに対して、男女が協働していけるような施策展開が、市にも求められている。特に「介護」に対する支援を求める声は、前回調査より強くなっている。

## IV 調查結果

# IV 調査結果

## 【1】男女平等意識について

### 1. 各分野における男女の地位

問1. あなたは、今の社会において、次の各分野で男女の地位はどのようになっていると思いますか。(〇は各1つずつ)

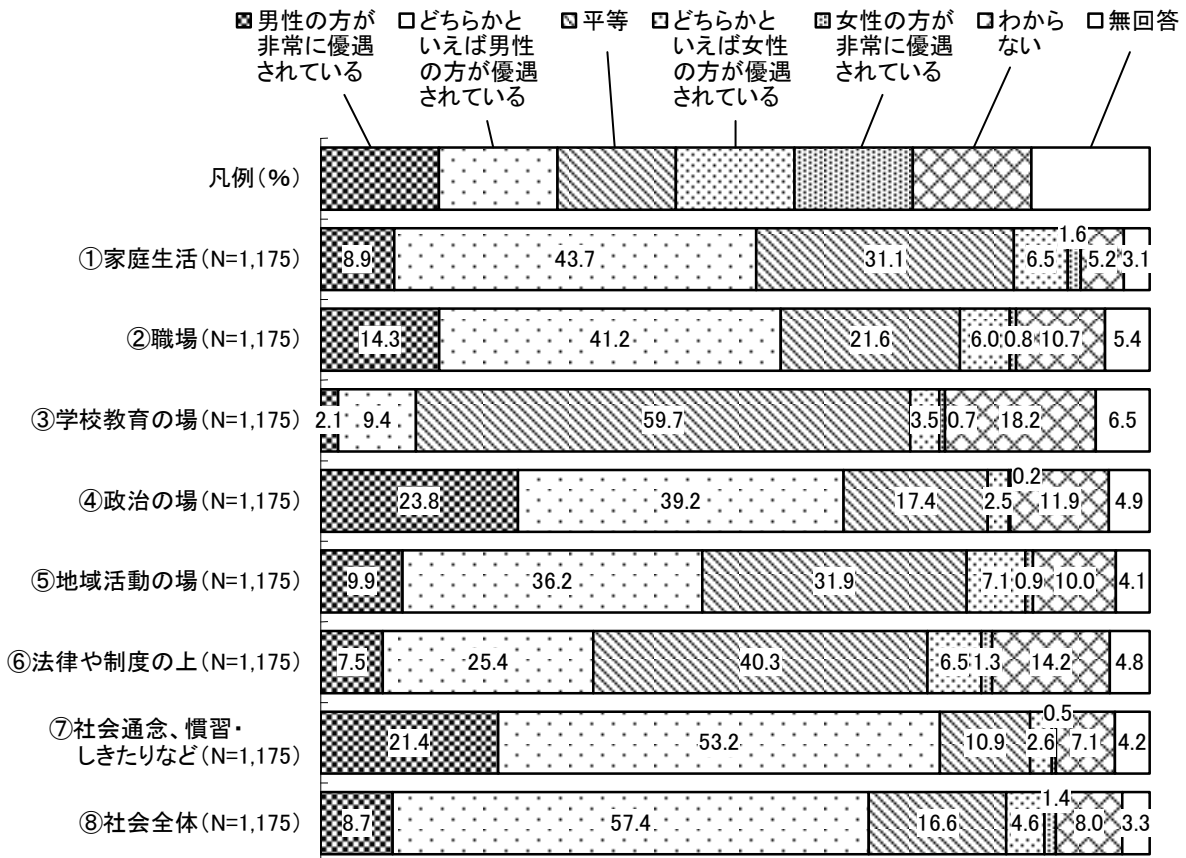
※「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて『男性優遇』、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせて『女性優遇』とする。

全体では、すべての分野において、『男性優遇』の割合が『女性優遇』の割合を上回っている。特に、「⑦社会通念、慣習・しきたりなど」(74.6%)、「⑧社会全体」(66.1%)、「④政治の場」(63.0%)は『男性優遇』の割合が6割以上となっている。一方、「③学校教育の場」、「⑥法律や制度の上」では、「平等」の割合が比較的高い。

性別では、すべての分野で、女性で『男性優遇』の意向が強くなっている。

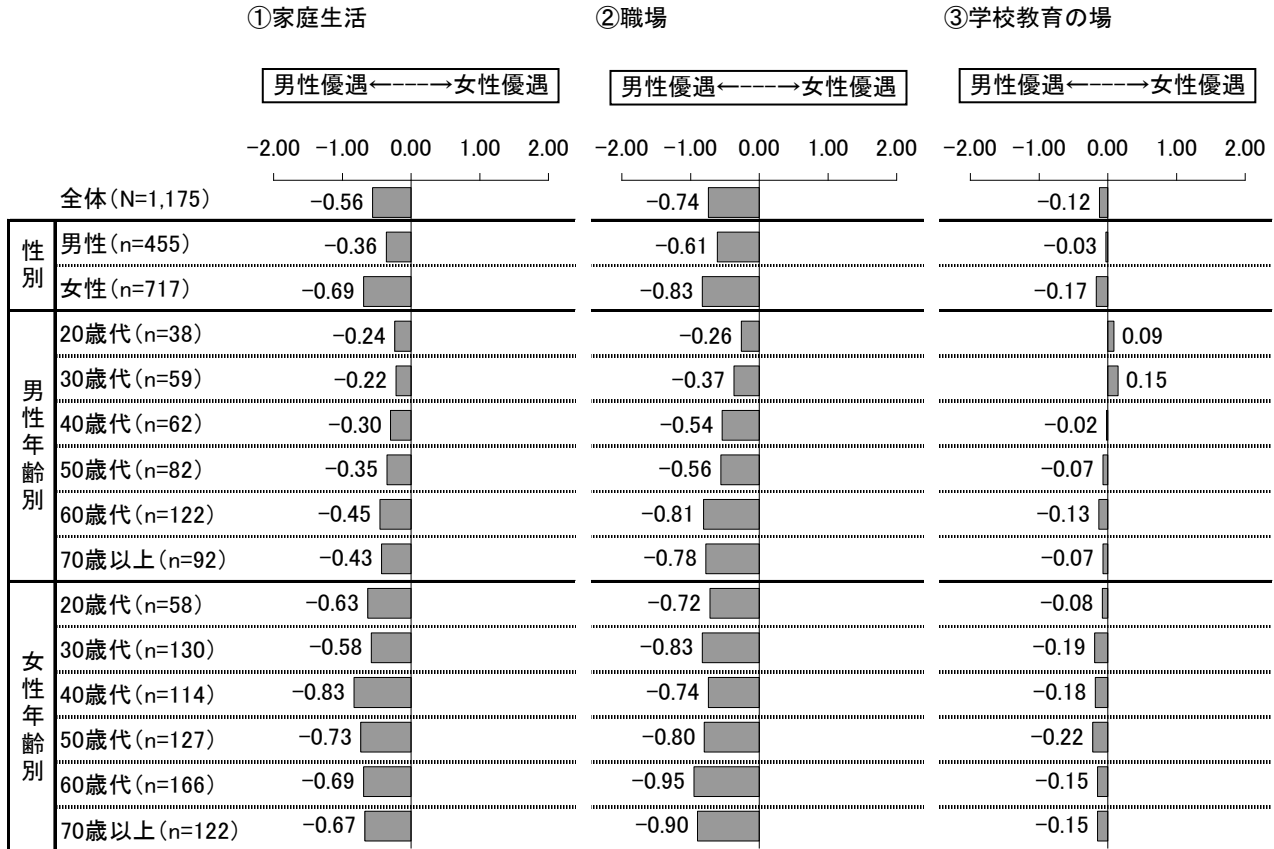
性・年齢別では、「①家庭生活」、「②職場」では男性で若い年代になるほど『男性優遇』の意向が弱くなっている。また、男性 20 歳代で「⑥法律や制度の上」は『女性優遇』と感じているのが特徴的である。

問1. 各分野における男女の地位【全体】



問1. 各分野における男女の地位 平均【全体／性別／性・年齢別】

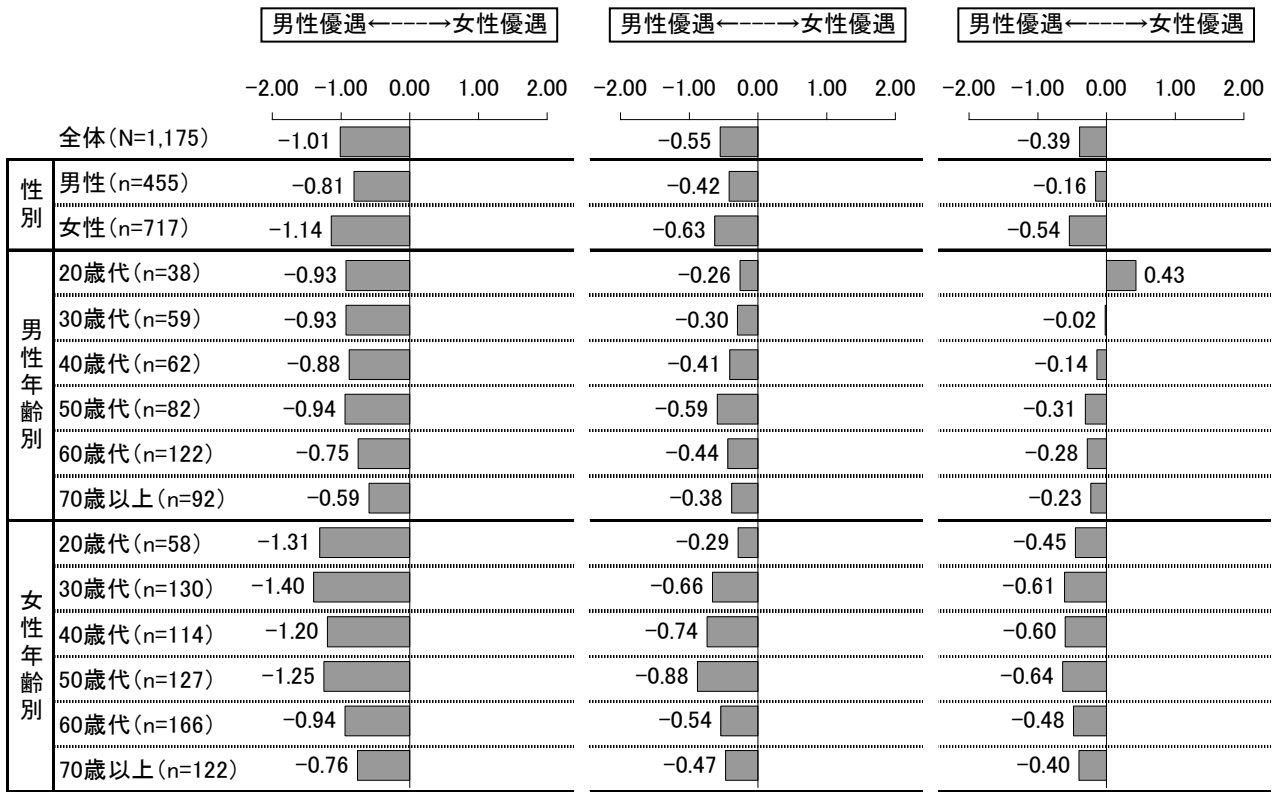
平均→「男性の方が非常に優遇されている」に-2点、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」に-1点、「平等」に0点、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」に+1点、「女性の方が非常に優遇されている」に+2点の係数を、それぞれの回答実数に乘じ、加重平均して算出した値で、-2点に近いほど男性優遇、+2点に近いほど女性優遇、0点に近いほど平等を示す指標である。また、この数値はあくまでも「指標」であり、マイナス、プラスによって優劣を判定するものではない。



④政治の場

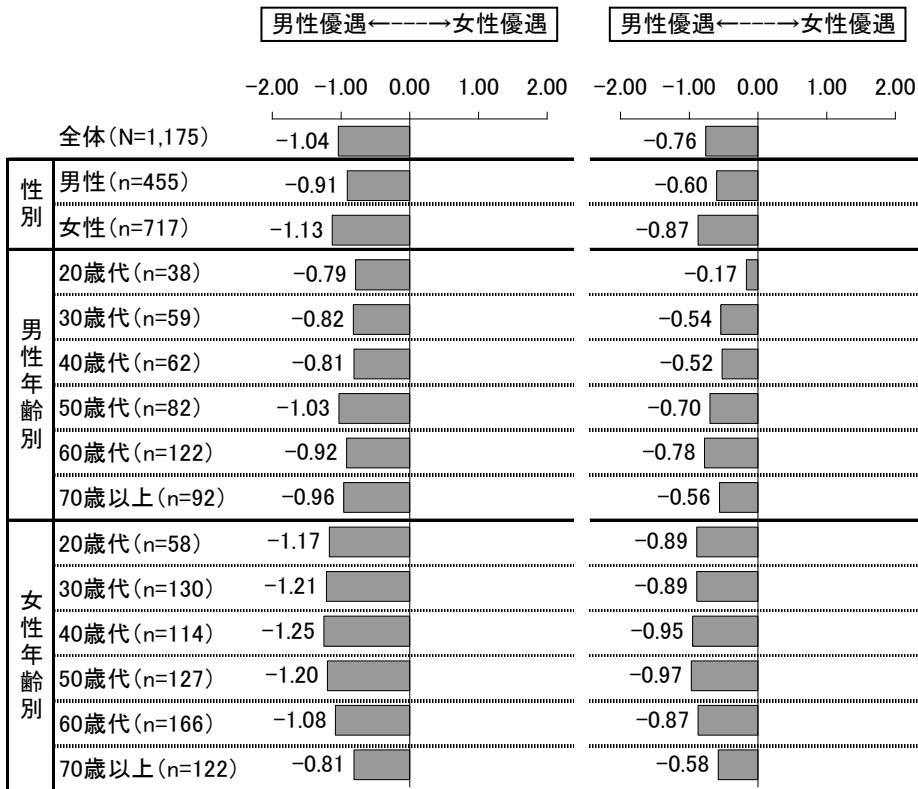
⑤地域活動の場

⑥法律や制度の上



⑦社会通念、慣習・しきたりなど

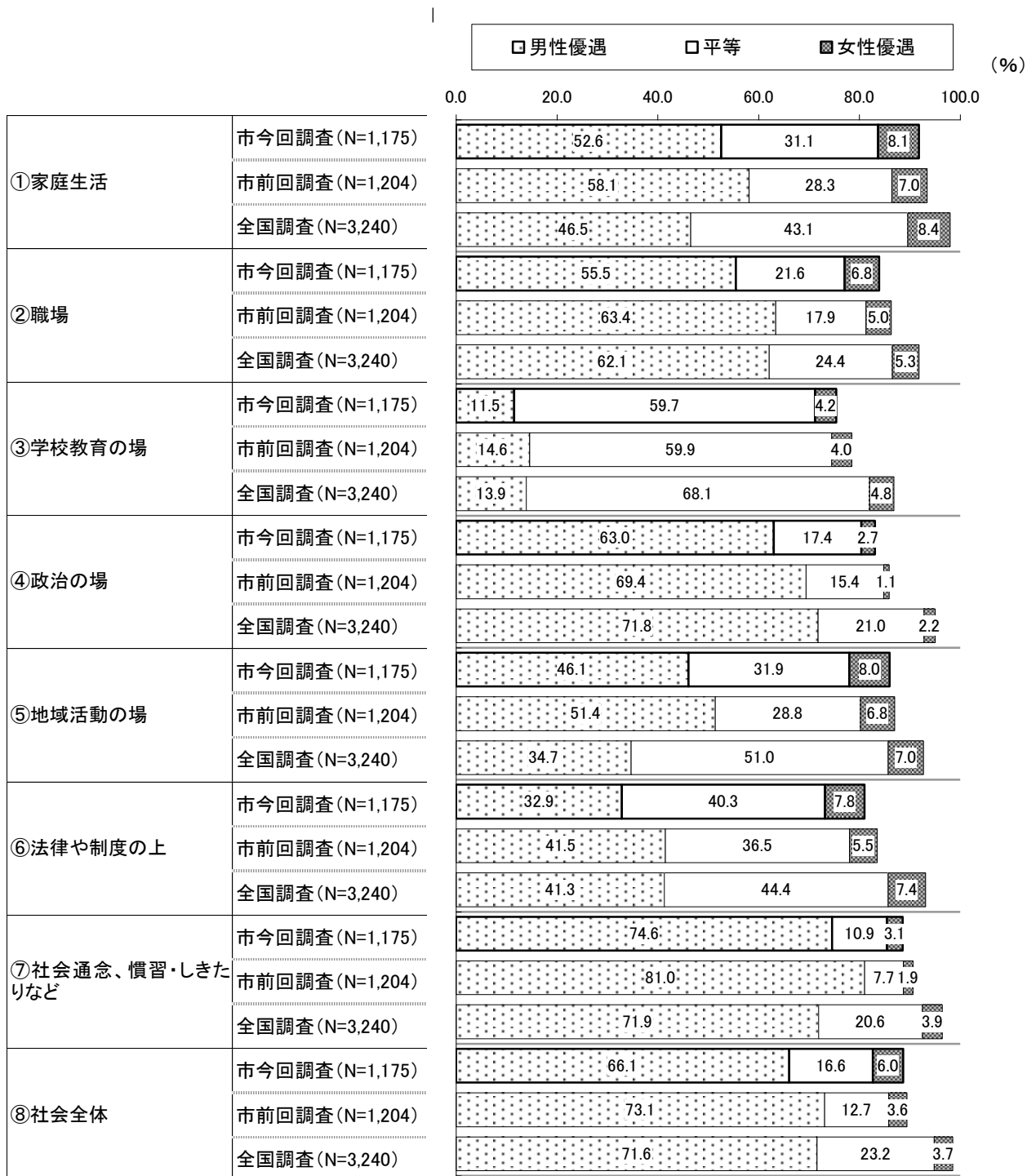
⑧社会全体



■参考：前回調査・全国調査との比較

前回調査と比べて、すべての分野において『男性優遇』の割合は減少してはいるものの、全国調査と比べると「平等」の割合は依然として低い。

問1. 各分野における男女の地位【全体】



※「わからない」、「無回答」は表記していない

※「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて『男性優遇』、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせて『女性優遇』とする

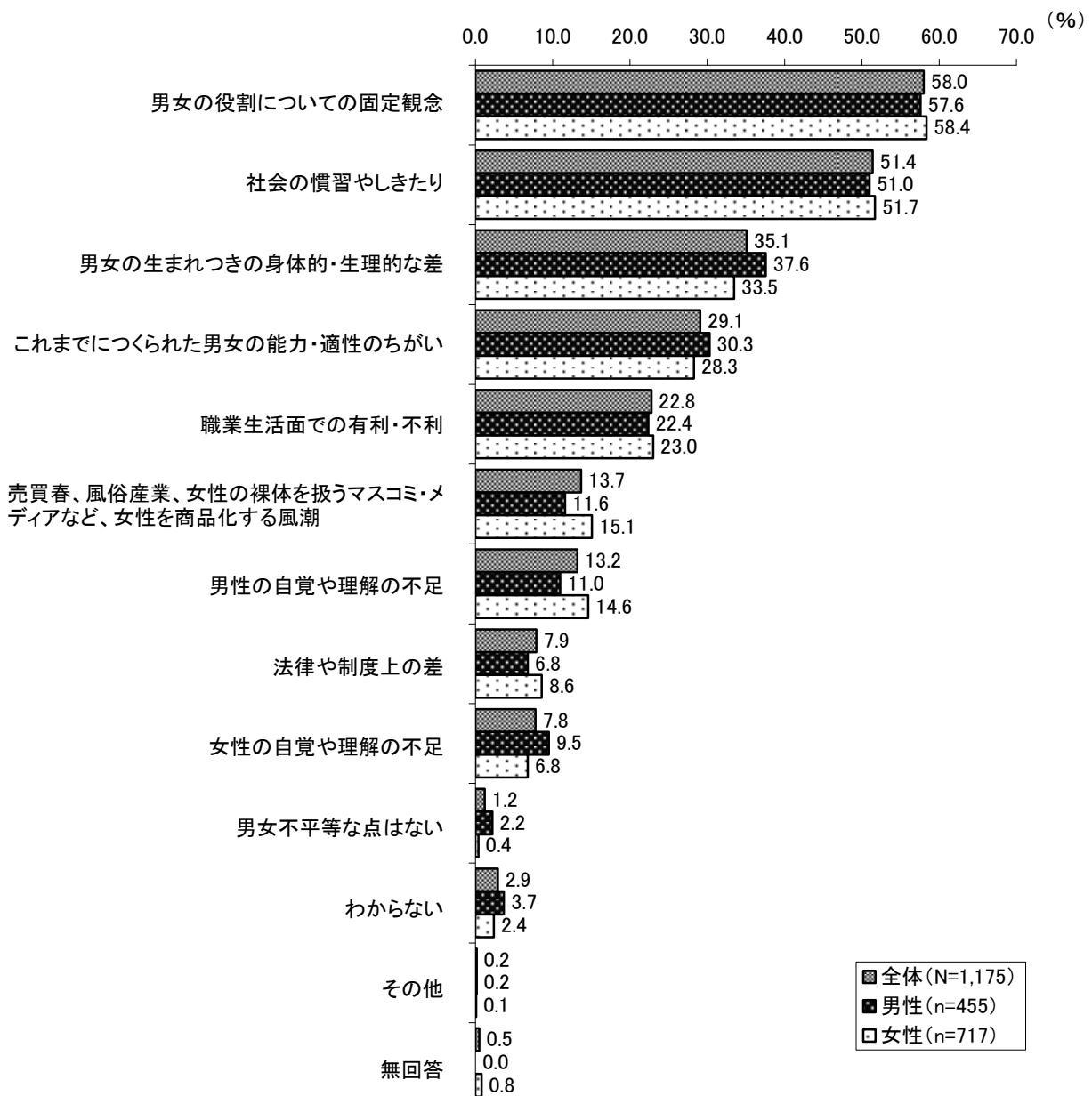
## 2. 男女不平等が生じる原因

問2. 社会にはいろいろな面で男女不平等があるといわれていますが、不平等が生じる原因はどこにあると思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「男女の役割についての固定観念」が 58.0%で最も高く、次いで「社会の慣習やしきたり」(51.4%)、「男女の生まれつきの身体的・生理的な差」(35.1%)、「これまでにつくられた男女の能力・適性のちがい」(29.1%)の順となっており、性別でも同様の傾向を示している。

性・年齢別では、男性 30 歳代で「男女の役割についての固定観念」の割合が特に高く、男性で年齢が若くなるほど「男女の生まれつきの身体的・生理的な差」の割合が高くなる傾向がみられる。また、女性 20 歳代で「職業生活面での有利・不利」、男性 70 歳以上で「女性の自覚や理解の不足」の割合がやや高い。

問2. 男女不平等が生じる原因【全体／性別】





問2. 男女不平等が生じる原因【性・年齢別】

(%)

| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 | 男女の役割についての固定観念 | 社会の慣習やしきたり  | 男女の生まれつきの身体的・生理的な差 | これまでにつくられた男女の能力・適性のちがい | 職業生活面での有利・不利 | 売買春、風俗産業、女性を裸体化する風潮 | 男性の自覚や理解の不足 | 法律や制度上の差 | 女性の自覚や理解の不足 | 男女不平等な点はない |     |
|---|----------------|-------------|--------------------|------------------------|--------------|---------------------|-------------|----------|-------------|------------|-----|
|   | 全体 (N=1,175)   | 58.0        | 51.4               | 35.1                   | 29.1         | 22.8                | 13.7        | 13.2     | 7.9         | 7.8        | 1.2 |
| 男性年齢別   | 20歳代 (n=38)    | 52.6        | 50.0               | 55.3                   | 28.9         | 23.7                | 15.8        | 5.3      | 15.8        | 2.6        | 0.0 |
|   | 30歳代 (n=59)    | 69.5        | 52.5               | 45.8                   | 37.3         | 20.3                | 6.8         | 10.2     | 10.2        | 8.5        | 0.0 |
|   | 40歳代 (n=62)    | 58.1        | 58.1               | 43.5                   | 19.4         | 16.1                | 6.5         | 16.1     | 3.2         | 8.1        | 3.2 |
|   | 50歳代 (n=82)    | 61.0        | 54.9               | 35.4                   | 24.4         | 26.8                | 7.3         | 4.9      | 9.8         | 9.8        | 4.9 |
|   | 60歳代 (n=122)   | 60.7        | 50.8               | 33.6                   | 31.1         | 23.8                | 16.4        | 13.1     | 4.1         | 5.7        | 2.5 |
|   | 70歳以上 (n=92)   | 44.6        | 42.4               | 28.3                   | 38.0         | 21.7                | 14.1        | 13.0     | 4.3         | 18.5       | 1.1 |
|   | 女性年齢別          | 20歳代 (n=58) | 55.2               | 53.4                   | 44.8         | 32.8                | 37.9        | 19.0     | 8.6         | 12.1       | 3.4 |
| 30歳代 (n=130)  |                | 67.7        | 58.5               | 32.3                   | 22.3         | 29.2                | 11.5        | 14.6     | 7.7         | 3.8        | 0.0 |
| 40歳代 (n=114)  |                | 66.7        | 60.5               | 36.8                   | 28.9         | 14.9                | 14.9        | 19.3     | 13.2        | 7.0        | 0.0 |
| 50歳代 (n=127)  |                | 62.2        | 55.9               | 31.5                   | 26.8         | 25.2                | 18.1        | 15.0     | 9.4         | 2.4        | 0.0 |
| 60歳代 (n=166)  |                | 55.4        | 44.0               | 34.3                   | 27.7         | 22.9                | 16.3        | 15.7     | 9.0         | 9.6        | 1.2 |
| 70歳以上 (n=122)   |                | 42.6        | 41.8               | 27.0                   | 34.4         | 14.8                | 12.3        | 11.5     | 2.5         | 12.3       | 0.8 |

| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 | わからない        | その他         |     |
|---|--------------|-------------|-----|
|   | 全体 (N=1,175) | 2.9         | 0.2 |
| 男性年齢別   | 20歳代 (n=38)  | 0.0         | 0.0 |
|   | 30歳代 (n=59)  | 0.0         | 0.0 |
|   | 40歳代 (n=62)  | 1.6         | 1.6 |
|   | 50歳代 (n=82)  | 3.7         | 0.0 |
|   | 60歳代 (n=122) | 4.1         | 0.0 |
|   | 70歳以上 (n=92) | 8.7         | 0.0 |
|   | 女性年齢別        | 20歳代 (n=58) | 1.7 |
| 30歳代 (n=130)  |              | 1.5         | 0.0 |
| 40歳代 (n=114)  |              | 1.8         | 0.0 |
| 50歳代 (n=127)  |              | 0.8         | 0.0 |
| 60歳代 (n=166)  |              | 1.8         | 0.0 |
| 70歳以上 (n=122)   |              | 6.6         | 0.0 |

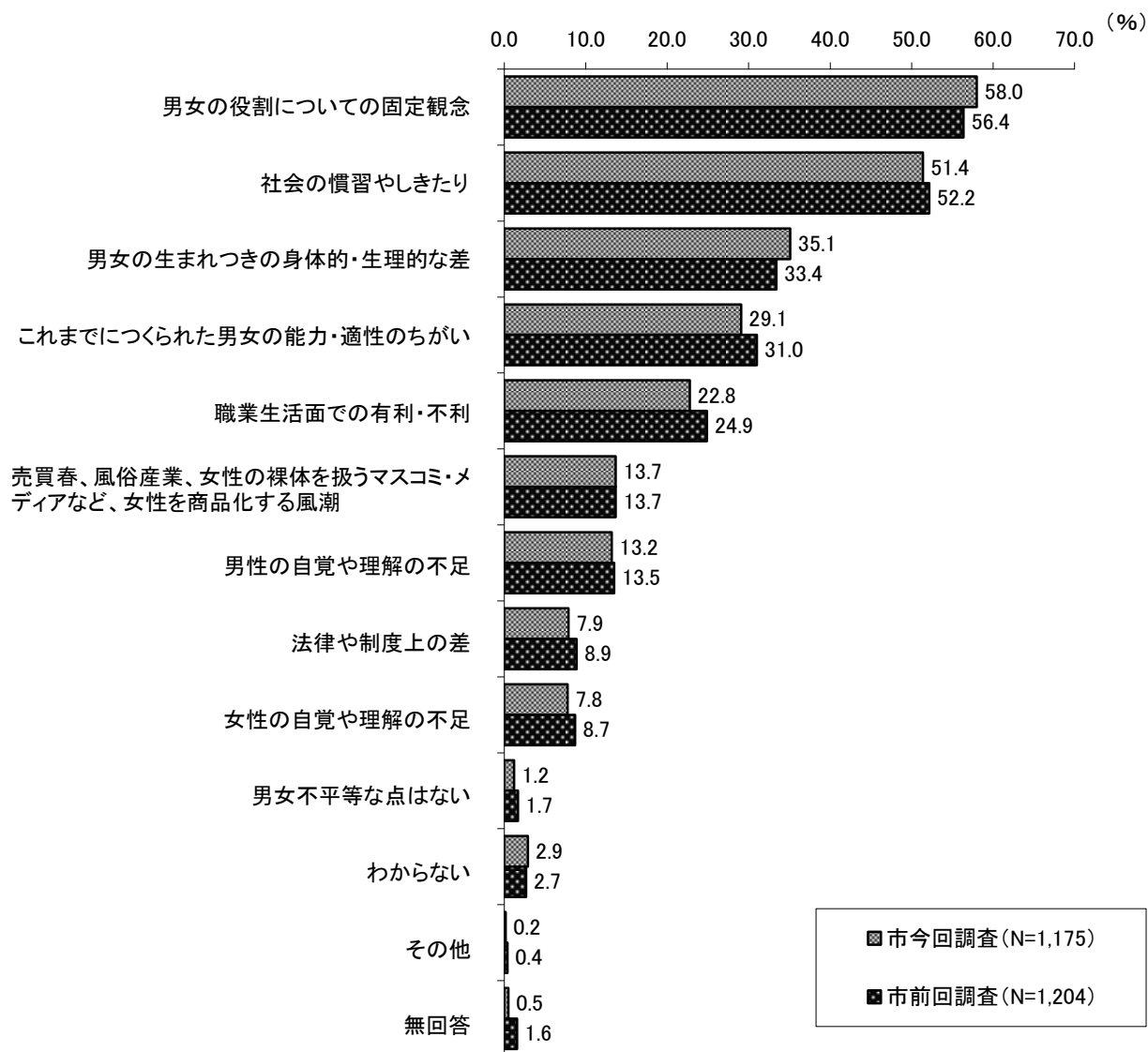
※「無回答」は表記していない

表中の網掛けは、全体と比べてプラス10ポイント以上で数値、マイナス10ポイント以下で数値を示している。ただし、該当数(n)が30未満はその対象から外している。(件数が少なすぎると、統計学的に誤差が大きくなるため)以下本書内の表に関しては同様とする。

■参考：前回調査との比較

前回調査と比較しても大きな変化はみられないが、「男女の役割についての固定観念」や「男女の生まれつきの身体的・生理的な差」がわずかながら増えている。

問2. 男女不平等が生じる原因【全体】



### 3. 男女が平等になるために重要なこと

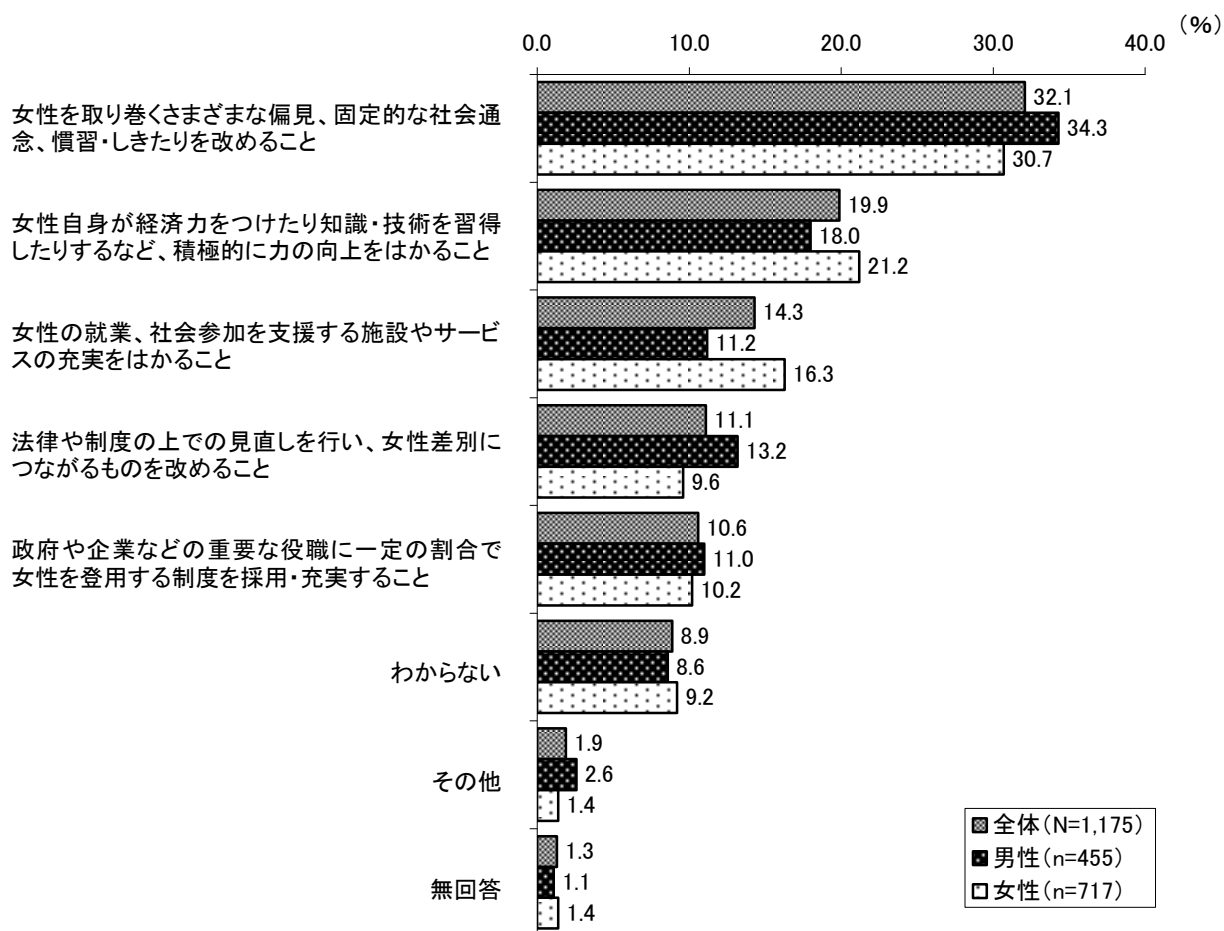
問3. あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには、どのようなことが最も重要だと思いますか。(〇は1つのみ)

全体では、「女性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」が32.1%で最も高く、次いで「女性自身が経済力をつけたり知識・技術を習得したりするなど、積極的に力の向上をはかること」(19.9%)、「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実をはかること」(14.3%)の順となっている。

性別では、女性で「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実をはかること」や「女性自身が経済力をつけたり知識・技術を習得したりするなど、積極的に力の向上を図ること」がやや高くなっている。

性・年齢別では、女性20歳代で「女性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」の割合が高い。

問3. 男女が平等になるために重要なこと【全体/性別】



問3. 男女が平等になるために重要なこと【性・年齢別】

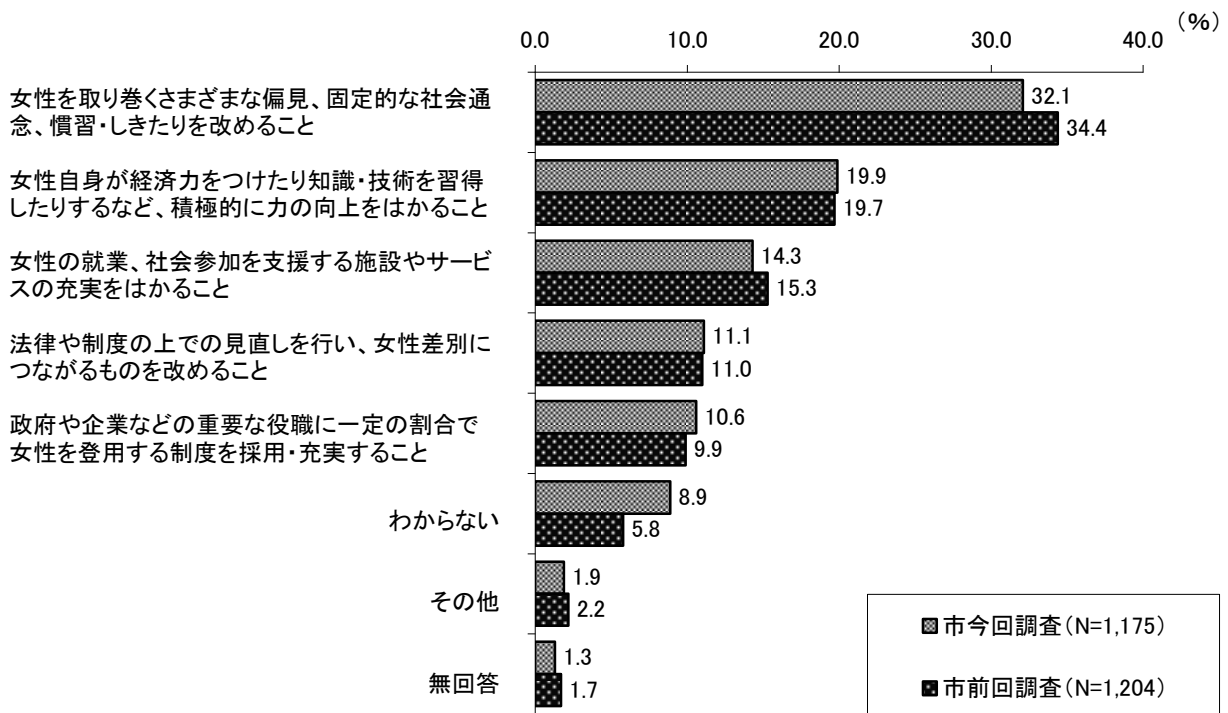
|   |               | (%)                    |                             |                                 |                                   |   |       |      |
|---|---------------|------------------------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|---|-------|------|
| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10%以上<br>■ 全体-10%以下 |               | 改定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること | 女性自身が経済力をつけたり知識・技術の向上をはかること | 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実をはかること | 法律や制度の上での見直しを行い、女性差別につながるものを改めること | 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること | わからない | その他  |
|   |               | 全体 (N=1,175)           |                             | 32.1                            | 19.9                              | 14.3                                    | 11.1  | 10.6 |
| 男性年齢別   | 20歳代 (n=38)   | 26.3                   | 7.9                         | 10.5                            | 18.4                              | 18.4                                    | 10.5  | 7.9  |
|   | 30歳代 (n=59)   | 35.6                   | 11.9                        | 13.6                            | 15.3                              | 13.6                                    | 6.8   | 3.4  |
|   | 40歳代 (n=62)   | 41.9                   | 12.9                        | 19.4                            | 4.8                               | 6.5                                     | 8.1   | 4.8  |
|   | 50歳代 (n=82)   | 32.9                   | 17.1                        | 12.2                            | 14.6                              | 12.2                                    | 7.3   | 2.4  |
|   | 60歳代 (n=122)  | 38.5                   | 24.6                        | 11.5                            | 10.7                              | 7.4                                     | 6.6   | 0.0  |
|   | 70歳以上 (n=92)  | 27.2                   | 21.7                        | 3.3                             | 17.4                              | 13.0                                    | 13.0  | 2.2  |
| 女性年齢別   | 20歳代 (n=58)   | 43.1                   | 15.5                        | 17.2                            | 5.2                               | 13.8                                    | 5.2   | 0.0  |
|   | 30歳代 (n=130)  | 34.6                   | 15.4                        | 20.0                            | 10.0                              | 6.9                                     | 8.5   | 3.1  |
|   | 40歳代 (n=114)  | 33.3                   | 17.5                        | 17.5                            | 7.9                               | 11.4                                    | 7.0   | 4.4  |
|   | 50歳代 (n=127)  | 29.9                   | 22.0                        | 22.8                            | 7.9                               | 11.8                                    | 4.7   | 0.0  |
|   | 60歳代 (n=166)  | 30.7                   | 24.7                        | 10.8                            | 12.0                              | 9.0                                     | 10.8  | 0.6  |
|   | 70歳以上 (n=122) | 18.9                   | 27.9                        | 11.5                            | 11.5                              | 10.7                                    | 16.4  | 0.0  |

※「無回答」は表記していない

■参考：前回調査との比較

前回調査と比較しても大きな変化はみられない。

問3. 男女が平等になるために重要なこと【全体】



#### 4. 女性の参画が必要な分野・領域

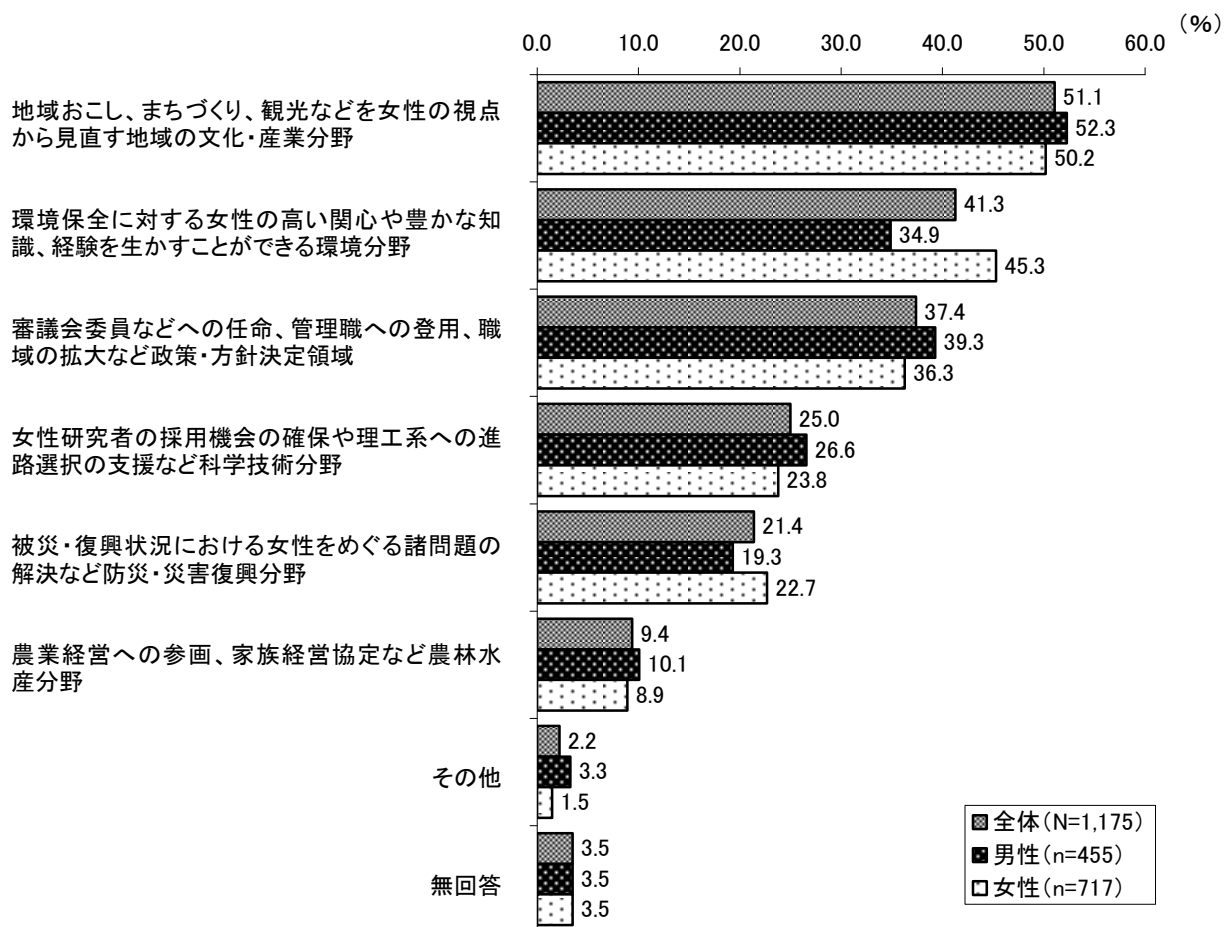
問4. あなたは、今後どのような分野、領域で女性の参画が必要になるとお思いますか。  
(〇はいくつでも)

全体では、「地域おこし、まちづくり、観光などを女性の視点から見直す地域の文化・産業分野」が51.1%で最も高く、次いで「環境保全に対する女性の高い関心や豊かな知識、経験を生かすことができる環境分野」(41.3%)、「審議会委員などへの任命、管理職への登用、職域の拡大など政策・方針決定領域」(37.4%)の順となっている。

性別では、女性で「環境保全に対する女性の高い関心や豊かな知識、経験を生かすことができる環境分野」が高い。

性・年齢別では、女性50歳代・70歳以上で「環境保全に対する女性の高い関心や豊かな知識、経験を生かすことができる環境分野」、女性20歳代で「被災・復興状況における女性をめぐる諸問題の解決など防災・災害復興分野」の割合が比較的高い。

問4. 女性の参画が必要な分野・領域【全体/性別】



問4. 女性の参画が必要な分野・領域【性・年齢別】

|              |               | 化を地  | き豊環  | 決の審  | 分系女  | 分る被  | ど農   | そ   |
|--------------|---------------|------|------|------|------|------|------|-----|
|              |               | を域   | るかな  | 定登議  | 野への  | 野諸問  | 農業   | 他   |
|              |               | 女性   | 環境   | 用会委  | 女性   | 災・復  | 林業   |     |
|              |               | の視   | 保全   | 員な   | 研究   | 興状   | 水産   |     |
|              |               | 点か   | に對   | 職の   | 者の   | 況に   | 分    |     |
|              |               | から   | 経    | 域の   | 採    | お    | 画    |     |
|              |               | 見    | 験    | 拓    | 用    | け    | 、    |     |
|              |               | 直    | を    | な    | 会    | る    | 家    |     |
|              |               | す    | 生    | 政    | の    | 女    | 族    |     |
|              |               | 地    | か    | 策    | 支    | 性    | 経    |     |
|              |               | 域    | す    | ・    | 援    | を    | 営    |     |
|              |               | の    | こ    | 方    | な    | め    | 協    |     |
|              |               | 文    | ど    | 針    | ど    | ぐ    | 定    |     |
|              |               | など   | が    | へ    | 科    | 興    | な    |     |
| n=30以上の場合    |               |      |      |      |      |      |      |     |
| [比率の差]       |               |      |      |      |      |      |      |     |
| □ 全体+10%以上   |               |      |      |      |      |      |      |     |
| ■ 全体-10%以下   |               |      |      |      |      |      |      |     |
| 全体 (N=1,175) |               | 51.1 | 41.3 | 37.4 | 25.0 | 21.4 | 9.4  | 2.2 |
| 男性<br>年齢別    | 20歳代 (n=38)   | 36.8 | 34.2 | 42.1 | 10.5 | 21.1 | 7.9  | 7.9 |
|              | 30歳代 (n=59)   | 52.5 | 32.2 | 42.4 | 22.0 | 13.6 | 10.2 | 1.7 |
|              | 40歳代 (n=62)   | 46.8 | 29.0 | 35.5 | 25.8 | 14.5 | 11.3 | 8.1 |
|              | 50歳代 (n=82)   | 56.1 | 32.9 | 36.6 | 30.5 | 18.3 | 7.3  | 3.7 |
|              | 60歳代 (n=122)  | 52.5 | 37.7 | 41.0 | 31.1 | 27.9 | 12.3 | 0.0 |
|              | 70歳以上 (n=92)  | 58.7 | 39.1 | 39.1 | 27.2 | 15.2 | 9.8  | 3.3 |
| 女性<br>年齢別    | 20歳代 (n=58)   | 60.3 | 17.2 | 39.7 | 29.3 | 32.8 | 10.3 | 1.7 |
|              | 30歳代 (n=130)  | 43.8 | 40.0 | 44.6 | 28.5 | 24.6 | 7.7  | 2.3 |
|              | 40歳代 (n=114)  | 51.8 | 41.2 | 44.7 | 20.2 | 28.1 | 10.5 | 1.8 |
|              | 50歳代 (n=127)  | 49.6 | 57.5 | 31.5 | 24.4 | 22.8 | 7.1  | 0.0 |
|              | 60歳代 (n=166)  | 50.6 | 48.2 | 32.5 | 23.5 | 17.5 | 7.8  | 1.8 |
|              | 70歳以上 (n=122) | 50.8 | 51.6 | 27.9 | 19.7 | 18.0 | 11.5 | 1.6 |

※「無回答」は表記していない

## 【2】職業生活について

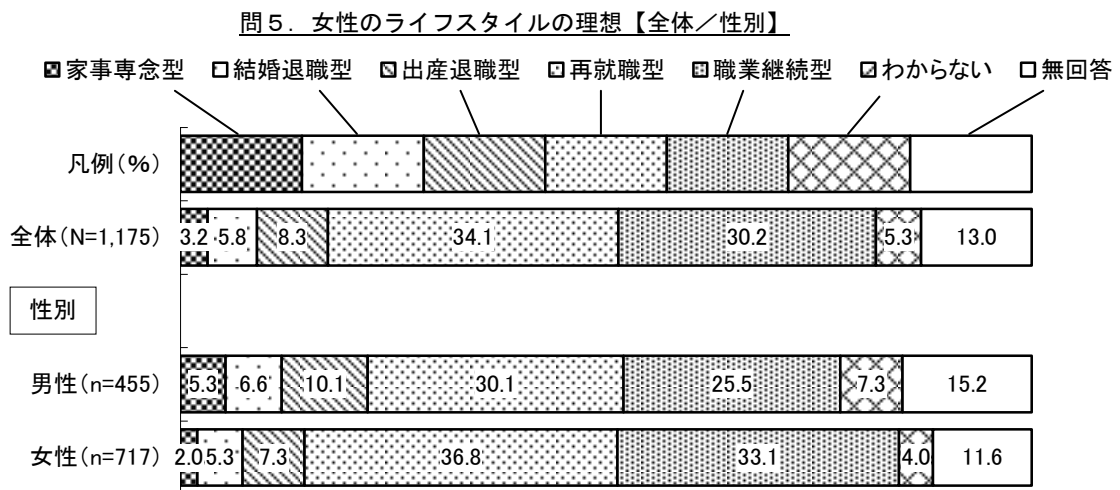
### 1. 女性のライフスタイルの理想と現実

問5. 理想的な女性のライフスタイルと実際の状況（現実）についておうかがいします。あなたが女性の場合はあなた自身について、男性であればあなたの妻（パートナー）について、理想と現実をお答えください。（〇は各1つずつ）

※「職業をもたない」を『家事専念型』、「結婚するまでは、職業をもつ」を『結婚退職型』、「子どもができるまでは、職業をもつ」を『出産退職型』、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ」を『再就職型』、「ずっと職業を続ける」を『職業継続型』とする。

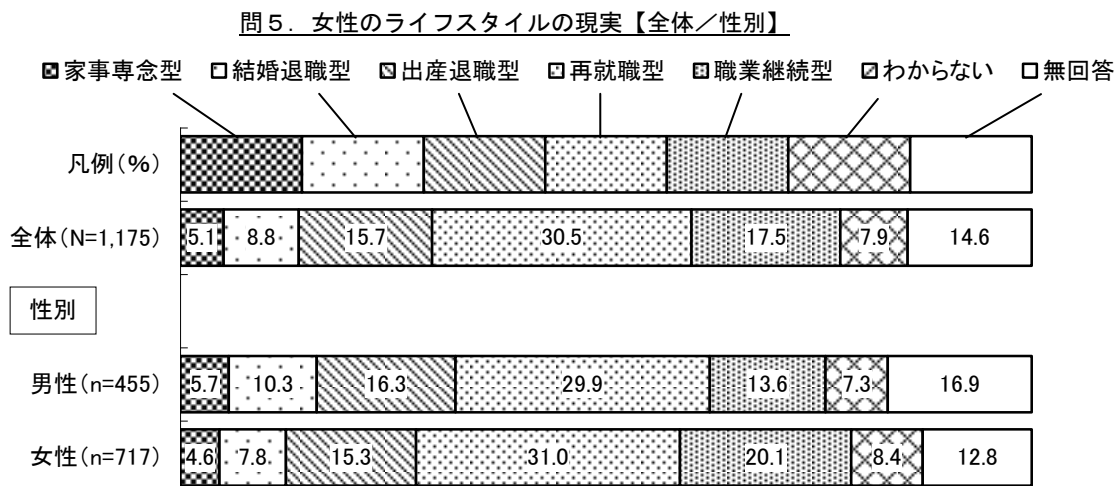
#### ①理想

女性のライフスタイルの理想は、『再就職型』が34.1%で最も高く、次いで『職業継続型』（30.2%）、『出産退職型』（8.3%）、『結婚退職型』（5.8%）、『家事専念型』（3.2%）の順となっている。  
性別では、男性に比べて女性で『再就職型』、『職業継続型』の割合が高い。



#### ②現実

女性のライフスタイルの現実でも『再就職型』が30.5%で最も高く、次いで『職業継続型』（17.5%）、『出産退職型』（15.7%）、『結婚退職型』（8.8%）、『家事専念型』（5.1%）の順となっている。  
性別では、男性に比べて女性で『職業継続型』の割合がやや高い。



■参考：女性のライフスタイルの理想と現実との関係

女性のライフスタイルの理想と現実の関係をみると、全体で、例えば理想は『再就職型』で現実が一致した割合は約3割程度であり、理想とは違い実際には『出産退職型』や『職業継続型』がそれぞれ2割程度あることがわかる。それ以外でも、理想と現実が一致した割合は2割程度であり、現実には『再就職型』であった割合が高くなっている。

男性で、自分のパートナーの理想が『結婚退職型』でも、現実には『再就職型』が半数を占めている。女性で、理想は『出産退職型』で現実が一致した割合は17.3%と比較的低く、実際には『再就職型』であった割合が44.2%と高くなっている。

問5. 女性のライフスタイルの理想と現実の関係【全体／性別】

(%)

|              |               | 現実    |       |       |      |       |       |
|--------------|---------------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
|              |               | 家事専念型 | 結婚退職型 | 出産退職型 | 再就職型 | 職業継続型 | わからない |
| 全体 (N=1,175) |               | 5.1   | 8.8   | 15.7  | 30.5 | 17.5  | 7.9   |
| 理想           | 家事専念型 (n=38)  | 21.1  | 5.3   | 15.8  | 34.2 | 5.3   | 5.3   |
|              | 結婚退職型 (n=68)  | 4.4   | 25.0  | 7.4   | 44.1 | 11.8  | 1.5   |
|              | 出産退職型 (n=98)  | 3.1   | 4.1   | 21.4  | 32.7 | 17.3  | 9.2   |
|              | 再就職型 (n=401)  | 6.2   | 12.7  | 21.9  | 28.7 | 20.4  | 5.0   |
|              | 職業継続型 (n=355) | 3.1   | 4.8   | 16.1  | 44.5 | 23.1  | 4.8   |
|              | わからない (n=62)  | 1.6   | 4.8   | 8.1   | 8.1  | 8.1   | 43.5  |
|              | 男性 (n=455)    | 5.7   | 10.3  | 16.3  | 29.9 | 13.6  | 7.3   |
| 理想           | 家事専念型 (n=24)  | 29.2  | 4.2   | 12.5  | 29.2 | 4.2   | 8.3   |
|              | 結婚退職型 (n=30)  | 3.3   | 23.3  | 10.0  | 50.0 | 6.7   | 0.0   |
|              | 出産退職型 (n=46)  | 0.0   | 6.5   | 26.1  | 19.6 | 19.6  | 10.9  |
|              | 再就職型 (n=137)  | 6.6   | 16.1  | 25.5  | 31.4 | 13.1  | 2.2   |
|              | 職業継続型 (n=116) | 4.3   | 6.9   | 13.8  | 48.3 | 21.6  | 1.7   |
|              | わからない (n=33)  | 0.0   | 3.0   | 9.1   | 12.1 | 6.1   | 39.4  |
| 女性 (n=717)   |               | 4.6   | 7.8   | 15.3  | 31.0 | 20.1  | 8.4   |
| 理想           | 家事専念型 (n=14)  | 7.1   | 7.1   | 21.4  | 42.9 | 7.1   | 0.0   |
|              | 結婚退職型 (n=38)  | 5.3   | 26.3  | 5.3   | 39.5 | 15.8  | 2.6   |
|              | 出産退職型 (n=52)  | 5.8   | 1.9   | 17.3  | 44.2 | 15.4  | 7.7   |
|              | 再就職型 (n=264)  | 6.1   | 11.0  | 20.1  | 27.3 | 24.2  | 6.4   |
|              | 職業継続型 (n=237) | 2.1   | 3.8   | 17.3  | 43.0 | 24.1  | 6.3   |
|              | わからない (n=29)  | 3.4   | 6.9   | 6.9   | 3.4  | 10.3  | 48.3  |

表中の **数値** は、理想と現実が一致している割合を示している。

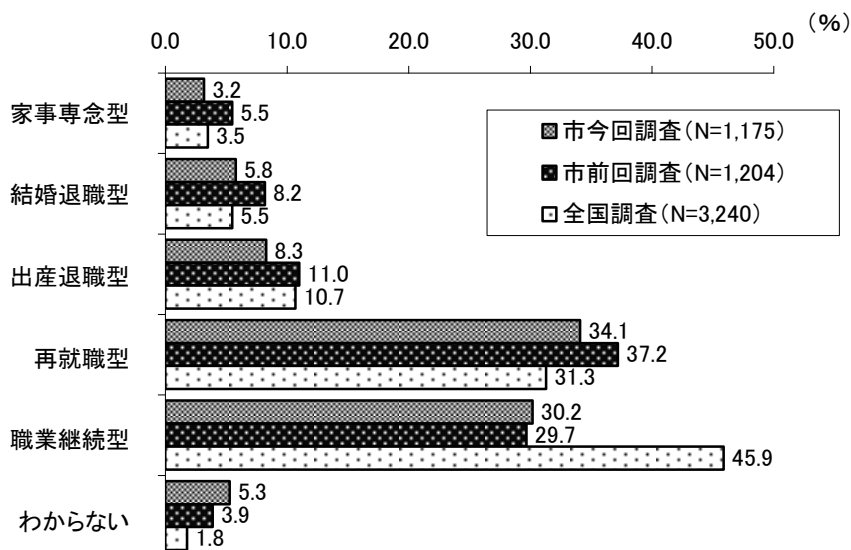


■参考：前回調査・全国調査との比較

①理想

前回調査・全国調査と比較すると、『職業継続型』だけがわずかながら割合が増えているものの、全国調査と比べると前回調査から変わらずかなり低くなっている。

問5. 女性のライフスタイルの理想【全体】

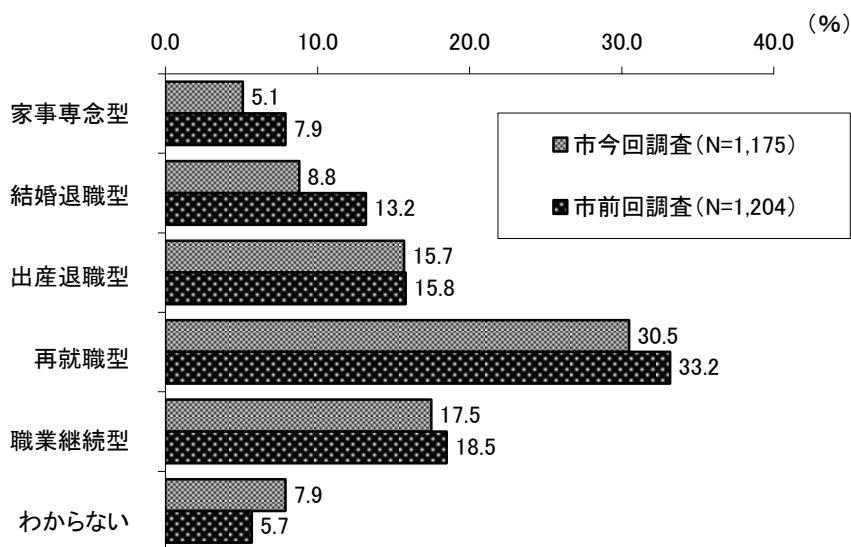


※「無回答」は表記していない

②現実

前回調査と比較すると、『結婚退職型』の割合がやや低くなっている。全体としては大きな変化はみられない。

問5. 女性のライフスタイルの現実【全体】



※「無回答」は表記していない

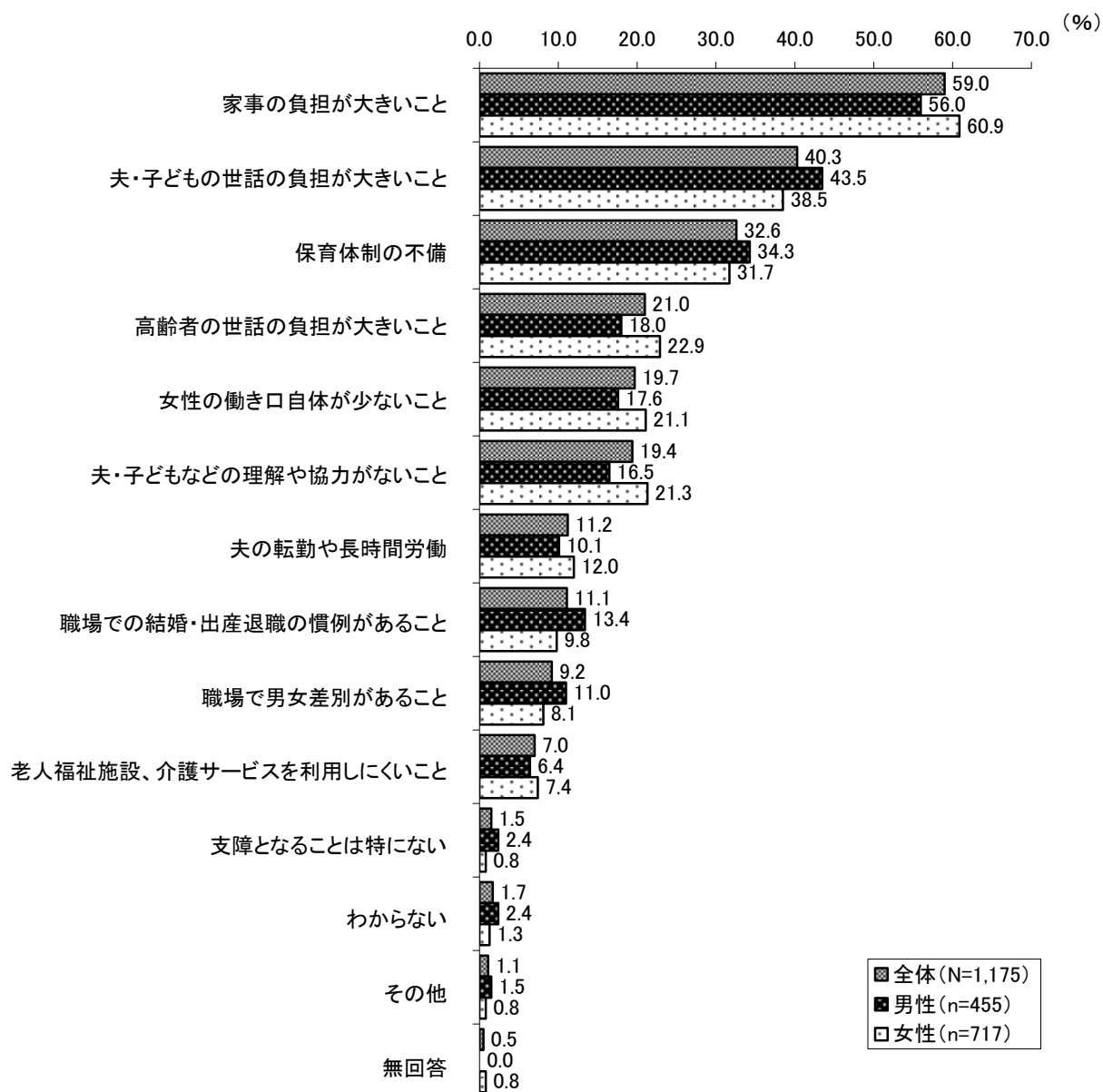
## 2. 女性が働く上で支障となること

問6. あなたは、女性が働く上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。  
(〇は3つまで)

全体では、「家事の負担が大きいこと」が59.0%で最も高く、次いで「夫・子どもの世話の負担が大きいこと」(40.3%)、「保育体制の不備」(32.6%)の順となっており、性別でも同様の傾向を示している。

性・年齢別では、女性20歳代・男性30歳代で「夫・子どもの世話の負担が大きいこと」、男性30～40歳代・女性20歳代で「保育体制の不備」の割合がそれぞれ高くなっている。また、女性40歳代で「高齢者の世話の負担が大きいこと」、女性50歳代で「夫・子どもなどの理解や協力がないこと」の割合が比較的高い。

問6. 女性が働く上で支障となること【全体/性別】



問6. 女性が働く上で支障となること【性・年齢別】

| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 |              | 家事の負担が大きいこと | と夫・子どもの世話の負担が大きいこと | 保育体制の不備 | 高齢者の世話の負担が大きいこと | 女性の働き口自体が少ないこと | 夫・子どもなどの理解や協力がいないこと | 夫の転勤や長時間労働 | 職場での結婚・出産退職の慣例があること | 職場で男女差別があること | (%)                    |
|---|--------------|-------------|--------------------|---------|-----------------|----------------|---------------------|------------|---------------------|--------------|------------------------|
|   |              |             |                    |         |                 |                |                     |            |                     |              | 老人福祉施設、介護サービスを利用しにくいこと |
| 全体 (N=1,175)  |              | 59.0        | 40.3               | 32.6    | 21.0            | 19.7           | 19.4                | 11.2       | 11.1                | 9.2          | 7.0                    |
| 男性<br>年齢別   | 20歳代 (n=38)  | 63.2        | 39.5               | 31.6    | 5.3             | 18.4           | 21.1                | 18.4       | 15.8                | 7.9          | 2.6                    |
|   | 30歳代 (n=59)  | 50.8        | 54.2               | 45.8    | 15.3            | 15.3           | 18.6                | 6.8        | 16.9                | 11.9         | 5.1                    |
|   | 40歳代 (n=62)  | 51.6        | 33.9               | 45.2    | 6.5             | 14.5           | 24.2                | 11.3       | 14.5                | 12.9         | 6.5                    |
|   | 50歳代 (n=82)  | 63.4        | 42.7               | 40.2    | 15.9            | 26.8           | 13.4                | 6.1        | 19.5                | 11.0         | 3.7                    |
|   | 60歳代 (n=122) | 59.0        | 45.9               | 34.4    | 22.1            | 15.6           | 14.8                | 8.2        | 9.8                 | 12.3         | 6.6                    |
|   | 70歳以上 (n=92) | 48.9        | 42.4               | 15.2    | 29.3            | 15.2           | 13.0                | 14.1       | 8.7                 | 8.7          | 10.9                   |
|   | 女性<br>年齢別    | 20歳代 (n=58) | 67.2               | 60.3    | 43.1            | 10.3           | 10.3                | 24.1       | 19.0                | 12.1         | 8.6                    |
| 30歳代 (n=130)  |              | 62.3        | 47.7               | 40.0    | 7.7             | 25.4           | 16.9                | 13.8       | 16.9                | 13.1         | 2.3                    |
| 40歳代 (n=114)  |              | 54.4        | 39.5               | 35.1    | 31.6            | 20.2           | 28.1                | 14.0       | 11.4                | 4.4          | 10.5                   |
| 50歳代 (n=127)  |              | 55.9        | 31.5               | 33.9    | 30.7            | 17.3           | 29.9                | 14.2       | 7.9                 | 7.1          | 11.8                   |
| 60歳代 (n=166)  |              | 68.1        | 32.5               | 29.5    | 27.7            | 21.7           | 16.3                | 9.0        | 6.0                 | 8.4          | 6.0                    |
| 70歳以上 (n=122)   |              | 58.2        | 32.8               | 14.8    | 22.1            | 25.4           | 16.4                | 6.6        | 6.6                 | 6.6          | 10.7                   |

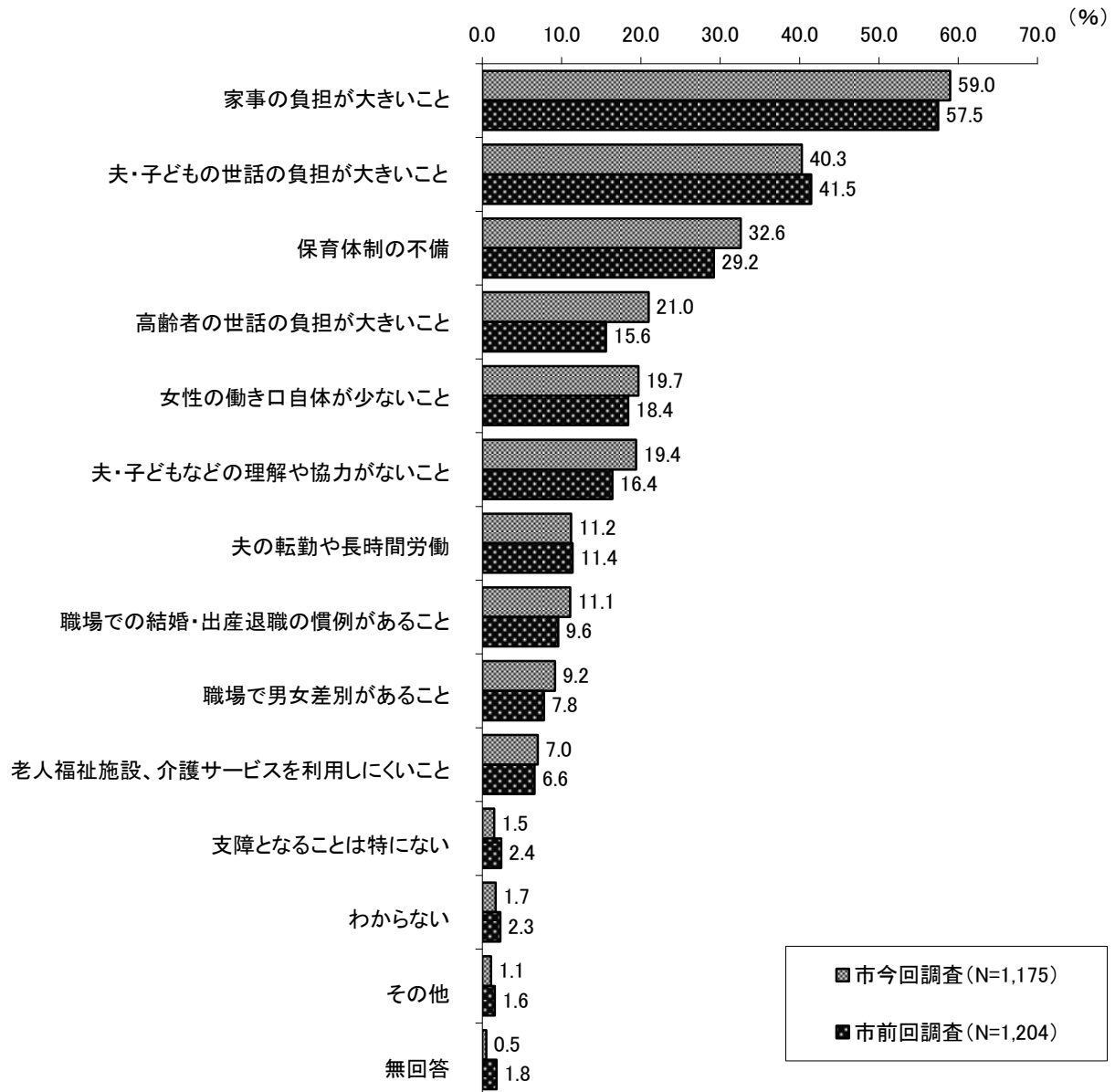
| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 |              | 支障となることは特にない | わからない | その他 |
|---|--------------|--------------|-------|-----|
|   |              |              |       |     |
| 男性<br>年齢別   | 20歳代 (n=38)  | 0.0          | 2.6   | 2.6 |
|   | 30歳代 (n=59)  | 0.0          | 0.0   | 5.1 |
|   | 40歳代 (n=62)  | 8.1          | 1.6   | 1.6 |
|   | 50歳代 (n=82)  | 1.2          | 0.0   | 2.4 |
|   | 60歳代 (n=122) | 1.6          | 1.6   | 0.0 |
|   | 70歳以上 (n=92) | 3.3          | 7.6   | 0.0 |
|   | 女性<br>年齢別    | 20歳代 (n=58)  | 0.0   | 0.0 |
| 30歳代 (n=130)  |              | 0.8          | 2.3   | 3.1 |
| 40歳代 (n=114)  |              | 0.9          | 0.9   | 1.8 |
| 50歳代 (n=127)  |              | 0.0          | 0.8   | 0.0 |
| 60歳代 (n=166)  |              | 1.2          | 0.0   | 0.0 |
| 70歳以上 (n=122)   |              | 1.6          | 3.3   | 0.0 |

※「無回答」は表記していない

■参考：前回調査との比較

前回調査と比較すると、全体としては大きな変化はみられないが、「高齢者の世話の負担が大きいこと」の割合がやや増加している。

問6. 女性が働く上で支障となること【全体】



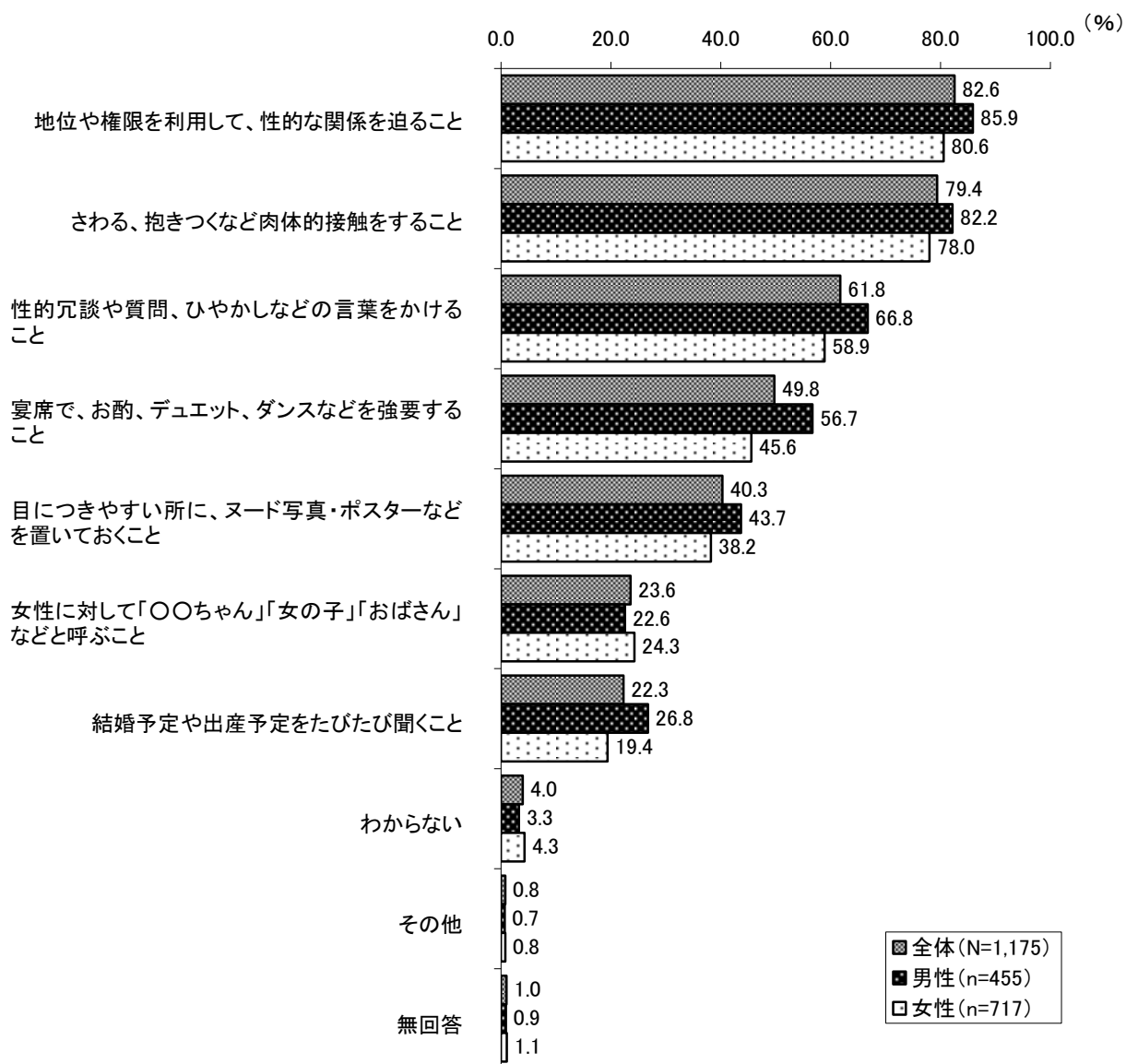
### 3. セクシュアル・ハラスメントだと思うこと

問7. セクシュアル・ハラスメントが近年問題になっていますが、あなたが、セクシュアル・ハラスメントだと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

全体では、「地位や権限を利用して、性的な関係を迫ること」が82.6%で最も高く、次いで「さわる、抱きつくなど肉体的接触をすること」(79.4%)、「性的冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけること」(61.8%)、「宴席で、お酌、デュエット、ダンスなどを強要すること」(49.8%)の順となり、性別でも同様の傾向を示している。

性・年齢別では、全体傾向と大きな違いはみられないが、男性30～50歳代・女性20・40歳代などの世代で、各項目の割合が高くなっている。また、男性40～50歳代・女性40歳代で「結婚予定や出産予定をたびたび聞くこと」が他の世代に比べて高くなっている。他と比べて女性70歳以上では各項目の割合が比較的低くなっている。

問7. セクシュアル・ハラスメントだと思うこと【全体/性別】



問7. セクシュアル・ハラスメントだと思うこと【性・年齢別】

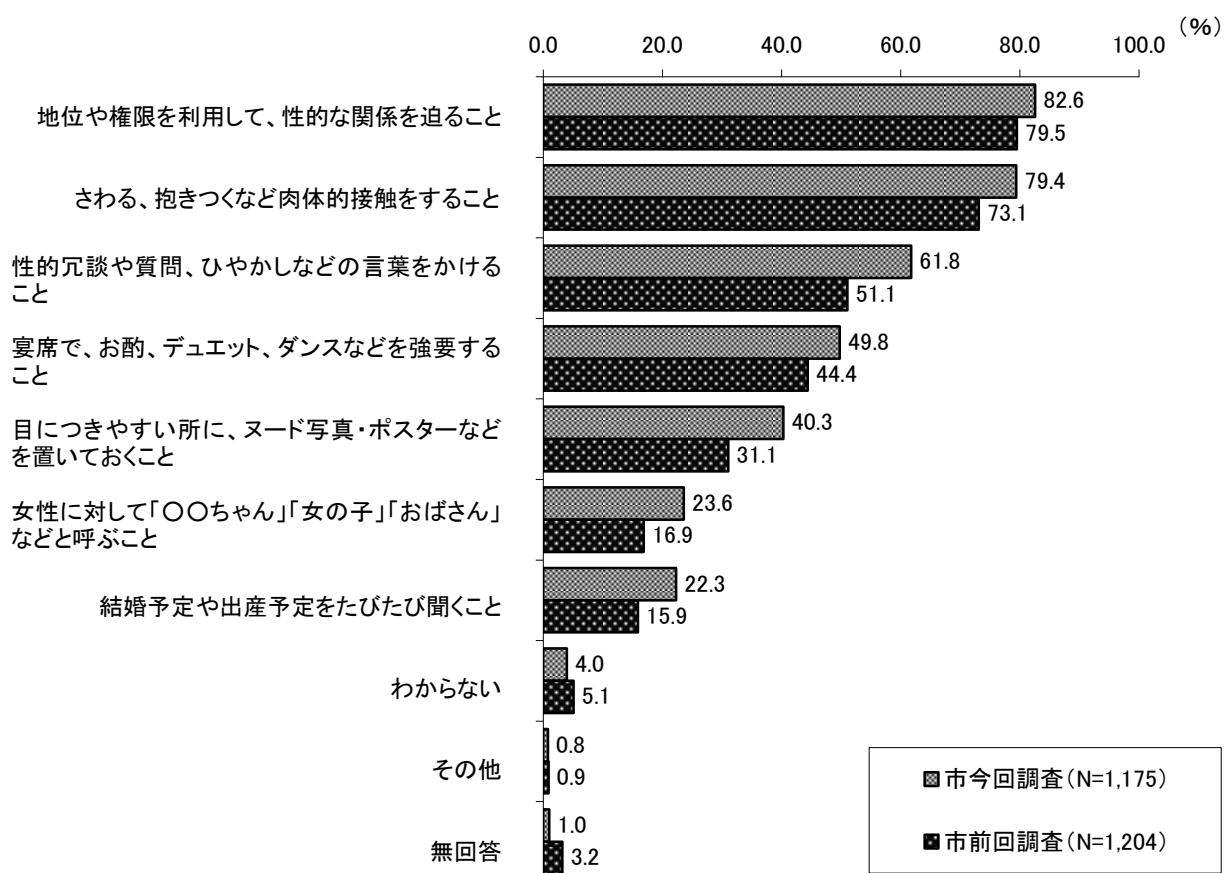
|   |               | (%)                   |                      |                         |                           |                                |                                 |                    |       |      |
|---|---------------|-----------------------|----------------------|-------------------------|---------------------------|--------------------------------|---------------------------------|--------------------|-------|------|
| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br><input type="checkbox"/> 全体+10ポイント以上<br><input type="checkbox"/> 全体-10ポイント以下 |               | 地位や権限を利用して、性的な関係を迫ること | さわる、抱きつくなど肉体的接触をすること | 性的冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけること | 宴席で、お酌、デュエット、ダンスなどを強要すること | 目につきやすい所に、ヌード写真・ポスターなどを置いておくこと | 女性に対して「○○ちゃん」「女の子」「おばさん」などと呼ぶこと | 結婚予定や出産予定をたびたび聞くこと | わからない | その他  |
|   |               | 全体 (N=1,175)          |                      | 82.6                    | 79.4                      | 61.8                           | 49.8                            | 40.3               | 23.6  | 22.3 |
| 男性年齢別   | 20歳代 (n=38)   | 92.1                  | 76.3                 | 55.3                    | 47.4                      | 44.7                           | 18.4                            | 23.7               | 0.0   | 0.0  |
|   | 30歳代 (n=59)   | 93.2                  | 91.5                 | 71.2                    | 62.7                      | 49.2                           | 22.0                            | 30.5               | 0.0   | 1.7  |
|   | 40歳代 (n=62)   | 91.9                  | 93.5                 | 66.1                    | 56.5                      | 56.5                           | 25.8                            | 33.9               | 0.0   | 1.6  |
|   | 50歳代 (n=82)   | 89.0                  | 84.1                 | 73.2                    | 68.3                      | 51.2                           | 29.3                            | 36.6               | 4.9   | 0.0  |
|   | 60歳代 (n=122)  | 82.8                  | 81.1                 | 70.5                    | 57.4                      | 37.7                           | 23.8                            | 23.8               | 1.6   | 0.0  |
|   | 70歳以上 (n=92)  | 76.1                  | 70.7                 | 58.7                    | 45.7                      | 32.6                           | 15.2                            | 16.3               | 9.8   | 1.1  |
| 女性年齢別   | 20歳代 (n=58)   | 93.1                  | 87.9                 | 81.0                    | 51.7                      | 56.9                           | 20.7                            | 22.4               | 0.0   | 1.7  |
|   | 30歳代 (n=130)  | 90.8                  | 86.2                 | 53.8                    | 53.8                      | 45.4                           | 16.2                            | 27.7               | 2.3   | 1.5  |
|   | 40歳代 (n=114)  | 93.9                  | 89.5                 | 72.8                    | 57.9                      | 50.0                           | 35.1                            | 33.3               | 0.9   | 0.9  |
|   | 50歳代 (n=127)  | 83.5                  | 82.7                 | 63.0                    | 55.1                      | 40.9                           | 26.8                            | 20.5               | 0.8   | 0.8  |
|   | 60歳代 (n=166)  | 72.9                  | 74.7                 | 56.0                    | 40.4                      | 27.7                           | 25.9                            | 13.3               | 3.6   | 0.0  |
|   | 70歳以上 (n=122) | 59.0                  | 53.3                 | 40.2                    | 19.7                      | 22.1                           | 19.7                            | 3.3                | 16.4  | 0.8  |

※「無回答」は表記していない

■参考：前回調査との比較

前回調査と比較すると、全体としては大きな変化はみられないがどの項目も割合は増えており、中でも「性的冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけること」、「目につきやすい所に、ヌード写真・ポスターなどを置いておくこと」の割合がやや増加している。

問7. セクシュアル・ハラスメントだと思うこと【全体】



#### 4. 職場の現状

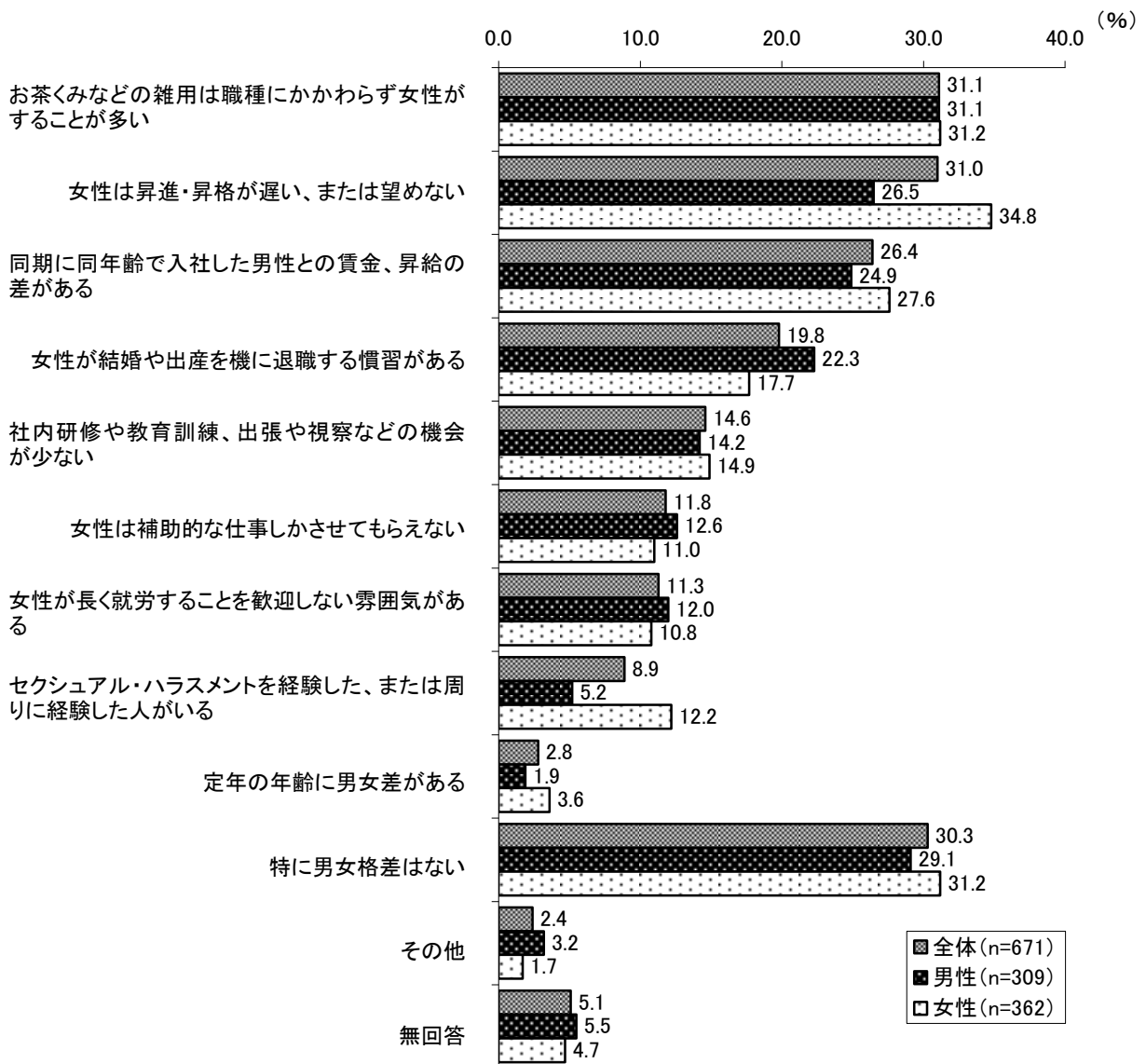
問8. 《就労している方》あなたの職場で、現在次のようなことがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「お茶くみなどの雑用は職種にかかわらず女性がすることが多い」が31.1%で最も高く、ほぼ並んで「女性は昇進・昇格が遅い、または望めない」(31.0%)も高い。次いで、「同期に同年齢で入社した男性との賃金、昇給の差がある」(26.4%)、「女性が結婚や出産を機に退職する慣習がある」(19.8%)の順となっている。一方、「特に男女格差はない」は3割である。

性別では、女性で「女性は昇進・昇格が遅い、または望めない」が高い。

性・年齢別では、女性40歳代で「女性は昇進・昇格が遅い、または望めない」、女性20歳代で「セクシュアル・ハラスメントを経験した、または周りに経験した人がいる」の割合が比較的高い。

問8. 職場の現状【全体／性別】





問8. 職場の現状【性・年齢別】

(%)

| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 | お茶くみなどの雑用は職種にかかわらず女性がすることが多い | 女性昇進・昇格が遅い、または望めない | 同期に同年齢で入社した男性との賃金、昇給の差がある | 女性が結婚や出産を機に退職する慣習がある | 社内研修や教育訓練、出張や視察などの機会が少ない | 女性には補助的な仕事しかさせてもらえない | 女性が長く就労することを歓迎しない雰囲気がある | セクシュアル・ハラスメントを経験した、または周りに経験した人がいる | 定年の年齢に男女差がある | 特に男女格差はない |            |
|---|------------------------------|--------------------|---------------------------|----------------------|--------------------------|----------------------|-------------------------|-----------------------------------|--------------|-----------|------------|
|   |                              |                    |                           |                      |                          |                      |                         |                                   |              |           | 全体 (n=671) |
| 男性年齢別   | 20歳代 (n=30)                  | 23.3               | 23.3                      | 26.7                 | 30.0                     | 3.3                  | 16.7                    | 13.3                              | 3.3          | 3.3       | 33.3       |
|   | 30歳代 (n=57)                  | 33.3               | 26.3                      | 22.8                 | 24.6                     | 15.8                 | 8.8                     | 8.8                               | 3.5          | 0.0       | 26.3       |
|   | 40歳代 (n=57)                  | 36.8               | 28.1                      | 21.1                 | 14.0                     | 14.0                 | 14.0                    | 19.3                              | 5.3          | 0.0       | 21.1       |
|   | 50歳代 (n=80)                  | 26.3               | 30.0                      | 28.8                 | 17.5                     | 12.5                 | 7.5                     | 7.5                               | 5.0          | 3.8       | 32.5       |
|   | 60歳代 (n=73)                  | 32.9               | 24.7                      | 26.0                 | 27.4                     | 21.9                 | 16.4                    | 13.7                              | 8.2          | 1.4       | 32.9       |
|   | 70歳以上 (n=12)                 | 33.3               | 16.7                      | 16.7                 | 33.3                     | 0.0                  | 25.0                    | 8.3                               | 0.0          | 8.3       | 25.0       |
| 女性年齢別   | 20歳代 (n=38)                  | 36.8               | 26.3                      | 21.1                 | 28.9                     | 15.8                 | 7.9                     | 2.6                               | 21.1         | 2.6       | 28.9       |
|   | 30歳代 (n=80)                  | 26.3               | 40.0                      | 25.0                 | 20.0                     | 15.0                 | 11.3                    | 7.5                               | 15.0         | 1.3       | 35.0       |
|   | 40歳代 (n=90)                  | 36.7               | 43.3                      | 34.4                 | 15.6                     | 12.2                 | 11.1                    | 12.2                              | 14.4         | 2.2       | 26.7       |
|   | 50歳代 (n=87)                  | 27.6               | 33.3                      | 27.6                 | 14.9                     | 19.5                 | 13.8                    | 12.6                              | 9.2          | 3.4       | 37.9       |
|   | 60歳代 (n=53)                  | 32.1               | 26.4                      | 30.2                 | 17.0                     | 11.3                 | 5.7                     | 15.1                              | 1.9          | 9.4       | 28.3       |
|   | 70歳以上 (n=14)                 | 28.6               | 14.3                      | 7.1                  | 7.1                      | 14.3                 | 21.4                    | 14.3                              | 14.3         | 7.1       | 14.3       |

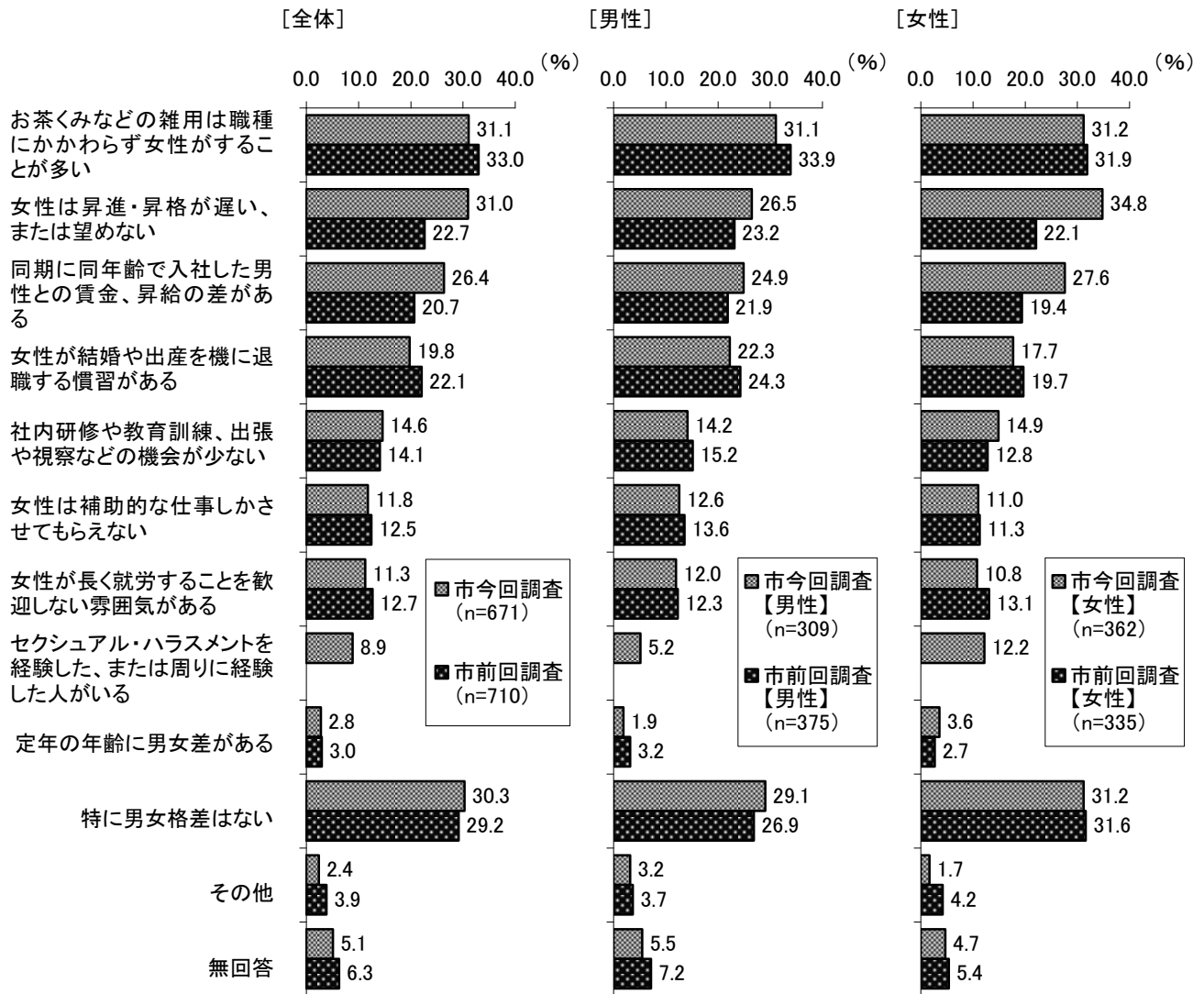
| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 | その他 |
|---|-----|
| 全体 (n=671)  | 2.4 |
| 男性年齢別   |     |
| 20歳代 (n=30)   | 3.3 |
| 30歳代 (n=57)   | 8.8 |
| 40歳代 (n=57)   | 3.5 |
| 50歳代 (n=80)   | 0.0 |
| 60歳代 (n=73)   | 2.7 |
| 70歳以上 (n=12)  | 0.0 |
| 女性年齢別   |     |
| 20歳代 (n=38)   | 0.0 |
| 30歳代 (n=80)   | 1.3 |
| 40歳代 (n=90)   | 3.3 |
| 50歳代 (n=87)   | 2.3 |
| 60歳代 (n=53)   | 0.0 |
| 70歳以上 (n=14)  | 0.0 |

※「無回答」は表記していない

■参考：前回調査との比較

前回調査と比較すると、全体では「女性は昇進・昇格が遅い、または望めない」、「同期に同年齢で入社した男性との賃金、昇給の差がある」の割合が増加しており、特に女性でその傾向が強いことがわかる。

問8. 職場の現状【全体／性別】



※前回調査では「セクシュアル・ハラスメントを経験した、または周りに経験した人がいる」の選択肢はない

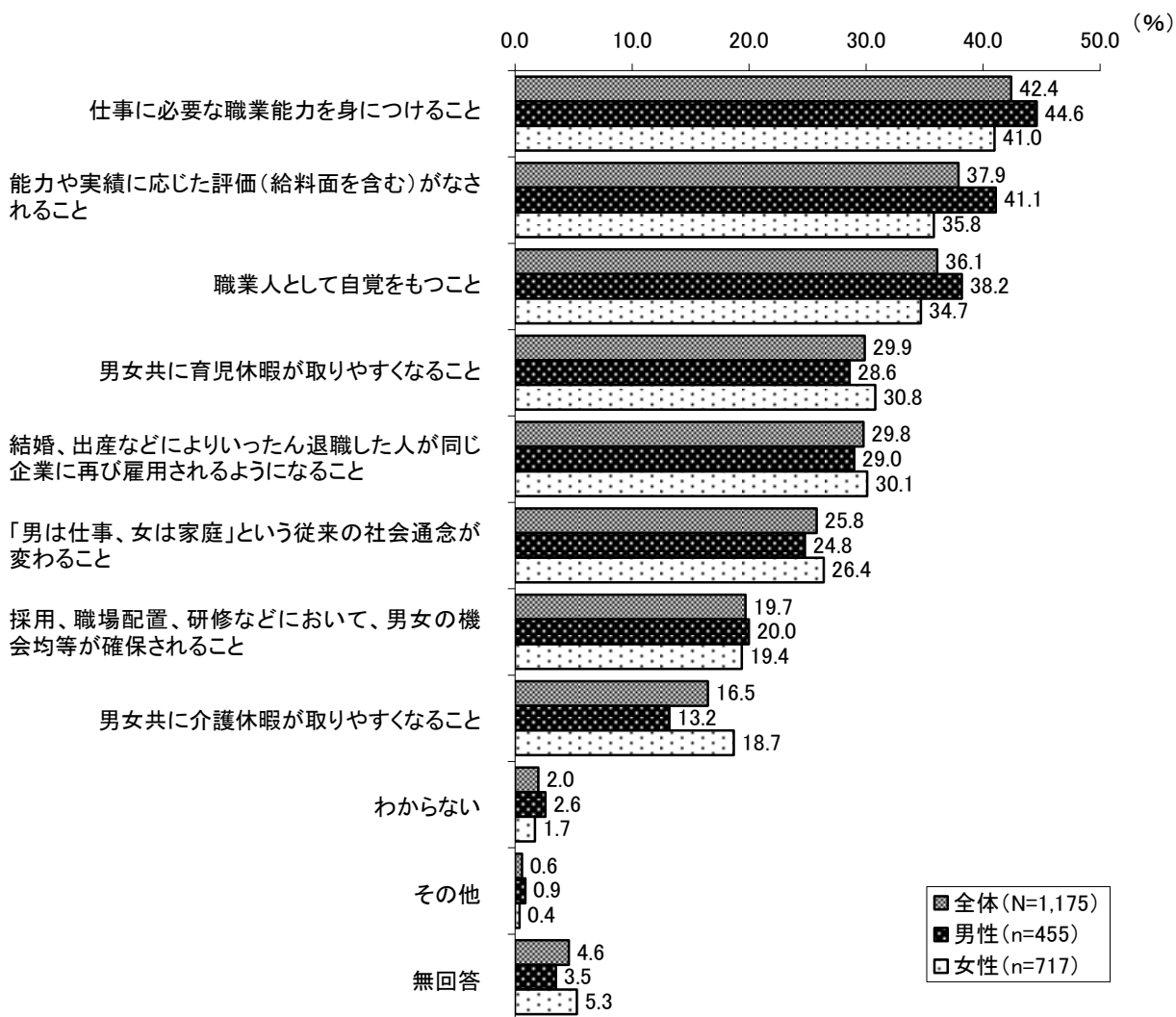
## 5. 男女が共に職業人として活躍するために重要なこと

問9. あなたは一般的に、男女が共に職業人として職場で能力を発揮し、かつ継続して勤務するためには、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「仕事に必要な職業能力を身につけること」が42.4%で最も高く、次いで「能力や実績に応じた評価(給料面を含む)がなされること」(37.9%)、「職業人として自覚をもつこと」(36.1%)、「男女共に育児休暇が取りやすくなること」(29.9%)、「結婚、出産などによりいったん退職した人が同じ企業に再び雇用されるようになること」(29.8%)の順となっており、性別でも同様の傾向を示している。

性・年齢別では、男性60歳以上、女性50歳代で「仕事に必要な職業能力を身につけること」、男性30歳代・女性20～30歳代で「男女共に育児休暇が取りやすくなること」の割合がそれぞれ高くなっている。また、男女20歳代で「男は仕事、女は家庭」という従来の社会通念が変わること」、女性50歳代で「男女共に介護休暇が取りやすくなること」の割合が比較的高くなっている。

問9. 男女が共に職業人として活躍するために重要なこと【全体/性別】



問9. 男女が共に職業人として活躍するために重要なこと【性・年齢別】

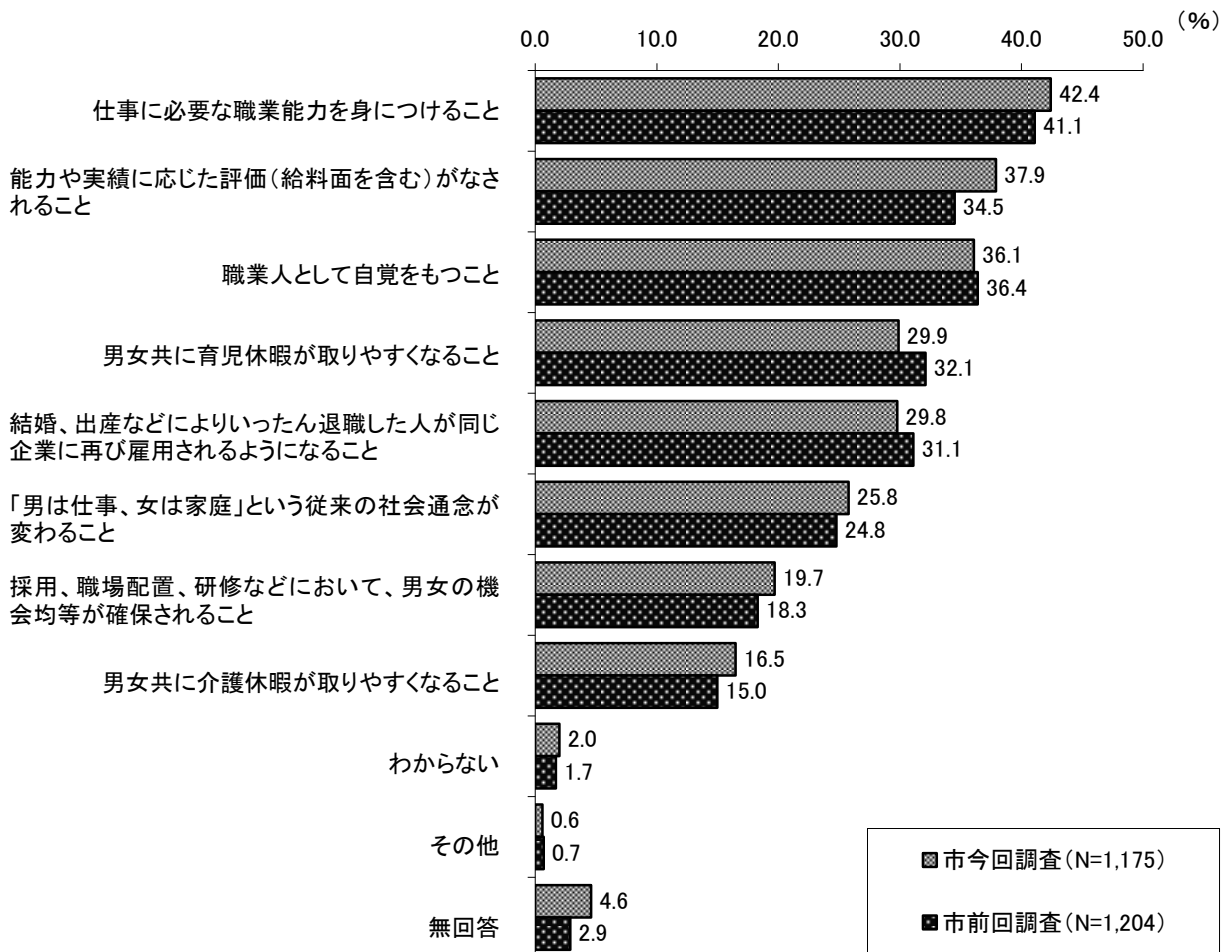
|   |               | (%)                |                            |               |                    |   |                             |                                  |                    |       |      |
|---|---------------|--------------------|----------------------------|---------------|--------------------|---|-----------------------------|----------------------------------|--------------------|-------|------|
| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br><input type="checkbox"/> 全体+10ポイント以上<br><input type="checkbox"/> 全体-10ポイント以下 |               | 仕事に必要な職業能力を身につけること | 能力や実績に応じた評価（給料面を含む）がなされること | 職業人として自覚をもつこと | 男女共に育児休暇が取りやすくなること | 結婚、出産などによりいったん退職した人が同じ企業に再び雇用されるようになること | 「男は仕事、女は家庭」という従来の社会通念が変わること | 採用、職場配置、研修などにおいて、男女の機会均等が確保されること | 男女共に介護休暇が取りやすくなること | わからない | その他  |
|   |               | 全体 (N=1,175)       |                            | 42.4          | 37.9               | 36.1                                    | 29.9                        | 29.8                             | 25.8               | 19.7  | 16.5 |
| 男性<br>年齢別   | 20歳代 (n=38)   | 28.9               | 34.2                       | 39.5          | 39.5               | 13.2                                    | 42.1                        | 26.3                             | 13.2               | 2.6   | 0.0  |
|   | 30歳代 (n=59)   | 39.0               | 32.2                       | 32.2          | 55.9               | 20.3                                    | 28.8                        | 15.3                             | 20.3               | 3.4   | 3.4  |
|   | 40歳代 (n=62)   | 37.1               | 43.5                       | 38.7          | 35.5               | 29.0                                    | 21.0                        | 16.1                             | 17.7               | 4.8   | 1.6  |
|   | 50歳代 (n=82)   | 35.4               | 47.6                       | 36.6          | 35.4               | 34.1                                    | 31.7                        | 19.5                             | 18.3               | 0.0   | 1.2  |
|   | 60歳代 (n=122)  | 53.3               | 45.1                       | 41.0          | 18.0               | 34.4                                    | 18.9                        | 21.3                             | 9.0                | 1.6   | 0.0  |
|   | 70歳以上 (n=92)  | 56.5               | 37.0                       | 39.1          | 9.8                | 29.3                                    | 19.6                        | 21.7                             | 6.5                | 4.3   | 0.0  |
| 女性<br>年齢別   | 20歳代 (n=58)   | 24.1               | 41.4                       | 19.0          | 48.3               | 39.7                                    | 37.9                        | 25.9                             | 13.8               | 0.0   | 1.7  |
|   | 30歳代 (n=130)  | 35.4               | 41.5                       | 30.8          | 40.8               | 30.0                                    | 33.8                        | 23.8                             | 10.0               | 3.1   | 0.8  |
|   | 40歳代 (n=114)  | 41.2               | 42.1                       | 38.6          | 31.6               | 28.1                                    | 35.1                        | 18.4                             | 25.4               | 0.0   | 0.0  |
|   | 50歳代 (n=127)  | 52.8               | 33.1                       | 31.5          | 35.4               | 39.4                                    | 20.5                        | 19.7                             | 30.7               | 0.0   | 0.0  |
|   | 60歳代 (n=166)  | 44.6               | 35.5                       | 39.8          | 24.7               | 26.5                                    | 19.9                        | 19.9                             | 18.1               | 1.8   | 0.6  |
|   | 70歳以上 (n=122) | 37.7               | 24.6                       | 39.3          | 14.8               | 23.0                                    | 19.7                        | 11.5                             | 12.3               | 4.1   | 0.0  |

※「無回答」は表記していない

■参考：前回調査との比較

前回調査と比較すると、全体としては大きな変化はみられないが、「能力や実績に応じた評価（給料面を含む）がなされること」の割合がやや増加している。

問9. 男女が共に職業人として活躍するために重要なこと【全体】



### 【3】結婚、家庭生活と男女の役割について

#### 1. 結婚、家庭に関する考え

問 10. あなたは、結婚、家庭に関する次のような考えについて、どのように思いますか。  
(○は各 1 つずつ)

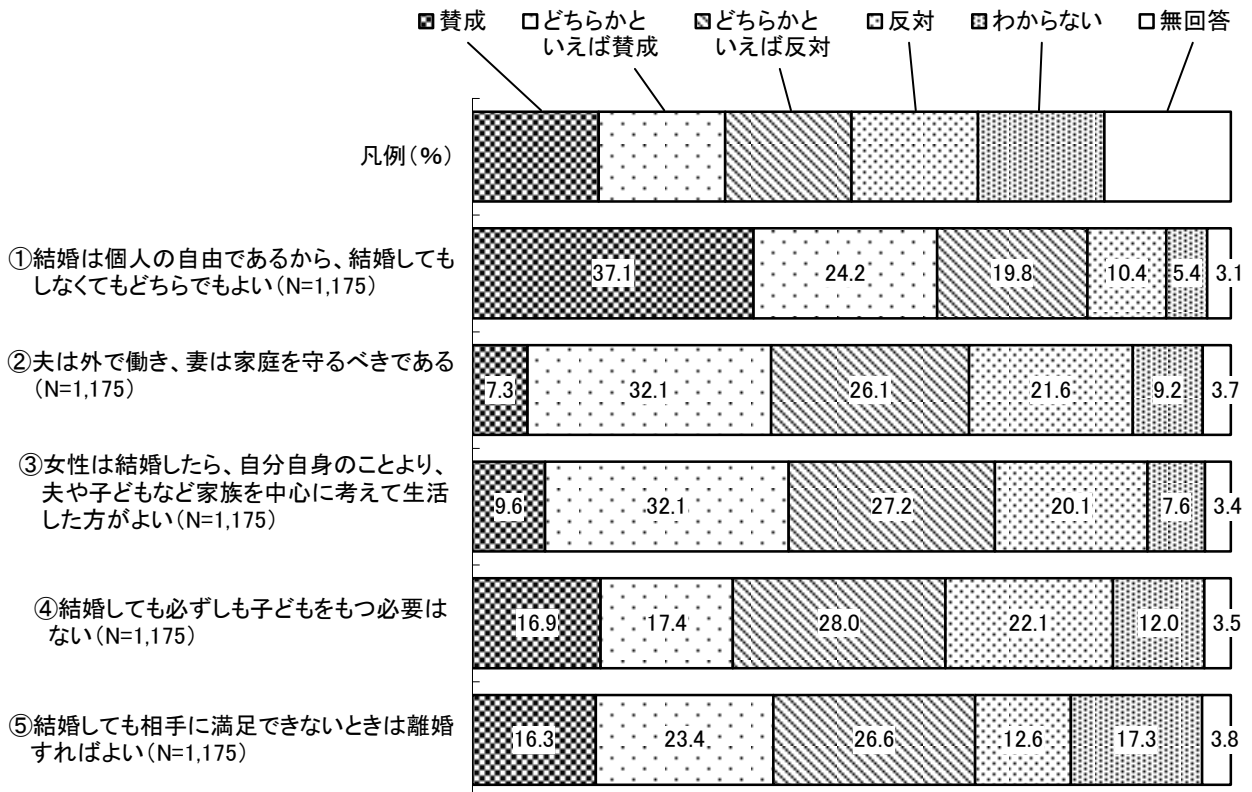
※「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせて『賛成派』、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせて『反対派』とする。

全体では、「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」で『賛成派』(61.3%)の割合が高く、一方「④結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」で『反対派』(50.1%)の割合がやや高くなっている。

性別では、「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」は女性の「賛成」意向が強く、「④結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」は男性の「反対」意向が強い。

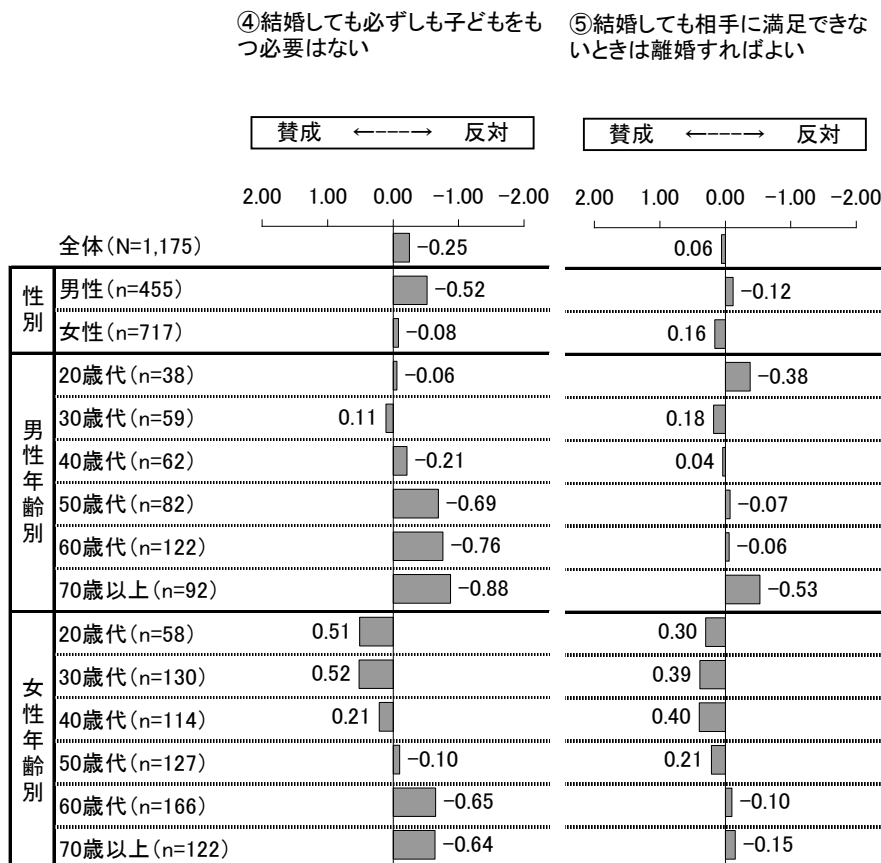
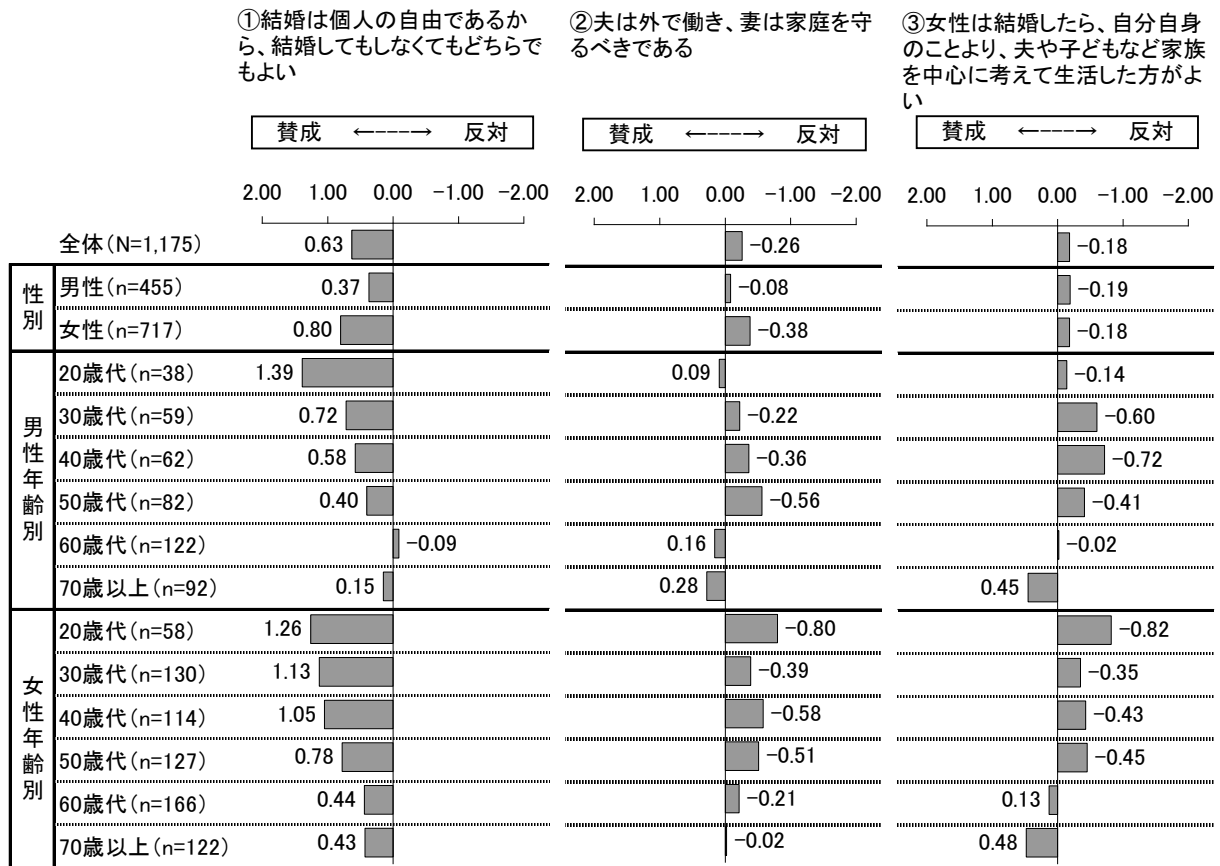
性・年齢別では、男女とも年齢が若くなるほど「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」の「賛成」意向は強くなり、一方で年齢が上がるほど「④結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」の「反対」意向は強くなる傾向がみられる。また、女性 20 歳代で「②夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」、「③女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」の「反対」意向が比較的強い。

問 10. 結婚、家庭に関する考え【全体】



問 10. 結婚、家庭に関する考え 平均【全体／性別／性・年齢別】

平均→「賛成」に+2点、「どちらかといえば賛成」に+1点、「どちらかといえば反対」に-1点、「反対」に-2点の係数を、それぞれの回答実数に乘じ、加重平均して算出した値で、+2点に近いほど「賛成」、-2点に近いほど「反対」を示す指標である。また、この数値はあくまでも「指標」であり、マイナス、プラスによって優劣を判定するものではない。

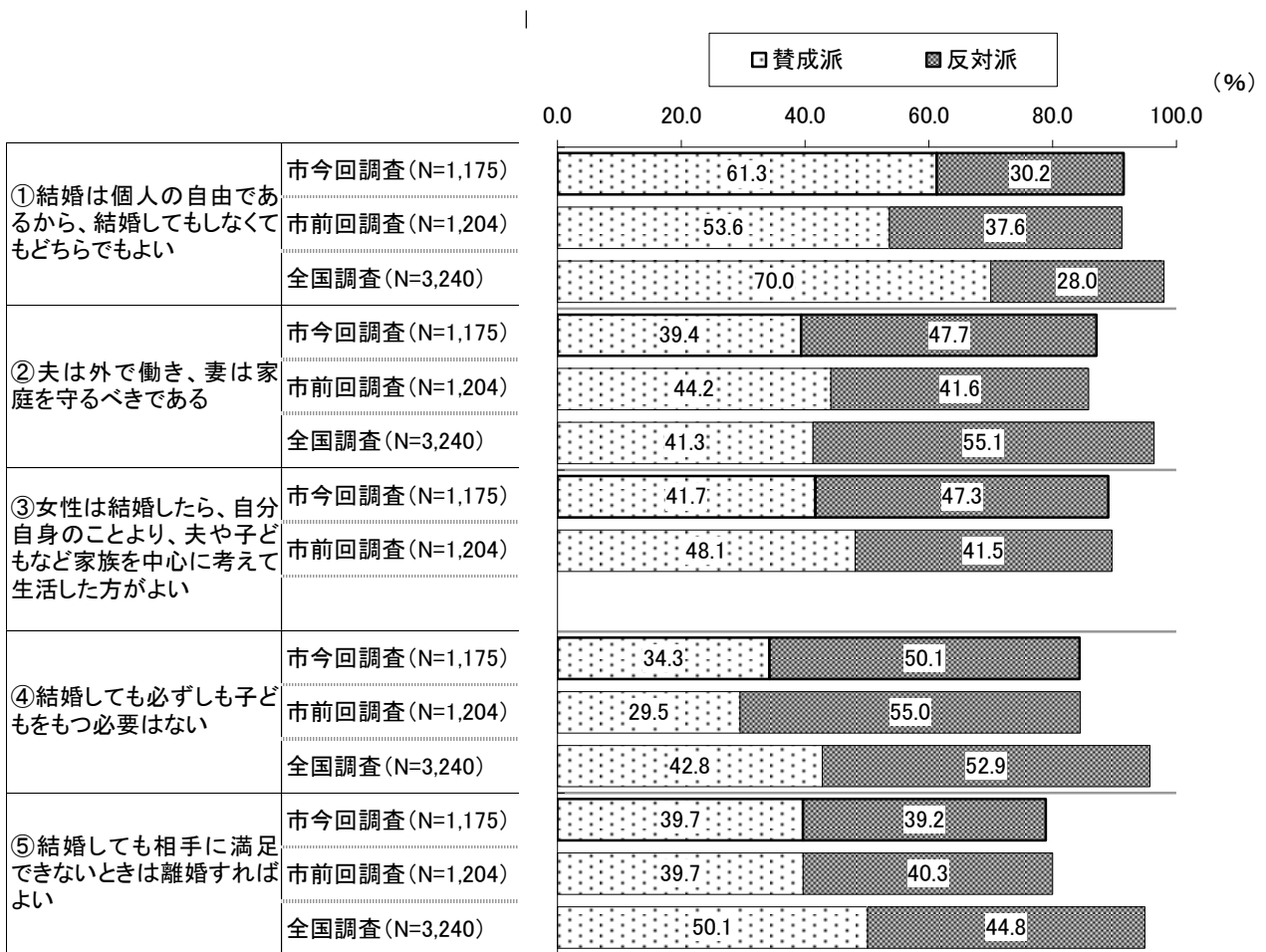


■参考：前回調査・全国調査との比較

前回調査・全国調査と比較すると、「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」や「④結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」の『賛成派』の割合は、全国調査と比べると比較的低いものの、前回調査と比べるとそれぞれ増加している。

また、「②夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」や「③女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」の『反対派』の割合は、前回調査と比べてそれぞれ増加しており、『反対派』が『賛成派』を上回っている。

問 10. 結婚、家庭に関する考え【全体】



※「わからない」、「無回答」は表記していない

※全国調査では「③女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」の設問はない

※「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせて『賛成派』、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせて『反対派』とする



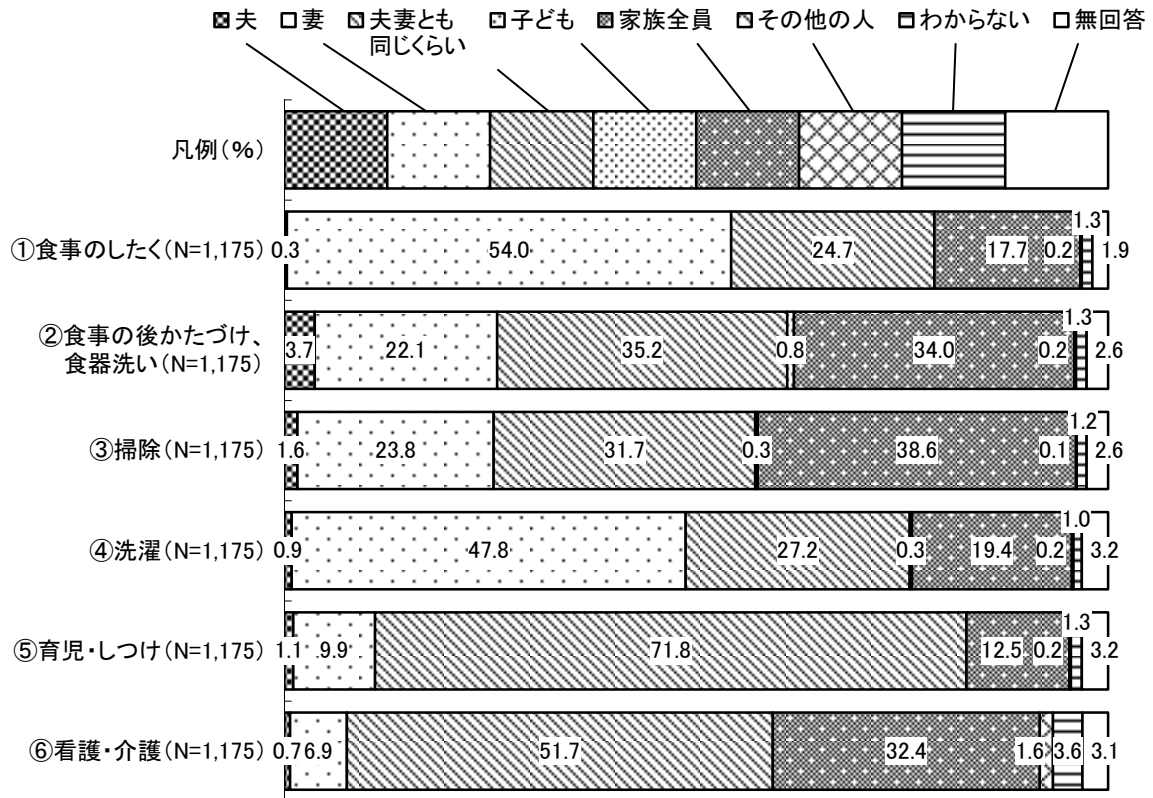
## 2. 家庭内の仕事の理想の分担

問 11. あなたは、次にあげるような家庭内の仕事を、主にだれが分担するのが理想だと思いますか。(〇は各1つずつ)

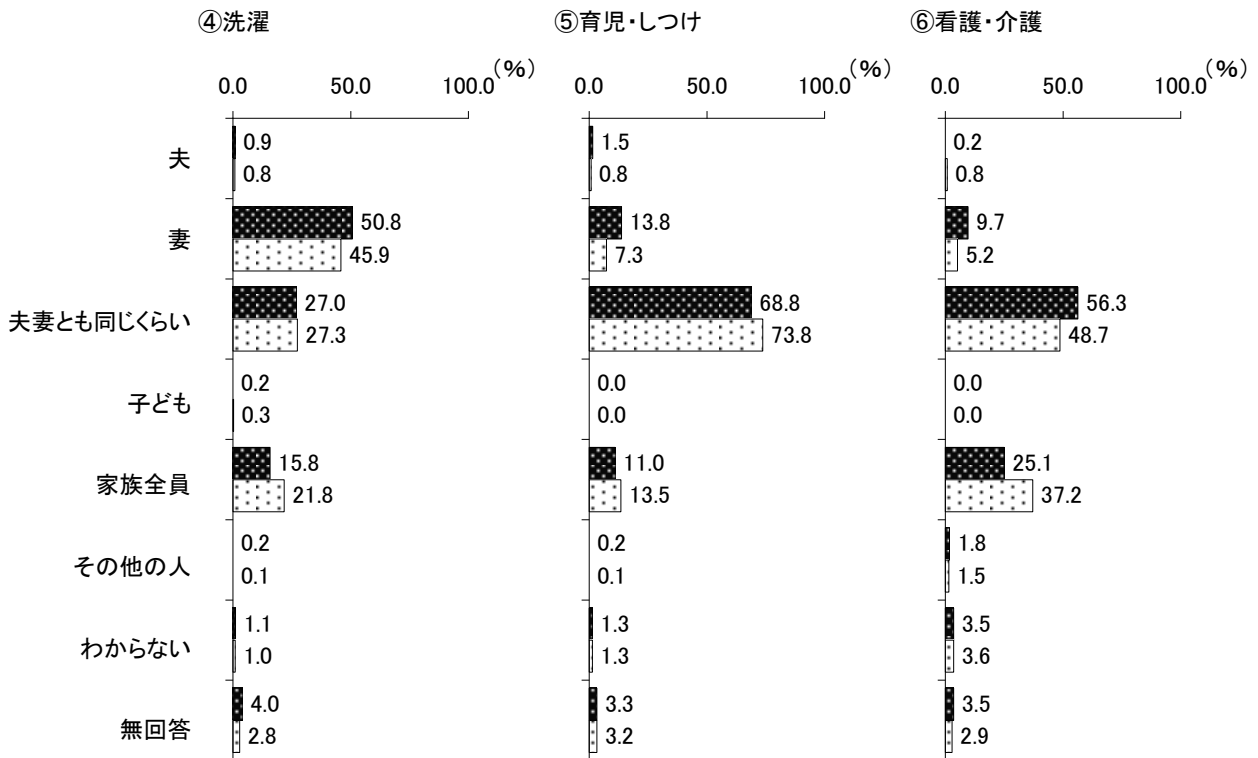
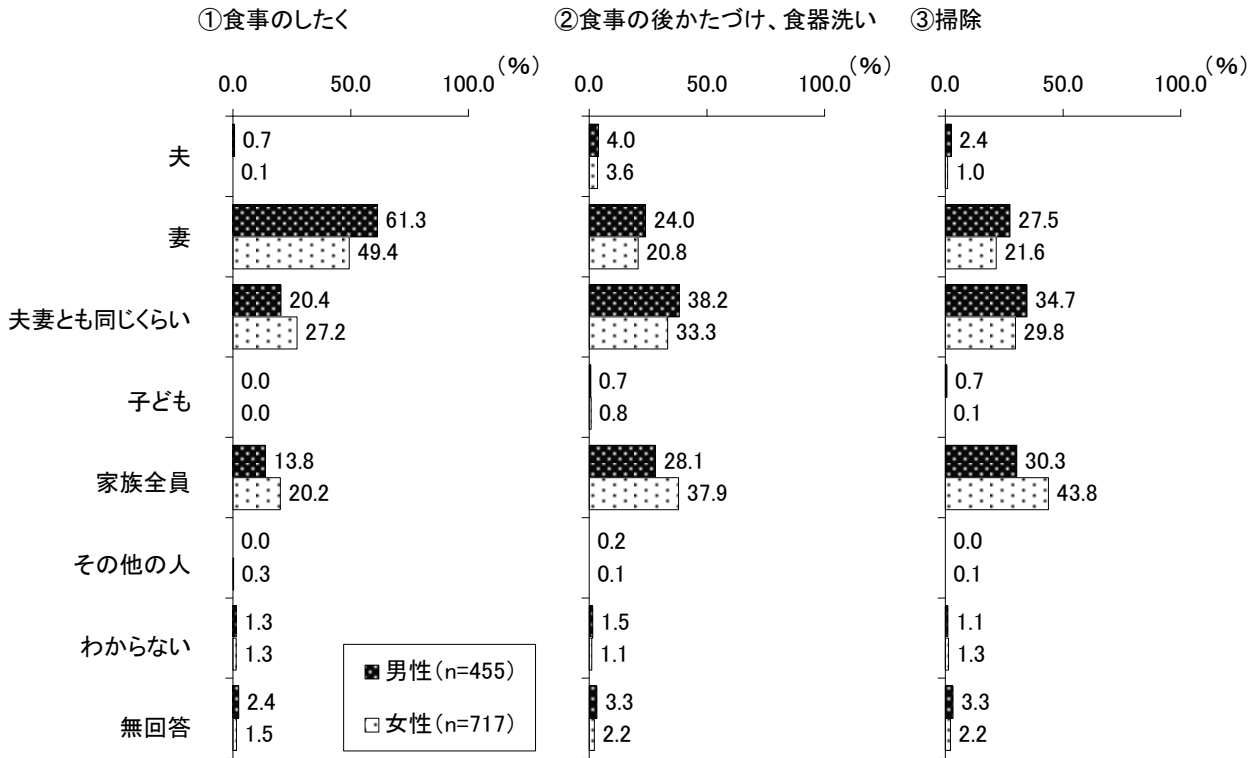
全体では、「①食事のしたく」、「④洗濯」は「妻」の割合が高く、「⑤育児・しつけ」は「夫妻とも同じくらい」の割合が高い。それ以外の家庭内の仕事に関しては、「家族全員」、「夫妻とも同じくらい」の割合が高くなっている。

性別では、女性に比べて男性で「①食事のしたく」は「妻」の割合が高い。また、女性で「②食事の後かたづけ、食器洗い」、「③掃除」、「⑥看護・介護」は「家族全員」の割合が比較的高い。

問 11. 家庭内の仕事の理想の分担【全体】



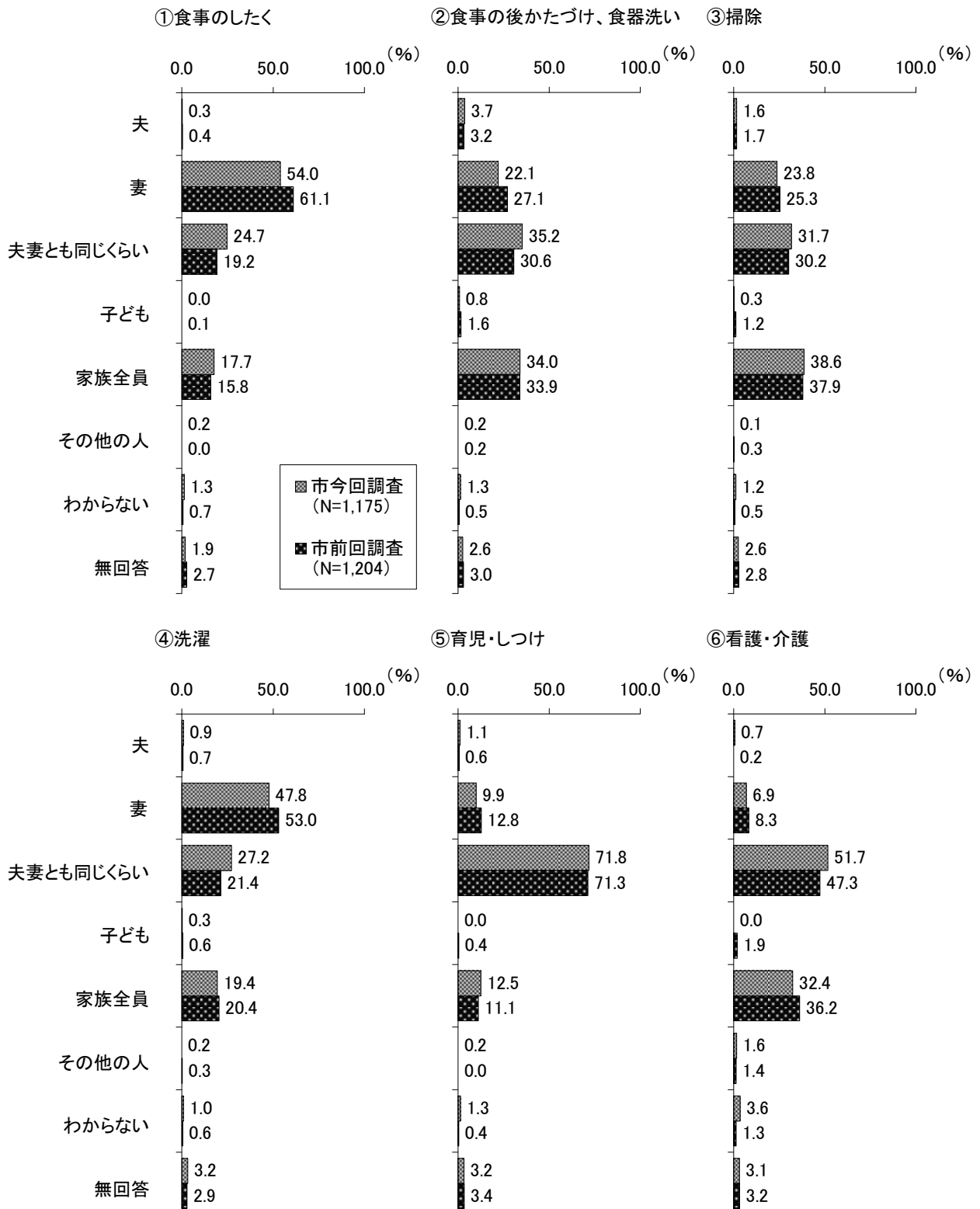
問 11. 家庭内の仕事の理想の分担【性別】



■参考：前回調査との比較

前回調査と比較すると、「①食事のしたく」、「②食事の後かたづけ、食器洗い」、「④洗濯」、「⑥看護・介護」で「夫妻とも同じくらい」の割合がやや増加しているが、全体としては大きな変化はみられない。

問 11. 家庭内の仕事の理想の分担【全体】



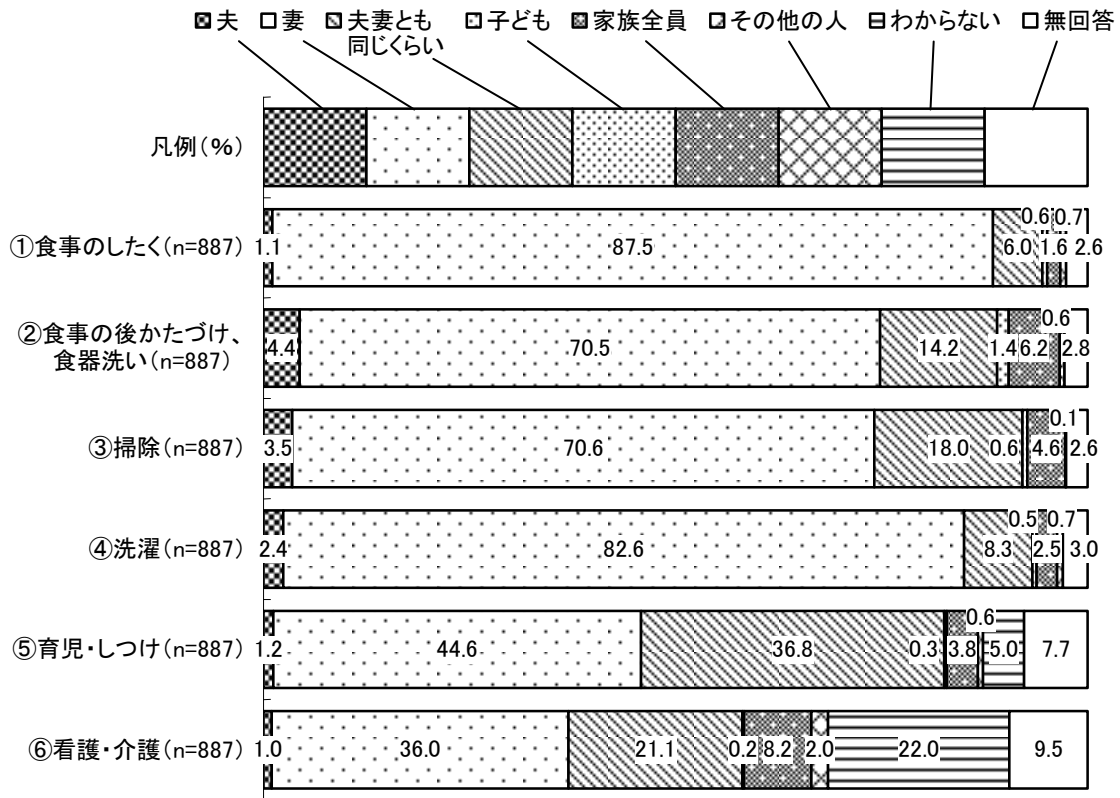
### 3. 家庭内の仕事の実際の分担

問 12. 《既婚者の方》あなたの家庭では、次にあげるような家庭内の仕事を、実際に主にだれが分担していますか。(〇は各1つずつ)

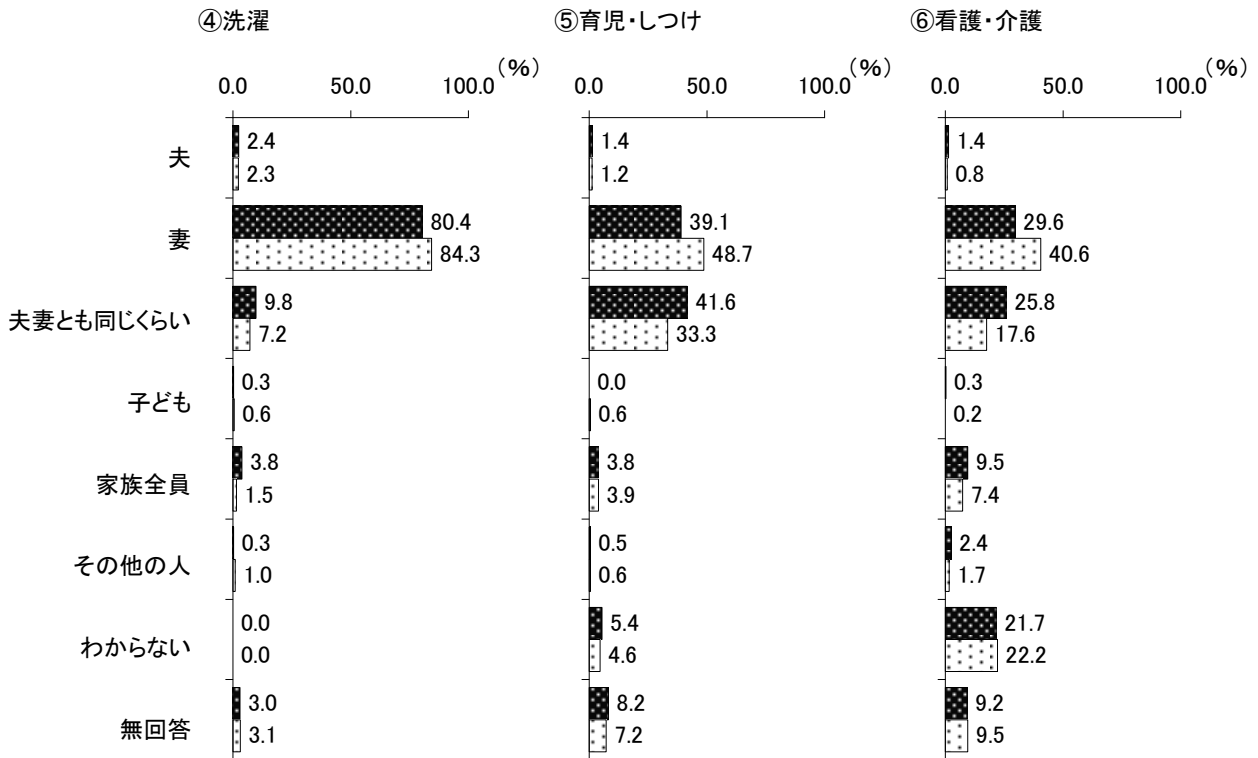
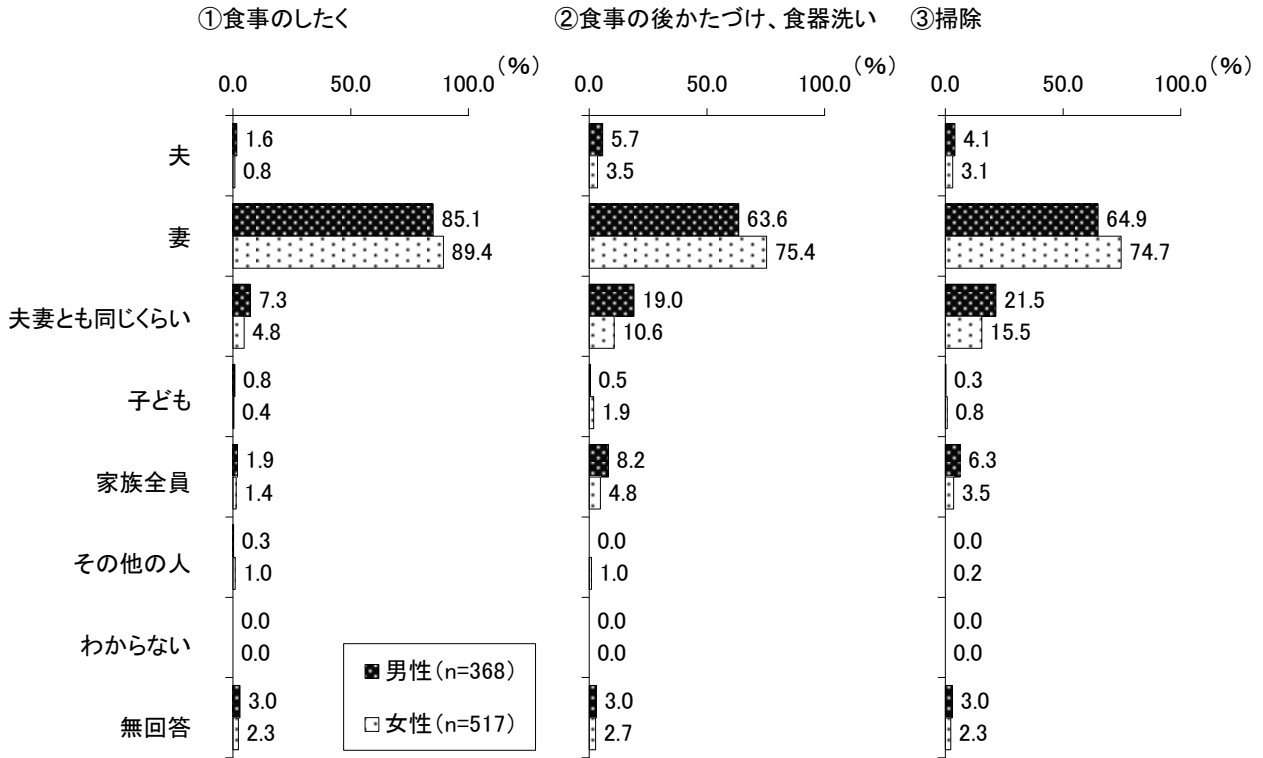
全体では、「①食事のしたく」、「②食事の後かたづけ、食器洗い」、「③掃除」、「④洗濯」は「妻」の割合が7割以上と高く、「⑤育児・しつけ」は「妻」が44.6%、「夫妻とも同じくらい」が36.8%となっている。

性別でも、「①食事のしたく」、「②食事の後かたづけ、食器洗い」、「③掃除」、「④洗濯」は「妻」の割合が高くなっている。

問 12. 家庭内の仕事の実際の分担【全体】



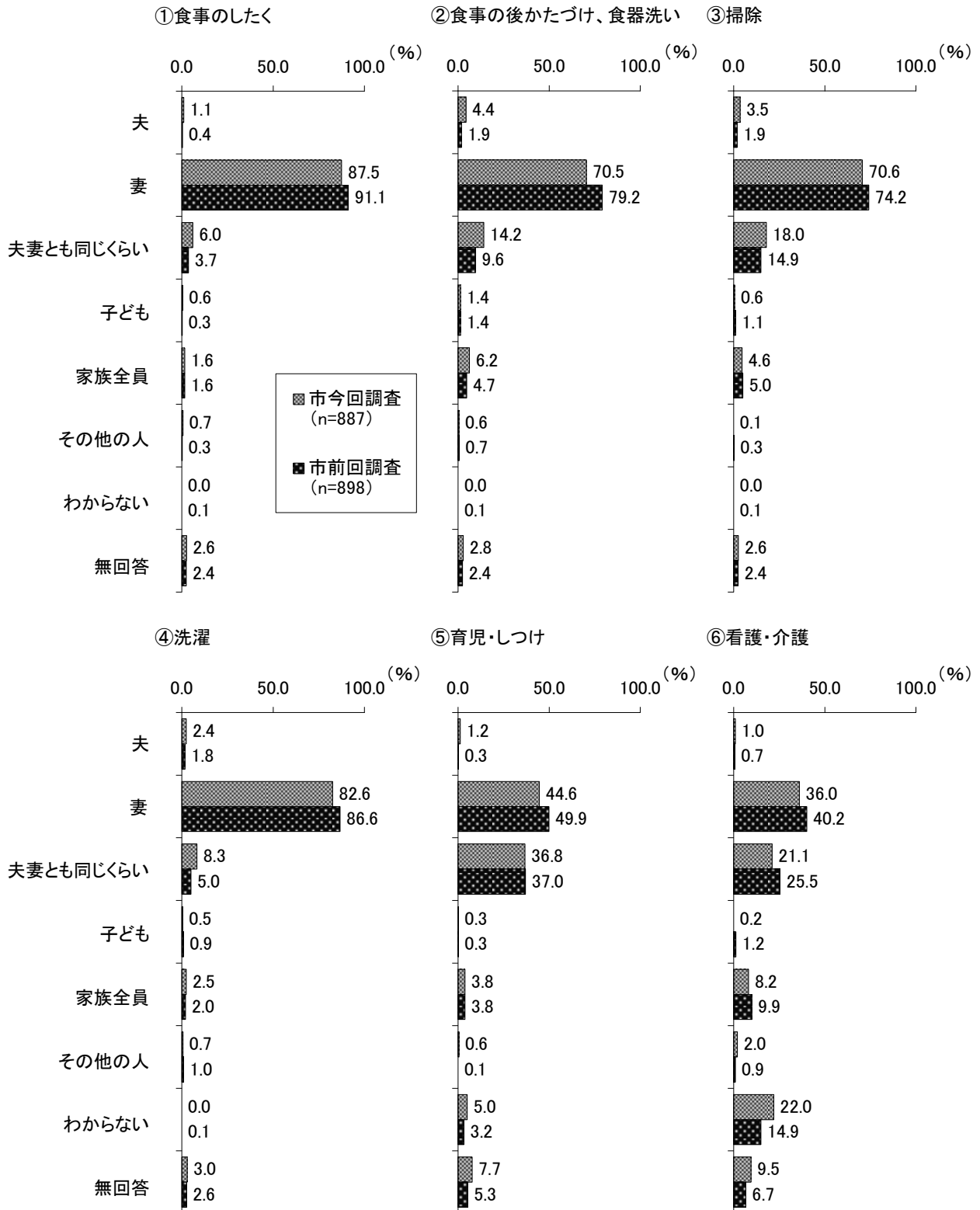
問 12. 家庭内の仕事の実際の分担【性別】



■参考：前回調査との比較

前回調査と比較すると、全体としてはわずかに割合は低くなっているものの、依然として家庭内の仕事の多くを「妻」が担っていることがわかる。

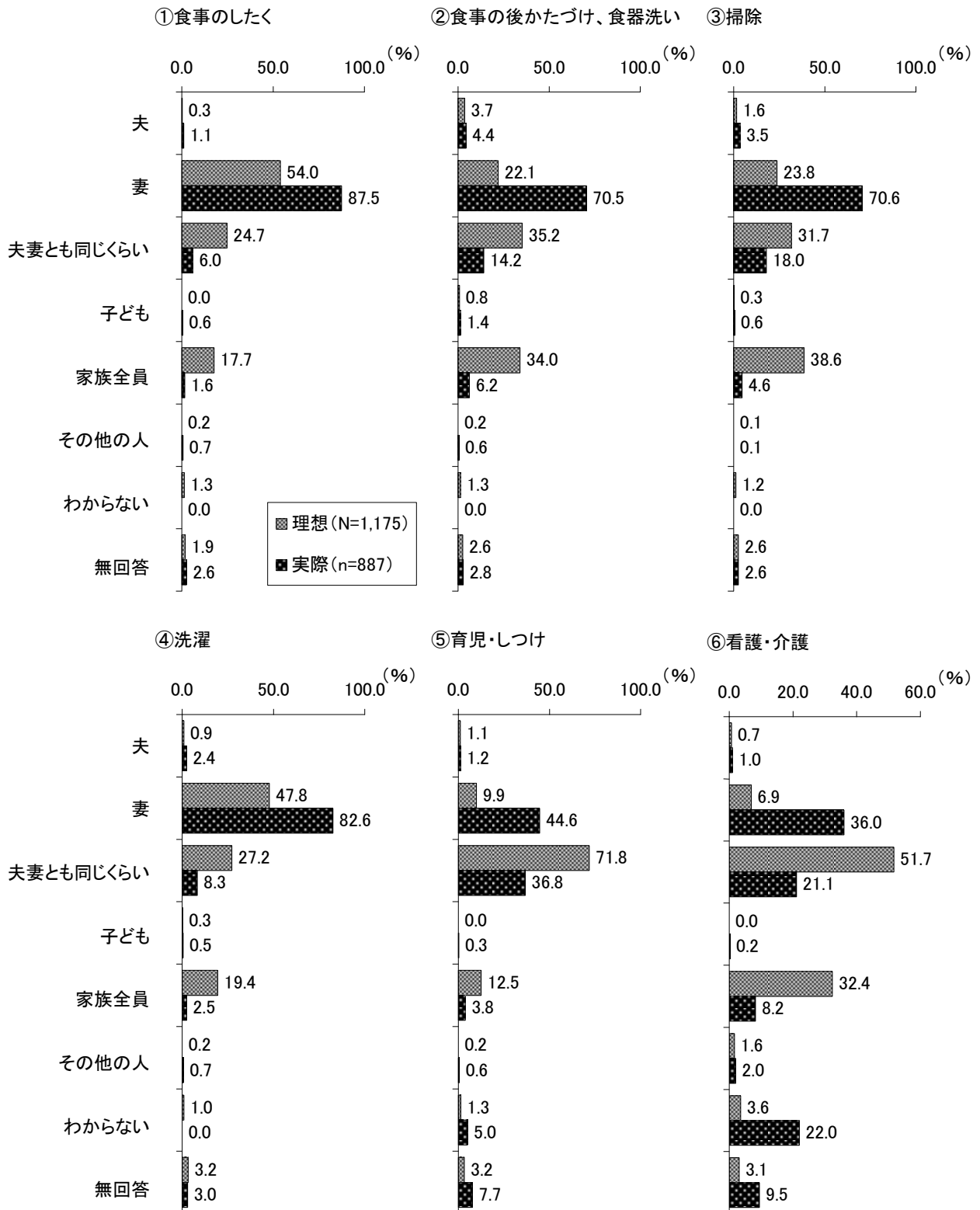
問 12. 家庭内の仕事の実際の分担【全体】



■参考：家庭内の仕事分担の理想と実際との比較（問11と問12の関係）

家庭内の仕事分担の理想と実際を比較すると、すべて実際は「妻」が担っている場合が多く、理想では「夫妻とも同じくらい」の割合が高い「⑤育児・しつけ」、「⑥看護・介護」も、実際は「妻」の割合が比較的高いことがわかる。

問11・問12. 家庭内の仕事の理想と実際の分担の比較【全体】



#### 4. 子育てについて

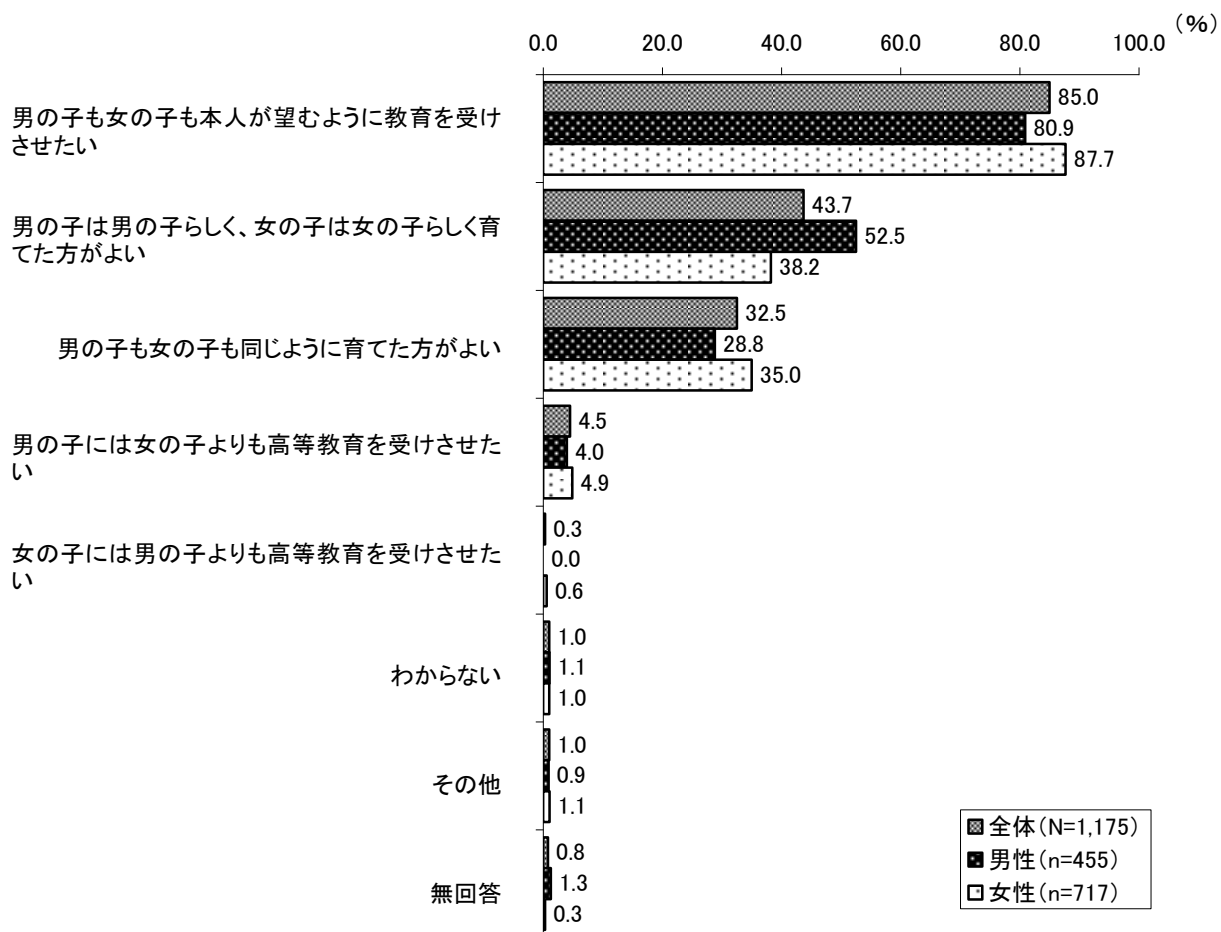
問 13. あなたは、子育てについて、どのように考えますか。(〇はいくつでも)

全体では、「男の子も女の子も本人が望むように教育を受けさせたい」が 85.0%で最も高く、次いで「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てた方がよい」(43.7%)、「男の子も女の子も同じように育てた方がよい」(32.5%)の順となっている。

性別では、男性で「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てた方がよい」の割合がやや高い。

性・年齢別では、男性 30 歳代・男女 70 歳以上で「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てた方がよい」、女性 20 歳代で「男の子も女の子も同じように育てた方がよい」の割合がそれぞれ高くなっている。

問 13. 子育てについて【全体/性別】





問 13. 子育てについて【性・年齢別】

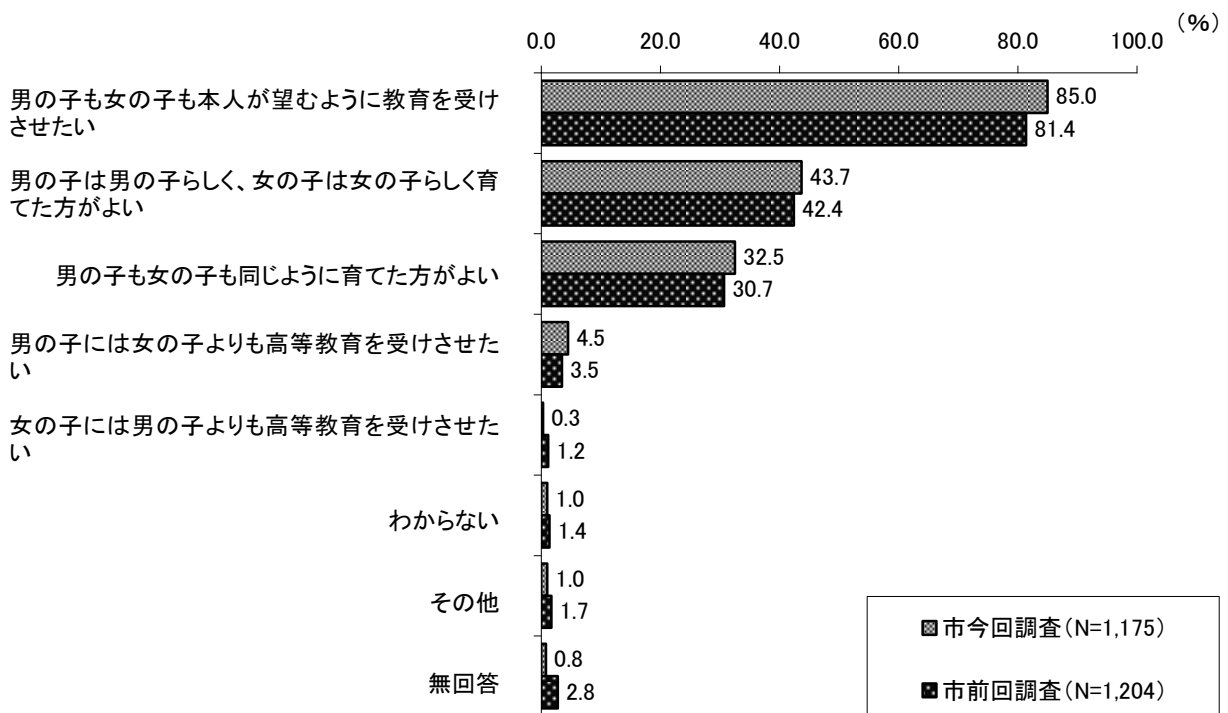
|              |               | (%)                       |                              |                      |                        |                        |       |     |
|--------------|---------------|---------------------------|------------------------------|----------------------|------------------------|------------------------|-------|-----|
| n=30以上の場合    |               | 男の子も女の子も本人が望むように教育を受けさせたい | 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てた方がよい | 男の子も女の子も同じように育てた方がよい | 男の子には女の子よりも高等教育を受けさせたい | 女の子には男の子よりも高等教育を受けさせたい | わからない | その他 |
| 全体 (N=1,175) |               | 85.0                      | 43.7                         | 32.5                 | 4.5                    | 0.3                    | 1.0   | 1.0 |
| 男性年齢別        | 20歳代 (n=38)   | 76.3                      | 52.6                         | 18.4                 | 2.6                    | 0.0                    | 2.6   | 0.0 |
|              | 30歳代 (n=59)   | 83.1                      | 59.3                         | 25.4                 | 5.1                    | 0.0                    | 0.0   | 1.7 |
|              | 40歳代 (n=62)   | 72.6                      | 46.8                         | 24.2                 | 6.5                    | 0.0                    | 3.2   | 0.0 |
|              | 50歳代 (n=82)   | 82.9                      | 41.5                         | 40.2                 | 0.0                    | 0.0                    | 0.0   | 1.2 |
|              | 60歳代 (n=122)  | 84.4                      | 50.8                         | 32.0                 | 5.7                    | 0.0                    | 0.8   | 0.0 |
|              | 70歳以上 (n=92)  | 80.4                      | 64.1                         | 23.9                 | 3.3                    | 0.0                    | 1.1   | 2.2 |
| 女性年齢別        | 20歳代 (n=58)   | 87.9                      | 20.7                         | 44.8                 | 1.7                    | 1.7                    | 0.0   | 1.7 |
|              | 30歳代 (n=130)  | 84.6                      | 34.6                         | 30.8                 | 6.2                    | 0.0                    | 0.8   | 1.5 |
|              | 40歳代 (n=114)  | 85.1                      | 28.1                         | 37.7                 | 6.1                    | 0.0                    | 0.0   | 0.9 |
|              | 50歳代 (n=127)  | 92.9                      | 34.6                         | 36.2                 | 2.4                    | 0.0                    | 0.8   | 2.4 |
|              | 60歳代 (n=166)  | 91.6                      | 43.4                         | 35.5                 | 3.6                    | 0.6                    | 1.2   | 0.6 |
|              | 70歳以上 (n=122) | 82.8                      | 56.6                         | 30.3                 | 8.2                    | 1.6                    | 2.5   | 0.0 |

※「無回答」は表記していない

■参考：前回調査との比較

前回調査と比較すると、全体としては大きな変化はみられない。

問 13. 子育てについて【全体】



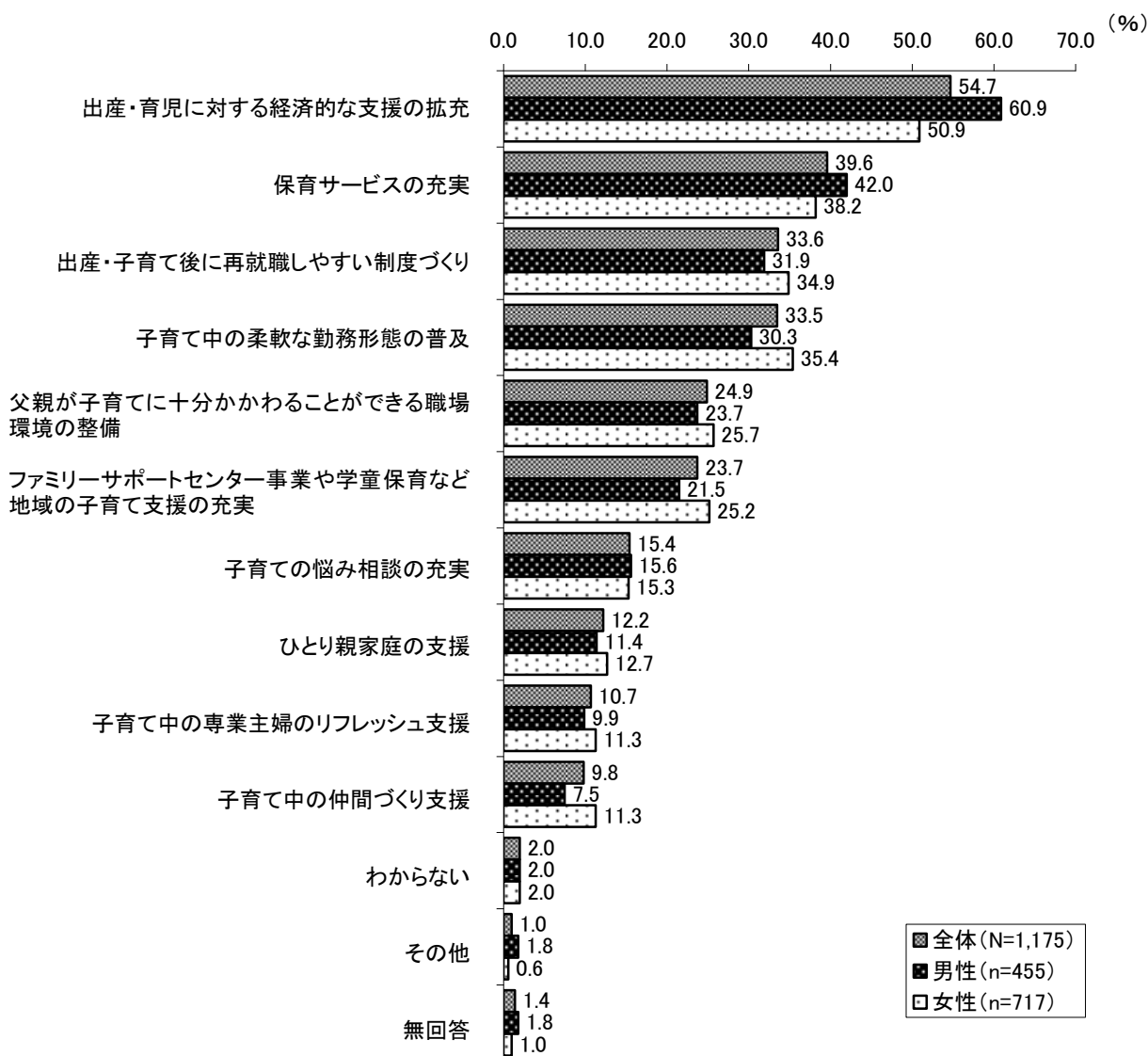
## 5. 安心して子どもを産み育てるために必要なこと

問 14. 安心して子どもを産み育てるためにはどんなことが必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)

全体では、「出産・育児に対する経済的な支援の拡充」が 54.7%で最も高く、次いで「保育サービスの充実」(39.6%)、「出産・子育て後に再就職しやすい制度づくり」(33.6%)、「子育て中の柔軟な勤務形態の普及」(33.5%)、「父親が子育てに十分かかわることができる職場環境の整備」(24.9%)、「ファミリーサポートセンター事業や学童保育など地域の子育て支援の充実」(23.7%)の順となっており、性別でも同様の傾向を示している。

性・年齢別では、男性 20 歳代で「出産・育児に対する経済的な支援の拡充」の割合が特に高くなっている。また、男性 20～30 歳代・女性 20・40 歳代で「子育て中の柔軟な勤務形態の普及」、女性 20 歳代で「父親が子育てに十分かかわることができる職場環境の整備」の割合が比較的高くなっている。

問 14. 安心して子どもを産み育てるために必要なこと【全体／性別】



問 14. 安心して子どもを産み育てるために必要なこと【性・年齢別】

| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 |              | 拡充          | 保育サービスの充実 | 出産・子育て後に再就職しやすい制度づくり | 子育て中の柔軟な勤務形態の普及 | 父親が子育てに十分かわることができる職場環境の整備 | 実学童保育など地域の子育て支援の充実 | 子育ての悩み相談の充実 | ひとり親家庭の支援 | 子育て中の専業主婦のリフレッシュ支援 | 子育て中の仲間づくり支援 |
|---|--------------|-------------|-----------|----------------------|-----------------|---------------------------|--------------------|-------------|-----------|--------------------|--------------|
|   |              | (%)         | (%)       | (%)                  | (%)             | (%)                       | (%)                | (%)         | (%)       | (%)                | (%)          |
| 全体 (N=1,175)  |              | 54.7        | 39.6      | 33.6                 | 33.5            | 24.9                      | 23.7               | 15.4        | 12.2      | 10.7               | 9.8          |
| 男性年齢別   | 20歳代 (n=38)  | 81.6        | 34.2      | 18.4                 | 44.7            | 28.9                      | 5.3                | 13.2        | 5.3       | 23.7               | 13.2         |
|   | 30歳代 (n=59)  | 64.4        | 42.4      | 18.6                 | 47.5            | 32.2                      | 22.0               | 13.6        | 8.5       | 13.6               | 10.2         |
|   | 40歳代 (n=62)  | 53.2        | 51.6      | 24.2                 | 25.8            | 19.4                      | 14.5               | 14.5        | 19.4      | 12.9               | 6.5          |
|   | 50歳代 (n=82)  | 65.9        | 45.1      | 39.0                 | 31.7            | 24.4                      | 29.3               | 19.5        | 9.8       | 6.1                | 8.5          |
|   | 60歳代 (n=122) | 58.2        | 42.6      | 40.2                 | 26.2            | 20.5                      | 23.0               | 16.4        | 12.3      | 6.6                | 4.9          |
|   | 70歳以上 (n=92) | 54.3        | 34.8      | 33.7                 | 20.7            | 22.8                      | 23.9               | 14.1        | 10.9      | 7.6                | 6.5          |
|   | 女性年齢別        | 20歳代 (n=58) | 56.9      | 44.8                 | 32.8            | 44.8                      | 37.9               | 19.0        | 13.8      | 15.5               | 10.3         |
| 30歳代 (n=130)  |              | 66.9        | 40.0      | 25.4                 | 42.3            | 31.5                      | 22.3               | 13.1        | 13.8      | 16.2               | 7.7          |
| 40歳代 (n=114)  |              | 43.0        | 36.0      | 28.1                 | 50.0            | 31.6                      | 32.5               | 16.7        | 17.5      | 11.4               | 9.6          |
| 50歳代 (n=127)  |              | 53.5        | 44.1      | 34.6                 | 37.0            | 24.4                      | 35.4               | 13.4        | 7.9       | 9.4                | 14.2         |
| 60歳代 (n=166)  |              | 47.0        | 38.6      | 43.4                 | 27.1            | 16.9                      | 23.5               | 14.5        | 7.8       | 9.6                | 12.0         |
| 70歳以上 (n=122)   |              | 41.0        | 28.7      | 41.0                 | 19.7            | 21.3                      | 16.4               | 20.5        | 17.2      | 10.7               | 13.1         |

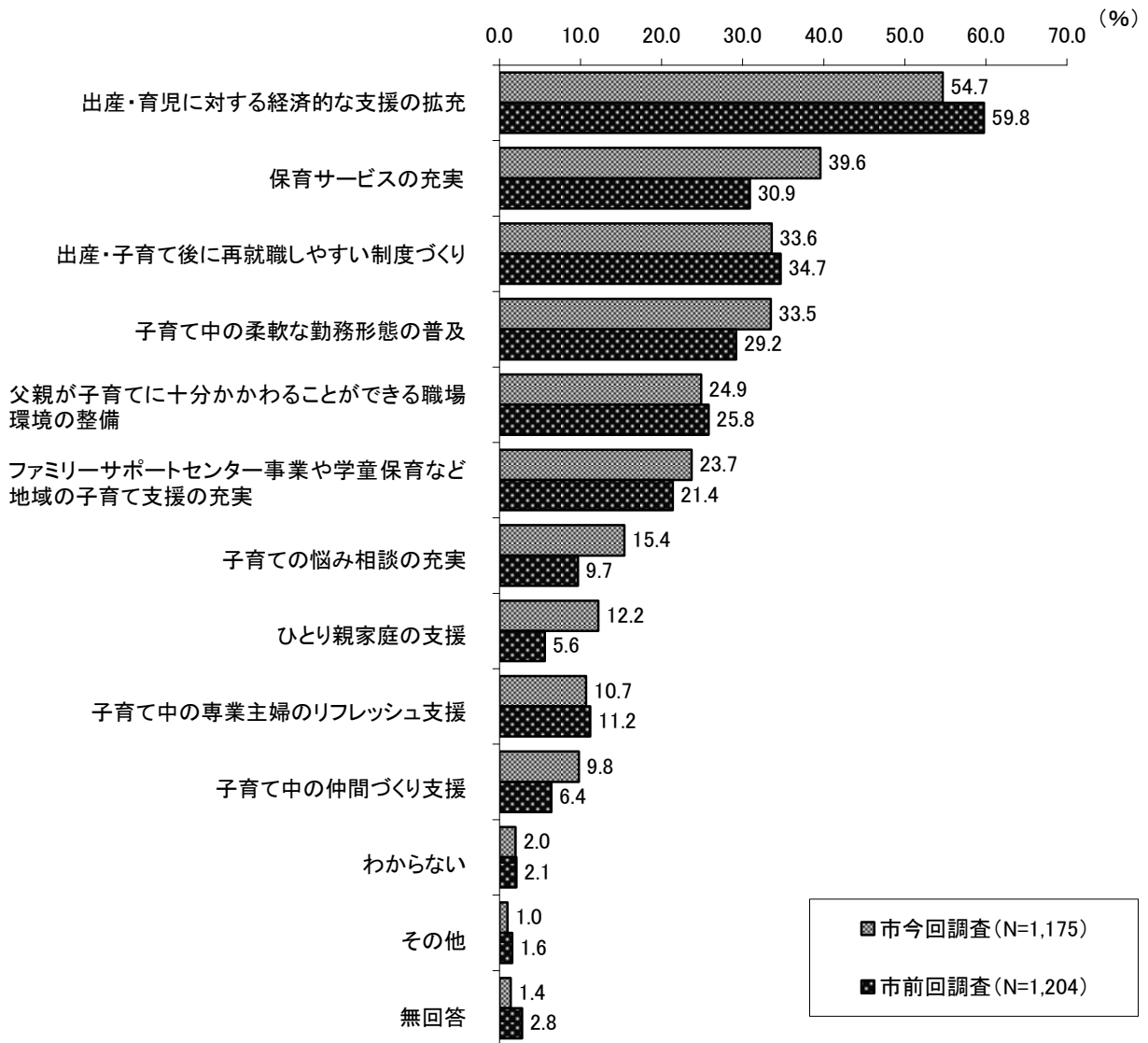
| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 |              | わからない       | その他 |
|---|--------------|-------------|-----|
| 全体 (N=1,175)  |              | 2.0         | 1.0 |
| 男性年齢別   | 20歳代 (n=38)  | 0.0         | 5.3 |
|   | 30歳代 (n=59)  | 1.7         | 1.7 |
|   | 40歳代 (n=62)  | 1.6         | 3.2 |
|   | 50歳代 (n=82)  | 1.2         | 2.4 |
|   | 60歳代 (n=122) | 0.8         | 0.0 |
|   | 70歳以上 (n=92) | 5.4         | 1.1 |
|   | 女性年齢別        | 20歳代 (n=58) | 0.0 |
| 30歳代 (n=130)  |              | 0.8         | 0.8 |
| 40歳代 (n=114)  |              | 0.9         | 1.8 |
| 50歳代 (n=127)  |              | 1.6         | 0.0 |
| 60歳代 (n=166)  |              | 3.0         | 0.6 |
| 70歳以上 (n=122)   |              | 4.1         | 0.0 |

※「無回答」は表記していない

■参考：前回調査との比較

前回調査と比較すると、「出産・育児に対する経済的な支援の拡充」が低くなっている一方で、「保育サービスの充実」、「子育ての悩み相談の充実」、「ひとり親家庭の支援」の割合が高くなっている。

問 14. 安心して子どもを産み育てるために必要なこと【全体】



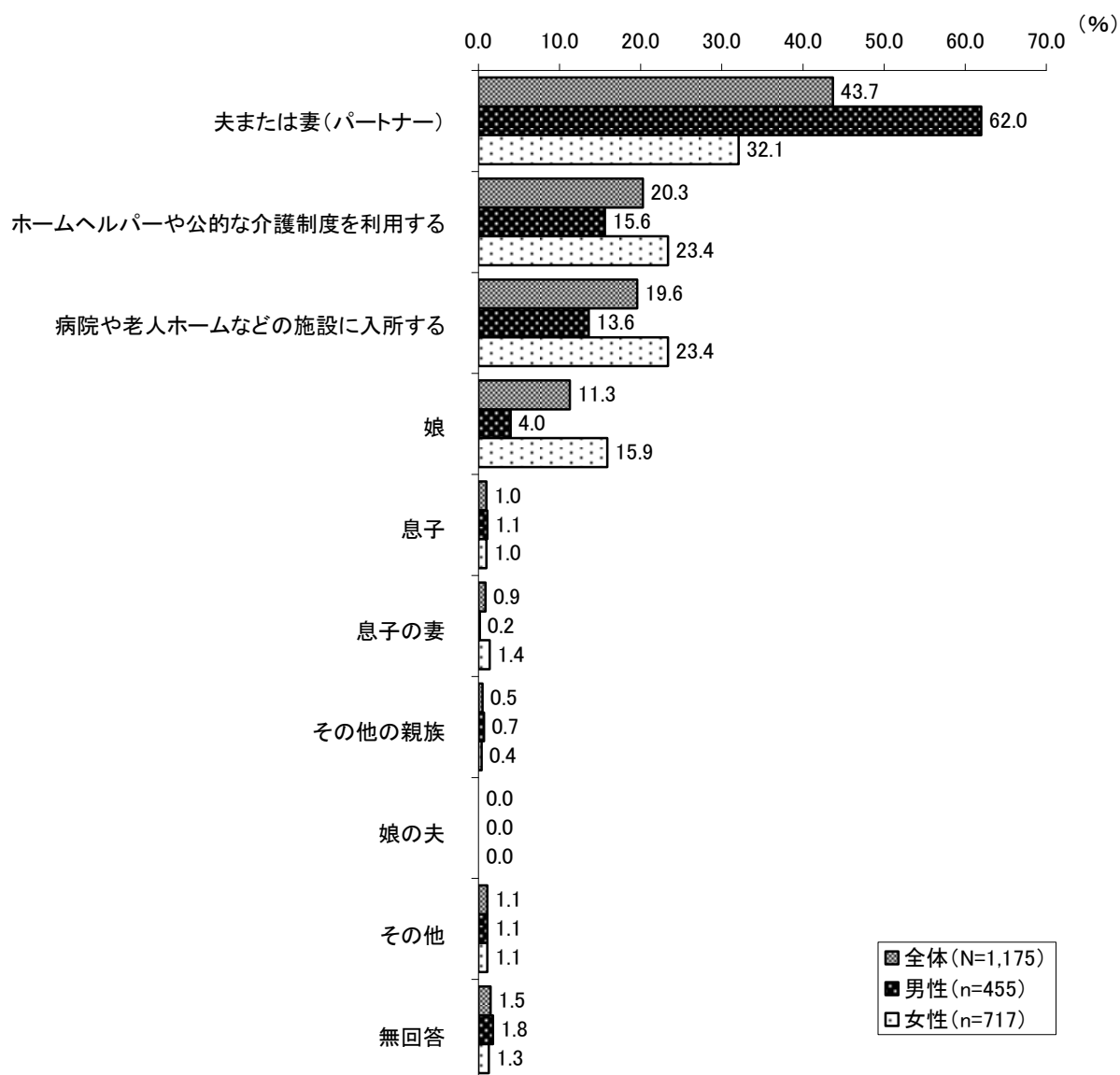
## 6. 望ましい介護方法

問 15. もし、あなたが介護が必要になったら、主にだれに世話をしてもらいたいですか。  
(〇は1つのみ)

全体では、「夫または妻（パートナー）」が43.7%で最も高く、次いで「ホームヘルパーや公的な介護制度を利用する」（20.3%）、「病院や老人ホームなどの施設に入所する」（19.6%）の順となっている。

性別では、男性は「夫または妻（パートナー）」の割合が圧倒的に高く、女性は「夫または妻（パートナー）」以外に「娘」の割合も比較的高い。

問 15. 望ましい介護方法【全体／性別】



7. 高齢者介護が女性の役割となりがちな現状について

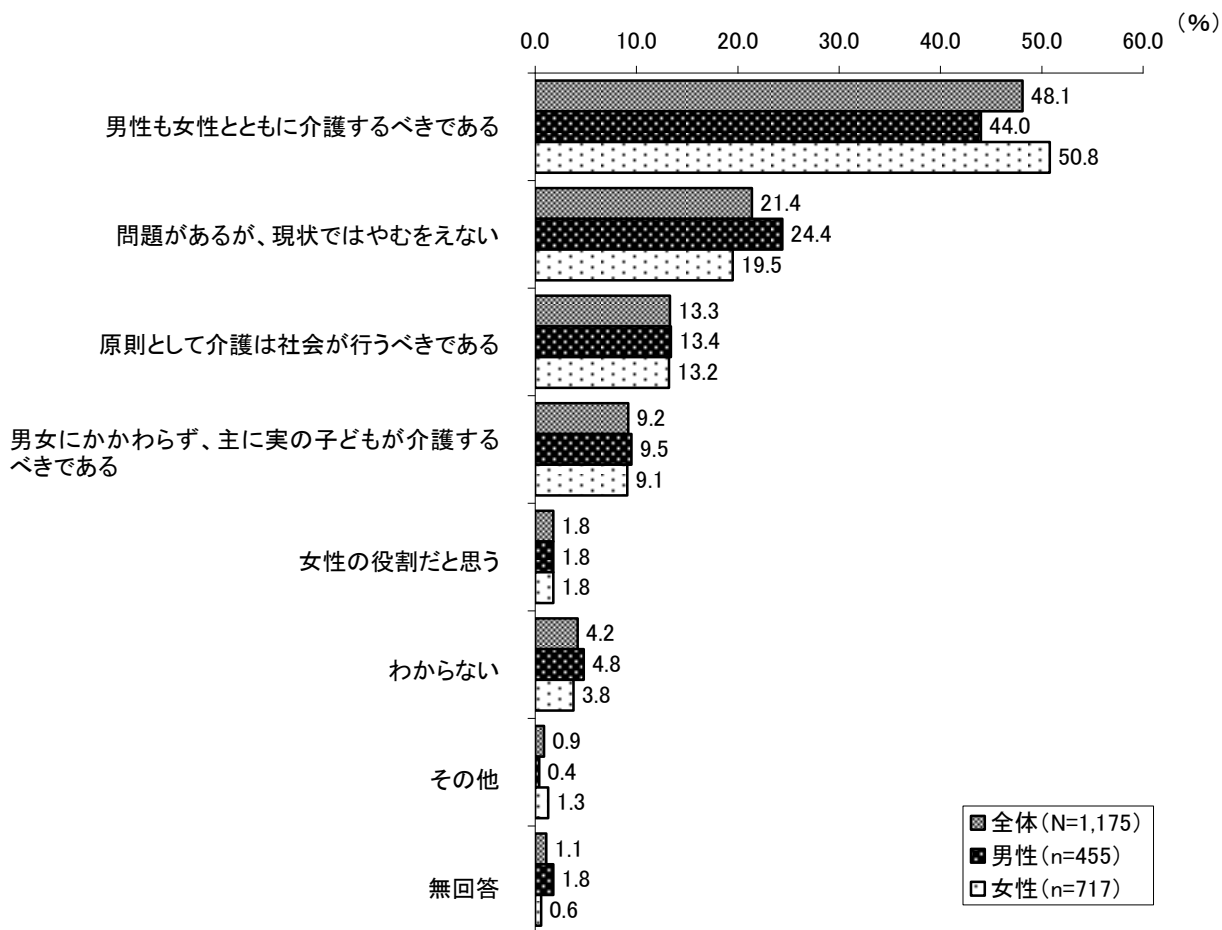
問 16. あなたは、高齢者介護が女性の役割となりがちな現状についてどのように考えますか。(〇は1つのみ)

全体では、「男性も女性とともに介護すべきである」が 48.1%で最も高く、次いで「問題があるが、現状ではやむをえない」(21.4%)、「原則として介護は社会が行うべきである」(13.3%) の順となっている。

性別では、男性で「男性も女性とともに介護すべきである」の割合がやや低くなっている。

性・年齢別では、男性 20 歳代で「問題があるが、現状ではやむをえない」、女性 50 歳代で「男性も女性とともに介護すべきである」の割合が比較的高い。

問 16. 高齢者介護が女性の役割となりがちな現状について【全体/性別】



問 16. 高齢者介護が女性の役割となりがちな現状について【性・年齢別】

|   |               | (%)  |  |  |   |                       |           |             |
|---|---------------|--|--|--|---|-----------------------|-----------|-------------|
| n=30以上の場合   |               | ある<br>男性も<br>女性と<br>ともに<br>介護す<br>るべき<br>で | い問<br>題があ<br>るが、<br>現状で<br>はやむ<br>をえな<br>い | ある<br>原則と<br>して介<br>護は社<br>会が行<br>うべき<br>で | が男<br>女にか<br>かわら<br>ず、主<br>に実の<br>子ども<br>が介<br>護する<br>べきで<br>ある | 女性<br>の役割<br>だと思<br>う | わか<br>らない | そ<br>の<br>他 |
| [比率の差]  |               |  |  |  |   |                       |           |             |
| <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 10px; height: 10px; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></div> <span>全体+10%以上</span><br/> <div style="width: 10px; height: 10px; background-color: #cccccc; border: 1px solid black; margin-right: 5px; margin-top: 5px;"></div> <span>全体-10%以下</span> </div> |               |  |  |  |   |                       |           |             |
| 全体 (N=1,175)  |               | 48.1                                       | 21.4                                       | 13.3                                       | 9.2   | 1.8                   | 4.2       | 0.9         |
| 男性<br>年<br>齢<br>別   | 20歳代 (n=38)   | 44.7                                       | 31.6                                       | 5.3  | 5.3   | 0.0                   | 10.5      | 0.0         |
|   | 30歳代 (n=59)   | 40.7                                       | 25.4                                       | 11.9                                       | 10.2  | 1.7                   | 10.2      | 0.0         |
|   | 40歳代 (n=62)   | 37.1                                       | 29.0                                       | 4.8  | 14.5  | 6.5                   | 4.8       | 1.6         |
|   | 50歳代 (n=82)   | 41.5                                       | 23.2                                       | 19.5                                       | 11.0  | 0.0                   | 3.7       | 1.2         |
|   | 60歳代 (n=122)  | 46.7                                       | 25.4                                       | 15.6                                       | 7.4   | 1.6                   | 2.5       | 0.0         |
|   | 70歳以上 (n=92)  | 48.9                                       | 17.4                                       | 15.2                                       | 8.7   | 1.1                   | 3.3       | 0.0         |
| 女性<br>年<br>齢<br>別   | 20歳代 (n=58)   | 50.0                                       | 13.8                                       | 17.2                                       | 6.9   | 0.0                   | 8.6       | 3.4         |
|   | 30歳代 (n=130)  | 45.4                                       | 23.8                                       | 10.0                                       | 15.4  | 0.8                   | 3.1       | 1.5         |
|   | 40歳代 (n=114)  | 52.6                                       | 21.1                                       | 10.5                                       | 11.4  | 0.0                   | 1.8       | 2.6         |
|   | 50歳代 (n=127)  | 58.3                                       | 17.3                                       | 12.6                                       | 7.1   | 1.6                   | 2.4       | 0.8         |
|   | 60歳代 (n=166)  | 54.2                                       | 19.9                                       | 13.3                                       | 6.0   | 2.4                   | 3.0       | 0.0         |
|   | 70歳以上 (n=122) | 42.6                                       | 18.0                                       | 18.0                                       | 7.4   | 4.9                   | 6.6       | 0.8         |

※「無回答」は表記していない

## 【4】社会参加活動について

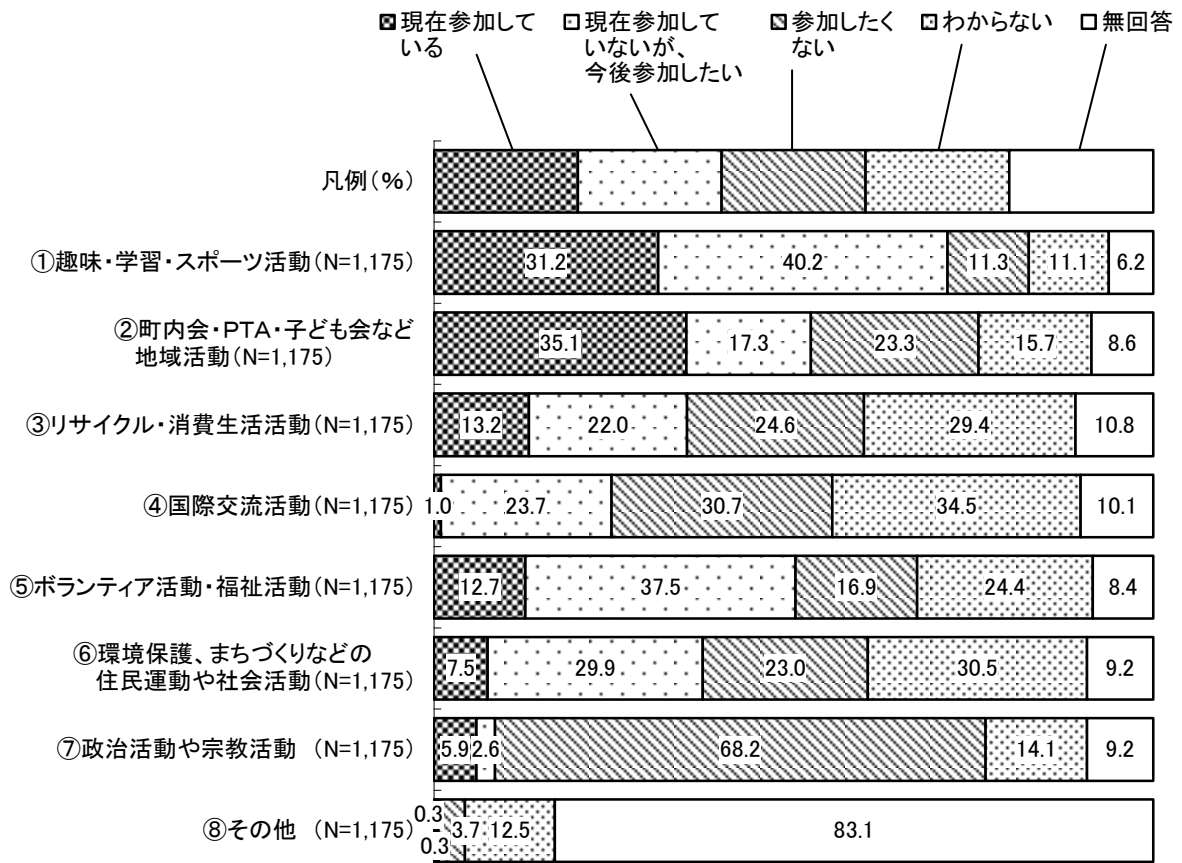
### 1. 社会活動への参加状況・参加意向

問 17. あなたは、次のような活動に参加していますか。また、今後参加したい活動はありますか。(〇は各1つずつ)

「現在参加している」割合が高い活動は、「②町内会・PTA・子ども会など地域活動」(35.1%)、「①趣味・学習・スポーツ活動」(31.2%)である。「現在参加していないが、今後は参加したい」割合が高い活動は、「①趣味・学習・スポーツ活動」(40.2%)、「⑤ボランティア活動・福祉活動」(37.5%)、「⑥環境保護、まちづくりなどの住民運動や社会運動」(29.9%)である。一方、「参加したくない」割合については、「⑦政治活動や宗教活動」(68.2%)が特に高くなっている。

性・年齢別では、男女40歳代で「②町内会・PTA・子ども会など地域活動」、男女60歳以上で「①趣味・学習・スポーツ活動」に「現在参加している」割合がそれぞれ高くなっている。また、女性20歳代で、「①趣味・学習・スポーツ活動」、「④国際交流活動」、「⑤ボランティア活動・福祉活動」への参加意向が強い。

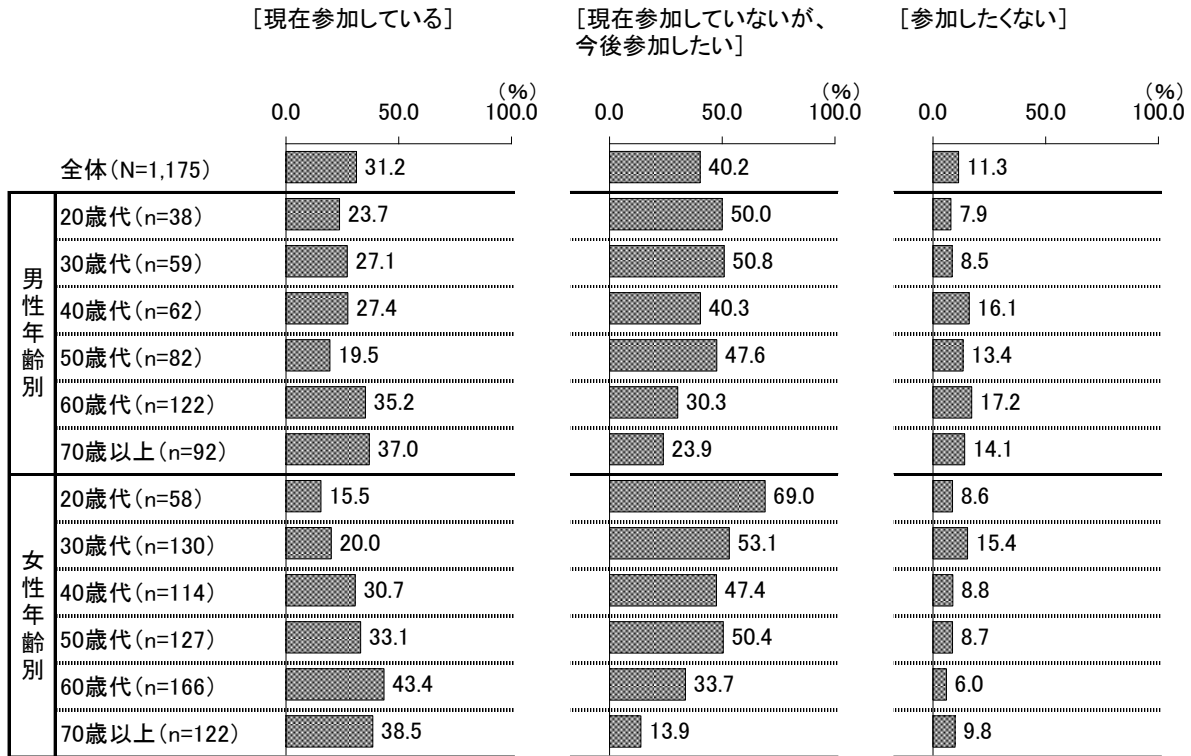
問 17. 社会活動への参加状況・参加意向【全体】



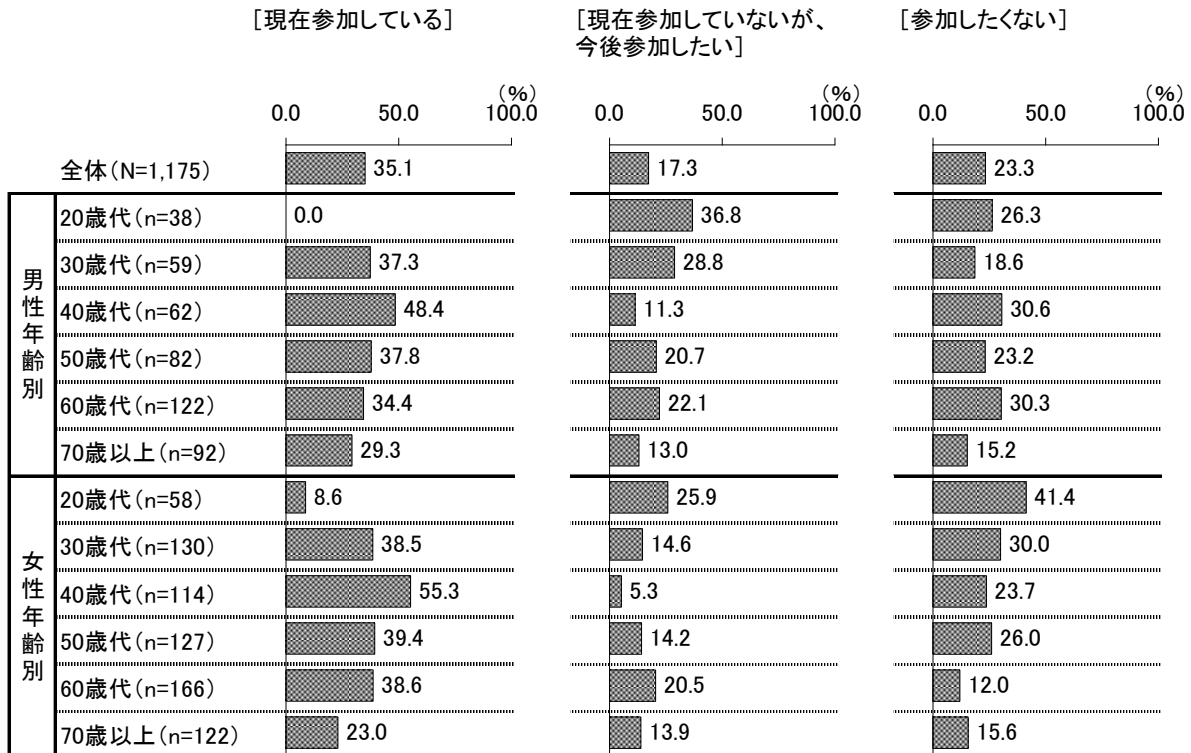


問 17. 社会活動への参加状況・参加意向【性・年齢別】

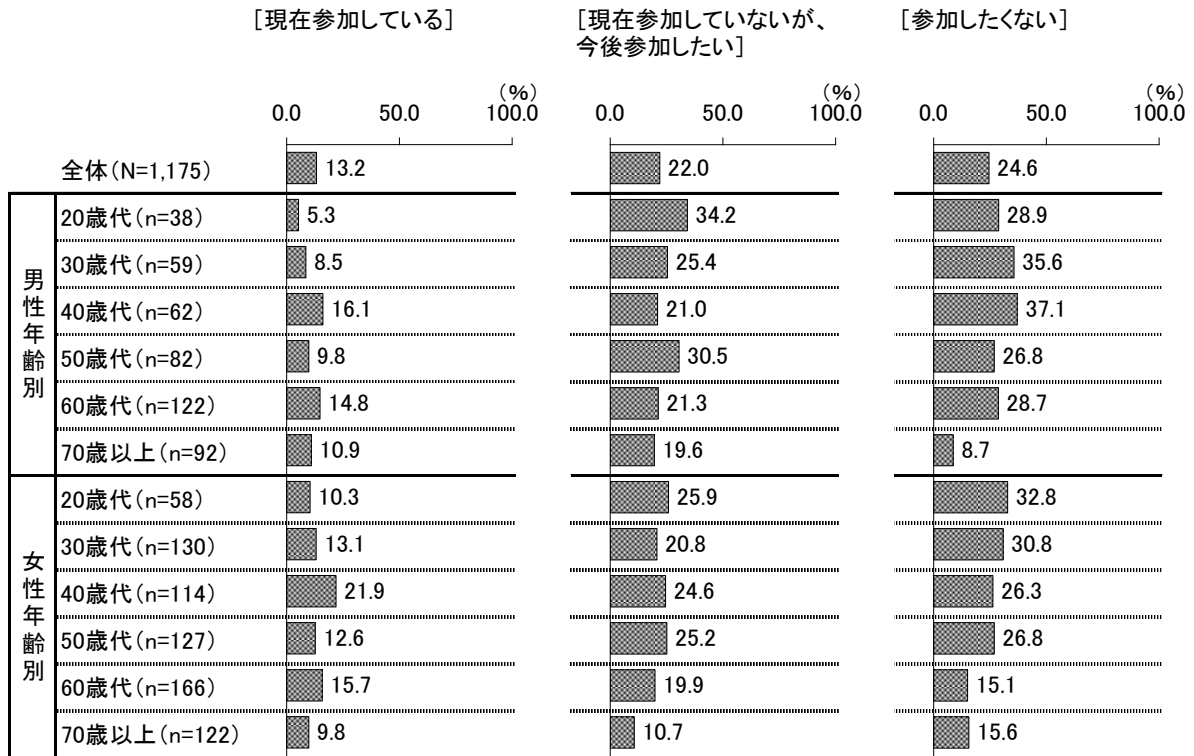
①趣味・学習・スポーツ活動



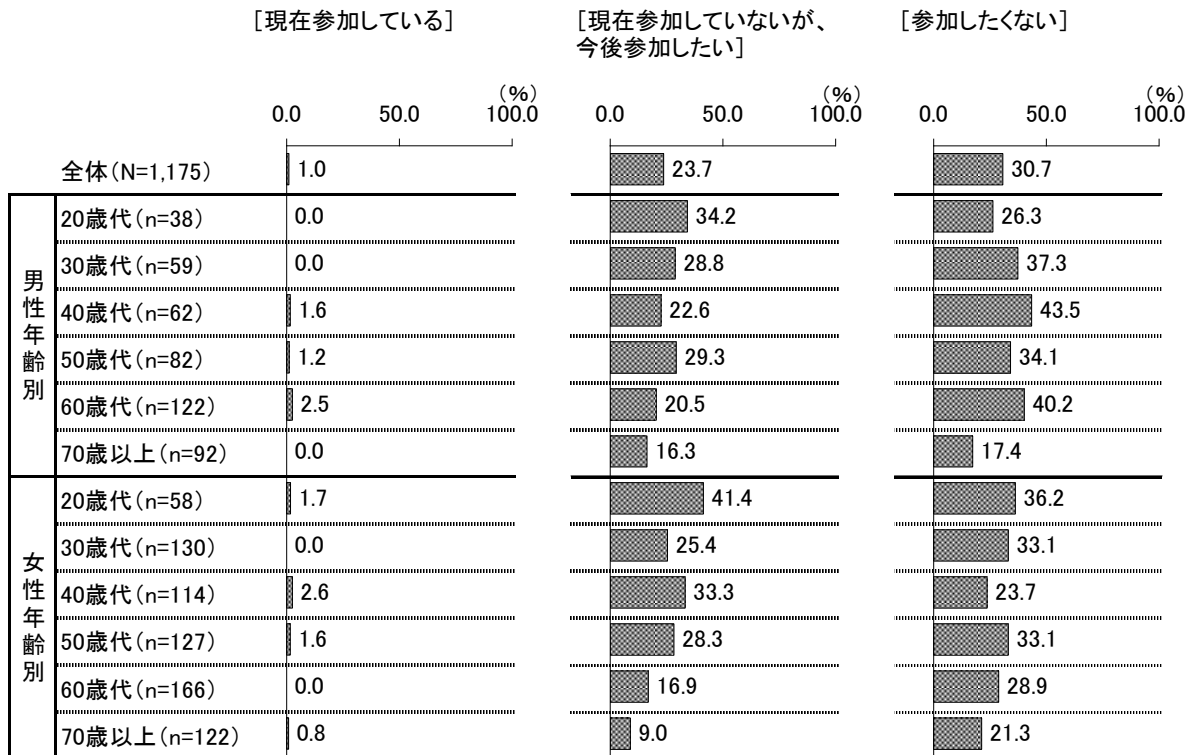
②町内会・PTA・子ども会など地域活動



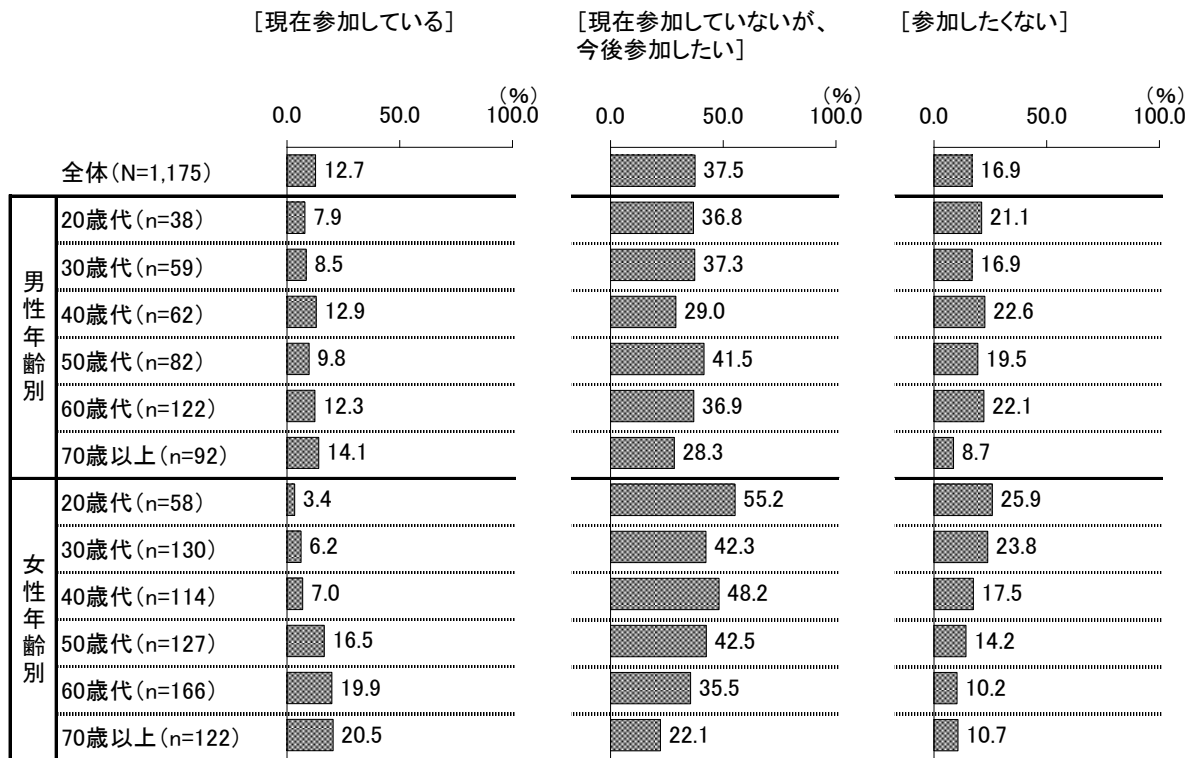
③リサイクル・消費生活活動



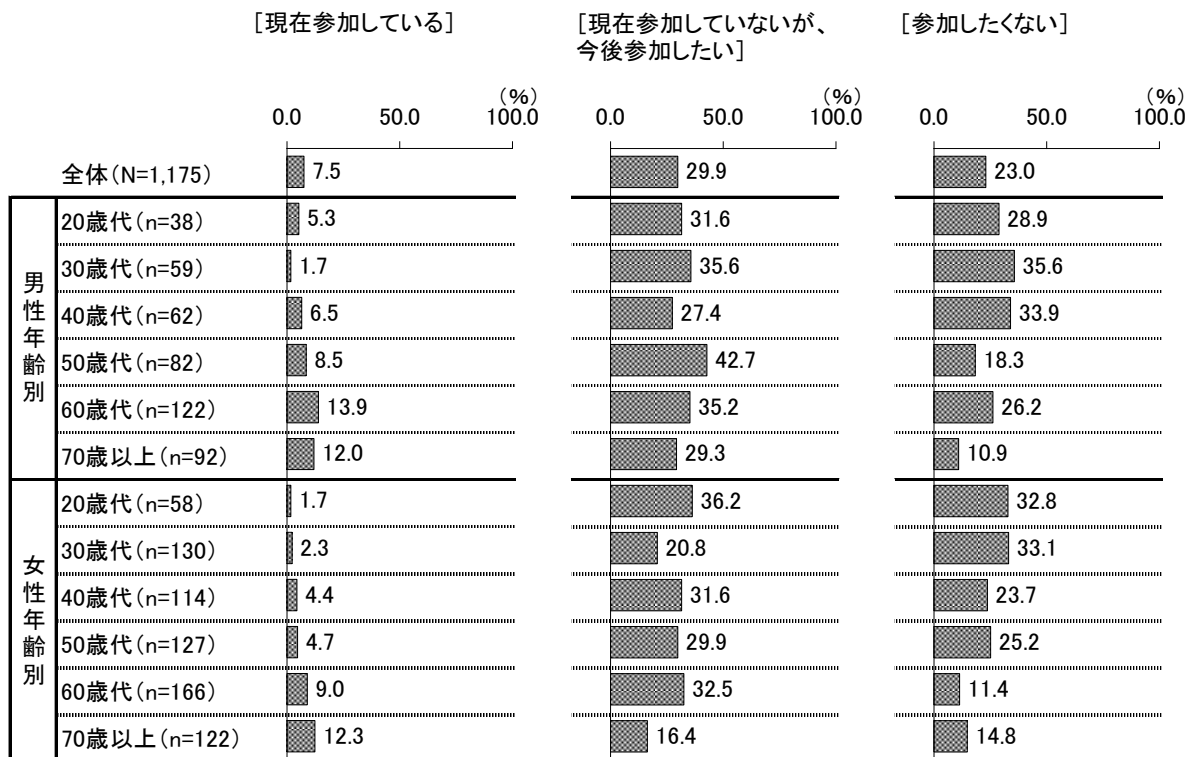
④国際交流活動



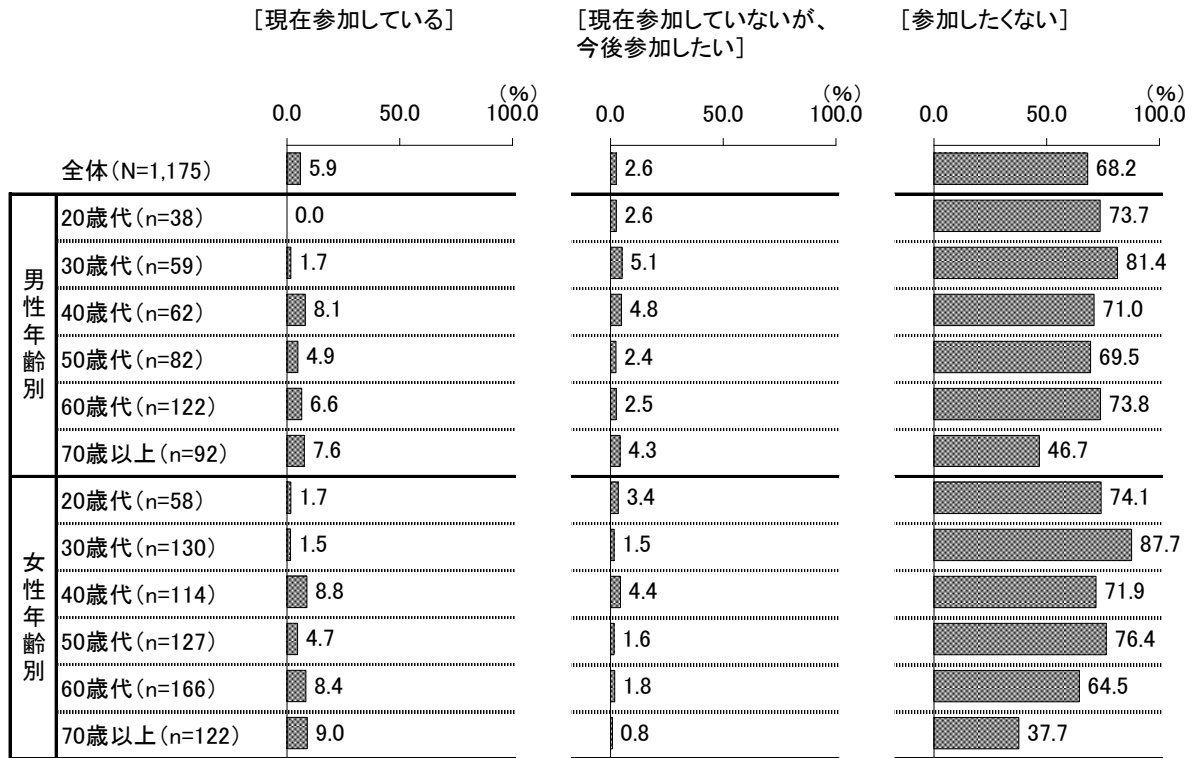
⑤ ボランティア活動・福祉活動



⑥ 環境保護、まちづくりなどの住民運動や社会活動



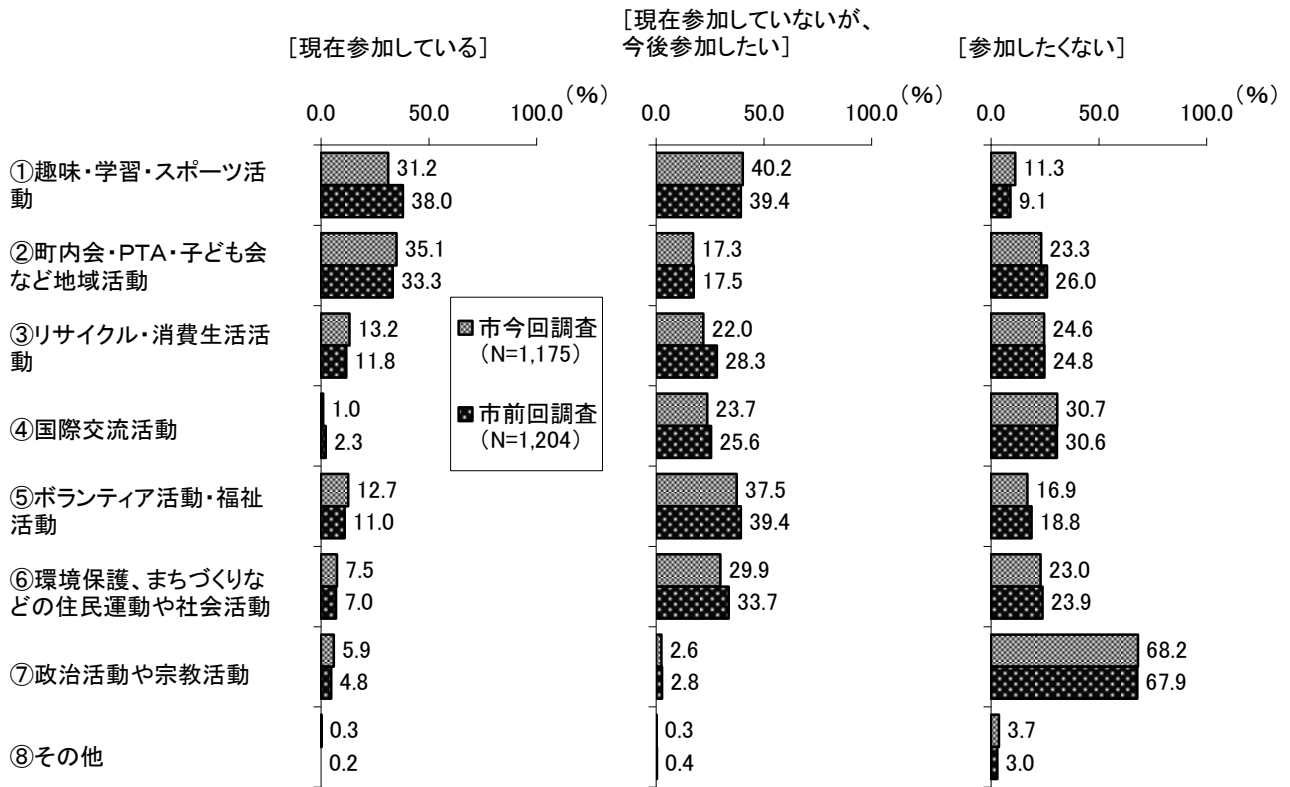
⑦政治活動や宗教活動



■参考：前回調査との比較

前回調査と比較すると、全体としては大きな変化はみられないが、「①趣味・学習・スポーツ活動」で「現在参加している」割合、「③リサイクル・消費生活活動」で「現在参加していないが、今後参加したい」割合がそれぞれやや減少している。

問17. 社会活動への参加状況・参加意向【全体】



## 2. 社会活動に参加する上で支障となること

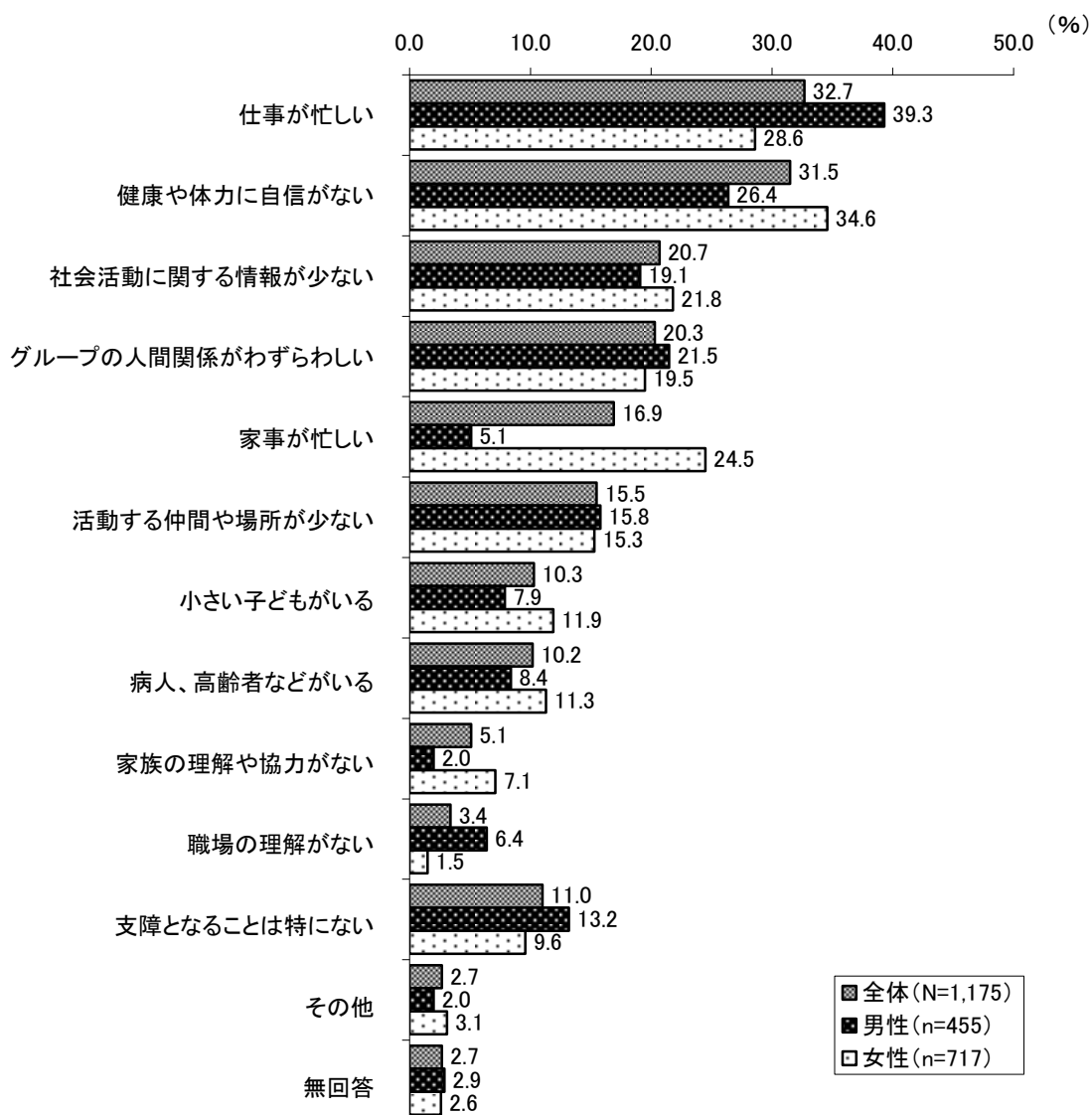
問 18. あなたが社会活動に参加しようとする上で、支障となることはどのようなことですか。  
(〇はいくつでも)

全体では、「仕事が忙しい」が 32.7%で最も高く、次いで「健康や体力に自信がない」(31.5%)、「社会活動に関する情報が少ない」(20.7%)、「グループの人間関係がわずらわしい」(20.3%)の順となっている。

性別では、女性で「家事が忙しい」の割合が高い。

性・年齢別では、男性 20～50 歳代・女性 40 歳代で「仕事が忙しい」、女性 30～40 歳代で「家事が忙しい」の割合が高く、男女ともおおむね年齢が上がるほど「健康や体力に自信がない」の割合も高くなる傾向がみられる。また、男性 20 歳代で「グループの人間関係がわずらわしい」、女性 20 歳代で「社会活動に関する情報が少ない」、「活動する仲間や場所が少ない」の割合がそれぞれ高くなっている。

問 18. 社会活動に参加する上で支障となること【全体/性別】



問 18. 社会活動に参加する上で支障となること【性・年齢別】

|   |              | (%)          |             |                |                  |        |               |           |             |              |          |
|---|--------------|--------------|-------------|----------------|------------------|--------|---------------|-----------|-------------|--------------|----------|
| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 |              | 仕事が忙しい       | 健康や体力に自信がない | 社会活動に関する情報が少ない | グループの人間関係がわずらわしい | 家事が忙しい | 活動する仲間や場所が少ない | 小さい子どもがいる | 病人、高齢者などがある | 家族の理解や協力が少ない | 職場の理解がない |
|   |              | 全体 (N=1,175) |             | 32.7           | 31.5             | 20.7   | 20.3          | 16.9      | 15.5        | 10.3         | 10.2     |
| 男性<br>年齢別   | 20歳代 (n=38)  | 55.3         | 0.0         | 23.7           | 31.6             | 5.3    | 23.7          | 13.2      | 5.3         | 2.6          | 10.5     |
|   | 30歳代 (n=59)  | 69.5         | 11.9        | 30.5           | 27.1             | 6.8    | 22.0          | 27.1      | 0.0         | 5.1          | 16.9     |
|   | 40歳代 (n=62)  | 66.1         | 9.7         | 19.4           | 22.6             | 4.8    | 11.3          | 11.3      | 6.5         | 1.6          | 12.9     |
|   | 50歳代 (n=82)  | 58.5         | 23.2        | 18.3           | 19.5             | 8.5    | 13.4          | 3.7       | 9.8         | 0.0          | 4.9      |
|   | 60歳代 (n=122) | 19.7         | 34.4        | 17.2           | 20.5             | 1.6    | 16.4          | 2.5       | 9.8         | 2.5          | 2.5      |
|   | 70歳以上 (n=92) | 4.3          | 50.0        | 13.0           | 16.3             | 5.4    | 13.0          | 2.2       | 13.0        | 1.1          | 0.0      |
|   | 女性<br>年齢別    | 20歳代 (n=58)  | 41.4        | 24.1           | 32.8             | 22.4   | 20.7          | 34.5      | 25.9        | 6.9          | 8.6      |
| 30歳代 (n=130)  |              | 36.9         | 19.2        | 26.2           | 24.6             | 36.9   | 14.6          | 43.1      | 0.8         | 8.5          | 1.5      |
| 40歳代 (n=114)  |              | 45.6         | 21.9        | 28.1           | 23.7             | 36.8   | 19.3          | 7.9       | 9.6         | 7.0          | 2.6      |
| 50歳代 (n=127)  |              | 33.9         | 29.9        | 26.8           | 23.6             | 22.8   | 13.4          | 0.8       | 21.3        | 11.8         | 0.8      |
| 60歳代 (n=166)  |              | 17.5         | 43.4        | 16.3           | 13.3             | 20.5   | 10.2          | 2.4       | 14.5        | 5.4          | 0.6      |
| 70歳以上 (n=122)   |              | 7.4          | 60.7        | 8.2            | 13.1             | 9.0    | 12.3          | 0.0       | 11.5        | 2.5          | 0.0      |

|   |              | 支障となることは特にない | その他 |
|---|--------------|--------------|-----|
| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 |              |              |     |
| 全体 (N=1,175)  |              | 11.0         | 2.7 |
| 男性<br>年齢別   | 20歳代 (n=38)  | 13.2         | 0.0 |
|   | 30歳代 (n=59)  | 1.7          | 3.4 |
|   | 40歳代 (n=62)  | 9.7          | 1.6 |
|   | 50歳代 (n=82)  | 9.8          | 2.4 |
|   | 60歳代 (n=122) | 22.1         | 2.5 |
|   | 70歳以上 (n=92) | 14.1         | 1.1 |
|   | 女性<br>年齢別    | 20歳代 (n=58)  | 8.6 |
| 30歳代 (n=130)  |              | 7.7          | 1.5 |
| 40歳代 (n=114)  |              | 7.9          | 4.4 |
| 50歳代 (n=127)  |              | 9.4          | 1.6 |
| 60歳代 (n=166)  |              | 14.5         | 0.6 |
| 70歳以上 (n=122)   |              | 7.4          | 8.2 |

※「無回答」は表記していない

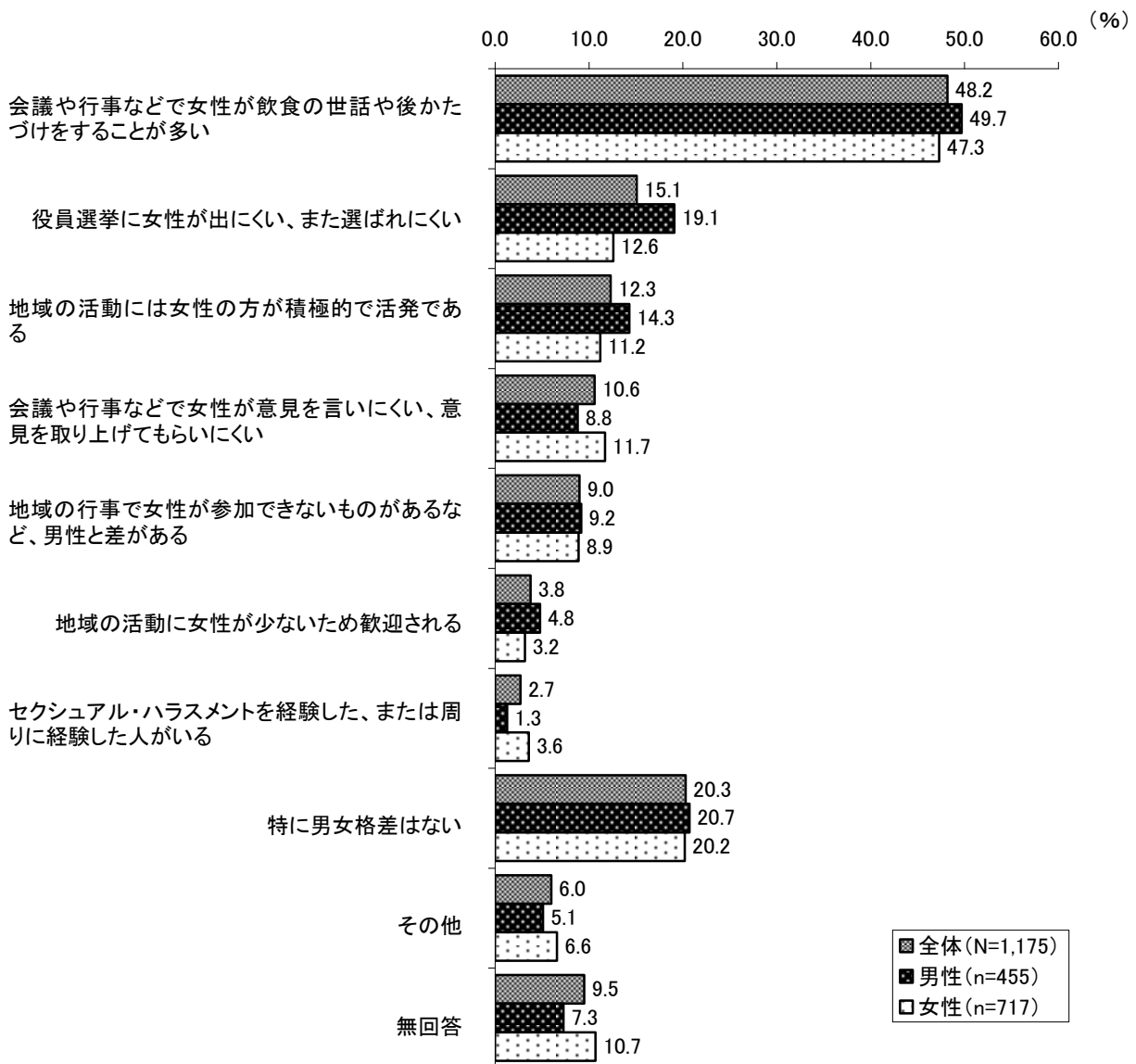
### 3. 地域の現状

問 19. あなたの住んでいる地域でのさまざまな活動において、次のようなことがありますか。  
(〇はいくつでも)

全体では、「会議や行事などで女性が飲食の世話や後かたづけをすることが多い」が 48.2%で最も高く、次いで「役員選挙に女性が出にくい、また選ばれにくい」(15.1%)の順となっており、「特に男女格差はない」は2割となっている。

性別では、男性で「役員選挙に女性が出にくい、また選ばれにくい」の割合がやや高い。

問 19. 地域の現状【全体／性別】





#### 4. 男女が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと

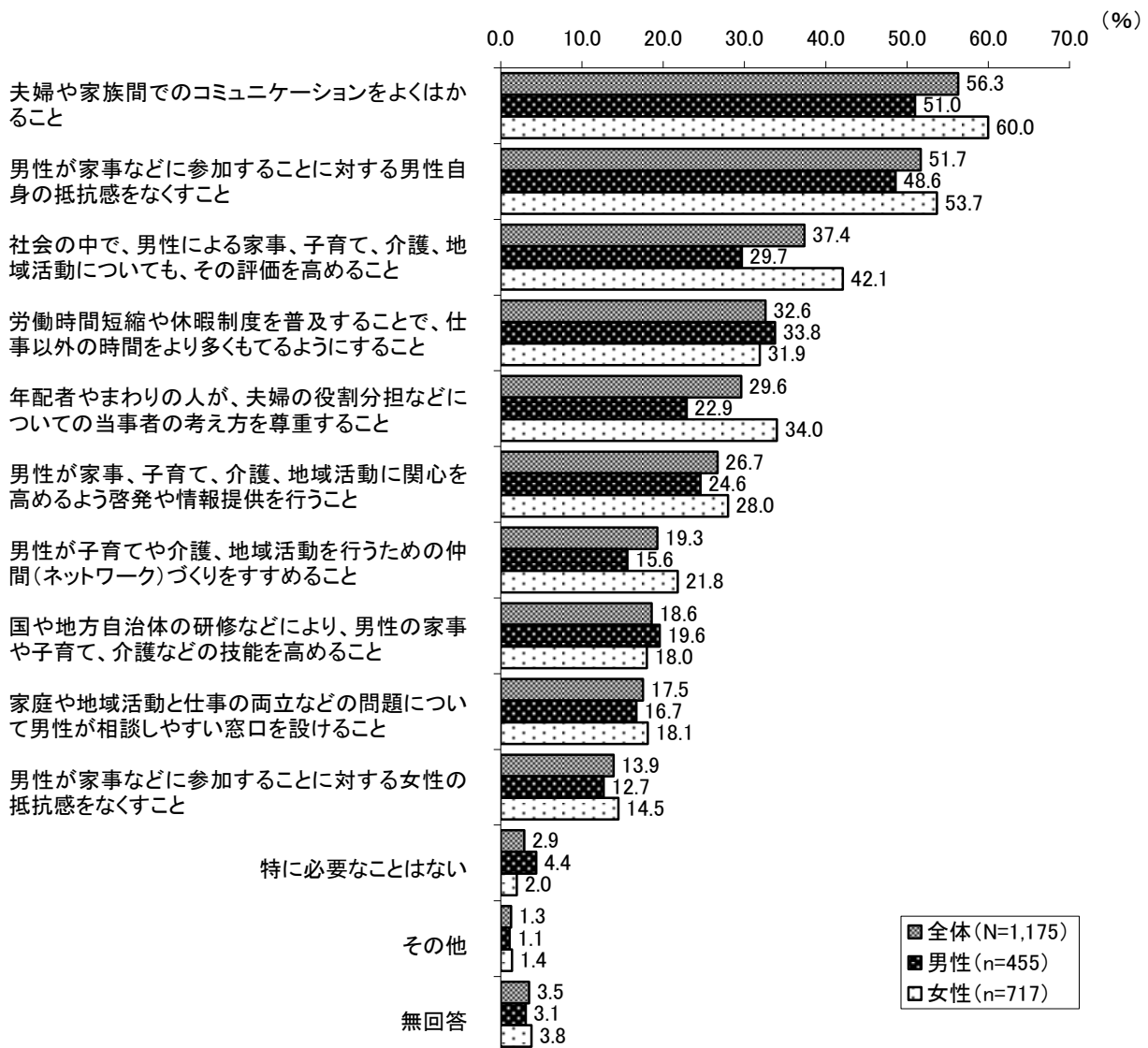
問 20. あなたは、今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が56.3%で最も高く、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(51.7%)、「社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること」(37.4%)、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること」(32.6%)の順となっている。

性別では、女性で「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」、「社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること」、「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること」の割合が比較的高い。

性・年齢別では、女性20歳代で「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」、女性20～40歳代で「社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること」、女性40歳代で「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること」の割合がそれぞれ高い。また、男性30歳代以下・女性30～40歳代で「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること」の割合が高くなっている。

問 20. 男女が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと【全体／性別】



問 20. 男女が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと【性・年齢別】

|   |              | (%)                       |                   |                   |   |                    |                        |                                      |                                     |                                     |                         |   |                         |   |                   |
|---|--------------|---------------------------|-------------------|-------------------|---|--------------------|------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------|---|-------------------------|---|-------------------|
| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 |              | 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること | 男性が家事などの抵抗感をなくすこと | 男性が家事などの抵抗感をなくすこと | 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること | 労働時間短縮や休暇制度を普及すること | 分業やまわりの人が、夫の考え方を尊重すること | 年配者や子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと | 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーキング）づくり | 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーキング）づくり | 男性の家事や子育て、介護などの技能を高めること | 国や地方自治体の研修などにより、男性の家事や子育て、介護などの技能を高めること | 問題について男性が相談しやすい窓口を設けること | 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について男性が相談しやすい窓口を設けること | 男性が家事などの抵抗感をなくすこと |
|   |              | 全体 (N=1,175)              |                   | 56.3              | 51.7                                      | 37.4               | 32.6                   | 29.6                                 | 26.7                                | 19.3                                | 18.6                    | 17.5                                    | 13.9                    | 21.1                                    | 21.1              |
| 男性年齢別   | 20歳代 (n=38)  | 60.5                      | 47.4              | 36.8              | 52.6                                      | 18.4               | 18.4                   | 13.2                                 | 21.1                                | 21.1                                | 21.1                    | 21.1                                    | 21.1                    | 21.1                                    |                   |
|   | 30歳代 (n=59)  | 52.5                      | 50.8              | 44.1              | 54.2                                      | 23.7               | 32.2                   | 20.3                                 | 25.4                                | 16.9                                | 13.6                    | 16.9                                    | 16.9                    | 13.6                                    |                   |
|   | 40歳代 (n=62)  | 54.8                      | 46.8              | 32.3              | 33.9                                      | 24.2               | 21.0                   | 8.1                                  | 14.5                                | 16.1                                | 9.7                     | 16.1                                    | 16.1                    | 9.7                                     |                   |
|   | 50歳代 (n=82)  | 46.3                      | 40.2              | 28.0              | 36.6                                      | 18.3               | 14.6                   | 14.6                                 | 17.1                                | 17.1                                | 7.3                     | 17.1                                    | 17.1                    | 7.3                                     |                   |
|   | 60歳代 (n=122) | 47.5                      | 53.3              | 26.2              | 27.0                                      | 20.5               | 30.3                   | 18.0                                 | 18.0                                | 14.8                                | 10.7                    | 18.0                                    | 14.8                    | 10.7                                    |                   |
|   | 70歳以上 (n=92) | 52.2                      | 50.0              | 21.7              | 19.6                                      | 30.4               | 26.1                   | 16.3                                 | 22.8                                | 17.4                                | 18.5                    | 22.8                                    | 17.4                    | 18.5                                    |                   |
|   | 女性年齢別        | 20歳代 (n=58)               | 62.1              | 62.1              | 53.4                                      | 41.4               | 37.9                   | 36.2                                 | 20.7                                | 10.3                                | 17.2                    | 13.8                                    | 17.2                    | 17.2                                    | 13.8              |
| 30歳代 (n=130)  | 60.0         | 52.3                      | 47.7              | 45.4              | 37.7                                      | 29.2               | 23.8                   | 23.1                                 | 20.0                                | 10.8                                | 23.1                    | 20.0                                    | 10.8                    |   |                   |
| 40歳代 (n=114)  | 57.9         | 57.9                      | 49.1              | 44.7              | 42.1                                      | 33.3               | 25.4                   | 19.3                                 | 21.1                                | 15.8                                | 19.3                    | 21.1                                    | 15.8                    |   |                   |
| 50歳代 (n=127)  | 58.3         | 59.1                      | 38.6              | 31.5              | 34.6                                      | 26.0               | 20.5                   | 18.9                                 | 10.2                                | 15.0                                | 18.9                    | 10.2                                    | 15.0                    |   |                   |
| 60歳代 (n=166)  | 59.6         | 50.0                      | 37.3              | 20.5              | 29.5                                      | 25.9               | 19.3                   | 13.9                                 | 15.7                                | 14.5                                | 13.9                    | 15.7                                    | 14.5                    |   |                   |
| 70歳以上 (n=122)   | 63.1         | 46.7                      | 34.4              | 17.2              | 26.2                                      | 23.0               | 21.3                   | 19.7                                 | 25.4                                | 17.2                                | 23.0                    | 21.3                                    | 19.7                    | 25.4                                    |                   |

| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 |              | 特に必要なことはない  | その他 |
|---|--------------|-------------|-----|
| 全体 (N=1,175)  |              | 2.9         | 1.3 |
| 男性年齢別   | 20歳代 (n=38)  | 2.6         | 0.0 |
|   | 30歳代 (n=59)  | 0.0         | 1.7 |
|   | 40歳代 (n=62)  | 8.1         | 1.6 |
|   | 50歳代 (n=82)  | 4.9         | 1.2 |
|   | 60歳代 (n=122) | 4.1         | 0.8 |
|   | 70歳以上 (n=92) | 5.4         | 1.1 |
|   | 女性年齢別        | 20歳代 (n=58) | 1.7 |
| 30歳代 (n=130)  |              | 2.3         | 4.6 |
| 40歳代 (n=114)  |              | 0.9         | 0.9 |
| 50歳代 (n=127)  |              | 2.4         | 0.8 |
| 60歳代 (n=166)  |              | 1.8         | 0.6 |
| 70歳以上 (n=122)   |              | 2.5         | 0.8 |

※「無回答」は表記していない

## 【5】ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

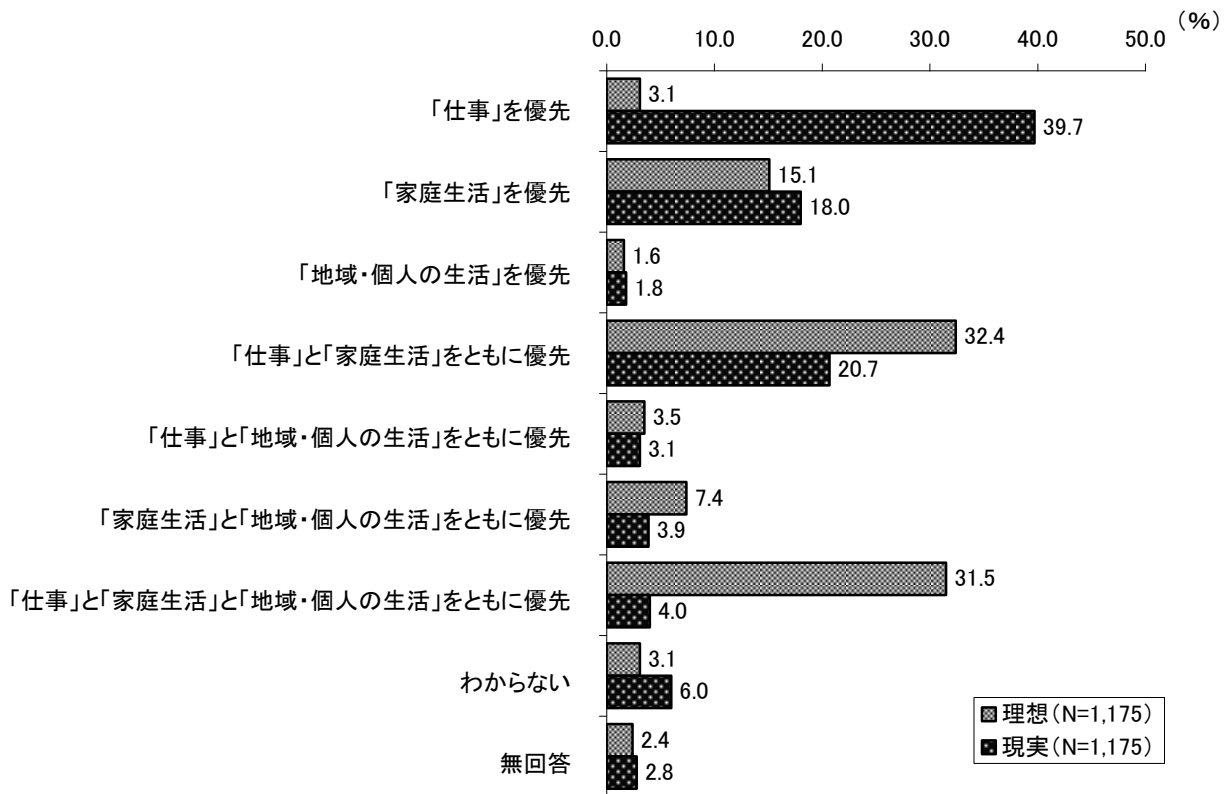
### 1. 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の理想と現実

問 21. あなたが生活していく中で、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、どのような状態が理想だと考えますか。また、実際の状況（現実）はどうか。（〇は各1つずつ）

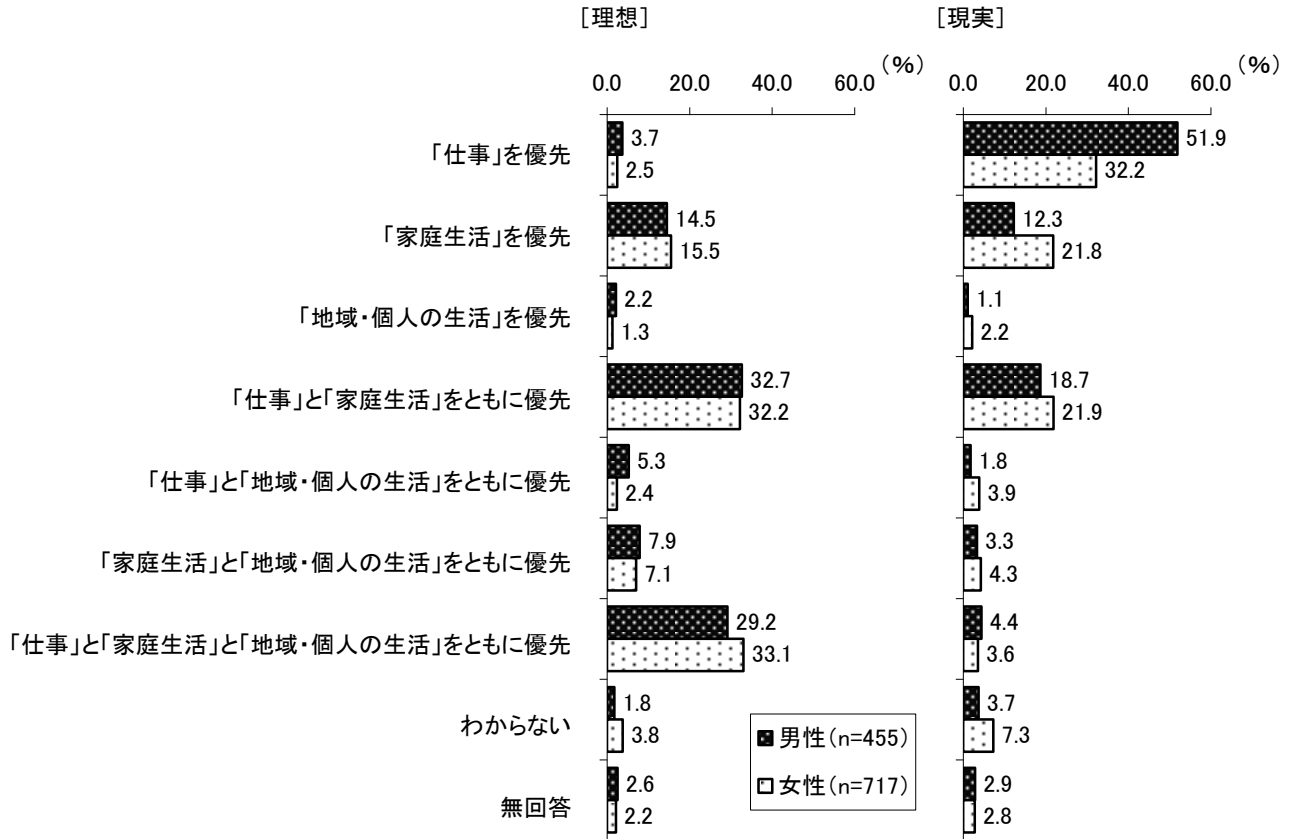
「理想」は、「仕事と家庭生活をともに優先」（32.4%）、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先」（31.5%）が高いが、「現実」は「仕事を優先」（39.7%）が最も高くなっている。

性別で見ると、「理想」は男女とも全体と同様の傾向を示しているが、「現実」は、特に男性で「仕事を優先」の割合が高くなっている。

問 21. 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の理想と現実【全体】



問 21. 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の理想と現実【性別】

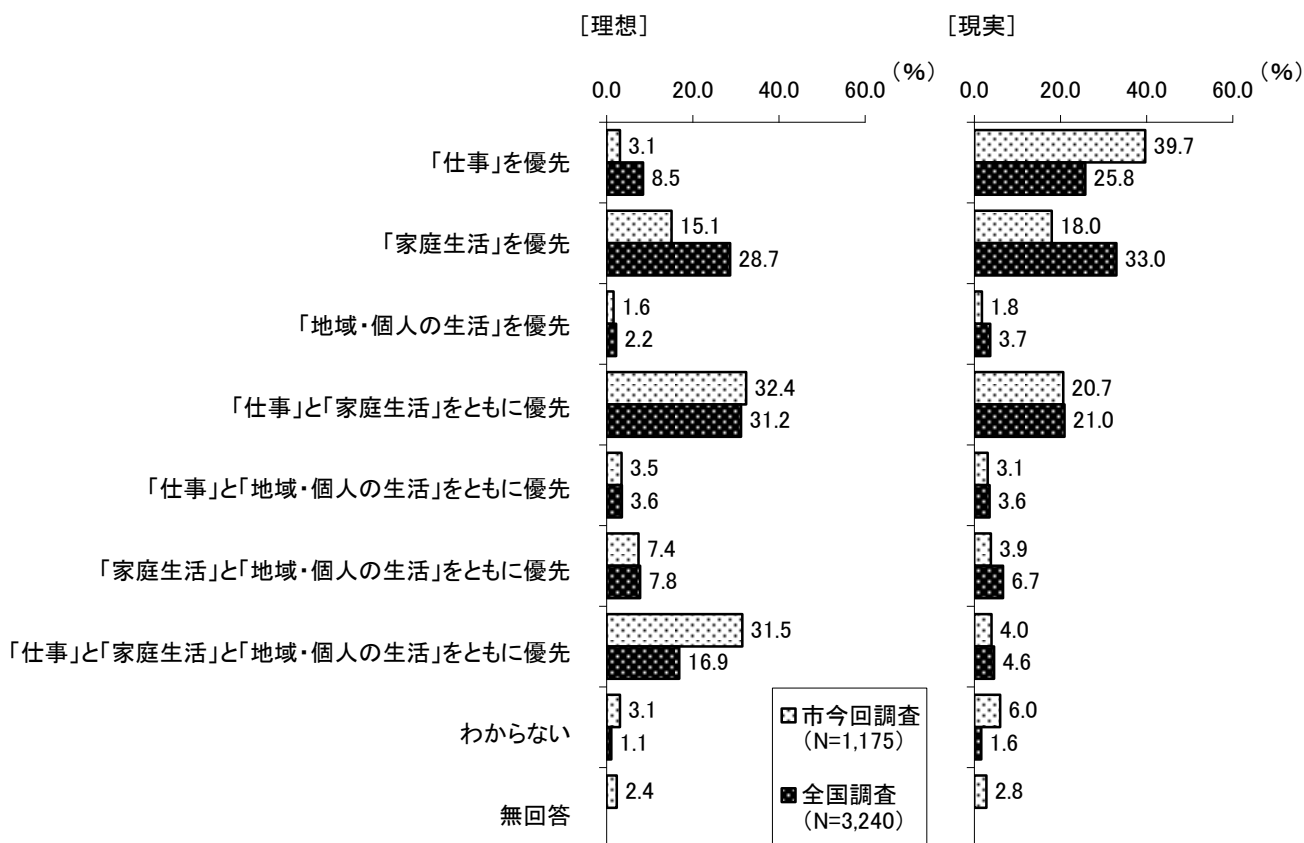


■参考：全国調査との比較

全国調査と比較すると、「理想」では、「家庭生活を優先」の割合が低い一方で、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先」の割合が高くなっている。

「現実」では、全国調査よりも「仕事を優先」の割合が高い一方で、「家庭生活を優先」の割合は低く、全国調査の結果とは全く逆となっている。

問21. 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の理想と現実【全体】



## 2. ワーク・ライフ・バランスの実現のための工夫

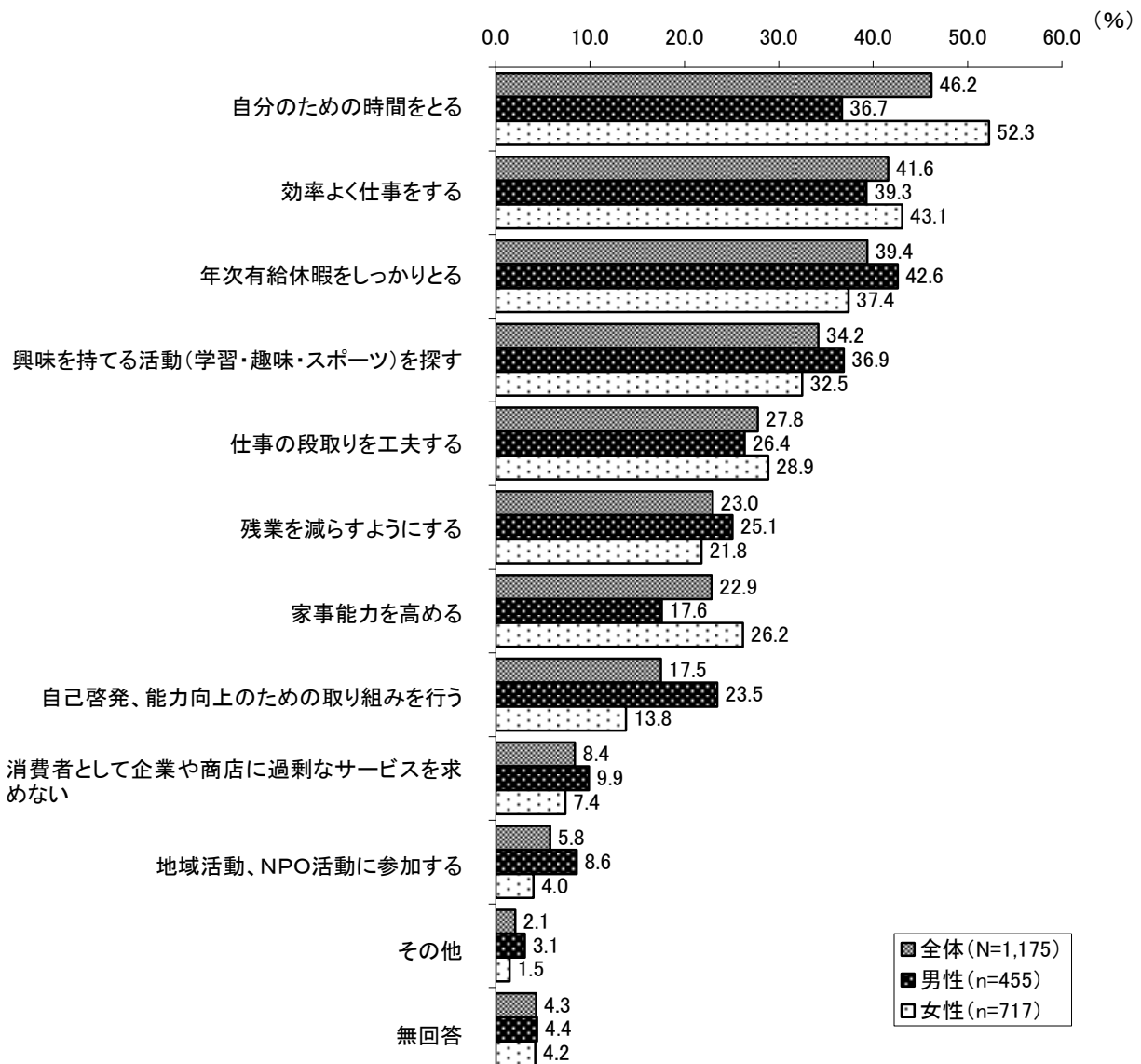
問 22. あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現のためにどのような工夫をしたらよいと思いますか。（〇はいくつでも）

全体では、「自分のための時間をとる」が46.2%で最も高く、次いで「効率よく仕事をする」(41.6%)、「年次有給休暇をしっかりとる」(39.4%)、「興味を持てる活動（学習・趣味・スポーツ）を探す」(34.2%)の順となっている。

性別では、女性で「自分のための時間をとる」の割合が高い。

性・年齢別では、女性20～40歳代で「自分のための時間をとる」、男女20～30歳代で「年次有給休暇をしっかりとる」、女性20歳代・男性30歳代で「残業を減らすようにする」、男性60歳以上で「自己啓発、能力向上のための取り組みを行う」の割合がそれぞれ高くなっている。

問 22. ワーク・ライフ・バランスの実現のための工夫【全体／性別】



問 22. ワーク・ライフ・バランスの実現のための工夫【性・年齢別】

(%)

| n=30以上の場合     |              | 自分のための時間をとる | 効率よく仕事をする | 年次有給休暇をしつかりとる | 興味を持てる活動（学習・趣味・スポーツ）を探す | 仕事の段取りを工夫する | 残業を減らすようにする | 家事能力を高める | 自己啓発、能力向上のための取り組みを行う | 消費者として企業や商店に過剰なサービスを求めない | 地域活動、NPO活動に参加する |
|---------------|--------------|-------------|-----------|---------------|-------------------------|-------------|-------------|----------|----------------------|--------------------------|-----------------|
| 全体 (N=1,175)  |              | 46.2        | 41.6      | 39.4          | 34.2                    | 27.8        | 23.0        | 22.9     | 17.5                 | 8.4                      | 5.8             |
| 男性<br>年齢別     | 20歳代 (n=38)  | 44.7        | 44.7      | 55.3          | 36.8                    | 36.8        | 31.6        | 31.6     | 18.4                 | 7.9                      | 10.5            |
|               | 30歳代 (n=59)  | 39.0        | 49.2      | 55.9          | 35.6                    | 35.6        | 35.6        | 22.0     | 11.9                 | 6.8                      | 1.7             |
|               | 40歳代 (n=62)  | 46.8        | 48.4      | 46.8          | 29.0                    | 32.3        | 27.4        | 14.5     | 16.1                 | 8.1                      | 1.6             |
|               | 50歳代 (n=82)  | 40.2        | 25.6      | 35.4          | 36.6                    | 18.3        | 20.7        | 17.1     | 17.1                 | 8.5                      | 9.8             |
|               | 60歳代 (n=122) | 38.5        | 36.1      | 45.1          | 36.9                    | 24.6        | 27.0        | 18.0     | 31.1                 | 11.5                     | 10.7            |
|               | 70歳以上 (n=92) | 19.6        | 41.3      | 29.3          | 43.5                    | 21.7        | 15.2        | 10.9     | 33.7                 | 13.0                     | 13.0            |
|               | 女性<br>年齢別    | 20歳代 (n=58) | 65.5      | 44.8          | 53.4                    | 34.5        | 31.0        | 41.4     | 31.0                 | 8.6                      | 10.3            |
| 30歳代 (n=130)  |              | 59.2        | 48.5      | 51.5          | 21.5                    | 32.3        | 28.5        | 30.8     | 11.5                 | 3.1                      | 0.8             |
| 40歳代 (n=114)  |              | 60.5        | 46.5      | 38.6          | 31.6                    | 30.7        | 26.3        | 27.2     | 17.5                 | 7.0                      | 3.5             |
| 50歳代 (n=127)  |              | 52.0        | 44.9      | 37.0          | 38.6                    | 23.6        | 15.0        | 26.8     | 17.3                 | 6.3                      | 3.1             |
| 60歳代 (n=166)  |              | 45.8        | 40.4      | 27.7          | 39.2                    | 25.9        | 17.5        | 23.5     | 11.4                 | 10.2                     | 7.2             |
| 70歳以上 (n=122) |              | 40.2        | 35.2      | 27.0          | 28.7                    | 32.0        | 13.9        | 21.3     | 14.8                 | 8.2                      | 6.6             |

| n=30以上の場合     |              | その他         |
|---------------|--------------|-------------|
| 全体 (N=1,175)  |              | 2.1         |
| 男性<br>年齢別     | 20歳代 (n=38)  | 2.6         |
|               | 30歳代 (n=59)  | 5.1         |
|               | 40歳代 (n=62)  | 4.8         |
|               | 50歳代 (n=82)  | 3.7         |
|               | 60歳代 (n=122) | 0.8         |
|               | 70歳以上 (n=92) | 3.3         |
|               | 女性<br>年齢別    | 20歳代 (n=58) |
| 30歳代 (n=130)  |              | 1.5         |
| 40歳代 (n=114)  |              | 1.8         |
| 50歳代 (n=127)  |              | 0.8         |
| 60歳代 (n=166)  |              | 1.8         |
| 70歳以上 (n=122) |              | 1.6         |

※「無回答」は表記していない

## 【6】人権について

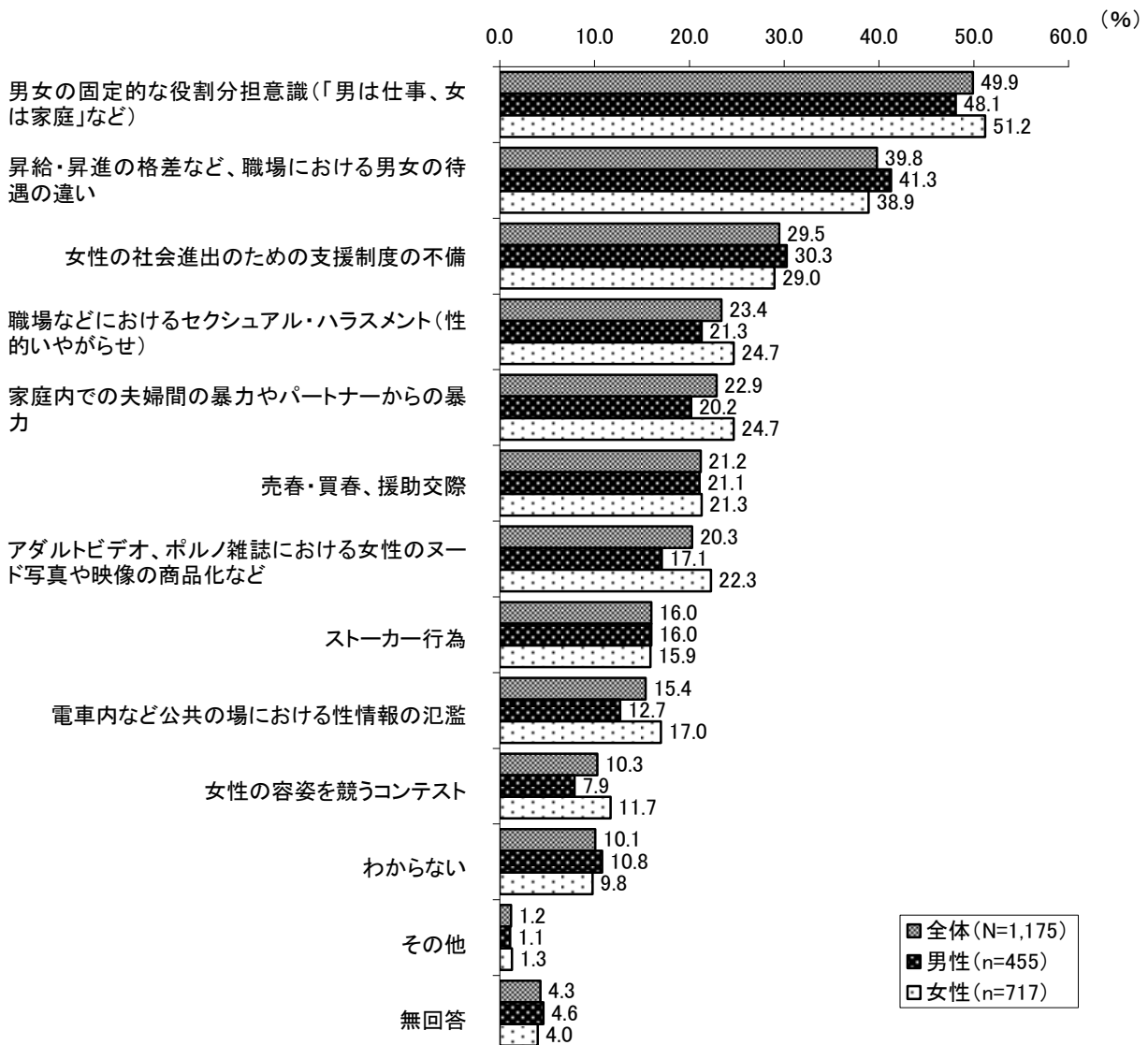
### 1. 女性の人権が尊重されていないと感じること

問 23. あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことについてですか。  
(〇はいくつでも)

全体では、「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）」が 49.9%で最も高く、次いで「昇給・昇進の格差など、職場における男女の待遇の違い」（39.8%）、「女性の社会進出のための支援制度の不備」（29.5%）の順となっており、性別でも同様の傾向を示している。

性・年齢別では、女性 20 歳代で「職場などにおけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」、「家庭内での夫婦間の暴力やパートナーからの暴力」、「売春・買春、援助交際」、「アダルトビデオ、ポルノ雑誌における女性のヌード写真や映像の商品化など」、「電車内など公共の場における性情報の氾濫」の割合が高い。また、男女 20 歳代で「ストーカー行為」の割合も比較的高くなっている。一方、男性 20 歳代で「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）」、男性 40 歳代で「売春・買春、援助交際」、「アダルトビデオ、ポルノ雑誌における女性のヌード写真や映像の商品化など」の割合がそれぞれ低くなっている。

問 23. 女性の人権が尊重されていないと感じること【全体／性別】





問 23. 女性の人権が尊重されていないと感じること【性・年齢別】

(%)

| n=30以上の場合     |              | 男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など） | 昇給・昇進の格差など、職場における男女の待遇の違い | 女性の社会進出のための支援制度の不備 | 職場などにおけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ） | 家庭内での夫婦間の暴力やパートナーからの暴力 | 売春・買春、援助交際 | アダルトビデオ、ポルノ雑誌における女性のヌード写真や映像の商品化など | ストーカー行為 | 電車内など公共の場における性情報氾濫 | 女性の容姿を競うコンテスト |
|---------------|--------------|------------------------------|---------------------------|--------------------|--------------------------------|------------------------|------------|------------------------------------|---------|--------------------|---------------|
| 全体 (N=1,175)  |              | 49.9                         | 39.8                      | 29.5               | 23.4                           | 22.9                   | 21.2       | 20.3                               | 16.0    | 15.4               | 10.3          |
| 男性<br>年齢別     | 20歳代 (n=38)  | 28.9                         | 36.8                      | 31.6               | 26.3                           | 28.9                   | 28.9       | 21.1                               | 31.6    | 10.5               | 2.6           |
|               | 30歳代 (n=59)  | 50.8                         | 33.9                      | 35.6               | 25.4                           | 25.4                   | 20.3       | 11.9                               | 18.6    | 5.1                | 3.4           |
|               | 40歳代 (n=62)  | 45.2                         | 41.9                      | 27.4               | 21.0                           | 16.1                   | 8.1        | 6.5                                | 9.7     | 8.1                | 3.2           |
|               | 50歳代 (n=82)  | 56.1                         | 34.1                      | 26.8               | 15.9                           | 19.5                   | 20.7       | 17.1                               | 17.1    | 8.5                | 6.1           |
|               | 60歳代 (n=122) | 51.6                         | 47.5                      | 35.2               | 20.5                           | 18.0                   | 23.8       | 22.1                               | 9.8     | 19.7               | 11.5          |
|               | 70歳以上 (n=92) | 44.6                         | 45.7                      | 25.0               | 22.8                           | 19.6                   | 23.9       | 19.6                               | 19.6    | 16.3               | 13.0          |
|               | 女性<br>年齢別    | 20歳代 (n=58)                  | 58.6                      | 44.8               | 29.3                           | 43.1                   | 43.1       | 32.8                               | 32.8    | 27.6               | 29.3          |
| 30歳代 (n=130)  |              | 54.6                         | 48.5                      | 33.8               | 30.0                           | 30.0                   | 19.2       | 14.6                               | 17.7    | 15.4               | 6.9           |
| 40歳代 (n=114)  |              | 51.8                         | 32.5                      | 24.6               | 31.6                           | 31.6                   | 28.9       | 28.1                               | 17.5    | 21.1               | 14.9          |
| 50歳代 (n=127)  |              | 53.5                         | 37.8                      | 29.9               | 22.8                           | 18.9                   | 23.6       | 25.2                               | 17.3    | 15.7               | 11.8          |
| 60歳代 (n=166)  |              | 50.6                         | 38.6                      | 29.5               | 19.3                           | 24.1                   | 18.7       | 19.9                               | 12.0    | 15.7               | 13.9          |
| 70歳以上 (n=122) |              | 41.8                         | 33.6                      | 26.2               | 13.1                           | 10.7                   | 12.3       | 20.5                               | 10.7    | 12.3               | 12.3          |

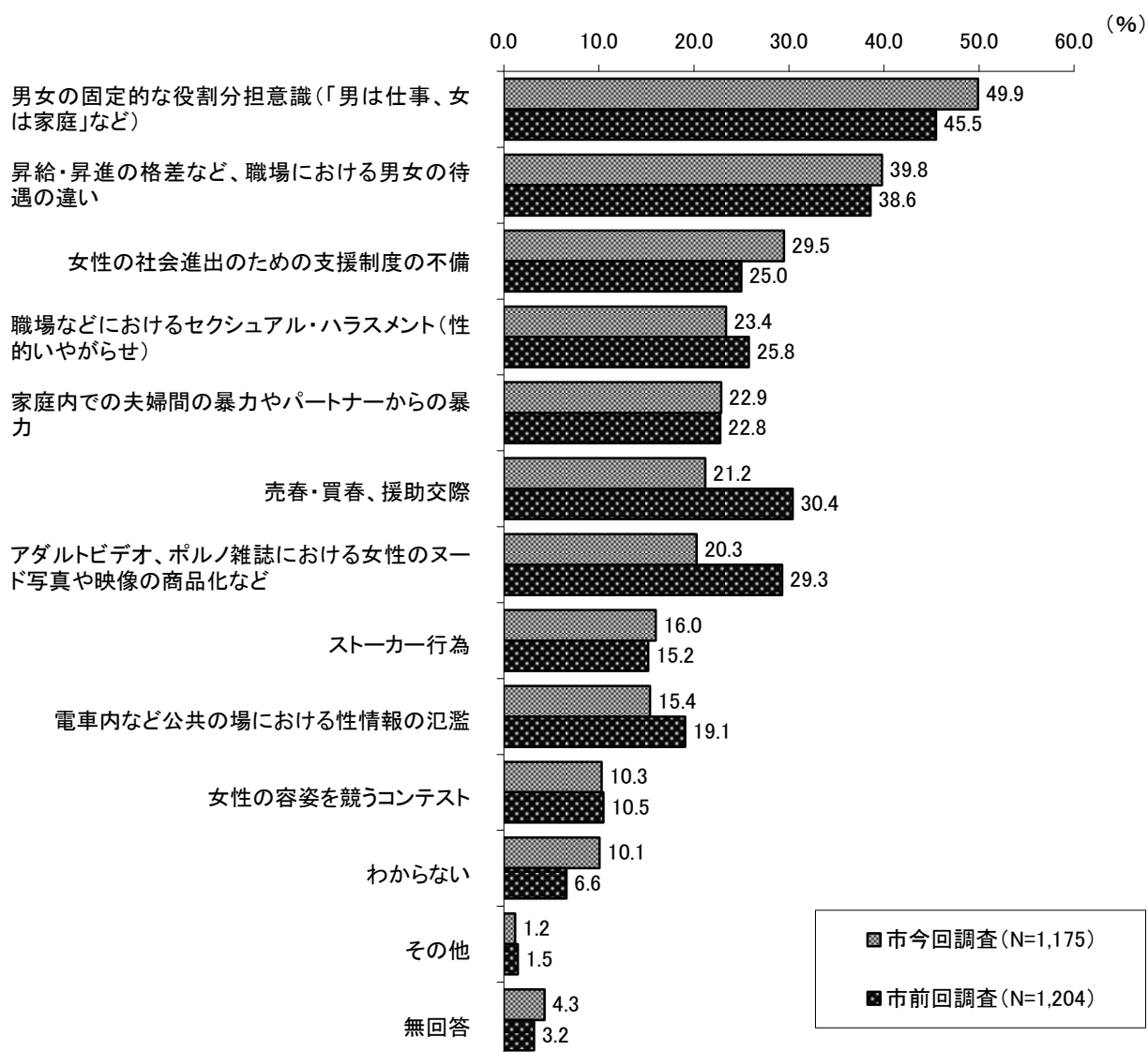
| n=30以上の場合     |              | わからない       | その他 |
|---------------|--------------|-------------|-----|
| 全体 (N=1,175)  |              | 10.1        | 1.2 |
| 男性<br>年齢別     | 20歳代 (n=38)  | 13.2        | 5.3 |
|               | 30歳代 (n=59)  | 13.6        | 0.0 |
|               | 40歳代 (n=62)  | 16.1        | 1.6 |
|               | 50歳代 (n=82)  | 14.6        | 1.2 |
|               | 60歳代 (n=122) | 7.4         | 0.8 |
|               | 70歳以上 (n=92) | 5.4         | 0.0 |
|               | 女性<br>年齢別    | 20歳代 (n=58) | 5.2 |
| 30歳代 (n=130)  |              | 6.2         | 1.5 |
| 40歳代 (n=114)  |              | 12.3        | 1.8 |
| 50歳代 (n=127)  |              | 7.1         | 1.6 |
| 60歳代 (n=166)  |              | 7.8         | 1.2 |
| 70歳以上 (n=122) |              | 18.9        | 0.0 |

※「無回答」は表記していない

■参考：前回調査との比較

前回調査と比較すると、「男女の固定的な役割分担意識（男は「仕事」、女は「家庭」など）」、「女性の社会進出のための支援制度の不備」などの割合が高くなった一方、「売春・買春、援助交際」、「アダルトビデオ、ポルノ雑誌における女性のヌード写真や映像の商品化など」の割合は減少している。

問 23. 女性の人権が尊重されていないと感じること【全体】



## 2. メディアにおける性・暴力表現について

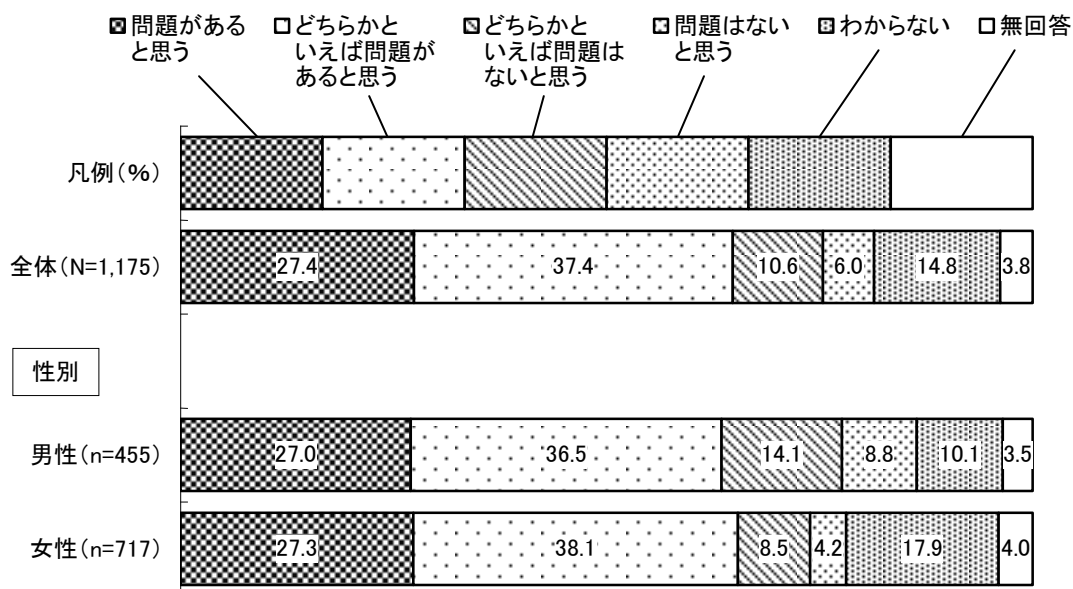
問 24. あなたは、現在のテレビ、新聞、雑誌などのメディアにおける性・暴力表現について、どのように思いますか。(〇は1つのみ)

※「問題があると思う」と「どちらかといえば問題があると思う」を合わせて『問題あり派』、「問題はないと思う」と「どちらかといえば問題はないと思う」を合わせて『問題なし派』とする。

全体では、『問題あり派』が64.8%、『問題なし派』が16.6%となっており、性別では、男性で『問題なし派』の割合が比較的高い。

性・年齢別では、女性20歳代で「どちらかといえば問題あると思う」の割合が高くなっている。一方、男性20～40歳代で「どちらかといえば問題はないと思う」比較的高く、男性20歳代では「問題はないと思う」が21.1%となっている。

問 24. メディアにおける性・暴力表現について【全体/性別】



問 24. メディアにおける性・暴力表現について【性・年齢別】

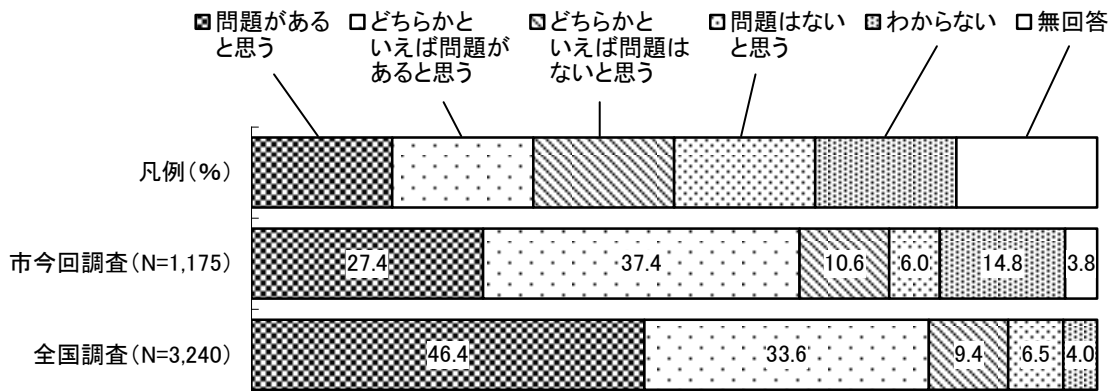
| n=30以上の場合                                |              | (%)         |                  |                  |          |       |
|--|--------------|-------------|------------------|------------------|----------|-------|
|  |              | 問題があると思う    | どちらかといえば問題があると思う | どちらかといえば問題はないと思う | 問題はないと思う | わからない |
| [比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 |              |             |                  |                  |          |       |
| 全体 (N=1,175)                             |              | 27.4        | 37.4             | 10.6             | 6.0      | 14.8  |
| 男性年齢別                                    | 20歳代 (n=38)  | 23.7        | 26.3             | 21.1             | 21.1     | 7.9   |
|  | 30歳代 (n=59)  | 20.3        | 35.6             | 23.7             | 6.8      | 13.6  |
|  | 40歳代 (n=62)  | 17.7        | 45.2             | 21.0             | 9.7      | 6.5   |
|  | 50歳代 (n=82)  | 29.3        | 35.4             | 7.3              | 11.0     | 14.6  |
|  | 60歳代 (n=122) | 34.4        | 37.7             | 11.5             | 5.7      | 7.4   |
|  | 70歳以上 (n=92) | 27.2        | 34.8             | 9.8              | 6.5      | 10.9  |
|  | 女性年齢別        | 20歳代 (n=58) | 13.8             | 55.2             | 6.9      | 3.4   |
| 30歳代 (n=130)                             |              | 20.0        | 38.5             | 10.0             | 12.3     | 18.5  |
| 40歳代 (n=114)                             |              | 30.7        | 36.0             | 9.6              | 4.4      | 18.4  |
| 50歳代 (n=127)                             |              | 34.6        | 43.3             | 5.5              | 1.6      | 12.6  |
| 60歳代 (n=166)                             |              | 34.9        | 34.9             | 9.0              | 0.6      | 14.5  |
| 70歳以上 (n=122)                            |              | 20.5        | 30.3             | 9.0              | 3.3      | 25.4  |

※「無回答」は表記していない

■参考：全国調査との比較

全国調査と比較すると、「問題があると思う」の割合は 19.0 ポイントも低く、『問題あり派』の割合が低くなっている。

問 24. メディアにおける性・暴力表現について【全体】



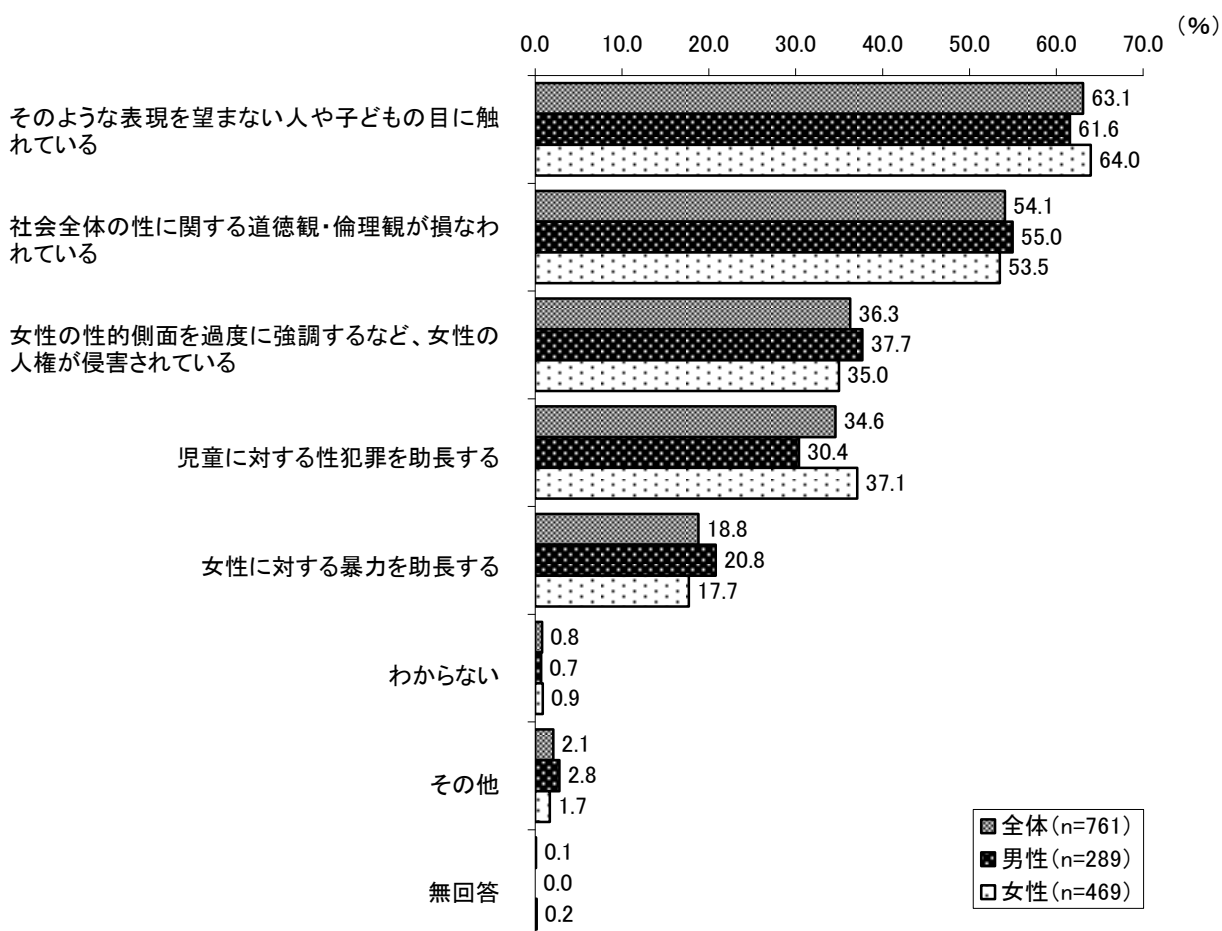
### 3. メディアにおける性・暴力表現の問題点

問 24-1. 《問題あり派の方》あなたは、メディアにおける性・暴力表現について、どのような点で問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れている」が 63.1%で最も高く、次いで「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」(54.1%)、「女性の性的側面を過度に強調するなど、女性の人権が侵害されている」(36.3%)、「児童に対する性犯罪を助長する」(34.6%)の順となっており、性別でも同様の傾向を示している。

性・年齢別では、男性 30 歳代・女性 30～40 歳代で「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れている」、男性 70 歳以上・女性 60 歳代で「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」の割合が高くなっている。また、女性 50 歳代で「女性の性的側面を過度に強調するなど、女性の人権が侵害されている」、女性 20 歳代で「女性に対する暴力を助長する」の割合も比較的高い。

問 24-1. メディアにおける性・暴力表現の問題点【全体／性別】



問 24-1. メディアにおける性・暴力表現の問題点【性・年齢別】

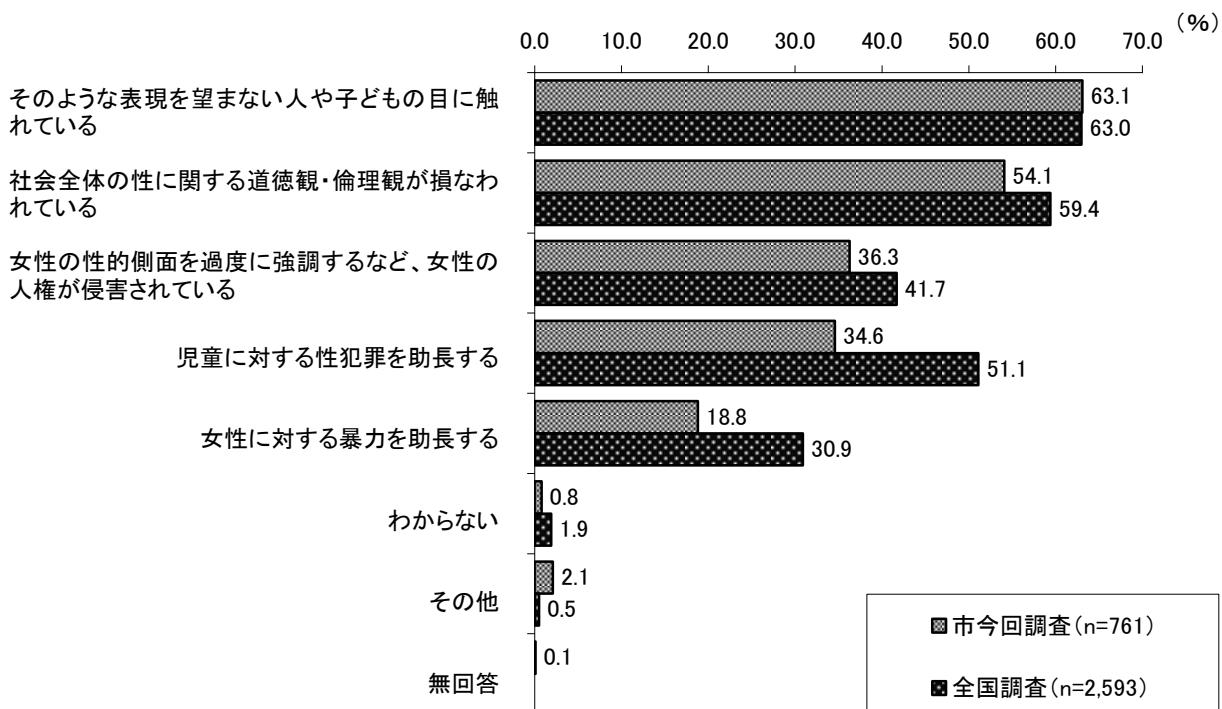
|                   |              | (%)  |   |   |  |   |                       |             |
|-------------------|--------------|--|---|---|--|---|-----------------------|-------------|
| n=30以上の場合         |              | その<br>目の<br>よ<br>う<br>な<br>表<br>現<br>を<br>望<br>ま<br>な<br>い<br>人<br>や<br>子<br>ど | 観<br>社<br>会<br>全<br>体<br>の<br>性<br>に<br>関<br>する<br>道<br>徳<br>観<br>・<br>倫<br>理 | ど、<br>女<br>性<br>の<br>性<br>的<br>側<br>面<br>を<br>過<br>度<br>に<br>強<br>調<br>す<br>る<br>な<br>ど、<br>女<br>性<br>の<br>人<br>権<br>が<br>侵<br>害<br>さ<br>れ<br>て<br>い<br>る | 児<br>童<br>に<br>対<br>す<br>る<br>性<br>犯<br>罪<br>を<br>助<br>長<br>す<br>る | 女<br>性<br>に<br>対<br>す<br>る<br>暴<br>力<br>を<br>助<br>長<br>す<br>る | わ<br>か<br>ら<br>な<br>い | そ<br>の<br>他 |
| 全体 (n=761)        |              | 63.1   | 54.1  | 36.3  | 34.6   | 18.8  | 0.8                   | 2.1         |
| 男性<br>年<br>齢<br>別 | 20歳代 (n=19)  | 68.4   | 42.1  | 42.1  | 21.1   | 26.3  | 0.0                   | 0.0         |
|                   | 30歳代 (n=33)  | 75.8   | 45.5  | 30.3  | 39.4   | 27.3  | 0.0                   | 3.0         |
|                   | 40歳代 (n=39)  | 69.2   | 48.7  | 20.5  | 30.8   | 20.5  | 2.6                   | 2.6         |
|                   | 50歳代 (n=53)  | 62.3   | 50.9  | 41.5  | 26.4   | 20.8  | 0.0                   | 5.7         |
|                   | 60歳代 (n=88)  | 54.5   | 56.8  | 40.9  | 33.0   | 21.6  | 1.1                   | 1.1         |
|                   | 70歳以上 (n=57) | 56.1   | 70.2  | 43.9  | 28.1   | 14.0  | 0.0                   | 3.5         |
| 女性<br>年<br>齢<br>別 | 20歳代 (n=40)  | 55.0   | 42.5  | 30.0  | 37.5   | 30.0  | 0.0                   | 5.0         |
|                   | 30歳代 (n=76)  | 73.7   | 38.2  | 25.0  | 34.2   | 18.4  | 0.0                   | 1.3         |
|                   | 40歳代 (n=76)  | 73.7   | 42.1  | 36.8  | 39.5   | 23.7  | 0.0                   | 2.6         |
|                   | 50歳代 (n=99)  | 61.6   | 58.6  | 46.5  | 40.4   | 19.2  | 1.0                   | 1.0         |
|                   | 60歳代 (n=116) | 62.1   | 67.2  | 30.2  | 37.1   | 10.3  | 0.0                   | 0.9         |
|                   | 70歳以上 (n=62) | 53.2   | 59.7  | 38.7  | 32.3   | 12.9  | 4.8                   | 1.6         |

※「無回答」は表記していない

■参考：全国調査との比較

全国調査と比較すると、特に「児童に対する性犯罪を助長する」や「女性に対する暴力を助長する」の割合が低くなっている。

問 24-1. メディアにおける性・暴力表現の問題点【全体】



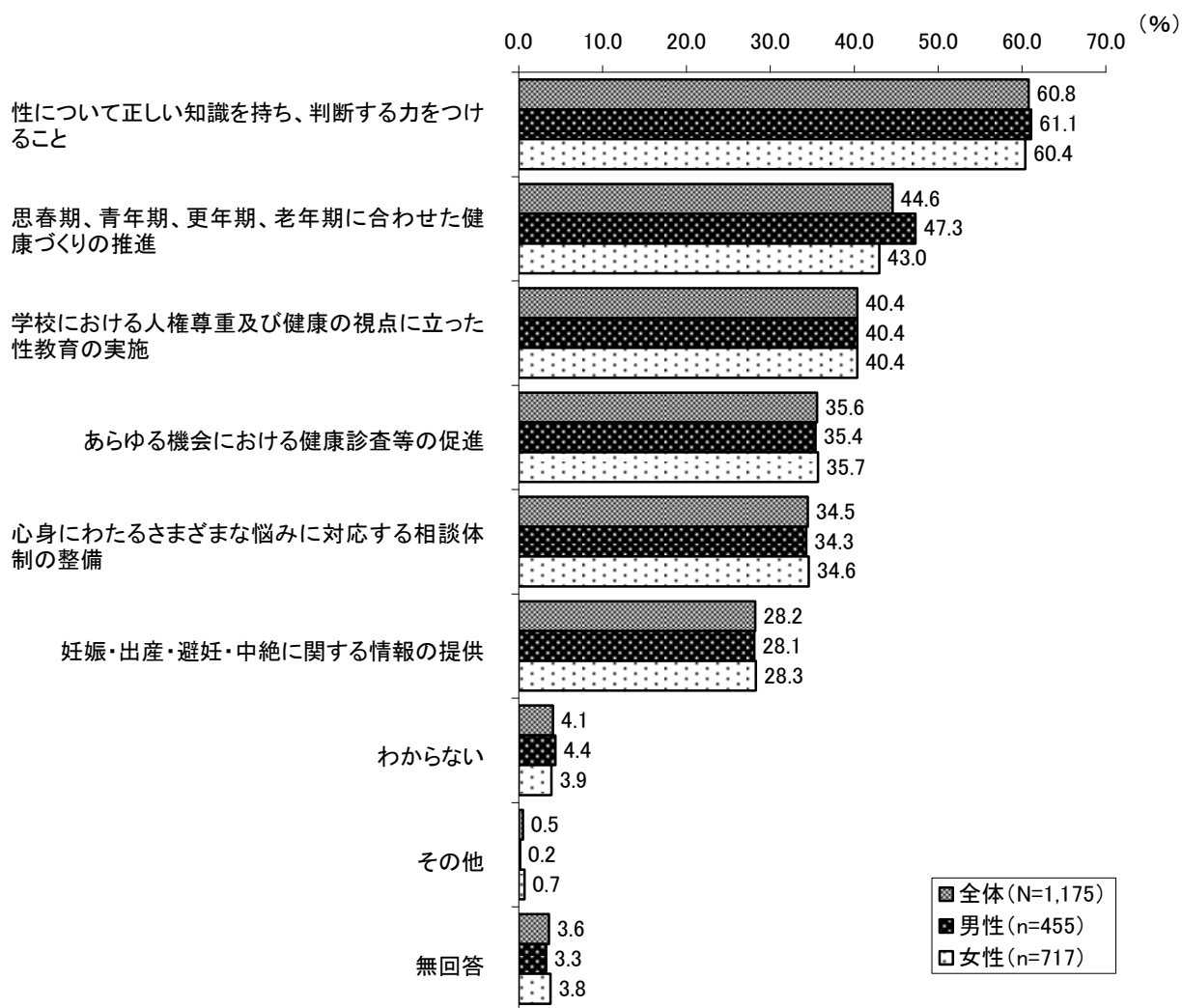
#### 4. 男女が心身共に健康であるために必要なこと

問 25. 妊娠・出産をになう女性は、男性とは異なった体や心の問題に直面することがあります。男女が生涯にわたり心身共に健康であるためにどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「性について正しい知識を持ち、判断する力をつけること」が 60.8%で最も高く、次いで「思春期、青年期、更年期、老年期に合わせた健康づくりの推進」(44.6%)、「学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の実施」(40.4%)の順となっており、性別でも同様の傾向を示している。

性・年齢別では、男性 20～30 歳代・女性 20 歳代で「妊娠・出産・避妊・中絶に関する情報の提供」、女性 30 歳代で「あらゆる機会における健康診査等の促進」の割合が高くなっている。

問 25. 男女が心身共に健康であるために必要なこと【全体／性別】



問 25. 男女が心身共に健康であるために必要なこと【性・年齢別】

|   |               | (%)              |                          |                             |                    |                           |                      |       |      |
|---|---------------|------------------|--------------------------|-----------------------------|--------------------|---------------------------|----------------------|-------|------|
| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br><input type="checkbox"/> 全体+10%以上<br><input type="checkbox"/> 全体-10%以下 |               | 性について正しい知識を持ち、判断 | 思春期、青年期、更年期に合わせた健康づくりの推進 | 学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の実施 | あらゆる機会における健康診査等の促進 | 心身にわたるさまざまな悩みに対応する相談体制の整備 | 妊娠・出産・避妊・中絶に関する情報の提供 | わからない | その他  |
|   |               | 全体 (N=1,175)     |                          | 60.8                        | 44.6               | 40.4                      | 35.6                 | 34.5  | 28.2 |
| 男性<br>年齢別   | 20歳代 (n=38)   | 57.9             | 42.1                     | 36.8                        | 39.5               | 34.2                      | 44.7                 | 2.6   | 0.0  |
|   | 30歳代 (n=59)   | 61.0             | 39.0                     | 40.7                        | 44.1               | 40.7                      | 39.0                 | 1.7   | 1.7  |
|   | 40歳代 (n=62)   | 62.9             | 48.4                     | 40.3                        | 38.7               | 29.0                      | 24.2                 | 3.2   | 0.0  |
|   | 50歳代 (n=82)   | 61.0             | 45.1                     | 39.0                        | 35.4               | 34.1                      | 34.1                 | 3.7   | 0.0  |
|   | 60歳代 (n=122)  | 60.7             | 50.0                     | 43.4                        | 27.0               | 35.2                      | 18.9                 | 5.7   | 0.0  |
|   | 70歳以上 (n=92)  | 62.0             | 52.2                     | 39.1                        | 37.0               | 32.6                      | 23.9                 | 6.5   | 0.0  |
| 女性<br>年齢別   | 20歳代 (n=58)   | 70.7             | 36.2                     | 37.9                        | 41.4               | 39.7                      | 53.4                 | 1.7   | 1.7  |
|   | 30歳代 (n=130)  | 55.4             | 40.8                     | 40.0                        | 48.5               | 33.8                      | 36.2                 | 7.7   | 0.8  |
|   | 40歳代 (n=114)  | 57.9             | 46.5                     | 44.7                        | 43.0               | 35.1                      | 28.9                 | 3.5   | 1.8  |
|   | 50歳代 (n=127)  | 66.1             | 37.8                     | 33.1                        | 28.3               | 37.8                      | 27.6                 | 1.6   | 0.8  |
|   | 60歳代 (n=166)  | 58.4             | 48.8                     | 46.4                        | 26.5               | 27.1                      | 21.7                 | 3.6   | 0.0  |
|   | 70歳以上 (n=122) | 59.8             | 42.6                     | 37.7                        | 32.8               | 39.3                      | 17.2                 | 4.1   | 0.0  |

※「無回答」は表記していない



## 5. ドメスティック・バイオレンスの経験

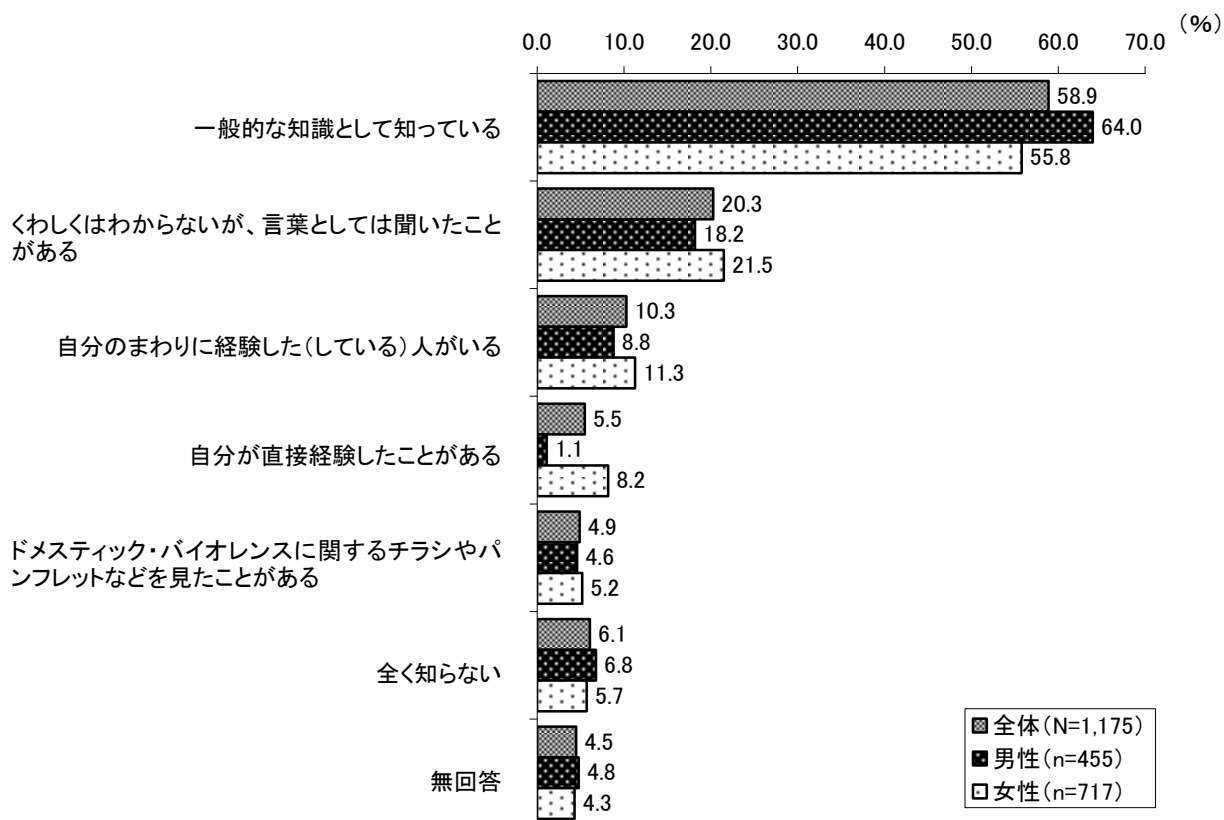
問 26. あなたは、ドメスティック・バイオレンスについて経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「一般的な知識として知っている」が 58.9%で最も高く、次いで「くわしくはわからないが、言葉としては聞いたことがある」(20.3%)の順となっており、「自分のまわりに経験した(している)人がいる」は1割である。

性別では、女性で「自分が直接経験したことがある」の割合がやや高い。

性・年齢別では、男性 20 歳代で「自分のまわりに経験した(している)人がいる」の割合が高くなっている。一方、女性 70 歳以上で「一般的な知識として知っている」の割合が低く、「くわしくはわからないが、言葉としては聞いたことがある」の割合が高い。

問 26. ドメスティック・バイオレンスの経験【全体/性別】



問 26. ドメスティック・バイオレンスの経験【性・年齢別】

(%)

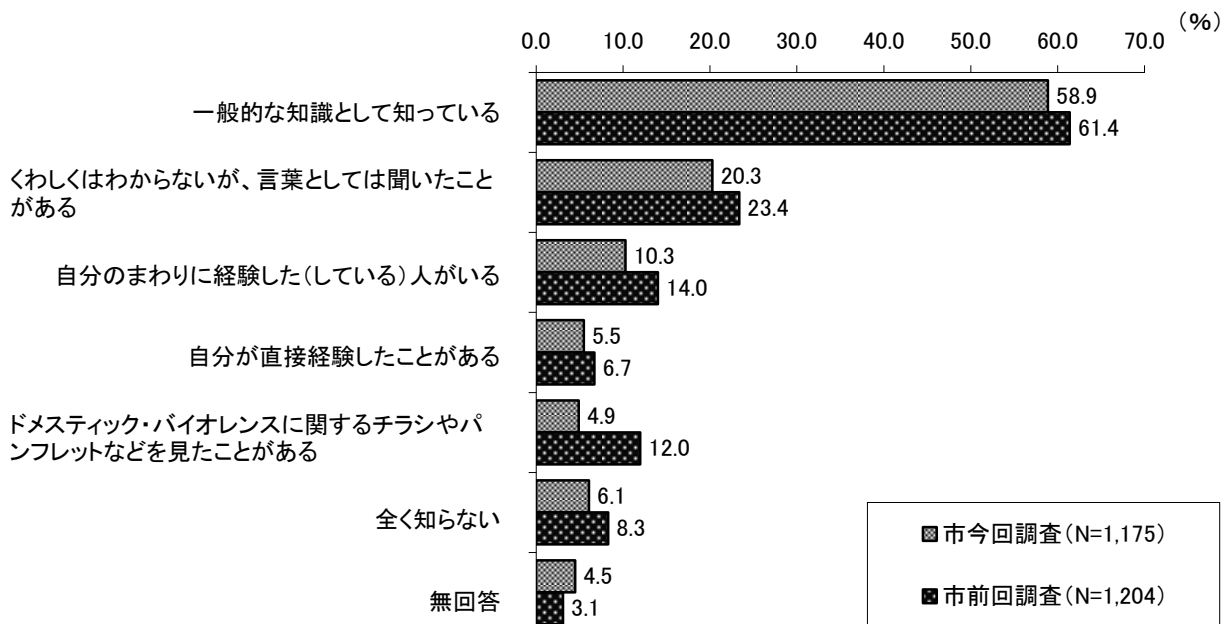
| n=30以上の場合                                |              | 一般的な知識として知っている | くわしくはわからないが、言葉としては聞いたことがある | 自分のまわりに経験した(している)人がいる | 自分が直接経験したことがある | ドメスティック・バイオレンスに関するチラシやパンフレットなどを見たことがある | 全く知らない |
|--|--------------|----------------|----------------------------|-----------------------|----------------|--|--------|
| [比率の差]<br>□ 全体+10ポイント以上<br>■ 全体-10ポイント以下 |              |                |                            |                       |                |  |        |
| 全体 (N=1,175)                             |              | 58.9           | 20.3                       | 10.3                  | 5.5            | 4.9                                    | 6.1    |
| 男性<br>年齢別                                | 20歳代 (n=38)  | 60.5           | 13.2                       | 23.7                  | 5.3            | 5.3                                    | 2.6    |
|  | 30歳代 (n=59)  | 76.3           | 16.9                       | 10.2                  | 0.0            | 0.0                                    | 3.4    |
|  | 40歳代 (n=62)  | 62.9           | 21.0                       | 12.9                  | 3.2            | 3.2                                    | 6.5    |
|  | 50歳代 (n=82)  | 64.6           | 14.6                       | 7.3                   | 1.2            | 2.4                                    | 7.3    |
|  | 60歳代 (n=122) | 69.7           | 18.9                       | 4.9                   | 0.0            | 5.7                                    | 7.4    |
|  | 70歳以上 (n=92) | 50.0           | 21.7                       | 5.4                   | 0.0            | 8.7                                    | 9.8    |
|  | 女性<br>年齢別    | 20歳代 (n=58)    | 74.1                       | 17.2                  | 10.3           | 5.2                                    | 5.2    |
| 30歳代 (n=130)                             |              | 60.8           | 13.8                       | 16.2                  | 8.5            | 3.1                                    | 1.5    |
| 40歳代 (n=114)                             |              | 59.6           | 12.3                       | 14.0                  | 12.3           | 8.8                                    | 3.5    |
| 50歳代 (n=127)                             |              | 62.2           | 17.3                       | 12.6                  | 7.9            | 6.3                                    | 2.4    |
| 60歳代 (n=166)                             |              | 52.4           | 25.9                       | 10.2                  | 6.6            | 4.2                                    | 7.2    |
| 70歳以上 (n=122)                            |              | 36.1           | 38.5                       | 4.1                   | 8.2            | 4.1                                    | 14.8   |

※「無回答」は表記していない

■参考：前回調査との比較

前回調査と比較すると、「自分のまわりに経験した(している)人がいる」、「自分が直接経験したことがある」の割合が減少しているほか、「ドメスティック・バイオレンスに関するチラシやパンフレットなどを見たことがある」の割合も減少している。

問 26. ドメスティック・バイオレンスの経験【全体】



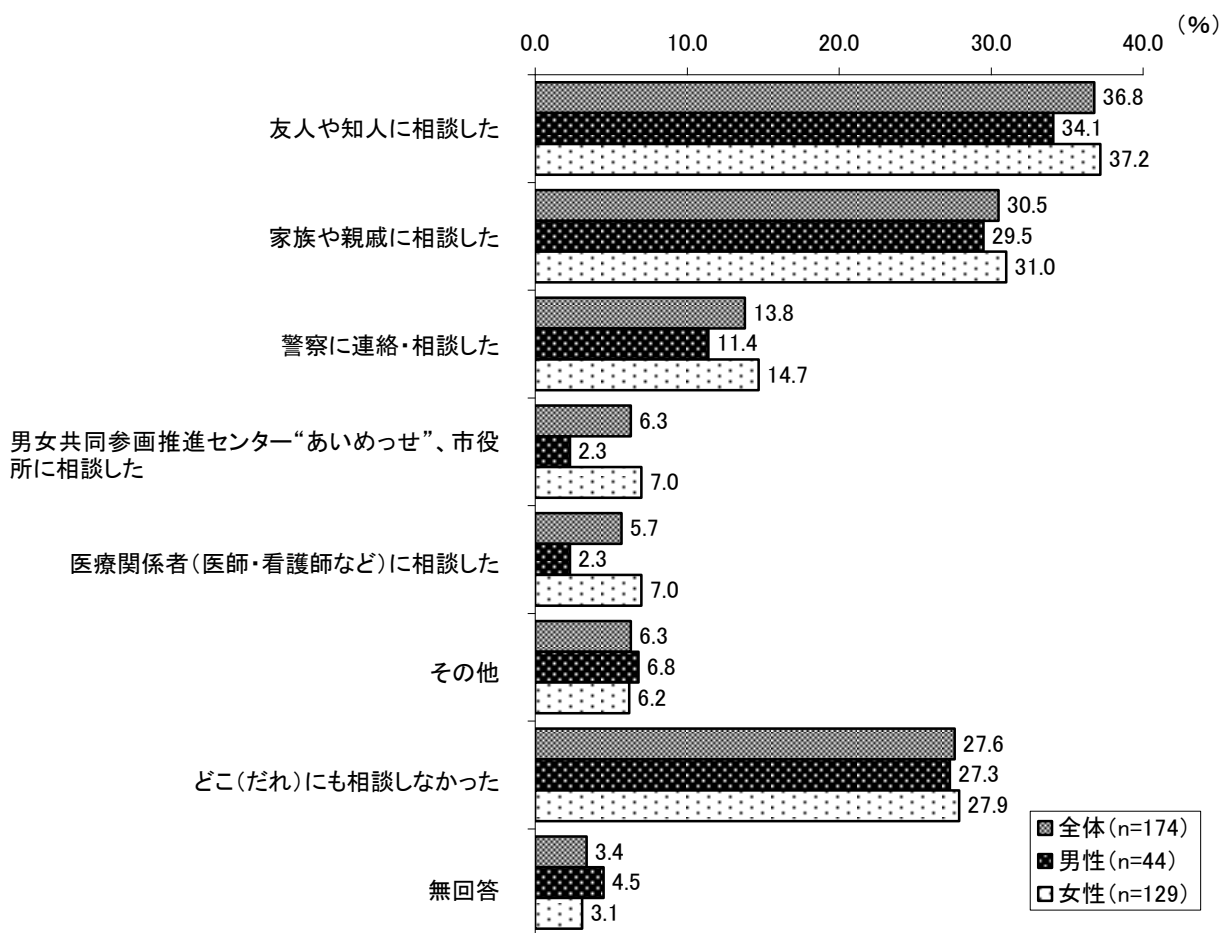
## 6. ドメスティック・バイオレンスの相談先

問 26-1. 《直接経験した方・まわりに経験者がいる方》あなたは、経験したり、見聞きしたことを、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇はいくつでも)

全体では、「友人や知人に相談した」が 36.8%で最も高く、次いで「家族や親戚に相談した」(30.5%)の順となっており、「どこ(だれ)にも相談しなかった」の割合は 27.6%となっている。

性別でも同様の傾向を示しているが、女性に比べて男性で「男女共同参画推進センター“あいめっせ”、市役所に相談した」、「医療関係者(医師・看護師など)に相談した」の割合が低くなっている。

問 26-1. ドメスティック・バイオレンスの相談先【全体/性別】



## 【7】男女共同参画に関する施策などについて

### 1. 男女共同参画関連事項の認知度

問 27. 次の男女共同参画に関する事項を、あなたはどの程度ご存知ですか。(〇は各1つずつ)

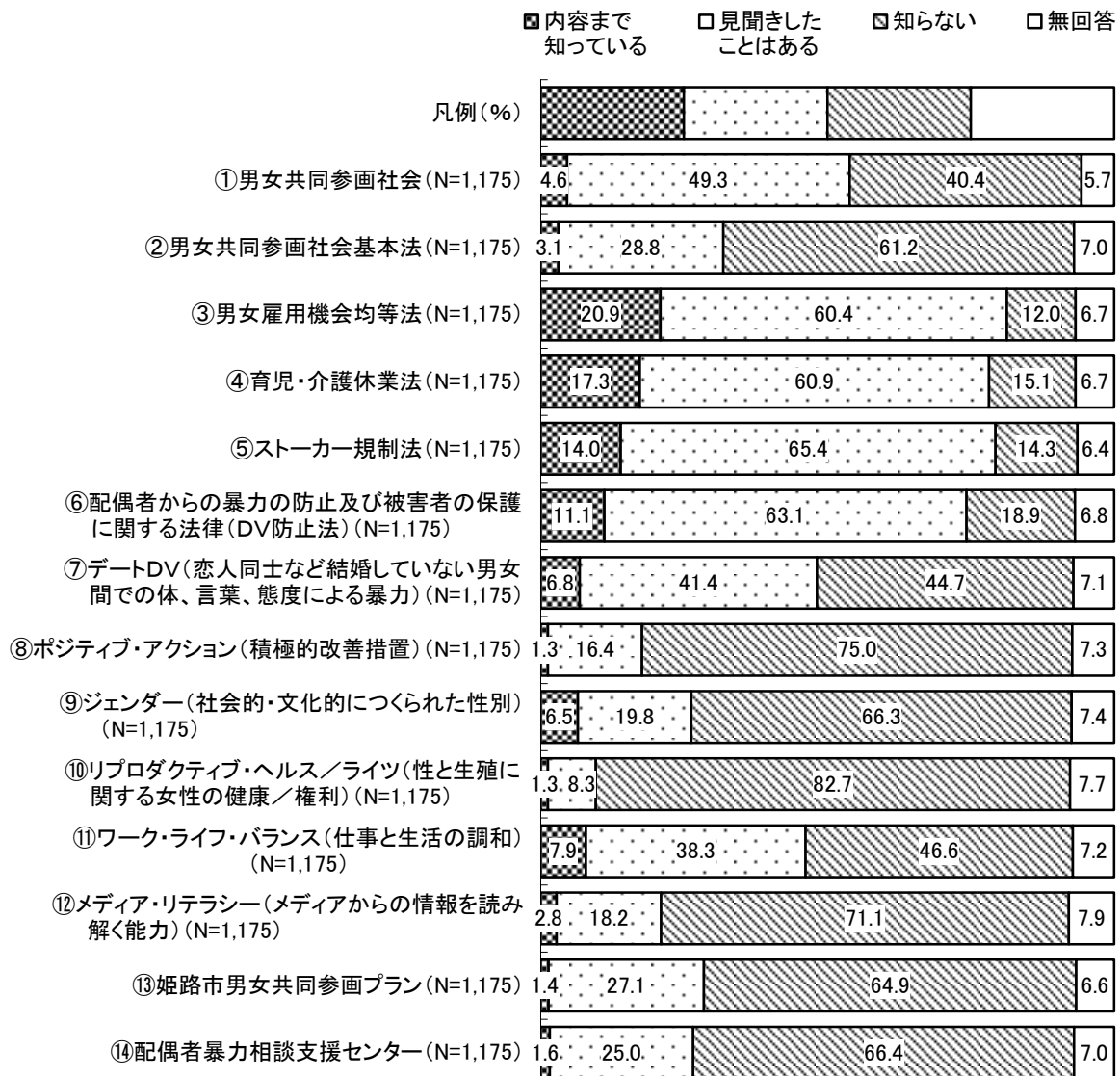
※「内容まで知っている」と「見聞きしたことはある」を合わせて『認知度』とする。

『認知度』が高い事項は、「③男女雇用機会均等法」(81.3%)、「⑤ストーカー規制法」(79.4%)、「④育児・介護休業法」(78.2%)、「⑥配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)」(74.2%)である。

一方、「知らない」割合が高い項目は、「⑩リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する女性の健康/権利)」(82.7%)、「⑧ポジティブ・アクション(積極的改善措置)」(75.0%)、「⑫メディア・リテラシー(メディアからの情報を読み解く能力)」(71.1%)である。

性・年齢別では、男女とも70歳以上では全般的に『認知度』は低く、「⑧ポジティブ・アクション(積極的改善措置)」や「⑩リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する女性の健康/権利)」は、性・年齢に関わらず『認知度』が低いことがわかる。

問 27. 男女共同参画関連事項の認知度【全体】

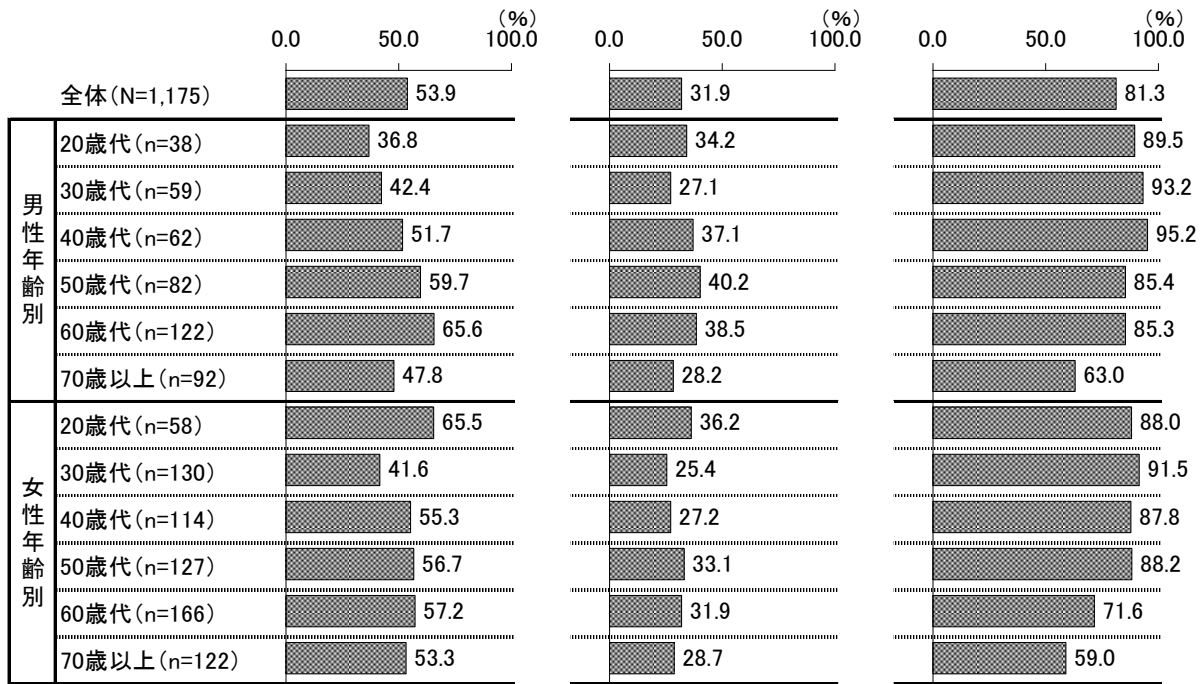


問 27. 男女共同参画関連事項の認知度（『認知度』のみ）【性・年齢別】

①男女共同参画社会

②男女共同参画社会基本法

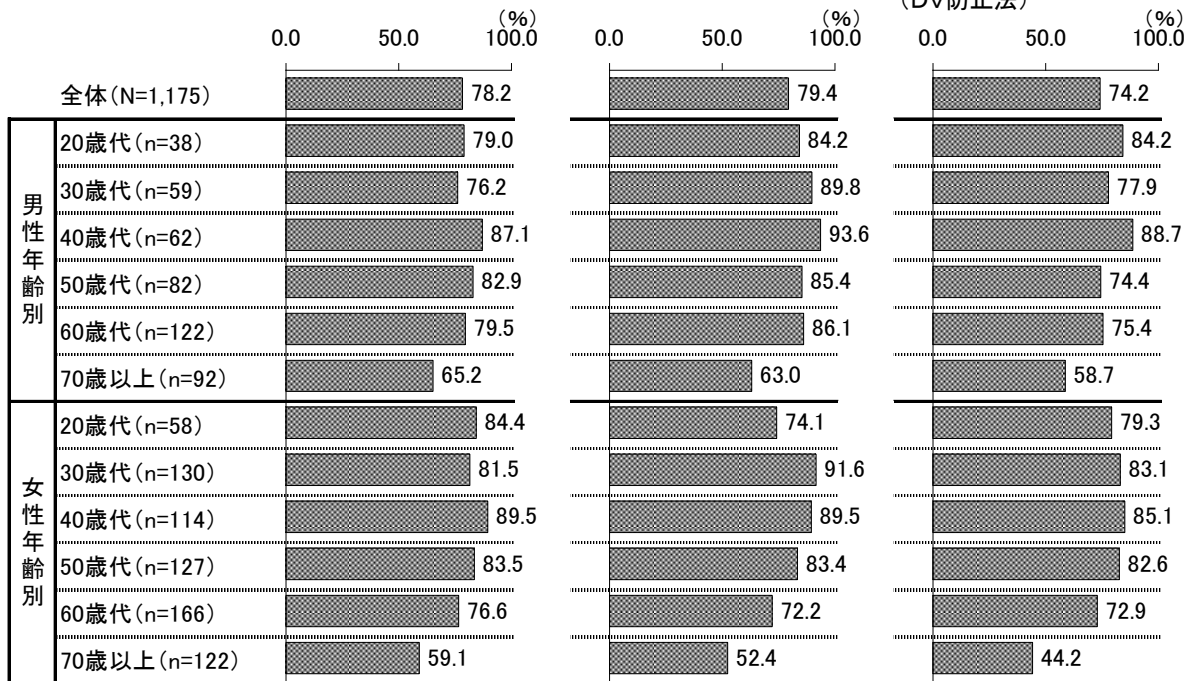
③男女雇用機会均等法



④育児・介護休業法

⑤ストーカー規制法

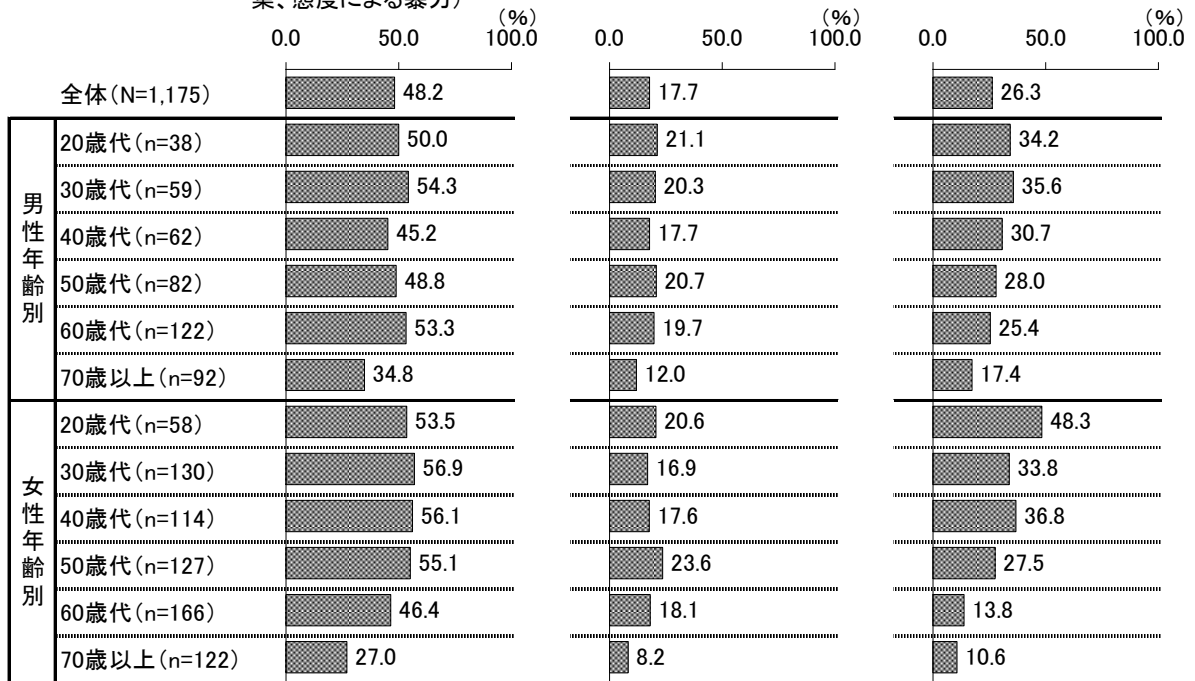
⑥配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 (DV防止法)



⑦デートDV(恋人同士など結  
婚していない男女間での体、言  
葉、態度による暴力)

⑧ポジティブ・アクション(積極  
的改善措置)

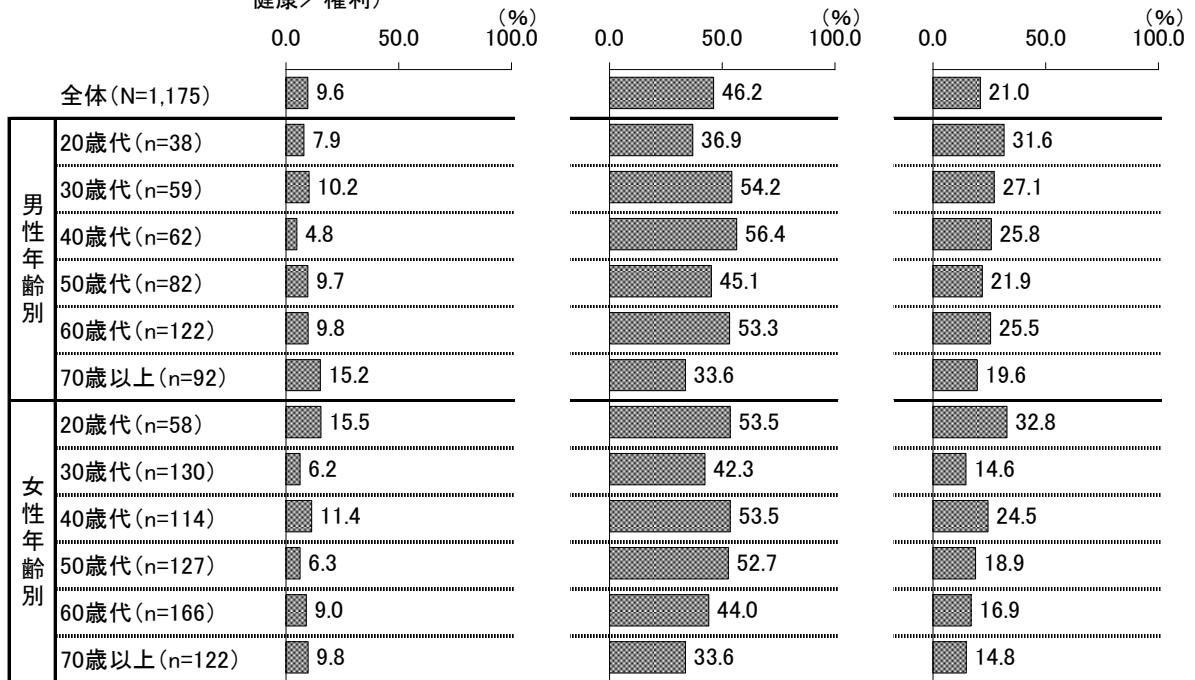
⑨ジェンダー(社会的・文化的  
につくられた性別)



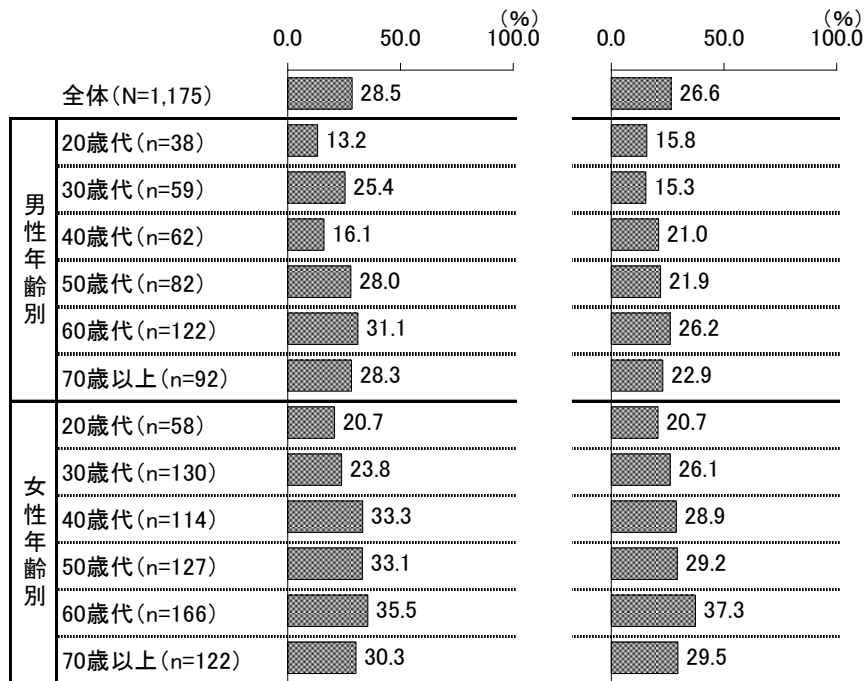
⑩リプロダクティブ・ヘルス/ライ  
イツ(性と生殖に関する女性の  
健康/権利)

⑪ワーク・ライフ・バランス(仕  
事と生活の調和)

⑫メディア・リテラシー(メディア  
からの情報を読み解く能力)



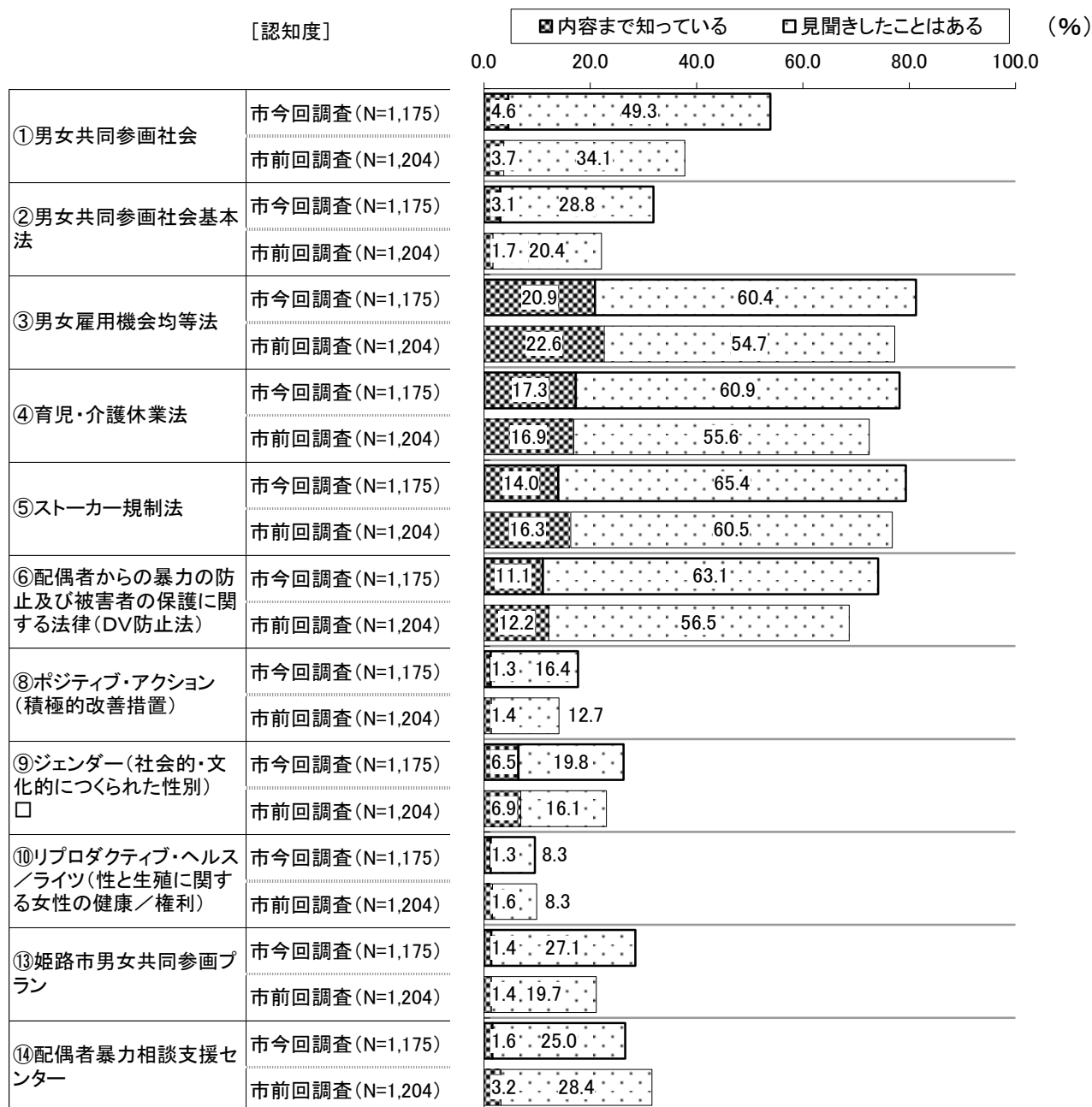
⑬姫路市男女共同参画プラン ⑭配偶者暴力相談支援センター



## ■参考：前回調査との比較

前回調査と比較すると、「①男女共同参画社会」、「②男女共同参画社会基本法」、「⑬姫路市男女共同参画プラン」で『認知度』が上がっており、一方で「⑭配偶者暴力相談支援センター」で『認知度』はやや下がっている。また、「⑩リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する女性の健康/権利）」の『認知度』にほとんど変化はみられない。

問 27. 男女共同参画関連事項の認知度（『認知度』のみ）【全体】





## 2. “あいめっせ” 認知度

問 28. あなたは、姫路市男女共同参画推進センター“あいめっせ”をご存知ですか。また、利用したことがありますか。(〇は1つのみ)

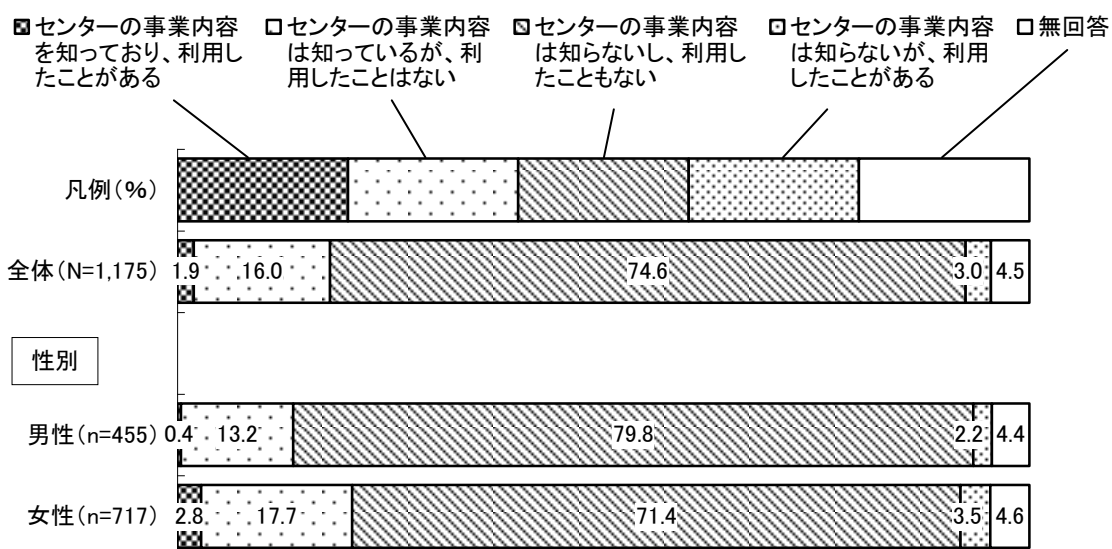
※「センターの事業内を知っており、利用したことがある」と「センターの事業内容は知っているが、利用したことはない」を合わせて『センター事業内容認知度』とする。

全体では、「センターの事業内容は知らないし、利用したこともない」が74.6%で最も高く、『センター事業内容認知度』は17.9%にとどまっている。

性別では、男性で「センターの事業内容は知らないし、利用したこともない」がほぼ8割を占めており、『センター事業内容認知度』もやや低くなっている。

性・年齢別では、男性40歳代以下で「センターの事業内容は知らないし、利用したこともない」の割合が高いことがわかる。

問 28. “あいめっせ” 認知度【全体/性別】



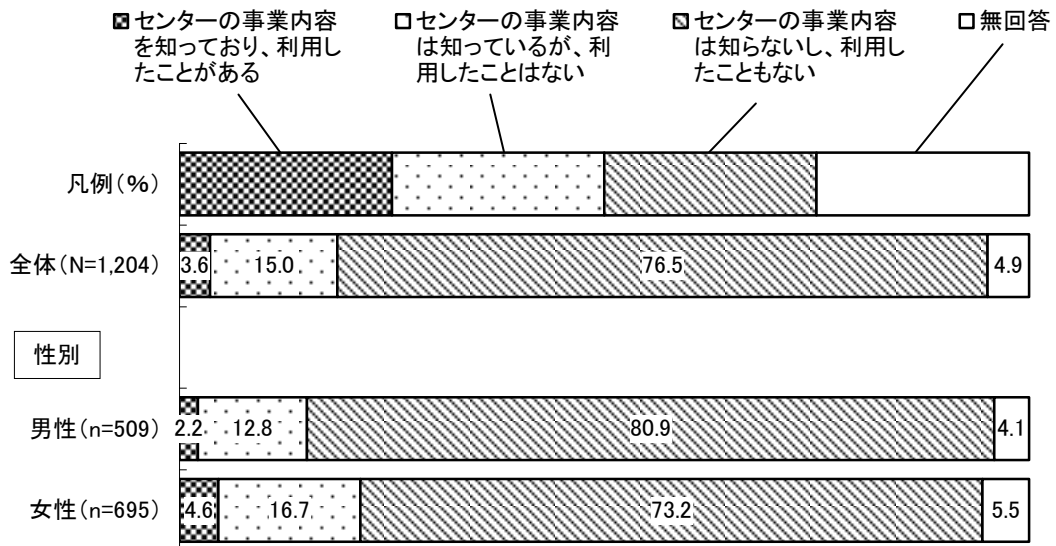
問 28. “あいめっせ” 認知度【性・年齢別】

|   |               | センターの事業内容を知っており、利用したことがある | センターの事業内容は知っているが、利用したことはない | センターの事業内容は知らないし、利用したこともない | センターの事業内容は知らないが、利用したことがある |
|---|---------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|
| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br>□ 全体+10%以上<br>■ 全体-10%以下 |               |                           |                            |                           |                           |
| 全体 (N=1,175)                                    |               | 1.9                       | 16.0                       | 74.6                      | 3.0                       |
| 男性<br>年齢別                                       | 20歳代 (n=38)   | 0.0                       | 10.5                       | 86.8                      | 2.6                       |
|   | 30歳代 (n=59)   | 1.7                       | 10.2                       | 88.1                      | 0.0                       |
|   | 40歳代 (n=62)   | 0.0                       | 9.7                        | 87.1                      | 0.0                       |
|   | 50歳代 (n=82)   | 0.0                       | 17.1                       | 75.6                      | 2.4                       |
|   | 60歳代 (n=122)  | 0.8                       | 13.1                       | 77.9                      | 4.9                       |
|   | 70歳以上 (n=92)  | 0.0                       | 15.2                       | 72.8                      | 1.1                       |
| 女性<br>年齢別                                       | 20歳代 (n=58)   | 0.0                       | 13.8                       | 77.6                      | 5.2                       |
|   | 30歳代 (n=130)  | 0.0                       | 16.2                       | 82.3                      | 0.8                       |
|   | 40歳代 (n=114)  | 2.6                       | 21.1                       | 71.9                      | 3.5                       |
|   | 50歳代 (n=127)  | 4.7                       | 18.1                       | 68.5                      | 3.9                       |
|   | 60歳代 (n=166)  | 3.6                       | 21.7                       | 65.1                      | 4.8                       |
|   | 70歳以上 (n=122) | 4.1                       | 12.3                       | 68.0                      | 3.3                       |

※「無回答」は表記していない

■参考：前回調査

前回調査：“あいめっせ” 認知度【全体／性別】



※前回調査では「センターの事業内容は知らないが、利用したことがある」の選択肢はない

### 3. 男女共同参画社会形成のために市が力を入れるべきこと

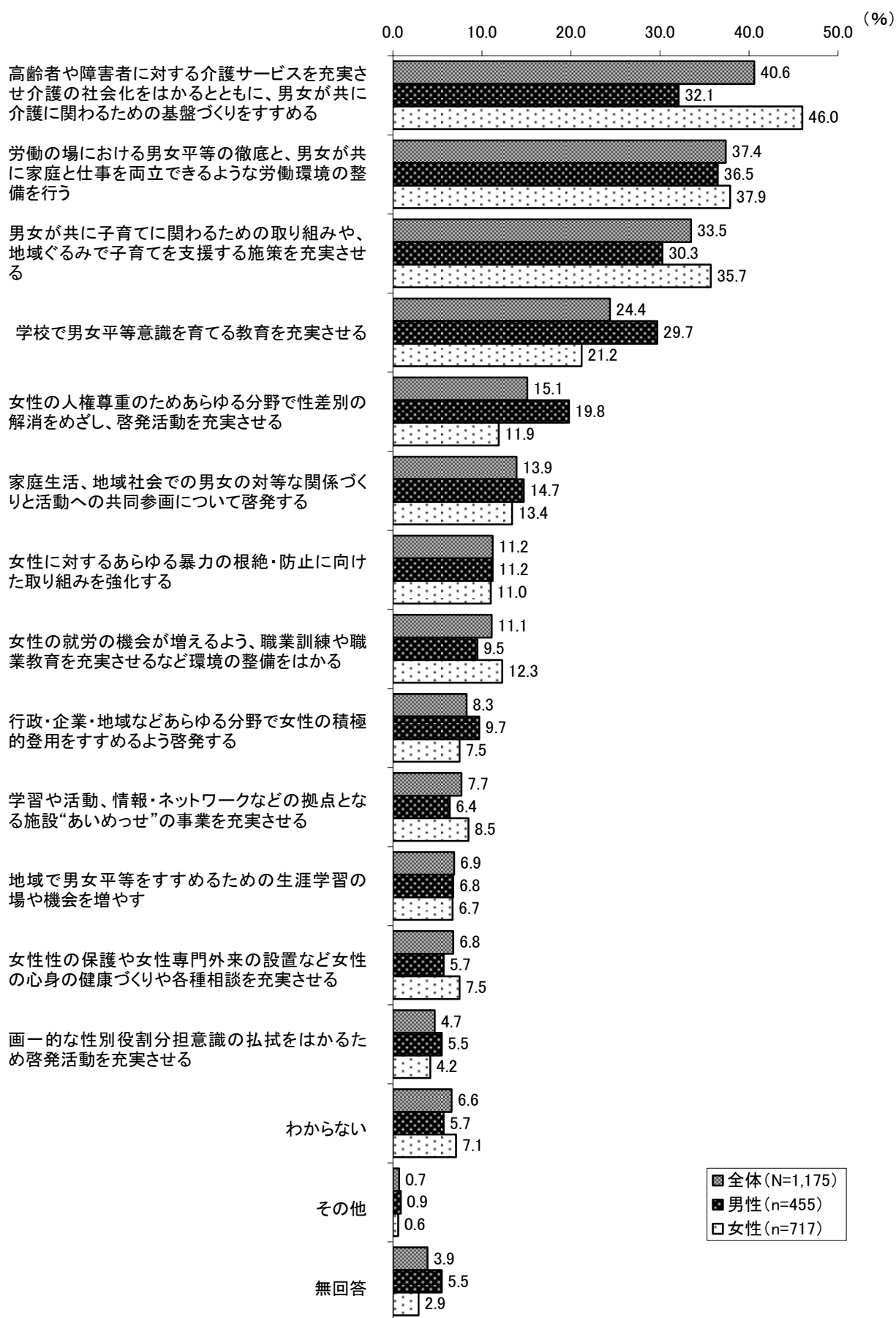
問 29. あなたは、男女共同参画社会を形成していくため、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「高齢者や障害者に対する介護サービスを充実させ介護の社会化をはかるとともに、男女が共に介護に関わるための基盤づくりをすすめる」が40.6%で最も高く、次いで「労働の場における男女平等の徹底と、男女が共に家庭と仕事を両立できるような労働環境の整備を行う」(37.4%)、「男女が共に子育てに関わるための取り組みや、地域ぐるみで子育てを支援する施策を充実させる」(33.5%)、「学校で男女平等意識を育てる教育を充実させる」(24.4%)の順となっている。

性別では、女性で「高齢者や障害者に対する介護サービスを充実させ介護の社会化をはかるとともに、男女が共に介護に関わるための基盤づくりをすすめる」、男性で「学校で男女平等意識を育てる教育を充実させる」の割合が比較的高くなっている。

性・年齢別では、女性40歳代・70歳以上で「高齢者や障害者に対する介護サービスを充実させ介護の社会化をはかるとともに、男女が共に介護に関わるための基盤づくりをすすめる」、男性30歳代・女性20歳代で「男女が共に子育てに関わるための取り組みや、地域ぐるみで子育てを支援する施策を充実させる」の割合が高い。また、男性60歳代で「学校で男女平等意識を育てる教育を充実させる」、男性70歳以上で「女性の人権尊重のためあらゆる分野で性差別の解消をめざし、啓発活動を充実させる」の割合が比較的高くなっている。

問 29. 男女共同参画社会形成のために市が力を入れるべきこと【全体／性別】



問 29. 男女共同参画社会形成のために市が力を入れるべきこと【性・年齢別】

(%)

|  |              |        |                            |              |                 |           |           |           |               |                 |                |             |              |                            |   |
|--|--------------|--------|----------------------------|--------------|-----------------|-----------|-----------|-----------|---------------|-----------------|----------------|-------------|--------------|----------------------------|---|
| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br><input type="checkbox"/> 全体+10ポイント以上<br><input checked="" type="checkbox"/> 全体-10ポイント以下 |              | ためとの基盤 | と高年齢者や障害者を対象とした社会福祉サービスの充実 | きるような労働環境の整備 | と労働者に対する権利保護の徹底 | 労働者の働き方改革 | 援助する施策の充実 | 男女共同参画の推進 | 学校での男女平等意識の育成 | 女性の人権尊重のための啓発活動 | 家庭内での男女共同参画の推進 | 女性に対する暴力の根絶 | 職業訓練や職業教育の充実 | 行政・企業・地域などあらゆる分野での女性の活躍の促進 | 学習や活動、情報・ネットワークなどの拠点となる施設「あいめつつせ」の事業の充実 |
|  |              | 40.6   | 37.4                       | 33.5         | 24.4            | 15.1      | 13.9      | 11.2      | 11.1          | 8.3             | 7.7            |             |              |                            |   |
| 男性年齢別  | 全体 (N=1,175) | 18.4   | 36.8                       | 26.3         | 31.6            | 21.1      | 7.9       | 18.4      | 15.8          | 5.3             | 7.9            |             |              |                            |   |
|  | 20歳代 (n=38)  | 27.1   | 44.1                       | 49.2         | 30.5            | 13.6      | 13.6      | 11.9      | 16.9          | 10.2            | 5.1            |             |              |                            |   |
|  | 30歳代 (n=59)  | 17.7   | 37.1                       | 29.0         | 22.6            | 14.5      | 12.9      | 8.1       | 9.7           | 9.7             | 3.2            |             |              |                            |   |
|  | 40歳代 (n=62)  | 48.8   | 34.1                       | 39.0         | 30.5            | 12.2      | 8.5       | 11.0      | 11.0          | 8.5             | 8.5            |             |              |                            |   |
|  | 50歳代 (n=82)  | 27.0   | 40.2                       | 23.0         | 36.9            | 21.3      | 20.5      | 12.3      | 7.4           | 12.3            | 5.7            |             |              |                            |   |
|  | 60歳代 (n=122) | 42.4   | 28.3                       | 22.8         | 22.8            | 31.5      | 17.4      | 8.7       | 3.3           | 8.7             | 7.6            |             |              |                            |   |
| 女性年齢別  | 70歳以上 (n=92) | 25.9   | 37.9                       | 44.8         | 27.6            | 20.7      | 17.2      | 10.3      | 10.3          | 6.9             | 8.6            |             |              |                            |   |
|  | 20歳代 (n=58)  | 23.1   | 42.3                       | 42.3         | 20.0            | 6.2       | 13.1      | 12.3      | 12.3          | 7.7             | 6.9            |             |              |                            |   |
|  | 30歳代 (n=130) | 52.6   | 43.9                       | 36.8         | 28.1            | 14.9      | 16.7      | 18.4      | 10.5          | 12.3            | 10.5           |             |              |                            |   |
|  | 40歳代 (n=114) | 49.6   | 40.2                       | 37.8         | 17.3            | 12.6      | 13.4      | 7.9       | 11.8          | 5.5             | 7.1            |             |              |                            |   |
|  | 50歳代 (n=127) | 49.4   | 33.1                       | 32.5         | 18.1            | 10.8      | 13.9      | 10.2      | 15.7          | 5.4             | 10.8           |             |              |                            |   |
|  | 60歳代 (n=166) | 65.6   | 32.0                       | 25.4         | 21.3            | 11.5      | 8.2       | 7.4       | 10.7          | 8.2             | 6.6            |             |              |                            |   |
| 70歳以上 (n=122)  |              |        |                            |              |                 |           |           |           |               |                 |                |             |              |                            |   |

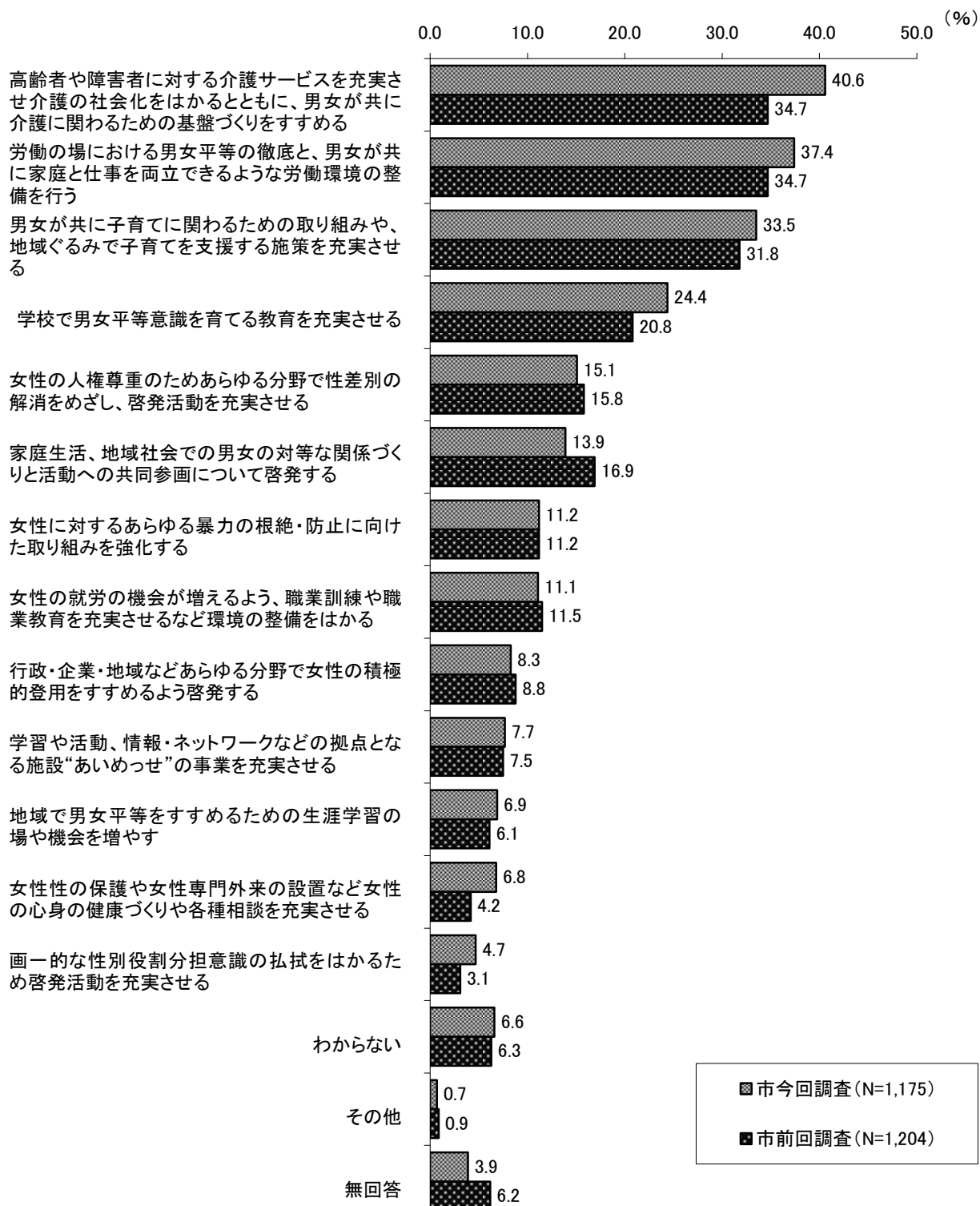
|  |              |                           |                          |                   |      |     |
|--|--------------|---------------------------|--------------------------|-------------------|------|-----|
| n=30以上の場合<br>[比率の差]<br><input type="checkbox"/> 全体+10ポイント以上<br><input checked="" type="checkbox"/> 全体-10ポイント以下 |              | 涯地域の男女平等を増やすための生涯学習の場の増やす | 相など女性心身の健康づくりに関する各種活動の充実 | は画一的な性別役割分担意識の払拭を | わからぬ | その他 |
|  |              | 6.9                       | 6.8                      | 4.7               | 6.6  | 0.7 |
| 男性年齢別  | 全体 (N=1,175) | 2.6                       | 7.9                      | 7.9               | 5.3  | 2.6 |
|  | 20歳代 (n=38)  | 6.8                       | 10.2                     | 5.1               | 5.1  | 0.0 |
|  | 30歳代 (n=59)  | 9.7                       | 4.8                      | 8.1               | 9.7  | 0.0 |
|  | 40歳代 (n=62)  | 3.7                       | 6.1                      | 3.7               | 4.9  | 0.0 |
|  | 50歳代 (n=82)  | 5.7                       | 4.9                      | 7.4               | 4.9  | 2.5 |
|  | 60歳代 (n=122) | 10.9                      | 3.3                      | 2.2               | 5.4  | 0.0 |
| 女性年齢別  | 70歳以上 (n=92) | 5.2                       | 8.6                      | 5.2               | 6.9  | 1.7 |
|  | 20歳代 (n=58)  | 4.6                       | 13.8                     | 4.6               | 10.8 | 0.0 |
|  | 30歳代 (n=130) | 12.3                      | 9.6                      | 5.3               | 3.5  | 0.9 |
|  | 40歳代 (n=114) | 5.5                       | 11.0                     | 4.7               | 3.9  | 0.0 |
|  | 50歳代 (n=127) | 7.2                       | 1.8                      | 4.8               | 7.2  | 0.6 |
|  | 60歳代 (n=166) | 4.9                       | 2.5                      | 0.8               | 9.8  | 0.8 |
| 70歳以上 (n=122)  |              |                           |                          |                   |      |     |

※「無回答」は表記していない

■参考：前回調査との比較

前回調査と比較すると、全体としては大きな変化はみられないが、「高齢者や障害者に対する介護サービスを充実させ介護の社会化をはかるとともに、男女が共に介護に関わるための基礎づくりをすすめる」の割合がやや増加している一方、「家庭生活、地域社会での男女の対等な関係づくりと活動への共同参画について啓発する」の割合が低くなっている。

問 29. 男女共同参画社会形成のために市が力を入れるべきこと【全体】



## 【8】自由回答意見一覧

男女共同参画に関する市政への意見・要望について自由回答欄を設けた結果、112人から回答が得られた。

以下、本調査の趣旨に直接関連のない意見・要望を除き、基本的に記述いただいたとおり紹介する。

| 年齢     | 性別 | 意見・要望   |
|--------|----|---|
| 20～29歳 | 男性 | 性差は必ずあるもので、特別保護しようとするため、不満感が現れると考える。能力があるもの（例えば、女性）が報われないのは、責任転嫁であるように感じる。  |
| 20～29歳 | 男性 | 昨年、保育園に入れず、1年間嫁が1人で子どもを見ていたため、赤字が増え、結果的には嫁がうつ病になり、家庭がボロボロになりました。もっと保育所、保育士を増やすなど、主婦が社会復帰できやすいようにしてほしいです。それが難しいなら、内職をもっと提供してほしいです。   |
| 20～29歳 | 男性 | 女性、女性ってこだわりすぎじゃないですか？   |
| 20～29歳 | 女性 | 女性にとって優しく、住みやすい街「姫路」にしていきたいです。  |
| 20～29歳 | 女性 | 私たちの年代で男女共同参画は認知度が高くなっていると思う。しかし、職場や地域など世代幅が広い場では、古くなってしまった「男は・・・、女は・・・」という意識を持った方が多いので、まず企業等就業現場で男女共同参画をすすめていくといいと思う。年配の方々の活発な社会が若者をたくましくさせるのではないのでしょうか。   |
| 30～39歳 | 男性 | 幼い子どもをもつ家庭での夫婦の役割は、それぞれの家庭の環境などで臨機応変に対応していくものであると思う。同世代の人たちとは理解しあうことがそれほど難しくないように思うが、地域でも高齢な方からは難しい。偏見をもたれたり、意見されることがある。考え方などを押し付けられないような社会になるよう活動してもらえると暮らしやすくなる。  |
| 30～39歳 | 男性 | このアンケートを答えていて思ったことは、かなり女性目線、女性中心の質問や書き方が多いように感じた。これは平等と言えるのか？今、社会は女性の方が強い、女性中心の社会になりつつある。男性が不利、肩身が狭い状況がたくさんあり、モラル欠如、マナーのない女性もとても多いのも事実。女性が不利なこともまだまだ多いかも知れないが、向上しすぎることは危険信号。「草食系男子」など、おかしい言葉、風潮ができるのだ。ただし、暴力は100%絶対にしてはイケないことだ。それは間違いない。女性の立場が向上して、男性が必要以上に肩身が狭くならない社会づくりを望む。 |
| 30～39歳 | 男性 | 男女平等というほとんどが男性優位を前提とした話になっているが、私のまわりでは男性のみきつい生活を強いられ、女性は好きな事をのんびりやれて人間的な生活ができていている場面も多い（旦那が働き、妻は友達とランチ）。本当の意味で男女平等にしてほしい。   |
| 30～39歳 | 男性 | 男性とか女性とかという事ではなく、一人の人間として家庭生活・社会生活の役割を担っていくという事を学校で教育してもらいたい。   |
| 30～39歳 | 男性 | 一昔前と比較すると（私達の親世代）、女性の社会進出は改善されてきた感はある。家庭でも、我々世代（30代）は、家事もやったり、食事や洗濯、食器洗い等、また育児についても、休日はメインになって面倒を見たりするようになっていないのでしょうか（我々の親世代は完全に分断されていた）。就労については、女性のからだの問題（生理や出産）で仕事を休まねばならない場合が予想されるので、大きなプロジェクトを任せられないという事もあるのではないのでしょうか。   |
| 30～39歳 | 男性 | イーグレの3Fに「あいめっせ」があることすら今まで知りませんでした。まずは市民に対して、そういったセンターがあること、施設の役割等の認知を広げるべきでは。   |
| 30～39歳 | 男性 | 独身の私には難しかった。  |
| 30～39歳 | 男性 | 税金の無駄遣いにならないよう活動する。こういう活動自体知らないし、国政と同じで関心がない。   |
| 30～39歳 | 男性 | 「男女平等」、「男女共同参画」の啓発活動や教育をすればするほど、男女に壁（あらゆる分野での性差別）ができるような気がします。放っておけない問題ではあるが・・・。  |
| 30～39歳 | 女性 | この調査をすることが単なる税金の無駄遣いに終わることのないよう期待しております。  |
| 30～39歳 | 女性 | 男性、女性と、共に仕事の内容として男性にしかできない仕事、女性にしかできない仕事とさまざまだと思います。私は女性ですが、男性の仕事もしてきましたが、やはり男性の仕事は男性の仕事として尊敬する部分も発見し感じたものがあります。子育てにおいても、福祉（介護）においても、協力し合う事が一番だと思います。1人1人がさまりや偏見にとらわれず、自分というものをしっかりもち、思いやる気持ちが大事な事ではないかなと思います。  |
| 30～39歳 | 女性 | 市政すべてに言える事ですが、どのような取り組みを行い、どのような成果を上げたかで、企業は人を評価するような傾向が強くなっている。公務員という枠で、このようなアンケートを行うだけで仕事を終わらせるならば、「税金ドロボー」だと思います。ちゃんと成果を上げてください。   |
| 30～39歳 | 女性 | 田舎に行けば、女性が参加する（しないといけない）習慣ごとが残っている。フルタイムで働き、主人も長時間働いているため、休日の余りの時間は子育てに費やしたい。でも、地域の参加ごとにもとなると、子どもとの時間が減るように思う。街の方と、田舎（村）の方と、同じような考え方になっていってほしい。   |

| 年齢     | 性別 | 意見・要望   |
|--------|----|---|
| 30～39歳 | 女性 | 施策の策定については費用対効果を考え税金を無駄に使うことがないようにしていただきたい。男性の残業を規制し、男性の長時間労働を減らすことに力を入れることで、男性は家事をする時間ができ、女性は長時間労働を要求されないなど、男女とも働きやすい環境につながるのではないかと。   |
| 30～39歳 | 女性 | この調査を通して、改めて人権について、家庭環境について、地域との関わりについてと、自分の生活のあり方を振り返ることができました。  |
| 30～39歳 | 女性 | 現在は、女性専用車両や、女性限定の企業のサービスなどが増えていて、男性側からみると女性の方が優遇されていると思われている現状もあるが、国民生活の基盤となるような法や、制度、慣習などでは、まだまだ改善が必要な事もあるのだと実感しました。性差については、個人一人一人が理解を深める必要があると思うが、「男女共同参画社会」という堅苦しく難しそうなお言葉があたり前の社会通念になるように期待しています。   |
| 30～39歳 | 女性 | 男性と女性は全く違う生き物であり、男性と女性が平等に扱われるということは、完全な間違いです。女性への暴力や性的嫌がらせは根絶すべきだと思いますが、過度の反応はどうかと思います。男女平等論を唱える女性団体は多いですが、本当の平等というものを理解できていない人がたくさんいます。何でもかんでも男女が同じようにすべきだと言ひ、最近の学校では男の子も女の子も混ぜこぜで規律も何もありません。本当の平等は「人間」としての平等であり、「男女」としての平等ではないのです、勘違いしないでほしい。  |
| 30～39歳 | 女性 | 最近では女性の方が強かったりもする。草食系男子が増えてもいる。男性が弱い立場のこともあるような気がする。  |
| 30～39歳 | 女性 | 「男女共同参画」について何をしているのかわからないので、もっと宣伝をして知ってもらえるようにしたいと思っています。   |
| 30～39歳 | 女性 | アンケートを中心に個人ではなく、企業全体のトップにアンケートをぶつけていただきたい。男女差別をしたら、何らかのペナルティーがあってもいいように思います。  |
| 30～39歳 | 女性 | 男女平等（対等）を目指すという事は、すべての事において男女が同じようにするという事ではないと思います。   |
| 30～39歳 | 女性 | 男女平等で働くには、女性の負担は大、家事負担は大（社会の偏見も大きい）。子どもが小学校1年に入学したとたん、学童の18時の迎えは通常不可能、仕事が定時で終われるばかりではない。学童施設長に（たぶん、市の担当課の役職）訴えたが、即答で「延長は考えていません。ファミリーサポートセンター、近隣、おじいちゃんおばあちゃんに対応してもらってください」の返事。ファミリーサポートセンターも毎日はいません。近隣も頼めず、祖父母も近隣にいないものはどうすればいいのか。仕事も辞めたくないし・・・。ワークライフバランスを考えるなら、全体的ではなく、このような具体的な細かい問題を解決しないと、自分の時間など取れない。同じ公的な立場でも細かいアプローチをいただきたい。市の施設用の回答は憤慨するような内容である。現実には女性が働きやすい社会、環境は、家庭環境としても働きやすいがイコール。家族だけでの子育て、介護じゃなく、公的なサービスでまかなえる社会となれば、平等となるのでは？ |
| 30～39歳 | 女性 | 姫路市で働いていますが、実際問題、職が少ないように思います。なかなか働きやすい環境ではないため、町を出ていく人もおられるのでは？働きやすく、住み良い環境、医療の充実を考えていただきたいと思っています。  |
| 30～39歳 | 女性 | 一生懸命活動してくださっているのに、あまり良く知らなくて申し訳ない気持ちでいっぱいです。よほど興味がないと気が付きにくいと思います。アピール方法を変えてみるのもいいのでは？（「あいめっせ」の）利用者の方などは多いのでしょうか？   |
| 30～39歳 | 女性 | 「本当の男女平等」とは何か？を考えるべきだと思う。すでに漢字が違う時点で等しくはない。各々が持っている能力を同じだけ出すので「本当の平等」になると昔から思っている。体の違いがあるように「まったく同じ条件にしなければいけない」ということが間違いだと思う。力仕事ができる人は力仕事、できない人は別の仕事を見つけて、それを一生懸命すれば、めぐりめぐって「平等」になると思う。浅い考えだが、それが根本だと思う。難しい言い方をすればいいわけではないと思う。   |
| 30～39歳 | 女性 | こんな風に市が男女共同参画のため「あいめっせ」さんを運営しているとは知りませんでした。このアンケートをいただいて知る機会を得ることができよかったです。   |
| 30～39歳 | 女性 | アンケートの選択肢の内容が微妙です。選びにくいというか、わかりにくい（テーマが難しいので仕方ないかもしれませんが）。どれも当てはまると思うものが多いです。質問する必要があるのか疑問です。そもそも「男女共同参画」がわかりにくい。今回の市民意識調査は、もっと有効になるような内容のアンケートにした方が良かったと思います。  |
| 40～49歳 | 男性 | 女性の仕事において、産後も継続して働いている人が同じ作業場にいるが、全くといっていいほど仕事をしない。仕事場に在場するだけで高い賃金を得ているように思う事が多々ある。「かしこい女性」のやり方かもしれないが、こちらには大迷惑！その点がなければ賛同できるが、現状は賛同いたしかねます。  |
| 40～49歳 | 男性 | とくに姫路の秋の祭りを見ていると女性の人権が少し危険性を感じます。   |
| 40～49歳 | 男性 | 今後も男女共同参画社会を形成していくため尽力ください。姫路は他市に比べ劣ることのないように努力ください。  |



| 年齢     | 性別 | 意見・要望   |
|--------|----|---|
| 40～49歳 | 男性 | 今が男女不平等とはそれほど感じないが、設問がそちらの方向に持っていこうとするものが多かった。  |
| 40～49歳 | 男性 | 基本的に性差はあると思う。男性優遇社会であるという事実は確かだが、“脳”のつくりの差による男女差とか、それぞれが能力を発揮することも大事だと考える。なんでもかんでも男女平等というのは違うのではないかと思う。男優先であったり、男が悪いという部分が多いが、逆に男が差別されているということも出てこないようにすることも大切だと思う。ただ、女性ももっと社会で能力を発揮できるように環境整備をすることは不可欠である。   |
| 40～49歳 | 男性 | 質問のほとんどが女性が損をしているのを前提に作られている気がしてとても不愉快でした。私の職場は女性の方が多く重責に登用され、その人たちの能力はどうみてもそんなにありません。これは法律ができたからだと思っています。重い荷物を男が持つものだと思っている女性が多く、女性専用車両があるのだからそちらの車両に乗れといたいこともあったり、体を武器に就職口があったりと有利な事もあるのではと思います。嫌々そういう仕事をやっているといいたいかもしれませんが、男も仕事をいやいやしていたりと、女性は働き口があるだけいいと思います。私の家庭では家事のほとんどを私がしたりしており、家庭によっては事情が違うのでアンケートの出し方も考えるべきだと思います。 |
| 40～49歳 | 男性 | 社会進出するのであれば、それにとまなう責任を負う覚悟が必要であると思う。法的に整備されても、現実問題として仕事はそう簡単に割り切れるものではないので、家庭やプライベートをそれなりに“ギセイ”にする覚悟は必要であると思う。逆にその覚悟なくして社会進出すると、「女だから…」といった今までと同じ評価となり、何も解決されないと思う。仕事か家庭かを選択するくらいの覚悟を持たない限り、ダメだと思う。   |
| 40～49歳 | 男性 | 女性の方への健康診断の受診できる頻度や機会を増やしたり、作ると思います。女性の健康診断などが受診しにくいという話を聞きます。小さい子供がいる場合、受診中に一瞬でも預ってもらえると良いが、そのようになっていない。集団検診の予約が取りにくい。受診できる時間帯が限られ、また人数の制限がある。検診費用が高い。無料がある検診なら良いが、検診の頻度が少ない（無料券のあるもの）。乳ガンとかだとガンではまだないけれど半年に1度くらい検査が必要な人もいるが、こういう人は病気という扱いではないので保険がきかないので検査費用もかかるそうです。無料の診察は、総合病院にはなっていない。働く女性としては1回にまとまっている方が良いと思う。         |
| 40～49歳 | 男性 | 過度に男女共同と言う必要を感じない（言い過ぎの世の中はどうか？）  |
| 40～49歳 | 男性 | 男女平等と言っていますが、明治、大正、昭和、平成と生まれる時代によって考え方が違うと思う。今は昔より確実に男女平等になっていると思う。法律でいくら決めても格差社会で仕事、年収によってDVなどの事が起こる。もっと若い人が仕事をもって家庭をもっていかなないと、社会全体はよくなりません。政府も収入にあった行政をお願いします。  |
| 40～49歳 | 女性 | 夫婦、家族の間でできていても社会に出ると女性の地位の向上にはまだまだと感じる。   |
| 40～49歳 | 女性 | 市政だよりは全般的に目を通していたつもりでしたが、男女共同参画についての知識は皆無であることを自覚しました。より強いメッセージの発信や、「あいめっせ」のPR etc 目立つ広告（情報発信）があるとよいと思います。このアンケートを通して「知らないこと」を知ることができました。   |
| 40～49歳 | 女性 | 言葉を聞くと難しく感じるので、例題など掲げていただけると、もう少し身近に感じるかもしれません。   |
| 40～49歳 | 女性 | 何事も偏りすぎはよくないと思う。学校等で、自然に意識の中に入れていく教育ができればよいと思う。   |
| 40～49歳 | 女性 | 男女平等といっても体力的には男性に頼らざるを得ない職業もあるし、女性は月に1度生理もあって、やはり体力的にも心情的にもマイナーな気分におち入ります。そのあたりを考慮していただいて、さらに男女平等と女性側から叫ぶのは、女性優位ではないかなと思います。何をしてもまず思いやりを持って、男性は女性を、女性は男性を…。それで共存という形にしていくのが、理想的な社会をつくることだと私は思います。   |
| 40～49歳 | 女性 | イーグレに「あいめっせ」という施設があることを初めて知りました。興味を持っていなかったせいもありますが、姫路市がもう少し力を入れて宣伝活動に取り組みばあらゆる年代の人々に知ってもらえると思います。  |
| 40～49歳 | 女性 | 今言われていること、学校での教育は「平等」というのが少し違う気がします。男女はもともと違うものだから、それぞれの役割があつてよく、その違いを受け入れて生活していくのがいいと思います。「専業主夫」と同じく「専業主婦」も認めるべきだし（昔と違い今は肩身が狭いようです）、むしろ子育てに時間をかける良いことと思います。その家庭がうまくいくなら、進歩的な形でも昔からの形でもどちらでもよく、マスコミや知識人があれこれ言って必要以上に啓発することもないと思います。   |
| 40～49歳 | 女性 | 「あいめっせ」の施設内容、はじめて知りました。が、具体的にどういう事を行っているのでしょうか？イベント等されているのでしょうか？広報は毎月目を通してはいるつもりですが、今まで目につきませんでした。  |
| 40～49歳 | 女性 | 年齢、性別などすべての“差”がない世の中になってほしい。  |

| 年齢     | 性別 | 意見・要望   |
|--------|----|---|
| 40～49歳 | 女性 | 男性だから女性だからという考え方ではなく、男性、女性の適性をいかし、お互いを認めいかしていく社会を望みます。  |
| 40～49歳 | 女性 | 具体的に、どういう活動をされているのか、正直、わかりづらいです。具体的な啓蒙・啓発活動を知りたい。また、行政を中心に、具体的に、もっと企業や事業主に斬り込んで活動していただき、姫路の町ももっと風通しよく、男女で社会全体、地域全体を担っている意識を持てるよう、啓蒙・啓発していただきたい。姫路の場合、地域のつながりという祭りの参加が強要になっているのが辛い、困る。それ以外で、共同体として、いろんな参加、交わりがほしい。               |
| 40～49歳 | 女性 | 「次の中から3つまで選べ」とありますが、すべて当然の事なのでは？優先順位をつけるためのものか？アンケートの意図がわかりません。男女平等と言っても、すべてにおいて平等になる訳もなく、それより姫路市民は個々の意識レベルを向上させるべきだと思います。  |
| 40～49歳 | 女性 | いろいろなどころで見聞きはしますが、各個人においての考え方、捉え方が、個人によって違うため、幅広い年齢層に知ってもらうように拡充したらどうだろう。   |
| 40～49歳 | 女性 | 人間社会で一番大切なことは、しっかりとした次世代を育てることだと思います。子どもがよい環境で正しく育つために、何が必要でしょうか。男女とも人権が尊重されること、もちろん子どもも。平等という言葉のもとに、競い合うのではなく、お互いに協力して、子どもが育つのに必要な環境を整えるという考えが必要だと思います。子どもがいない人や、子育てから離れてしまった世代にこそ、社会全体で「バトンタッチできる世代を育てる」気概を植えつけていただければと切望します。 |
| 50～59歳 | 男性 | 物理的な平等の追求は目指すべきであるが、心的な男女の役割分担を考慮していくことが望ましいと考えます。  |
| 50～59歳 | 男性 | 法制度の不足による問題が多い。育児休暇は、1年+αしかとれないが、1歳児の保育施設は絶対に不足している。保育施設の充実が、男女平等の第一歩と思う。また保育施設は、3歳児くらいからは母親が定時勤務できる時間保育してくれることが必要。学童保育についても同じで、母親が、仕事をしやすい環境を作ることが必要と思う。   |
| 50～59歳 | 男性 | 性別を問わず、よりよい人材育成をして市政へと反映していければと思う。  |
| 50～59歳 | 男性 | 男女共同参画の啓発を充実させてください。日給で仕事をしている人は、家事等で仕事を休めません。また基本給が低く、残業に頼っている人も同じです。共に長時間労働となります。   |
| 50～59歳 | 男性 | よりよい社会になるため頑張ってください。  |
| 50～59歳 | 男性 | 男と女は身体、精神に違いがあり、完全な平等はありえない。もし平等になれば、いびつな平等になってしまう。性の特性を考慮した、本当の平等を考えるべき。子どもの時の教育をしっかりとる。誤った男女平等は社会の混乱を招く。  |
| 50～59歳 | 男性 | 意識や心を動かすように努めていく。   |
| 50～59歳 | 男性 | 核家族が増えていく世の中で、今までと同じように男性の方が優位に立つような世の中が続くようでは困ります。家族において、家事、育児も男性には協力してもらい、仕事においても女性が結婚しても働きやすい職場作りをめざしてほしい。   |
| 50～59歳 | 男性 | 保育所等、保育行政の充実、子育ての支援の充実。働きたくても子どもを預ける場が少ないので、いろいろな場所にも参画できない。  |
| 50～59歳 | 男性 | 市政発行認識標（ペンダント）を作してほしい。  |
| 50～59歳 | 男性 | スポーツ競技では男女別カテゴリーになっているように、すべてにおいてオープンにし、枠を取り払うことが男女平等ではないと思う。何でもオープン＝公平と取り違った意識の上で展開されている施策があるのではないかと、本アンケート質問項目の中からも感じられる。   |
| 50～59歳 | 男性 | 女性が多く活躍する保育、介護の仕事がどんなに大変か、重要かと実際に現場へ役所の方々が足を運ぶなり、話を聞くなりして、正しく知り、正当な報酬が支払われていないことを実感してほしい。また男性が働きたくても給与が低いため、続かないことも理解してほしい。   |
| 50～59歳 | 女性 | このアンケートは理解できない。女性個々の考え方が多く左右すると考える。女性が生きて行く上で、自信を持って行動することが大切。女性だけでなく、男性だからという考えでアンケートが作成されているのでは？その点が大きな問題では？医療に対する面を、市民の目線で考えてほしい。介護の面、医療保険の面など。  |
| 50～59歳 | 女性 | 若い女性が出産・育児をしやすい町にしてほしいです。勤めは姫路市、住むなら〇〇町というのも、過疎化を防ぐにはいいことかもしれませんが、働きたい町、住みたい町がいいですね。  |
| 50～59歳 | 女性 | このアンケートが今後のプランにどのように参考になるのかすごく不安ですが（アンケート内容が浅い、設問と回答がずれていると感じた）、職員さんの知識や今後の勉強を深めていただいて、市民のためになるプランの作成を期待します。  |
| 50～59歳 | 女性 | 介護業については、男女とも同じ給与・支給（男女平等）ではあるが、男で17万円程度では、結婚し生活を支える事ができず、ほとんどの男が退職する。平等がよいかどうか考えてしまう事もある。男女共同参画という点では、家庭支援という事が大きい。育児・介護の支援に市政は力を入れてほしい。そうしたら安心して男女共働ける。   |

| 年齢     | 性別 | 意見・要望   |
|--------|----|---|
| 50～59歳 | 女性 | 男女平等という制度は大切だと思いますが、真の平等とは何なのでしょう？体、能力、価値観からも全ての違いがある中で、平等の生活はあり得るのでしょうか？女性らしく男性らしく教育を高めていく中で、尊重し合うという意味があつてこそ、平等へとつながっていくのではないのでしょうか。男性は女性を大切に思いやる、女性は男性を誇らしく思う事の中で、平等は見い出せないのでしょうか。   |
| 50～59歳 | 女性 | このアンケートがどのように役立つのか知りたい。   |
| 50～59歳 | 女性 | 男性は男性、女性は女性という固定観念を捨て、その人の能力に合わせた活動ができるように、障害を取り除けるような環境を考える。   |
| 50～59歳 | 女性 | 高齢化社会になってきつつある姫路。男女共同参画も大事ですが、まず最初に取り組むべき事は、上記のような社会を作るより、日々歳を取っている私達の住み良い姫路を作る事が大事ではないのでしょうか。  |
| 50～59歳 | 女性 | 個々人、または男女それぞれの良い面を引き出せる社会であればいいと思います。「平等」を表面的に解釈しすぎると、かえって生きにくい世の中になります。女性管理職の%だけを上げようとする早急なやり方も、後々問題が出てくると思いますので、機会は均等であるべきですが、能力のある方がきちんと選ばれてほしいと願います。  |
| 50～59歳 | 女性 | 私は女性ばかりの職場で働いてきましたので、また女性であるため、女性の立場からのアンケートの回答になっていると思います。また、私は結婚してから「嫁」という立場で色々な事があり、大変つらい日もありました。三人兄弟の二番目の「嫁」なのですが、「嫁」は皆平等だと思います。「嫁」というものは、まさに「人権が無視される弱い立場だな」と思いつつ、子どもたちのために30年間頑張ってきました。今、やっと少し夫が理解してくれるようになってきています。もう少し頑張り、孫の顔がいつか見られるのを楽しみにして、また働く機会があれば働きたいとも思う今日この頃です。 |
| 50～59歳 | 女性 | 女性の人権尊重はもちろんのこと、男性も企業の中では、立场上相談できる環境にない人も多いはず。家庭、地域社会、企業すべてが、環境の見直しを考えなおしていただきたいと思います。  |
| 50～59歳 | 女性 | 男女格差ではありませんが、6ヶ月間更新のパート職員として勤務しておりますが、正社員との給与の差、有給日数の差について疑問を感じます。同じ労働内容、労働量でありながら、雇用形態が変わった（都合上変えた）ことにより、年間倍近い給与差があります。“差別”であると思います。雇用機会均等法が詳しくわかりませんが、労働意欲は著しく低下いたします。不平等の是正を望んでいます。  |
| 50～59歳 | 女性 | 男性と女性は体力等同じになれない所がたくさんあると思います。「平等」というのはとても違和感があります。補い合いながら、特に家庭内では食事も洗濯もお互いに（子どもも巻き込んで）、家の用事は家族でできるようにありたいと思います。  |
| 60～69歳 | 男性 | 高齢者の介護サービスは大変充実してきていると思われませんが、個人的にはまだまだ介護ができない（誰も見ていないのに男はここまでと思っている人がいると思われます）。言葉だけのやさしさはできて手を出せないことが…（排尿等の世話について）。男性の60代からの充実感のある社会参加の場を市を上げて増やせませんか？（子どもを守ること、ゴミに対すること、犯罪をなくすためなど）   |
| 60～69歳 | 男性 | 「あいめっせ」等の男女共同参画事業の内容とその効果のPRを積極的に図る（どのような問題に対し、どう取組み、どのような成果を上げたか）。   |
| 60～69歳 | 男性 | 女性が自信を持って行動すれば良いと思います。  |
| 60～69歳 | 男性 | 『男女共同参画』等のコトバをよく見聞きするが、また、見聞きして久しいように思う。しかし、この中身の進展・進歩程度や状況がまったく伝わってこない。そして、市民・国民の関心や認識度合いが少ないのでは？市・市民間に乖離や不理解と映る。時々、「あいめっせ」ホール（主に3F）へ行くが、どこで誰が何をどのように（5W1H的）等仕事をしているのかまったくわからない。全てに（失礼）、根本的に上スベリ的に見える、思える。3F全体的に従事者がシラケたような雰囲気を感じる。  |
| 60～69歳 | 男性 | “組織”を作った、“何かしないとまずい”、だから“こうしたアンケートを取り、よく考えず記入したことを集計して、またまた次の活動をするためのプランを作る”。こんなことが、屋上屋を架す活動を始めるようになっていないですか？逆に今行っていることをリストアップして、止めてもいい活動を整理することも必要ではないか？何かやらないといけないと考えず、個人個人の異なった生活態様に沿った支援の方が効率的ではないかな？と思っています。   |
| 60～69歳 | 女性 | 内容及び言葉が難しく理解しにくいです。設問が多すぎる。   |
| 60～69歳 | 女性 | 子育てしながら就職するのは難しく、できても学校行事や子どもの少しの熱でも学校、保育所からのお迎えを言われるため、会社に対して申し訳なく思うことがある。働きやすい環境の充実には、学校、保育所等の協力が必要と思います。保育所の先生には感謝しておりますが、小学校にもなった子どもをすぐに帰す等、責任転嫁かも知れませんが。   |
| 60～69歳 | 女性 | 基本的に男女共同参画そのものに疑問を持っているので、それぞれ役割分担があるはずだから、性別に関係なく向いている人が向いている事をすればいいのであって、無理に性別にこだわる事はないと思う。   |
| 60～69歳 | 女性 | 人権保護の運動について、その必要性をあまり感じてない。意識しない方が真の平等が確保されているという証拠ではないかと思う。  |

| 年齢     | 性別 | 意見・要望   |
|--------|----|---|
| 60～69歳 | 女性 | 子育ても両方の親の長い介護生活も終わりました。今さらよく知らない男女共同参画に関するアンケートを書かされても、申しわけないですがあまり力を入れて考えられません。ただ年をとっていく私達は、健康に気をつけて穏やかに生活したいと思って暮らしております。   |
| 60～69歳 | 女性 | 男女平等の上で、女性と男性の役割はあると思います。差別ではなく、社会の基本は暖かい家庭あつての事です。女性がこの頃ではテレビでも強い（よいことであればいいのですが、女性も賢くならないといけませんね）。男性もちろんその上での男女平等が成り立つと思います。  |
| 60～69歳 | 女性 | 女性が家を守り、しっかりと子育てをしていく気持ちが昔と変わりつつあり、そのために子どもの不安定が多くなり、昔と違った多くの問題があります。どうすれば日本国が落ち着きたい国になるのでしょうか。皆さまの力で少しでもよくなる事願っています。   |
| 70歳以上  | 男性 | 今回のアンケートの前提とされている「女性差別」そのものが、私にはほとんど実感としてないので、どの設問にも答えようがなかった。私には「男女共同参画社会」なるものが、単なる女性の責任回避、享楽指向のように思われる。女性の権利を否定するつもりはまったくないが、権利には義務が必ずともなうものであることを忘れてはならない。日本の現代の女性（母を含む）は「つくづく弱くなった」と思う。   |
| 70歳以上  | 男性 | 社会構造の変化が進み、女性の社会進出が進化し、社会の制度・システムの改革が進み、働きやすい環境改善が実行されて、女性独自のアイデアが製品化されて、安全・安心に使用できる商品が、市中に出回り、売上を伸ばしている。一方で、一度リタイヤした女性が、結婚・出産・育児に携わると再就職が困難を極める。一方、日本の国内では急速に進む高齢化が労働人口の減少の一途を辿り、今後ともこの傾向は続いていくと考えられるが、男女共同参画社会の実現を目指すには一生涯を通じて働ける環境づくりの醸成が必要であり、現在の日本が置かれている停滞している経済を向上させる一因となると思います。 |
| 70歳以上  | 男性 | 最近、健康を夫婦共（二人暮らし）損なっておりますので、この度のアンケートをいただいて、初めて姫路市の「あいめっせ」等で男女共同参画推進課がある事を知りました。早く健康を取り戻して、前向きに何か参画の機会を持てればと思います。  |
| 70歳以上  | 男性 | 男女共同参画社会とは、「男女が安心して子どもを産み育てながら仕事を行える社会」であるはずだが、現状では少子化を促進させ、女性の格差を広げてしまっている。今のままの行政主導の「男女共同参画社会」では、女性も男性も不幸な社会を作ってしまうだろう。毎年10兆円以上の予算（＝税金）を使って、公務員の利益誘導集団（利権団体）と、自治労職員の天下り先（特殊法人）を増やしているだけではないのか？  |
| 70歳以上  | 男性 | 男女雇用機会均等法（？）が施行されてかなりの年数がたったと思います。当然のことながら、法の主旨に則って、またそれ以上に各人がお互いを尊重し合った社会になりますように。文化の趣き深い市であることを望みます。  |
| 70歳以上  | 男性 | 理解できない事がたくさんあります。もう少し若い人を対象にされてはと思います。  |
| 70歳以上  | 女性 | 日本では男社会です。女性に対する差別も国会の中にも感じられます。ヤジがあり見苦しい光景もあり、まだまだ女性は下です。まだまだ世界の大国の女性のように尊敬されていません。たくさんの方々が危害を加えられて亡くなられています。みんなで考えていかなければと思います。腹立たしいです。   |
| 70歳以上  | 女性 | 頭では男女共同参画という意味は理解できていますが、具体的にはもう少し勉強する必要ありと感じました。年齢の違いにより考え方や理解も違うと思います。私たち70歳になります。自分の経験してきた感想でしか物事を捉えられません。今現在共働きされている方とは少し違うと思いました。  |
| 70歳以上  | 女性 | 男性と女性は身体的に異なっていて、重い物を男性が持ち、女性が周囲の人々にお茶を接待しても決して不平等とは言えない。男性以上の能力を持つ女性も多々見うけるが、単純な上記の事等が理解できず、声高に平等を表現するには、物事を理解する能力に欠けていると評価されても仕方がないと考えます。   |
| 70歳以上  | 女性 | 子どもが低学年くらいまでは、母親は家で帰りを待っていてやるくらいの方が子どもの情緒が安定すると思います。  |
| 70歳以上  | 女性 | 「あいめっせ」は早くから存じていました。お部屋を借りたことがあります。まだまだ一般に知れ渡っていないので皆さまが使いやすいようにと。  |
| 70歳以上  | 女性 | 今までの人生経験や環境、家族構成などの違いから、十人十色、多くの選択が考えられるため画一的にまとめることは困難である。市政にとって女性の視点は不可欠。かといって「女性枠」を作っても、能力面、適性などに欠けていたら本人にとっても新たな問題が起こるのでは。10年後、50年後の姫路の発展も考え、今日、明日の市民の幸せを構築できる市政をお願いしたいと切望しています。  |

# 資 料

# 男女共同参画に関する市民意識調査

## ご協力のお願い

日頃から、市政にあたたかいご理解とご協力をいただきありがとうございます。

姫路市では、全ての市民が人権尊重を基調に、性や世代にとらわれることなく一人ひとりの個性、資質、能力を認め合い、それらを十分に発揮し、支えあって暮らせる都市の実現を目指して、『男女共同参画プラン』を策定するなど、さまざまな取り組みを進めています。

この調査は、『男女共同参画プラン』の計画期間が平成24年度末で終了することから、より市の実情にあった新プランを策定するにあたり、市民の皆様の男女共同参画社会に関する意識や意向、ニーズを的確に把握し、今後の施策展開の参考にしようとするものです。

調査対象者は、市内にお住まいの満20歳以上の男女3,000人を無作為に選ばせていただきました。調査は無記名であり、ご記入いただいた内容については、統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしません。

お忙しいところ恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成23年7月

姫路市長 石見 利勝

### 調査票 ご記入上のお願い

- 1 封筒のあて名の方ご本人がご記入ください。
- 2 回答は、設問ごとにあてはまる番号を選び、その番号に○をつけていただくものがほとんどです。設問ごとに「1つ選んで○」、「あてはまるものすべて選んで○」など指定しておりますので、指示にしたがってご記入ください。
- 3 回答の際、「その他」に該当する場合は、具体的にその内容を（ ）内にご記入ください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、三つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**7月25日（月）**までに、ご投函くださいますようお願い申し上げます。
- 5 このアンケートに関するお問い合わせは、下記までお願い申し上げます。

姫路市男女共同参画推進課

〒670-0012

姫路市本町68番地290 イーグレひめじ3階

TEL：079-287-0803 FAX：079-287-0805



#### 男女共同参画社会とは・・・

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」（男女共同参画社会基本法第2条より）のこと。

**あなたご自身のことについておたずねします。**

F1. あなたの性別はどちらですか。あてはまるものを 1つ選んで番号に○をつけてください。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F2. あなたの年齢はおいくつですか（平成23年7月1日現在）。

あてはまるものを 1つ選んで番号に○をつけてください。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～59歳 | 5. 60～69歳 | 6. 70歳以上  |

F3. あなたの職業は次のどれにあたりますか。

あてはまるものを 1つ選んで番号に○をつけてください。

- |                   |                                 |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. 勤め人（常勤）        | 2. 勤め人（非常勤、パートタイム、アルバイトなど）      |
| 3. 農林漁業（家族従事者を含む） | 4. その他自営業<br>（事業経営者、家業手伝い、内職など） |
| 5. 学生             | 6. 専業主婦・専業主夫                    |
| 7. 無職（5及び6を除く）    | 8. その他（ ）                       |

F4. あなたは結婚されていますか。あてはまるものを 1つ選んで番号に○をつけてください。

- |          |               |
|----------|---------------|
| 1. 未婚    | 2. 既婚（事実婚を含む） |
| 3. 離別、死別 |               |

F4-1 この設問は、F4で「2. 既婚（事実婚を含む）」と回答した方にもおたずねします。

あなたの配偶者・パートナーの就労状況はどれですか。

あてはまるものを 1つ選んで番号に○をつけてください。

- |                   |                                 |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. 勤め人（常勤）        | 2. 勤め人（非常勤、パートタイム、アルバイトなど）      |
| 3. 農林漁業（家族従事者を含む） | 4. その他自営業<br>（事業経営者、家業手伝い、内職など） |
| 5. 学生             | 6. 専業主婦・専業主夫                    |
| 7. 無職（5及び6を除く）    | 8. その他（ ）                       |

F5. あなたはお子さんがいらっしゃいますか。  
 あてはまるものを 1つ選んで番号に○をつけてください。

|        |       |       |       |         |
|--------|-------|-------|-------|---------|
| 1. いない | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人 | 5. 4人以上 |
|--------|-------|-------|-------|---------|

F6. あなたの世帯状況はどれですか。  
 あてはまるものを 1つ選んで番号に○をつけてください。

|                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 単身世帯（ひとり暮らし） | 2. 一世代世帯（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ） |
| 3. 二世帯世帯（親と子など） | 4. 三世帯世帯（親と子と孫など）     |
| 5. その他（         | ）                     |

## 男女平等意識についておたずねします。

問 1 あなたは、今の社会において、次の各分野で男女の地位はどのようになっていると思いますか。①から⑧のそれぞれについて（ア）～（カ）の中からあなたの気持ちに最も近いものを 1つずつ選んで番号に○をつけてください。

|                   | (ア)<br>男性の方が非常に優遇されている | (イ)<br>どちらかといえば男性の方が優遇されている | (ウ)<br>平等 | (エ)<br>どちらかといえば女性の方が優遇されている | (オ)<br>女性の方が非常に優遇されている | (カ)<br>わからない |
|-------------------|------------------------|-----------------------------|-----------|-----------------------------|------------------------|--------------|
| ①家庭生活では           | 1                      | 2                           | 3         | 4                           | 5                      | 6            |
| ②職場では             | 1                      | 2                           | 3         | 4                           | 5                      | 6            |
| ③学校教育の場では         | 1                      | 2                           | 3         | 4                           | 5                      | 6            |
| ④政治の場では           | 1                      | 2                           | 3         | 4                           | 5                      | 6            |
| ⑤地域活動の場では         | 1                      | 2                           | 3         | 4                           | 5                      | 6            |
| ⑥法律や制度の上では        | 1                      | 2                           | 3         | 4                           | 5                      | 6            |
| ⑦社会通念、慣習・しきたりなどでは | 1                      | 2                           | 3         | 4                           | 5                      | 6            |
| ⑧社会全体では           | 1                      | 2                           | 3         | 4                           | 5                      | 6            |



問 2 社会にはいろいろな面で男女不平等があるといわれていますが、不平等が生じる原因はどこにあると思いますか。

次の中から**3つまで（1つでもよい）選んで番号に○をつけてください。**

1. 男女の生まれつきの身体的・生理的な差
2. これまでにつくられた男女の能力・適性のちがい
3. 男女の役割についての固定観念
4. 社会の慣習やしきたり
5. 法律や制度上の差
6. 職業生活面での有利・不利
7. 女性の自覚や理解の不足
8. 男性の自覚や理解の不足
9. 売買春、風俗産業、女性の裸体を扱うマスコミ・メディアなど、女性を商品化する風潮
10. 男女不平等な点はない
11. わからない
12. その他（ )

問 3 あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには、どのようなことが最も重要だと思いますか。

次の中から**1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 法律や制度の上での見直しを行い、女性差別につながるものを改めること
2. 女性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること
3. 女性自身が経済力をつけたり知識・技術を習得したりするなど、積極的に力の向上をはかること
4. 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実をはかること
5. 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
6. わからない
7. その他（ )

問 4 あなたは、今後どのような分野、領域で女性の参画が必要になると思いますか。

次の中から**あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。**

1. 地域おこし、まちづくり、観光などを女性の視点から見直す地域の文化・産業分野
2. 環境保全に対する女性の高い関心や豊かな知識、経験を生かすことができる環境分野
3. 被災・復興状況における女性をめぐる諸問題の解決など防災・災害復興分野
4. 女性研究者の採用機会の確保や理工系への進路選択の支援など科学技術分野
5. 農業経営への参画、家族経営協定など農林水産分野
6. 審議会委員などへの任命、管理職への登用、職域の拡大など政策・方針決定領域
7. その他（ )

## 職業生活についておたずねします。

問5 理想的な女性のライフスタイルと実際の状況（現実）についておうかがいします。  
あなたが女性の場合はあなた自身について、男性であればあなたの妻（パートナー）について、理想と現実をそれぞれ（ア）～（カ）の中から1つずつ選んで番号に○をつけてください。

※結婚されていない方も、結婚していると仮定してお答えください。

|     | (ア)<br>職業を<br>もたない | (イ)<br>結婚するま<br>では、職業<br>をもつ | (ウ)<br>子どもがで<br>きるまでは、<br>職業をもつ | (エ)<br>子どもができ<br>たら職業をや<br>め、大きくな<br>ったら再び職<br>業をもつ | (オ)<br>ずっと職業<br>を続ける | (カ)<br>わからない |
|-----|--------------------|------------------------------|---------------------------------|---|----------------------|--------------|
| ①理想 | 1                  | 2                            | 3                               | 4   | 5                    | 6            |
| ②現実 | 1                  | 2                            | 3                               | 4   | 5                    | 6            |

問6 あなたは、女性が働く上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。  
次の中から3つまで（1つでもよい）選んで番号に○をつけてください。

|                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 家事の負担が大きいこと     | 2. 夫・子どもの世話の負担が大きいこと      |
| 3. 高齢者の世話の負担が大きいこと | 4. 夫・子どもなどの理解や協力がでないこと    |
| 5. 保育体制の不備         | 6. 老人福祉施設、介護サービスを利用しにくいこと |
| 7. 職場で男女差別があること    | 8. 職場での結婚・出産退職の慣例があること    |
| 9. 夫の転勤や長時間労働      | 10. 女性の働き口自体が少ないこと        |
| 11. 支障となることは特にない   | 12. わからない                 |
| 13. その他（           | ）                         |

問7 セクシュアル・ハラスメントが近年問題になっていますが、あなたが、セクシュアル・ハラスメントだと思うものはどれですか。  
次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

|                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 地位や権限を利用して、性的な関係を迫ること          |
| 2. さわる、抱きつくなど肉体的接触をすること           |
| 3. 性的冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけること        |
| 4. 宴席で、お酌、デュエット、ダンスなどを強要すること      |
| 5. 結婚予定や出産予定をたびたび聞くこと             |
| 6. 目につきやすい所に、ヌード写真・ポスターなどを置いておくこと |
| 7. 女性に対して「○○ちゃん」「女の子」「おばさん」と呼ぶこと  |
| 8. わからない                          |
| 9. その他（                           |
| ）                                 |

### セクシュアル・ハラスメントとは・・・

性的嫌がらせのこと。雇用の場などにおいて、相手方の意に反した性的な性質の行動を行い、それに対する対応によって、仕事などを遂行する上で一定の不利益を与えたり、またはそれを繰り返すことによって環境を著しく悪化させること。

問 8 **この設問は、就労している方（F3で「1. 勤め人（常勤）」「2. 勤め人（非常勤、パートタイム、アルバイトなど）」「3. 農林漁業」「4. その他自営業」と回答した方）にのみおたずねします。**

**※ただし、「5. 学生」と回答した方でも、アルバイトなどで就労している方は、お答えください。**

あなたの職場で、現在次のようなことがありますか。

次の中から**あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。**

1. 女性は昇進・昇格が遅い、または望めない
2. 同期に同年齢で入社した男性との賃金、昇給の差がある
3. 社内研修や教育訓練、出張や視察などの機会が少ない
4. 定年の年齢に男女差がある
5. 女性が結婚や出産を機に退職する慣習がある
6. 女性が長く就労することを歓迎しない雰囲気がある
7. 女性は補助的な仕事しかさせてもらえない
8. お茶くみなどの雑用は職種にかかわらず女性がすることが多い
9. セクシュアル・ハラスメントを経験した、または周りに経験した人がいる
10. 特に男女格差はない
11. その他（ )

問 9 あなたは一般的に、男女が共に職業人として職場で能力を発揮し、かつ継続して勤務するためには、どのようなことが重要だと思いますか。

次の中から**3つまで（1つでもよい）選んで番号に○をつけてください。**

1. 職業人として自覚をもつこと
2. 仕事に必要な職業能力を身につけること
3. 「男は仕事、女は家庭」という従来の社会通念が変わること
4. 採用、職場配置、研修などにおいて、男女の機会均等が確保されること
5. 能力や実績に応じた評価（給料面を含む）がなされること
6. 男女共に育児休暇が取りやすくなること
7. 男女共に介護休暇が取りやすくなること
8. 結婚、出産などによりいったん退職した人が同じ企業に再び雇用されるようになること
9. わからない
10. その他（ )

## 結婚、家庭生活と男女の役割についておたずねします。

問 10 あなたは、結婚、家庭に関する次のような考えについて、どのように思いますか。

①から⑤のそれぞれについて（ア）～（オ）の中からあなたの気持ちに最も近いものを 1つずつ選んで番号に○をつけてください。

|  | (ア)<br>賛 成 | (イ)<br>どちらかと<br>いえば賛成 | (ウ)<br>どちらかと<br>いえば反対 | (エ)<br>反 対 | (オ)<br>わからない |
|--|------------|-----------------------|-----------------------|------------|--------------|
| ①結婚は個人の自由であるから、結婚<br>してもしなくてもどちらでもよい                 | 1          | 2                     | 3                     | 4          | 5            |
| ②夫は外で働き、妻は家庭を守るべき<br>である                             | 1          | 2                     | 3                     | 4          | 5            |
| ③女性は結婚したら、自分自身のこと<br>より、夫や子どもなど家族を中心に<br>考えて生活した方がよい | 1          | 2                     | 3                     | 4          | 5            |
| ④結婚しても必ずしも子どもをもつ<br>必要はない                            | 1          | 2                     | 3                     | 4          | 5            |
| ⑤結婚しても相手に満足できないと<br>きは離婚すればよい                        | 1          | 2                     | 3                     | 4          | 5            |

問 11 あなたは、次にあげるような家庭内の仕事を、主にだれが分担するのが理想だと思いますか。①から⑥のそれぞれについて（ア）～（キ）の中から 1つずつ選んで番号に○をつけてください。 ※結婚されていない方も、結婚していると仮定してお答えください。

|                | (ア)<br>夫 | (イ)<br>妻 | (ウ)<br>夫妻とも<br>同じくらい | (エ)<br>子ども | (オ)<br>家族<br>全員 | (カ)<br>その他<br>の人 | (キ)<br>わから<br>ない |
|----------------|----------|----------|----------------------|------------|-----------------|------------------|------------------|
| ①食事のしたく        | 1        | 2        | 3                    | 4          | 5               | 6                | 7                |
| ②食事の後かたづけ、食器洗い | 1        | 2        | 3                    | 4          | 5               | 6                | 7                |
| ③掃除            | 1        | 2        | 3                    | 4          | 5               | 6                | 7                |
| ④洗濯            | 1        | 2        | 3                    | 4          | 5               | 6                | 7                |
| ⑤育児・しつけ        | 1        | 2        | 3                    | 4          | 5               | 6                | 7                |
| ⑥看護・介護         | 1        | 2        | 3                    | 4          | 5               | 6                | 7                |

問 12 この設問は、F4で「2. 既婚（事実婚を含む）」と回答した方にのみおたずねします。

あなたの家庭では、次にあげるような家庭内の仕事を、実際に主にだれが分担していますか。①から⑥のそれぞれについて（ア）～（キ）の中から 1つずつ選んで番号に○をつけてください。

|                | (ア)<br>夫 | (イ)<br>妻 | (ウ)<br>夫妻とも<br>同じくらい | (エ)<br>子ども | (オ)<br>家族<br>全員 | (カ)<br>その他<br>の人 | (キ)<br>わから<br>ない |
|----------------|----------|----------|----------------------|------------|-----------------|------------------|------------------|
| ①食事のしたく        | 1        | 2        | 3                    | 4          | 5               | 6                | 7                |
| ②食事の後かたづけ、食器洗い | 1        | 2        | 3                    | 4          | 5               | 6                | 7                |
| ③掃除            | 1        | 2        | 3                    | 4          | 5               | 6                | 7                |
| ④洗濯            | 1        | 2        | 3                    | 4          | 5               | 6                | 7                |
| ⑤育児・しつけ        | 1        | 2        | 3                    | 4          | 5               | 6                | 7                |
| ⑥看護・介護         | 1        | 2        | 3                    | 4          | 5               | 6                | 7                |

問 13 あなたは、子育てについて、どのように考えますか。

次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

※お子さんのいない方もいるものと仮定してお答えください。

1. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てた方がよい
2. 男の子も女の子も同じように育てた方がよい
3. 男の子には女の子よりも高等教育を受けさせたい
4. 女の子には男の子よりも高等教育を受けさせたい
5. 男の子も女の子も本人が望むように教育を受けさせたい
6. わからない
7. その他 ( )

問 14 安心して子どもを産み育てるためにはどんなことが必要だと思いますか。

次の中から3つまで（1つでもよい）選んで番号に○をつけてください。

1. 出産・育児に対する経済的な支援の拡充
2. 保育サービスの充実
3. ファミリーサポートセンター事業や学童保育など地域の子育て支援の充実
4. 子育て中の柔軟な勤務形態の普及
5. 父親が子育てに十分かかわることができる職場環境の整備
6. 出産・子育て後に再就職しやすい制度づくり
7. 子育て中の仲間づくり支援
8. 子育ての悩み相談の充実
9. 子育て中の専業主婦のリフレッシュ支援
10. ひとり親家庭の支援
11. わからない
12. その他 ( )

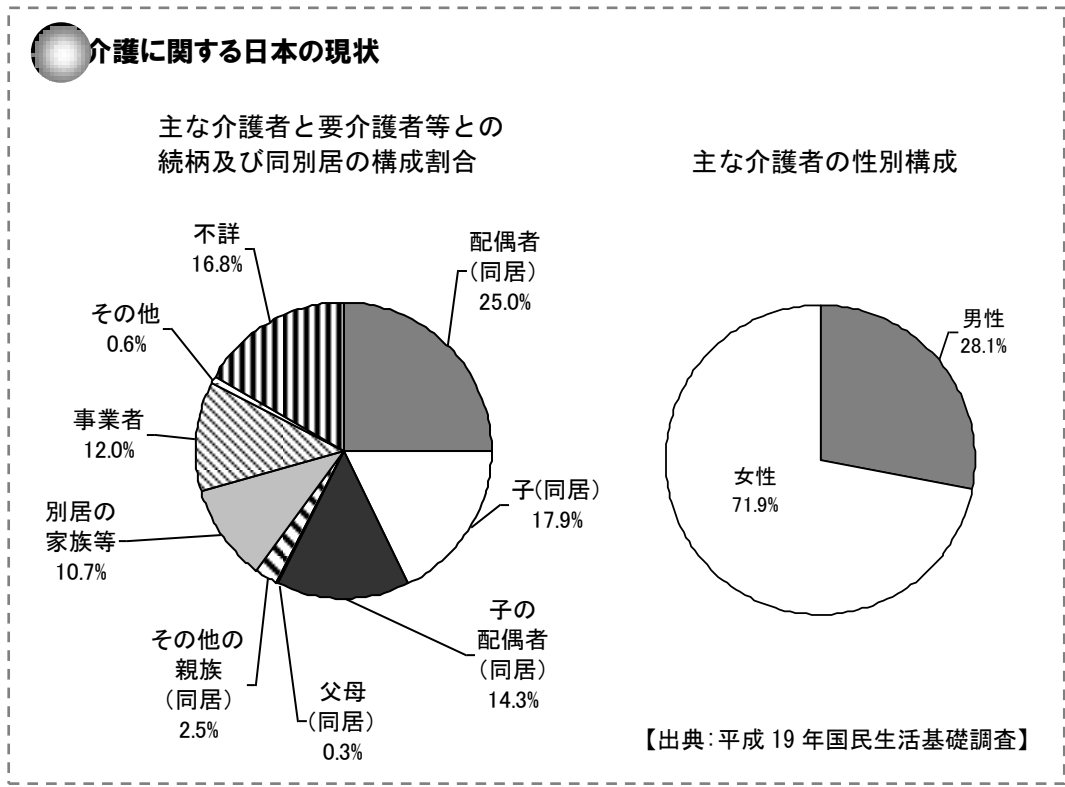
問 15 もし、あなたが介護が必要になったら、主にだれに世話をしてもらいたいですか。

次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 夫または妻（パートナー）         | 2. 娘                  |
| 3. 息子                   | 4. 娘の夫                |
| 5. 息子の妻                 | 6. その他の親族             |
| 7. ホームヘルパーや公的な介護制度を利用する | 8. 病院や老人ホームなどの施設に入所する |
| 9. その他 ( )              |                       |

問 16 あなたは、下記のような高齢者介護が女性の役割となりがちである現状についてどのように考えますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 女性の役割だと思う
- 2. 問題があるが、現状ではやむをえない
- 3. 男性も女性とともに介護するべきである
- 4. 男女にかかわらず、主に実の子どもが介護するべきである
- 5. 原則として介護は社会が行うべきである
- 6. わからない
- 7. その他 ( )



## 社会参加活動についておたずねします。

問 17 あなたは、次のような活動に参加していますか。また、今後参加したい活動はありますか。①から⑧のそれぞれについて(ア)～(エ)の中から 1 つずつ選んで番号に○をつけてください。

|                             | (ア)<br>現在参加<br>している | (イ)<br>現在参加して<br>いないが、今<br>後参加したい | (ウ)<br>参加したく<br>ない | (エ)<br>わからない |
|-----------------------------|---------------------|-----------------------------------|--------------------|--------------|
| ①趣味・学習・スポーツ活動               | 1                   | 2                                 | 3                  | 4            |
| ②町内会・PTA・子ども会など地域活動         | 1                   | 2                                 | 3                  | 4            |
| ③リサイクル・消費生活活動               | 1                   | 2                                 | 3                  | 4            |
| ④国際交流活動                     | 1                   | 2                                 | 3                  | 4            |
| ⑤ボランティア活動・福祉活動              | 1                   | 2                                 | 3                  | 4            |
| ⑥環境保護、まちづくりなどの住民運動<br>や社会活動 | 1                   | 2                                 | 3                  | 4            |
| ⑦政治活動や宗教活動                  | 1                   | 2                                 | 3                  | 4            |
| ⑧その他 ( )                    | 1                   | 2                                 | 3                  | 4            |

問 18 あなたが社会活動に参加しようとする上で、支障となることはどのようなことですか。次の中から あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

|                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 仕事が忙しい         | 2. 家事が忙しい            |
| 3. 小さい子どもがいる      | 4. 病人、高齢者などがある       |
| 5. 家族の理解や協力がでない   | 6. 活動する仲間や場所が少ない     |
| 7. 健康や体力に自信がない    | 8. 職場の理解がない          |
| 9. 社会活動に関する情報が少ない | 10. グループの人間関係がわずらわしい |
| 11. 支障となることは特にない  | 12. その他 ( )          |

問 19 あなたの住んでいる地域でのさまざまな活動において、次のようなことがありますか。次の中から あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

|                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 会議や行事などで女性が飲食の世話や後かたづけをすることが多い     |
| 2. 会議や行事などで女性が意見を言いにくい、意見を取り上げてもらいにくい |
| 3. 役員選挙に女性が出にくい、また選ばれにくい              |
| 4. 地域の行事で女性が参加できないものがあるなど、男性と差がある     |
| 5. 地域の活動に女性が少ないため歓迎される                |
| 6. 地域の活動には女性の方が積極的に活発である              |
| 7. セクシュアル・ハラスメントを経験した、または周りに経験した人がいる  |
| 8. 特に男女格差はない                          |
| 9. その他 ( )                            |

問 20 あなたは、今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること
6. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること
7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
8. 国や地方自治体の研修などにより、男性の家事や子育て、介護などの技能を高めること
9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）づくりをすすめること
10. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について男性が相談しやすい窓口を設けること
11. 特に必要なことはない
12. その他（ )





## ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)についておたずねします。

問 21 あなたが生活していく中で、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先度について、どのような状態が理想だと考えますか。また、実際の状況(現実)はどうですか。

理想と現実それぞれについて 1つ選んで番号に○をつけてください。

### (1) 理想

1. 「仕事」を優先
2. 「家庭生活」を優先
3. 「地域・個人の生活」を優先
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
8. わからない

### (2) 現実

1. 「仕事」を優先
2. 「家庭生活」を優先
3. 「地域・個人の生活」を優先
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
8. わからない

問 22 あなたは、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現のためにどのような工夫をしたらよいと思いますか。次の中から あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 残業を減らすようにする
2. 年次有給休暇をしっかりとる
3. 仕事の段取りを工夫する
4. 効率よく仕事をする
5. 家事能力を高める
6. 自己啓発、能力向上のための取り組みを行う
7. 興味を持てる活動(学習・趣味・スポーツ)を探す
8. 自分のための時間をとる
9. 地域活動、NPO活動に参加する
10. 消費者として企業や商店に過剰なサービスを求めない
11. その他 ( )

### ワーク・ライフ・バランスとは・・・

仕事と生活の調和のこと。個人が仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児をはじめとする家族形成のほか、介護やキャリア形成、地域活動への参加など、ライフステージに応じた多様なライフスタイルを選択・実現できるようになること。

## 人権についておたずねします。

問 23 あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことについてですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）
2. 昇給・昇進の格差など、職場における男女の待遇の違い
3. 女性の社会進出のための支援制度の不備
4. 家庭内での夫婦間の暴力やパートナーからの暴力
5. 職場などにおけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）
6. ストーカー行為
7. 売春・買春、援助交際
8. アダルトビデオ、ポルノ雑誌における女性のヌード写真や映像の商品化など
9. 電車内など公共の場における性情報の氾濫
10. 女性の容姿を競うコンテスト
11. わからない
12. その他（ ）

問 24 あなたは、現在のテレビ、新聞、雑誌などのメディアにおける性・暴力表現について、どのように思いますか。  
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 問題があると思う
2. どちらかといえば問題があると思う
3. どちらかといえば問題はないと思う
4. 問題はないと思う
5. わからない

問 24-1 この設問は、問 24 で「1. 問題があると思う」「2. どちらかといえば問題があると思う」と回答した方にのみおたずねします。

あなたは、メディアにおける性・暴力表現について、どのような点で問題があると思いますか。

次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 女性の性的側面を過度に強調するなど、女性の人権が侵害されている
2. 社会全体の性に関する道德観・倫理観が損なわれている
3. 女性に対する暴力を助長する
4. そのような表現を望まない人や子どもに目に触れている
5. 児童に対する性犯罪を助長する
6. わからない
7. その他（ ）

問 25 妊娠・出産をになう女性は、男性とは異なった体や心の問題に直面することがあります。男女が生涯にわたり心身共に健康であるためにどのようなことが必要だと思いませんか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 性について正しい知識を持ち、判断する力をつけること
2. 妊娠・出産・避妊・中絶に関する情報の提供
3. 思春期、青年期、更年期、老年期に合わせた健康づくりの推進
4. 学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の実施
5. あらゆる機会における健康診査等の促進
6. 心身にわたるさまざまな悩みに対応する相談体制の整備
7. わからない
8. その他 ( )

問 26 あなたは、ドメスティック・バイオレンスについて経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。

次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 自分が直接経験したことがある
2. 自分のまわりに経験した（している）人がいる
3. 一般的な知識として知っている
4. くわしくはわからないが、言葉としては聞いたことがある
5. ドメスティック・バイオレンスに関するチラシやパンフレットなどを見たことがある
6. 全く知らない

問 26-1 この設問は、問 26 で「1. 自分が直接経験したことがある」「2. 自分のまわりに経験した（している）人がいる」と回答した方のみおたずねします。

あなたは、経験したり、見聞きしたことを、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 警察に連絡・相談した
2. 男女共同参画推進センター“あいめっせ”、市役所に相談した
3. 家族や親戚に相談した
4. 友人や知人に相談した
5. 医療関係者（医師・看護師など）に相談した
6. その他 ( )
7. どこ（だれ）にも相談しなかった

**ドメスティック・バイオレンス(DV)とは・・・**

配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力のこと。パートナーを殴る・蹴るなどの身体的暴力のほか、生活費を渡さない経済的暴力、大事なものを壊す、不快な言動をするなどの心理的暴力、無理矢理性交渉に及ぶ性的暴力など、さまざまな形がある。近年、婚姻関係にない恋人や元恋人、交際中、交際していたなどの親密な関係の相手からの暴力（デートDV）も問題となっている。

## 男女共同参画に関する施策などについておたずねします。

問 27 次の男女共同参画に関する事項を、あなたはどの程度ご存知ですか。①から⑭のそれぞれについて(ア)～(ウ)の中から1つずつ選んで番号に○をつけてください。

|  | (ア)<br>内容まで<br>知っている | (イ)<br>見聞きした<br>ことはある | (ウ)<br>知らない |
|--|----------------------|-----------------------|-------------|
| ①男女共同参画社会                              | 1                    | 2                     | 3           |
| ②男女共同参画社会基本法                           | 1                    | 2                     | 3           |
| ③男女雇用機会均等法                             | 1                    | 2                     | 3           |
| ④育児・介護休業法                              | 1                    | 2                     | 3           |
| ⑤ストーカー規制法                              | 1                    | 2                     | 3           |
| ⑥配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）      | 1                    | 2                     | 3           |
| ⑦デートDV（恋人同士など結婚していない男女間での体、言葉、態度による暴力） | 1                    | 2                     | 3           |
| ⑧ポジティブ・アクション（積極的改善措置）                  | 1                    | 2                     | 3           |
| ⑨ジェンダー（社会的・文化的につくられた性別）                | 1                    | 2                     | 3           |
| ⑩リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する女性の健康／権利）    | 1                    | 2                     | 3           |
| ⑪ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）                | 1                    | 2                     | 3           |
| ⑫メディア・リテラシー（メディアからの情報を読み解く能力）          | 1                    | 2                     | 3           |
| ⑬姫路市男女共同参画プラン                          | 1                    | 2                     | 3           |
| ⑭配偶者暴力相談支援センター                         | 1                    | 2                     | 3           |

問 28 あなたは、姫路市男女共同参画推進センター“あいめっせ”をご存知ですか。  
また、利用したことがありますか。  
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. センターの事業内容を知っており、利用したことがある
2. センターの事業内容は知っているが、利用したことはない
3. センターの事業内容は知らないし、利用したこともない
4. センターの事業内容は知らないが、利用したことがある

### 姫路市男女共同参画推進センター“あいめっせ”とは・・・

姫路市男女共同参画推進センター“あいめっせ”は、イーグレひめじ3階にある、豊かで活力ある男女共同参画社会の実現に向けて、男女が対等に社会参加や参画をし、ともに役割や責任を分かち合っ

ち合っ



問 29 あなたは、男女共同参画社会を形成していくため、今後、市はどのようなことに力を  
入れていくべきだと思いますか。

次の中から3つまで（1つでもよい）選んで番号に○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 女性の人権尊重のためあらゆる分野で性差別の解消をめざし、啓発活動を充実させる                         |
| 2. 学校で男女平等意識を育てる教育を充実させる  |
| 3. 家庭生活、地域社会での男女の対等な関係づくりと活動への共同参画について啓発する                        |
| 4. 労働の場における男女平等の徹底と、男女が共に家庭と仕事を両立できるような労働環境の整備を行う                 |
| 5. 女性に対するあらゆる暴力の根絶・防止に向けた取り組みを強化する                                |
| 6. 男女が共に子育てに関わるための取り組みや、地域ぐるみで子育てを支援する施策を充実させる                    |
| 7. 学習や活動、情報・ネットワークなどの拠点となる施設“あいめっせ”の事業を充実させる                      |
| 8. 画一的な性別役割分担意識の払拭をはかるため啓発活動を充実させる                                |
| 9. 地域で男女平等をすすめるための生涯学習の場や機会を増やす                                   |
| 10. 行政・企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的登用をすすめるよう啓発する                          |
| 11. 女性の就労の機会が増えるよう、職業訓練や職業教育を充実させるなど環境の整備をはかる                     |
| 12. 女性性の保護や女性専門外来の設置など女性の心身の健康づくりや各種相談を充実させる                      |
| 13. 高齢者や障害者に対する介護サービスを充実させ介護の社会化をはかるとともに、男女が共に介護に関わるための基盤づくりをすすめる |
| 14. わからない   |
| 15. その他 ( )   |

◆男女共同参画に関する市政へのご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

**ご協力ありがとうございました。**

---

## 男女共同参画に関する市民意識調査報告書

---

平成 24 年(2012 年)3 月

発 行 姫路市 市民局 市民参画部  
男女共同参画推進課

〒670-0012

姫路市本町 68-290 イーグレひめじ 3 階

TEL (079)287-0803

FAX (079)287-0805

---